安全にご使用いただくために

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守り下さい。

また、ご使用の前には必ず説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してから、ご使用下さい。

当製品をご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。



危険！

感電、火災の恐れがあります。次の注意事項をお守り下さい。

1. プラグをコンセントに接続したままで、ミシンから離れないで下さい。

2. ご使用後、またはミシンの掃除をする際には、必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。



警告！

感電、火災、けがの原因になります。次の注意事項をお守り下さい。

1. おもちゃとして絶対にご使用にならないで下さい。また、小さなお子様の近くでのご使用時は、特別の注意をお願い致します。

2. この説明書の記載内容に従ってご使用下さい。また、ベルニナ社がお薦めする付属品のみをご使用下さい。

3. 次のような場合には、当製品の使用を避けて下さい。
   - ミシン、フットコントローラーのコード、プラグに傷があるとき。
   - ミシンが正常に作動しないとき。
   - 落としたり、損傷したとき。
   - 水の中に落としたとき。

   このような場合には、お近くのお買い上げ店に、ミシンの点検、修理、調整のご依頼をお願い致します。

4. ミシンの通気孔をふさがないで下さい。また、ミシンの通気孔に糸くずやほこり、布きれが詰まった状態で使用しないで下さい。モーターの過熱の原因となります。

5. 操作中は、動く部品に指を近づけないで下さい。特に針の回りでは、細心の注意を払って下さい。

6. 常に当製品専用の針板をご使用下さい。まちがった針板のご使用は、針折れを起こします。

7. 曲がった針は使用しないで下さい。

8. 裁縫中に布を引っ張ったり、押し込んだりすると、針をいため、針折れの原因となります。

9. 糸、針、ボビン、押え金等を交換する際には、ミシンの電源スイッチを切って下さい。

10. ミシンカバーを外したり、注油、又は説明書に従って調整する場合には、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。

11. ミシンやフットコントローラーの隙間からものを入れたり、差し込んだりしないで下さい。

12. 戸外では使用しないで下さい。

13. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では、使わないで下さい。

14. プラグをコンセントから抜く前に、必ずミシン本体の電源を切って下さい。

15. プラグをコンセントから抜く場合には、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いて下さい。

16. 以上の使用方法を順守しないために生じた損害に対しては、いかなる場合も当社は責任を持ちかねますので、ご了承下さい。

17. ミシンの修理には、必ず専用の部品を使ってください。

18. 刺しゅう機の使用中は、そばを離れないようにご注意ください。

この製品は家庭でのご使用を対象として製造されております。

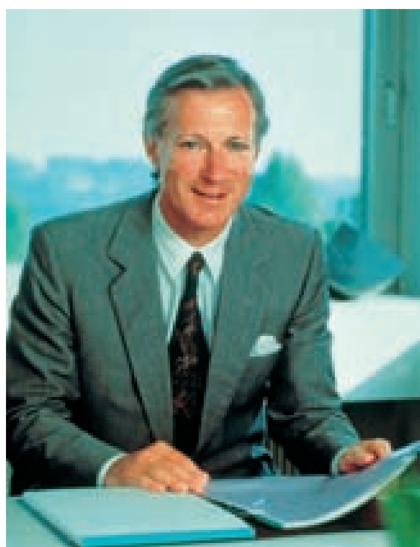
! この説明書は必ず大切に保存してください

artista 200

ベルニナご愛用者の皆様へ

この度は、ベルニナ・ソーイング・コンピュータ・アーティスタ 200 をご購入いただき誠にありがとうございます。 今日、市販されている最高のミシンを使って、真のクリエイティブなアートを追求していかれることを願っております。

このソーイングおよび刺しゅう用のミシンには、未来を見据えた最新のテクノロジーが満載されており、皆様の「趣味」をクリエイティブなアートへと高めるお手伝いをさせていただきます。また、従来のベルニナのハードウェアおよびソフトウェアとの接続のみでなく、マイアーティスタポータルとの直接接続もできるようになっておりますので、いつでも最新のソーイングおよび刺しゅうに関する情報を直接ダウンロードすることが可能になっています。



ベルニナ社では、みなさまに、アーティスタのソーイングシステムをフルに活用して、楽しんでいただきたいと存じます。
アーティスタについて、何かご質問等ございましたら、いつでも最寄りのお買い上げ店にお問い合わせください。

みなさまに、クリエイティブなソーイングタイムを楽しみ、心からご満足いただくことが、私の心からの願いです。

H.P. Ueltschi

ハンスペーター・ウルチ
代表取締役社長
フリッツ・ゲガウフ株式会社、ベルニナミシン製作所
CH-8266 Steckborn, Switzerland

Open to a world of imagination

BERNINA®

030794.71.10_0401_a200_JP

発行者欄

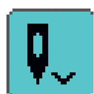
アーティスタ200	ソーイング・エンブロイダリー・コンピューター説明書
テキスト・ソーイング・エンブロイダリープロジェクト	Susanne Festi, Franziska Kiener, Herbert Stolz, Anna Tiberini
写真	Ben Wiesenfarth, Konstanz* S.8,9,Dividers Sewing / Embroidery
図面	Muller-Melzer ID, Kreuzlingen
ビットマップ	Herbert Stolz, Steckborn
デザインコンセプト	Silvia Bartholdi, Schaffhausen
表紙裏作品	Marlis Bennett, USA
タイプセッティング・レイアウト DTP	Silvia Bartholdi, Erika Czibulya
印刷	Heer Druck AG, Sulgen
版権	©2002 by Fritz Gegauf AG, Steckborn

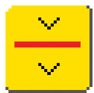
アーティスタ200ソーイング・エンブロイダリー・コンピューター説明書

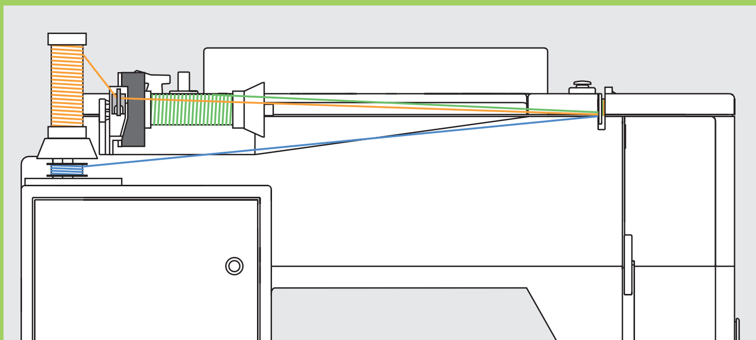
目次

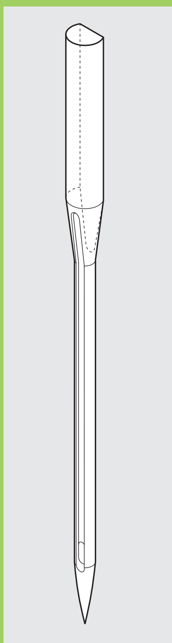
030794.71.10_0401_a200_JP

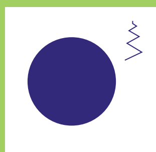
第1章　ソーイングの部





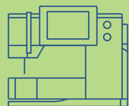






The Sewing Computer

030794.71.10_0401_a200_JP



各部の名称



前面

ミシンの準備



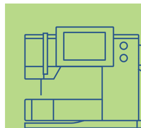
背面



左側面



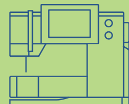
右側面



1. 釜開閉ふた
2. 針板
3. ソーイングベッド
4. 縫い縫い刺しゅう枠(オプション)取付け穴
5. 押え金
6. 針止めネジ
7. 針元糸案内
8. 上糸糸通し機
9. ソーイングレンズ取付け腕(オプション)
10. 天秤カバー
11. 上糸掛け糸道
12. 天秤
13. 下糸巻き案内
14. 針元返し縫いボタン
15. 一模様縫い機能ボタン
16. お気に入り機能ボタン
17. 自動糸切り
18. スクリーン
19. 糸巻きスイッチ／糸切り
20. 実用縫いグループ選択ボタン
21. 模様縫いグループ選択ボタン(16/4方向縫い)
22. 文字グループ選択ボタン
23. ボタンホールグループ選択ボタン
24. キルトステッチ選択ボタン
25. パーソナルプログラムボタン
26. 刺しゅう模様縫いグループ選択ボタン
27. 振り幅調節つまみ
28. 送り長さ調節つまみ
29. 針基線選択ボタン
30. クリエイティブコンサルタントボタン
31. チュートリアルボタン
32. ≪clr≫クリヤーボタン
33. セットアップ機能ボタン
34. スピーカー
35. 膝押え上げレバー差込口
36. キャリングハンドル
37. 糸こまホルダー
38. 押え金上げレバー
39. スライドオンテーブル差込口
40. 押え圧調節つまみ
41. 糸切り
42. 下糸巻取り用糸通しガイド
43. はずみ車
44. モデムカード(オプション)、デザインカードおよび刺しゅうカード(オプション)差し込み口
45. ヘッドセット差込口(オプション)-モノラル対応対応
46. CD-ROMドライブ(オプション)用USBソケット
47. パソコン接続用 USB ソケット
48. 刺しゅう機コードソケット差込口
49. フットコントローラーコードソケット差込口
50. 送り歯ドロップブッシュボタン
51. 電源スイッチ
52. 電源コードソケット

030794.71.10_0401_a200_JP

アクセサリー



製品には以下の付属品が入っています。

付属品
- フットコントローラー
- 電源コード
- 膝押え上げレバー
- ソーイングテーブル
- ソーイングテーブル用縫い目ガイド
- 保証書
- 使用説明書
- 「四季のアート」ソフト解説書
- デザイン CD-ROM
- インストラクションおよびプレゼンテーション用ＣＤロム
- チュートリアルCD-ROM
- セット-アップCDロム(パソコン用)
- インストラクション CD-ROM(パソコン用)



ポケット付きソフトカバー
- ほこりや汚れから守ります。
- ミシンを使わないときには、カバーをかぶせておきます。

インストラクションおよびプレゼンテーション用ＣＤロムについては、１８６ページをご覧ください。

アクセサリーボックス





標準付属品を収納する
- ボックスの底についているサポートレッグを、かちんと音がして止まるまで左右に開いて、アクセサリーボックスを立てて置きます。
- 二つのアクセサリーボックスにも、大小一つずつの引出し、ボビン収納ホルダーが2つ、センサー付き押え金(C)用のハンガーが2つ、およびセンサー無しの押え金用ハンガーが一つ装着されています。
- 押え金用のコンパートメントは、ボックスの中に収納することが可能です。(コンパートメントおよび引出しは、別売りオプションがございますので、追加することも可能です。)
- ボビンをコンパートメントに収納します。
- ボビンを取り出すには、コンパートメントホルダー部Aを軽く押します。
- 押え金は、コンパートメントにつるします。
- 残りのアクセサリーは、写真に従って収納してください。

スーツケースシステム(オプション)
- ミシンと刺しゅう機を持ち運びするには、ローラー付きのキャリングケースがオプションでご用意されています。

標準付属品*(国によって異なる場合があります)
- ボビン4個(＋一個はミシンに装着されています)
- 針(H)1セット
- シームリッパー
- 小型スクリュードライバー
- 特殊ドライバー
- ブラシ
- 布ガイド
- フォームパッド

- #1C スーパー模様押え
- #2A オーバーロック押え
- #3C ボタンホール押え
- #3A 布ガイド付自動ボタンホール押え
- #4 ファスナー用押え
- #5 まつり縫い押え
- #8 ジーンズ用押え
- #18 ボタン付け用押え
- #20C オープン刺しゅう押え
- #40C 横送り縫い押え
- 自動ボタンホール押え用布案内板

- 高さ調節板
- 垂直型糸立て棒
- 糸こまカバー3種類
- 油さし

- CDロムドライブ(国によってはオプション)
- USBコード

詳しくは254ページをご参照下さい

ミシンのセットアップ方法

電源コード

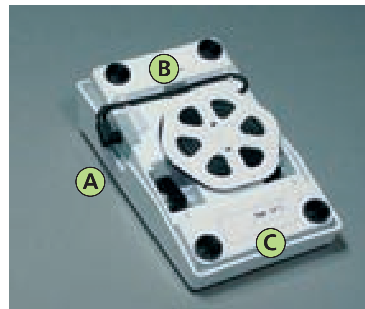


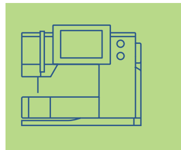
電源コード
- プラグAをミシンに接続します。
- プラグBを電源コンセントに差し込みます。

フットコントローラー用コード
- プラグCをミシンに接続します。

フットコントローラー







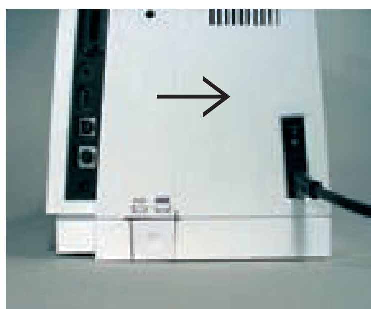
ソーイングスピード
- ペダルの踏み加減でスピードを調整します。
- ペダルのかかと部分（矢印）を踏んで針の上げ下げが出来ます。

コードの収納方法
- 裏側に時計方向に巻き取ります
- プラグはAの差込穴に差込みます。

コードの長さの調整方法
- コードを必要な長さだけ出して、B又はCのコードホルダーに止めます。

操作説明

電源スイッチ



電源スイッチ

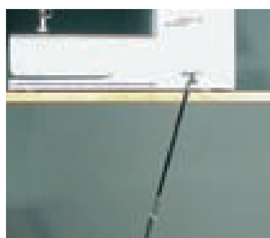
電源スイッチは、ミシンの右側下（矢印）にあります。
1：スイッチはオン
0：スイッチはオフ

工場標準セッティングでは、ミシンをオンにすると照明ランプが点灯、オフで消灯します。



「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

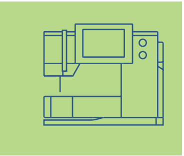
膝押え上げレバー（フリーハンドシステム）



押え金の上下
- レバーで押え金の上げ下げが出来ます。
- 膝で右に押します。
- 押え金が上がり、同時に送り歯が下がります。
- 縫い出すと、送り歯は自動的に上がります。

レバーの取り付け方
- レバーの差し込み口は、ミシンの土台の前方右下にあります。
- ミシンを正面にして、レバーが膝の右側に来るように座ります。

メモ：
レバーの角度は、調整可能です。最寄りのお買い上げ店にご相談下さい。



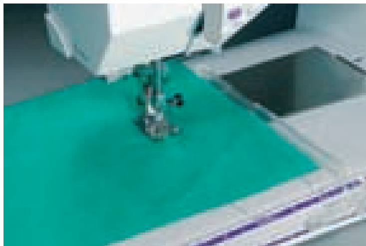
スライドオンテーブル



広い作業スペース
- 作業スペースを広げます。
- テーブルがフリーアームになっているのでズボンの脚部やウエストバンドなどの大きな筒縫いが可能です。

取り付け方
- 針と押え金を上げます。
- フリーアーム部に差込み、強く止まるまで押し込みます。

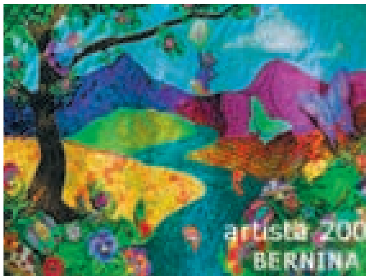
取り外し方
- 左方向に引いて、取り外します。



布ガイド
- テーブルの手前下の溝に沿って、右方向からスライドさせながら差し込みます。
- テーブル上で安定した布ガイドが可能になります。

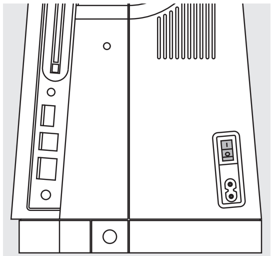
定規
補助テーブルの定規の≪0≫は、針基線の中央を基準としています。

スクリーン操作



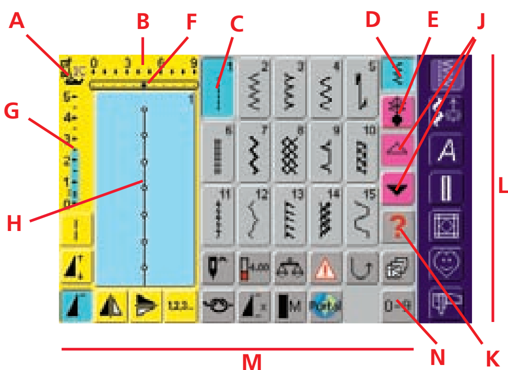
アーティスタは外部操作ボタンとつまみ、及びタッチスクリーンの両方で操作します、

Welcome スクリーン
- スイッチを入れてオンにします、
- Welcome メッセージが約3秒間画面に表示されます、
- このスクリーンはセットアップ機能でメッセージを入れたり、消したりも出来ます。



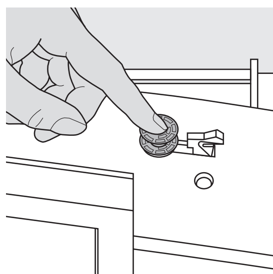
実用縫いスクリーン

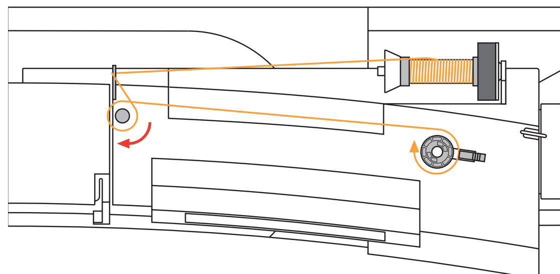
Welcome メッセージが消えると実用縫いスクリーンが表示され、次の画面が表示されます。

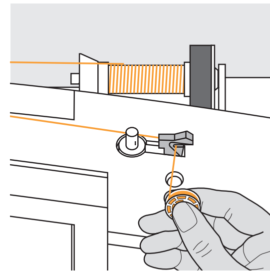


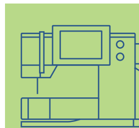
- A 押え金の表示
- B 振り幅(基本セッティングが常に表示されます)
- C 選んだステッチとその番号
- D シングルモード
- E コンビモード
- F 針基線(11ポジション)
- G 送り長さ(基本セッティングが常に表示されます)
- H 選んだステッチのイラストおよび番号 (ステッチ変更エリア)
- J 画面スクロール上下矢印
- K ヘルプのアイコン
- L メイングループのボタン
- M 機能
- N ステッチ番号入力アイコン

下糸の巻き方









下糸を巻く

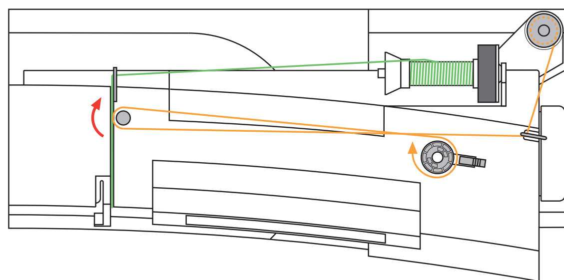
- 電源スイッチをオンにします。
- 空のボビンを糸巻き軸にセットします。

糸の通し方

- 糸こまを、糸立て棒にセットします。
- 糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ボビン押えをボビン側に倒します。
- 空のボビンに糸を数回巻きつけ、糸巻き用の糸切りで余分な糸をカットします。
- 下糸の巻取りが、自動的に開始されます。
- ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ボビンを外します。

糸切り

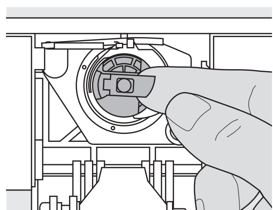
- 糸切りで糸を切ります。



ソーイングまたは刺しゅう中に下糸を巻くには

- 糸こまを、垂直式の糸立て棒に立てます。
- 糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ボビン押えをボビン側に倒します。
- 下糸の巻取りが、自動的に開始されます。
- ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ボビンを外します。

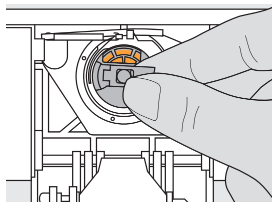
ボビンケース



取り出し方

- 針を上に上げ、
- 電源をオフ≪〇≫、
- 釜開閉カバーを開け、
- ボビンケースの爪の部分をつまんで、取り出します

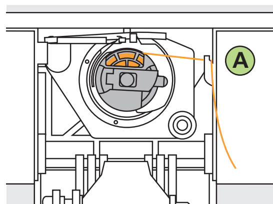
注意
動く部品がありますので、ボビンの取出し、装着等の作業の前には必ず電源スイッチをオフにして下さい。またソーイングの際には、ボビンカバーは必ず閉じて下さい。



装着方法

- 爪の部分をつまみ、
- ボビンケースの開口部を上にして、
- 釜に装着します。
- 開閉カバーを閉めます。

メモ：
通常は、下糸を持ち上げる必要なく、最適な下糸の長さで縫い始められます。

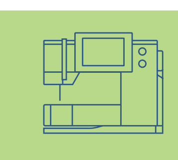


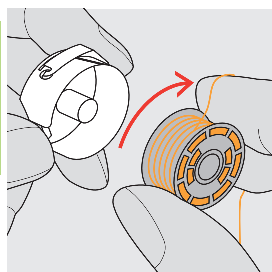
下糸切り

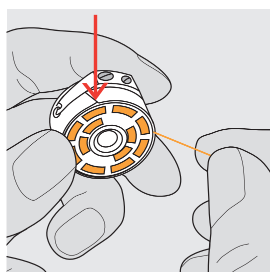
- ボビンケースを差し込み、
- Aのカッターで余分の糸を切ります。

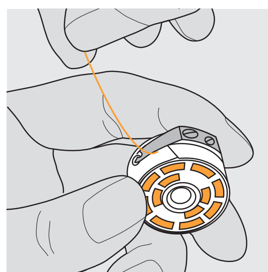
ボビンの入れ方については、14ページをご参照ください。

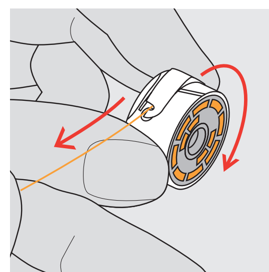
ボビンをセットします











ボビンをセットします

- 糸の巻き方向が時計回りになるように、注意してボビンをボビンケースにセットします。

糸を上糸案内に入れる

- 糸を時計と反対方向に引きながら上糸案内の中に入れ、

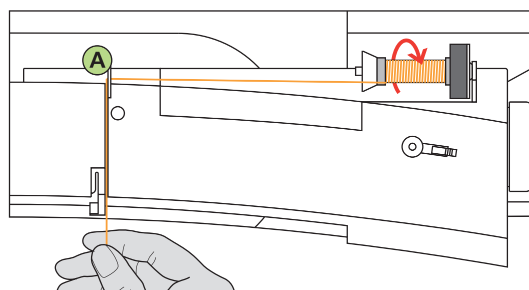
バネの下から糸を引っ張る

- バネの下を通して糸がバネの端のT字型溝を通って、だ円形の窓から出るまで引っ張ります。

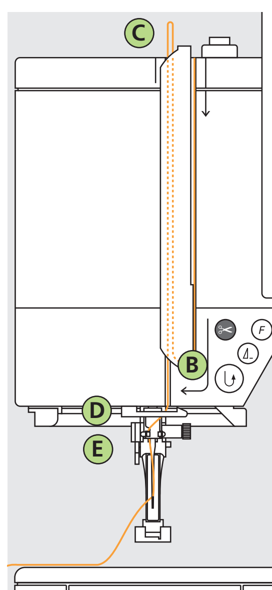
ボビンが時計回りに回ることを確かめる

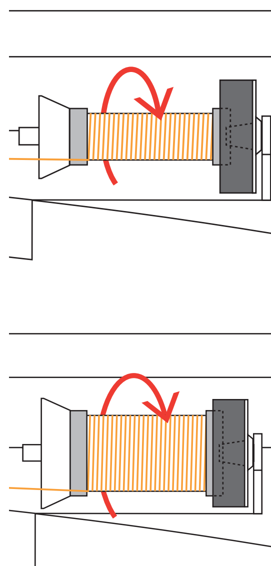
- 糸の端を引っ張ると、ボビンが図のように時計回りに回ることを確かめて下さい。

上糸のかけ方



- パッド付糸こま土台を取付けます。
- 糸立て棒に糸こまをセットし、
- パッド付糸こま土台を取付けます。
- 糸立て棒に糸こまをセットし、
- 糸こまの直径に合った糸こま押えで固定します。
- Aの糸案内に糸を通し、
- 次に、糸道に通します





下へ

- 天秤カバーの右側に沿ってBへ、

上へ

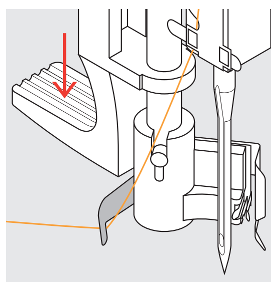
- 天秤カバーの左側に沿ってCまで通し、

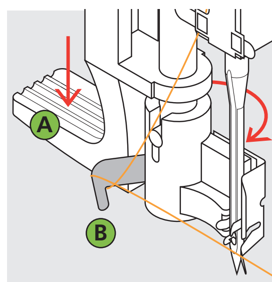
下へ

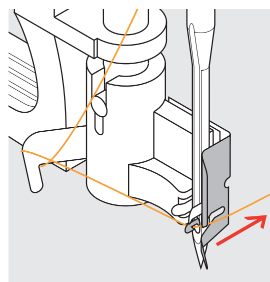
- 最後にD、Eそれぞれの糸掛けに通します。

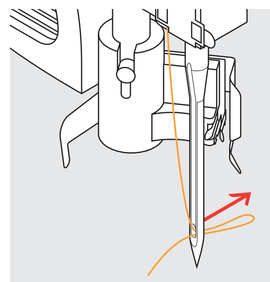
! 「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

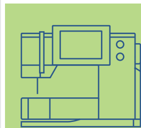
上糸糸通し











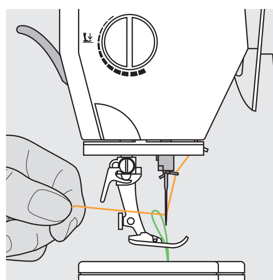
糸をフック に掛ける
- 押え金を下げ、
- 上糸をBのフックに軽くひっかけ、

糸通し機のレバーを下げる
- Aのレバーを押し下げ、同時に糸が、Bのフックを回って針の右に来るようにする。

糸を針の前へ
- 糸を正面からガイドの溝に沿って、フックにひっかかるまで押し込みます。

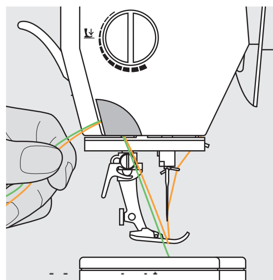
レバーを開放する
- Aのレバーと糸を離せば完了です。
- 輪になっている糸を後ろへ引くと糸が針穴に通ります。

下糸の引き上げ方



- 下糸を糸切りでカットしたときは、下糸を引き上げる必要はありません。
- 上糸を手で持ったままで、
- 一針だけ縫います。
- 上糸を引くと、下糸が上がってきます。
- 両方の糸を押え金の溝を通して、横に引き出し、
- 糸切りで切ります。

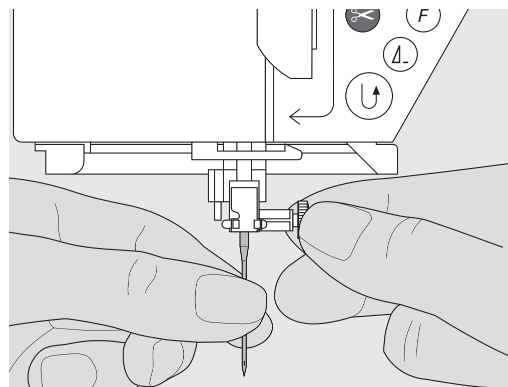
糸切り



- 上糸と下糸両方を、前から後ろの方向へ引っ掛けるようにして糸を切ります。
- そのままで縫い始めると、糸は自動的にはずれます。

注意
特殊な縫い方においては下糸を必ず引き上げることも必要です。

針の交換

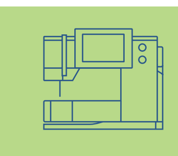


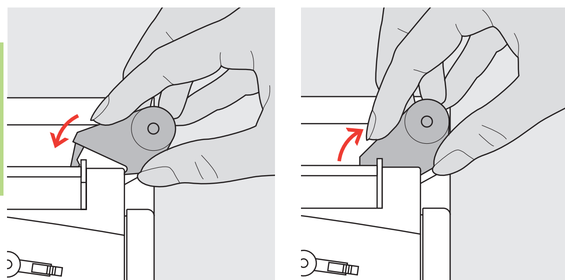
針のとり外し方
- 針を上げ、
- 電源をオフにしてから、
- 押えを外します。
- 針を下に引いて、外します。

針の取り付け方
- 針の平らな側が後ろになるように持ち、
- そのまま、一杯まで差し込んでから、
- ネジをしめます。

! 「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

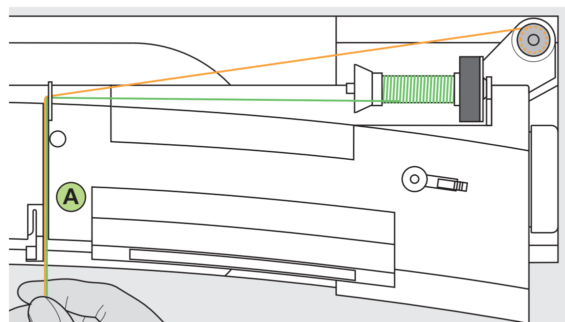
補助糸立て棒（垂直式）

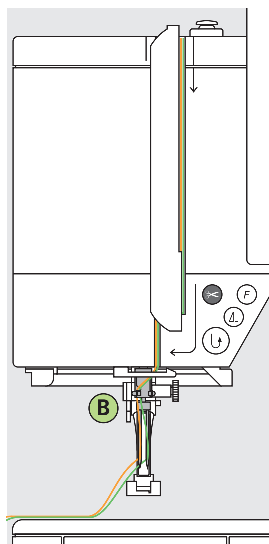




垂直式糸立て棒

- 垂直式の補助糸立て棒は標準アクセサリーに含まれています。
- 取りつけ方は、図のように、右側から回転させるようにして取りつけます。
- 取り外し方は、逆の方向に回すようにして外します。
- 2本針など、2本以上の糸を使う時に使用します。





2本針の糸のかけ方

1)　1本目の糸を通すには

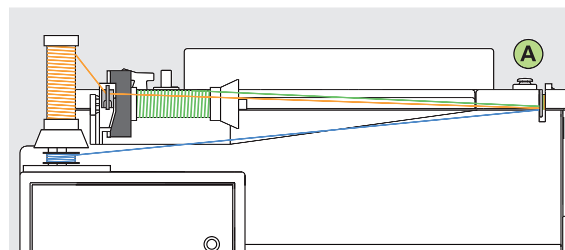
- 糸立て棒（水平式）に、糸こまをセットします。
- 上糸案内を通って、Aのテンションディスクの右側に糸をかけます。
- ミシンの糸かけは、通常の方法で行ないますが、Bの糸ガイドでは、糸を右側に持ってきて、右側の針に通します。

2)　2本目の糸を通すには

- 補助糸立て棒に、糸こまをセットします。
- 上糸案内を通って、Aのテンションディスクの左側に糸をかけます。
- Bの糸ガイドでは、糸を左側に持ってきて、左側の針に通します。
- 途中で糸がからまらないように注意しましょう。

ご注意：

垂直糸こま立てをお使いになるときは、必ずパッド付糸こま土台をお使い下さい。パッド側を上にして使います。糸が垂れ下がって絡みつくのを防ぎます。



ノート

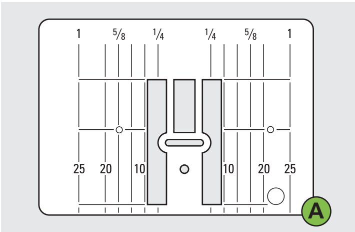
補助糸ガイド（オプション）を使えば、糸の送りがスムーズになって、糸の流れがスムーズです。

3本針の糸のかけ方

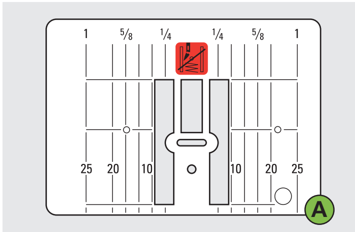
- 糸立て棒2本と、糸を一杯に巻いたボビンを一つ、使います。
- 糸立て棒（水平式）に、糸こまをセットします。
- 補助糸立て棒には、2本目の糸こまを立て、糸こまディスクで分けて、上にもう1本の糸こまを立てます。（2本の糸こまは、同じ方向に回ることになります。）
- Aのテンションディスクの左側を2本の糸が通るようにして、Bの糸ガイドの左側に2本の糸を通します。残り1本の糸は、ディスクの右側を通し、B の糸案内の右側に通します。

030794.71.10_0401_a200_JP

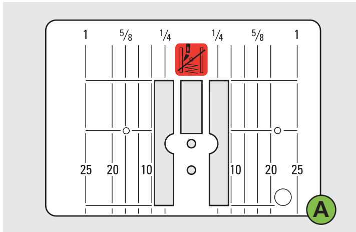
針板



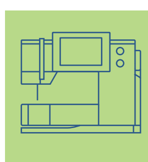
9mm針板



5.5mm針板
（オプション）



直線縫い用針板
（オプション）



針板上のマーキング

- 針板にはシームガイドラインがミリとインチの両方で表示されています。
- 手前の表示がミリで
- 後方がインチです。
- シームガイドラインは針が針基線センターにある状態で、針とシームガイドラインの距離を示します。
- 針が刺さる位置が針のゼロポジションです。
- 針の左右にミリとインチが表示されています。
- トップステッチなどを縫うときにこのシームガイドラインに沿って布端をガイドします。
- シームガイドラインに直角に引かれているガイドラインは、コーナーやボタンホールを縫うときに、布端の位置合わせに便利です。

針板のはずし方

- 電源スイッチをオフにします。
- 押え金と針を上に上げます。
- 針板の右後ろコーナー部分を押して、跳ね上げます。
- 針板をはずします。

針板の取りつけ方

- Aの穴をピンに合わせて、
- 針板の右側をまずミシンのベッドに当てながら、針板の左側をかちんと音がしてはまるまで押しつけます。

ご注意：
他の家電製品と同様、モーターおよび電気を使っている関係上、アーティスタ200も、使用中は熱く感じられる事がありますが、異常ではありませんのでご安心してお使いください。

針と糸に関する重要事項

針と糸を正しく組み合わせて使用すれば、美しい仕上がりが約束されます。

糸

- 糸は、用途にしたがって選びます。
- 糸は、土台布の種類に合わせて選ぶことがきれいな縫いあがりを得るために大切です。

コットン糸

- コットンは、コットン布を縫うのに使用します。
- シルケット加工されているコットン糸は、光沢があります。

ポリエステル糸

- ポリエステル糸は、ソーイング全般に使えます。
- 非常に丈夫で、色落ちもしません。
- 伸縮性のあるポリエステル糸は、伸び縮みする部分を縫うのに最適です。

針、糸および布

針と糸の組み合せには、注意が必要です。

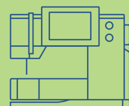
針のサイズは、使用する糸および布の種類によって決まります。布の厚みによって、糸の太さと針のサイズを決めます。

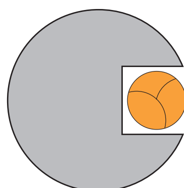
ガイドライン	針番号
薄手の布地には、細い糸（ダーニング用糸、刺しゅう用糸）	#70-#75
中くらいの布地には、ふつうの糸	#80-#90
厚手の布地には、太めの糸	#100,#110,#120

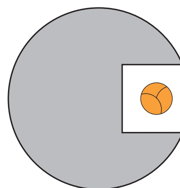
030794.71.10_0401_a200_JP

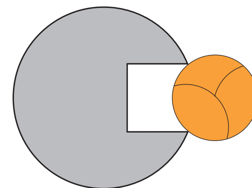
針と糸の組合せ

針と糸を正しく組み合わせるには、まず糸と針のサイズを合わせなくてはなりません。









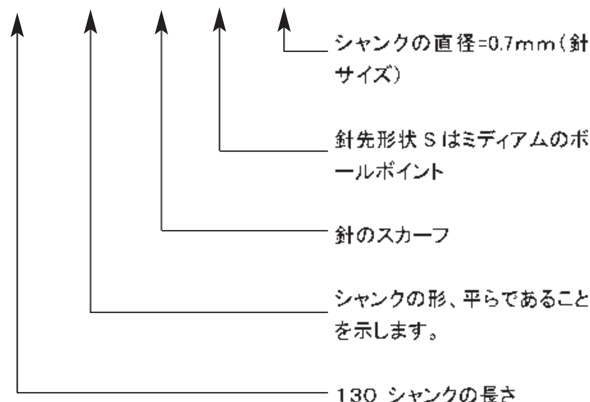
ご注意:
垂直糸こま立てをお使いになるときは、必ずパッド付糸こま土台をお使い下さい。パッド側を上にして使います。糸が垂れ下がって絡みつくのを防ぎます。

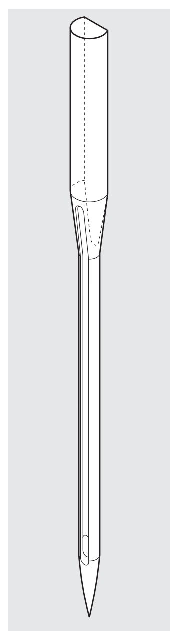
針に対して糸が細すぎる場合
- 糸が、針の溝の中で不安定な動きをしてスムーズに通りません。
- ステッチの仕上がりに大きく影響して、糸が切れる等の問題も生じます。

針に対して糸が太すぎる場合
- 糸が針の溝の外側にはみ出て、針溝の角にこすれ、布地との摩擦などで布縮や縫い目の不揃いの原因になります。
- 糸切れの原因にもなります。

針について

ベルニナでは、130/705Hの針システムを採用しています。この記号は、シャンクの形および針先の長さと形を意味します。

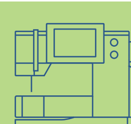




針の状態をチェックするには
- 針の状態は定期的にチェックして、交換しましょう。
- 状態の悪い針を使うと、ソーイングがうまくいかないだけでなく、ミシンの調子を悪くする原因にもなります。
- 新しい作品にとりかかるときには、針を新しいものと交換しておきましょう。

180ページの「トラブルシューティング」もご参照ください。

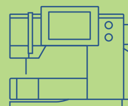
特殊な布ほど、布地に適した針を使い分けることにより、大変縫いやすくなりま



針一覧表針の記号	針先形状	用途	針のサイズ
標準針 130/705H	通常少し丸みを帯びている	汎用針、化繊や天然繊維の織地、 例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、ベルベットなど、飾り縫い、刺しゅう	60－100
ジャージー、ストレッチ針 130/705H-S 130/705H-SES 130/705H-SUK	ボールポイント	ジャージー地、伸縮性の強い生地	70－90
レザー針 130/705H-LR 130/705H-LL	カッティングポイント	各種天然皮革、合成皮革、ビニールコーティング地、プラスチック	90－100
ジーンズ針 130/705H-J	針先強度大	綾織、作業衣、麻、デニム、キャンバス地。目のつんだ生地。	80－100
マイクロテックス針 130/705H-M	極細ポイント	マイクロ繊維生地およびシルク	60－90
キルティング針 130/705H-Q	細ポイント	直線縫いおよびトップステッチ用	75－90
刺しゅう針 130/705H-E	針穴の大きなボールポイント	汎用針、化繊や天然繊維の織地、 例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、ベルベットなど、飾り縫い、刺しゅう	75－90
メタフィル針 130/705H-MET	針穴が大きい	メタリック糸の刺しゅう用	75－90
コードネット針 130/705H-N	針穴の縦長なボールポイント	太い糸でのトップステッチ用	80－100
ウイング針 130/705HO	ウイング針	ヘムステッチ用	100－120
ダブルウィング針 130/705H-ZWI	ウイング針	ヘムステッチで特殊効果を狙う場合に	100
二本針 130/705H-TWI	針間隔(ミリ) 1.1/1.6／2.0／2.5／3.0／4.0／6.0／8.0 ミリ	伸縮地のヘム縫いに、ピンタック、飾り縫い、キルティング	70－100
三本針 130/705H-TRI	巾 3.0 ミリ	飾り縫い、キルティング	80

ベルニナ正規販売代理店では、様々な針を用途に合わせて取りそろえております。

押え金



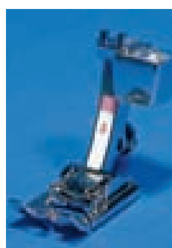
ノート
押え番号の後の「C」とは、押えにコード化されている 9mm ステッチ用のセンサーが取り付けられていることを示します。センサー付きの押え金でステッチを縫うと、振り幅は最大 9mm にプログラムされます。この C の文字は、押え金に印字されていないこともあり、また押え金アイコンでスクリーンに表示されることもありません。



#1C
スーパー模様押え
実用縫い、模様縫い



#2A
オーバーロック押え
オーバーロック縫い、布端かがり



#3C
ボタンホール押え
ボタンホール縫い



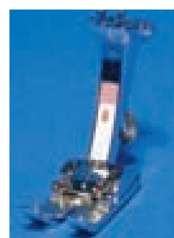
#3A
布ガイド付ボタンホール押え
フラットな部分でのボタンホール縫い、自動つくろい縫い



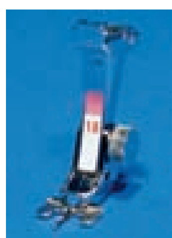
#4
ファスナー押え
ファスナー付けに



#5
まつり縫い押え
まつり縫い、エッジ縫いに



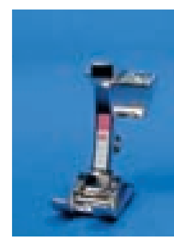
#8
ジーンズ押え
厚手の固い生地に直線縫いをするときに



#18
ボタン縫いつけ押え
ボタン、スナップ等を縫いつけるときに



#20C
オープン刺しゅう押え
刺しゅう、アップリケ、サテンステッチ模様、文字、モノグラム



#40C
横送り模様押え
横送り模様に

ベルニナ特殊押え

ほとんどのソーイングは標準押え金で可能ですが、キルティングや、伝統的な手法を使ったソーイング、クラフト、ホームデコレーション、洋服の仕立てなどの特殊な作業にはベルニナ仕様の特殊な押え金のご使用をお薦めします。
最寄のベルニナ正規販売店でお買い求めいただけます。

オプション押えの例

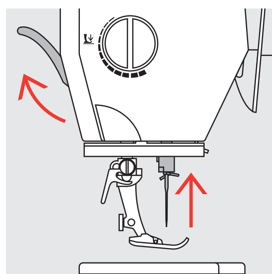


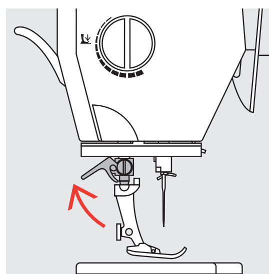
#50
ウォーキング押え
厚い生地や滑りやすい生地を縫うとき、およびキルティングに最適

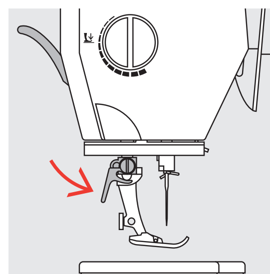


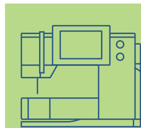
#9
ダーニング押え
ダーニング、モノグラミング、フリーハンドキルティングや刺しゅうに最適

押えの交換









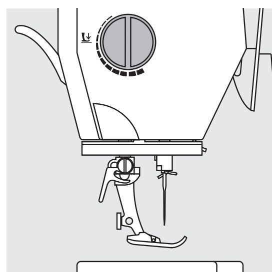
押え金の交換方法
- 針と押え金を上げ、
- 電源をオフ≪0≫にします。

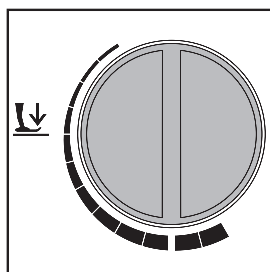
押え金止めレバーを上げる
- 押え金止めレバーを持ち上げ、
- 押え金を取り外します。

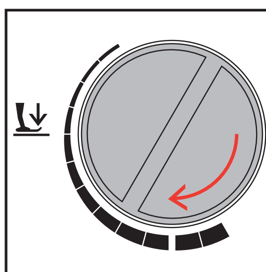
押え金の取り付け方
- 押え金を上に一杯まで差し込み、
- 押え金止めレバーを下げます。

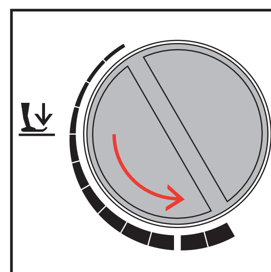
! 「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

押え圧力調節









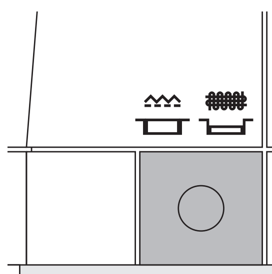
左側面に調節ノブがあります。

標準押え圧力
- 通常のソーイング

圧力を下げる
- ジャージーやソフトなニット地やキルティングなどに。
- 生地が伸びるのを防ぎます。
- 送りに影響を受けない程度に調節します。

圧力を強くする
- 薄地や、滑りやすい薄地やキルティングに。
- 布送りを良くし、、布縮みを防ぎます。

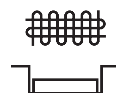
送り歯ドロップ機構



ドロップボタンは右側面にあります。
- ボタンの上がっている状態では送り歯は上にあり、普通縫い用の設定となっています。

- ボタンを押すと、送り歯が下がり、つくろい縫いや刺繍等、フリーハンド縫い用の設定となります。





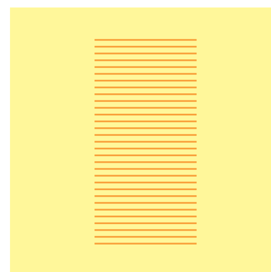
送り歯および布の送り

送り歯とステッチの長さ

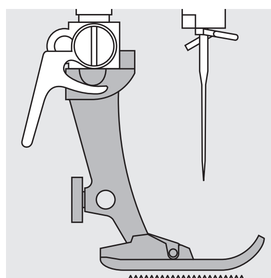
送り歯は、一針ごとにワンステップ進みます。このワンステップの長さは、送り長さで指定した値となります。送り長さを非常に短く設定すれば、送り歯の進みも短くなります。そのため、ボタンホールステッチおよびサテンステッチでは、フルスピードであっても、布の送りは、非常にゆっくりしたものとなります。

重要

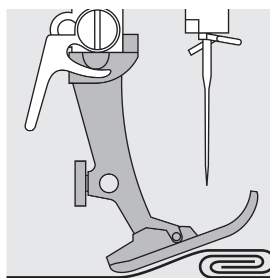
- 布が均等に進むようにしましょう。
- 布を押したり引いたりすると、縫い目が乱れ、また針が折れる原因にもなります。
- 布を押さえつけてしまうと、同じ個所にステッチが繰り返され、固い玉ができてしまうことがあります。



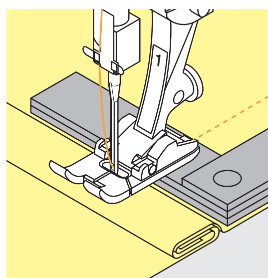
高さ調整板



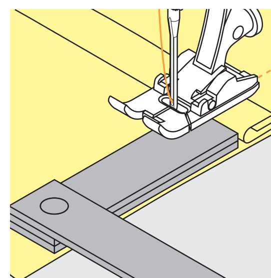
送り歯を正常に作動させるには、押え金全体で布を押さえるようにしてください。



厚手の布地の折り目部分等、押え金と布の間に角度ができてしまうと、送り歯は布をきちんととらえることができず、うまく送れなくなります。

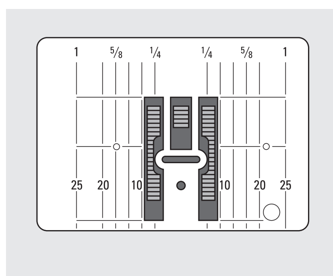


このような場合には、高さ調整用の板を使います。押え金の下、針が落ちる位置の後ろに当てます。必要に応じて、1枚でもそれ以上の枚数使ってもかまいません。

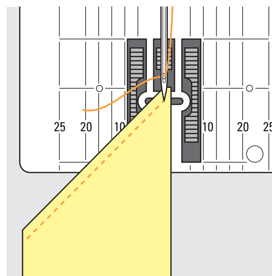


押え金の前方の高さを調整するには、調整板を押え金の右側、針が落ちる位置の横に当てます。押え金が平らになるところまで縫ったら、板ははずします。

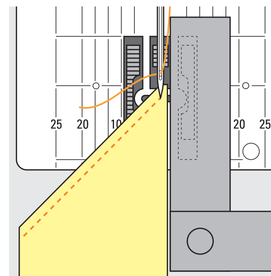
コーナー部分を縫うには



送り歯の間の溝は、針板の穴に合わせてあるため、大きめになっています。



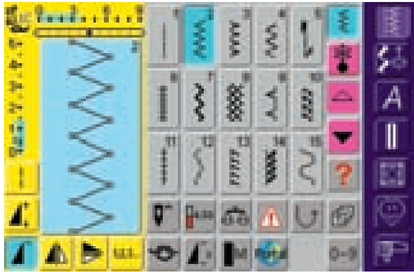
コーナー部分を縫うには、布のほんの少しの部分しか送り歯の上に乗らないので、布をきちんととらえることが難しくなります。

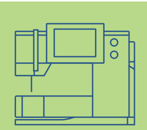


そのような場合には、必要な数の高さ調整板を、布の端にできるだけ近づけて置き、補正します。

030794.71.10_0401_a200_JP

模様の選び方、模様の表示、機能

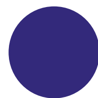




模様の選択

- 縫いたい模様アイコンをタッチして選びます。
- 選んだ模様が青く強調されて表示されます。
- ステッチ操作エリアに選んだ模様と模様の番号が表示されます。

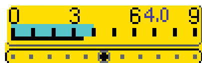
スクリーン・ディスプレー



振り幅の調節方法

- ミシンパネル右上の一番上のつまみを回します。

変更した振り幅は、2 種類の方法で表示されます。



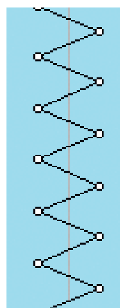


- 振り幅表示0-9（又は 0-5.5）は、横方向の黄色ゾーンに表示されます。
- 変更した振り幅は、振り幅表示で見られます。（ブルーでハイライトされています）。
- 基本セッティングは、変更後もいつでも見ることができます。（ここでは、3．5mm の黒いバー）。
- 変更された模様のセッティングで表示されます。
- 振り幅は0から9ミリの間で変換できます。
- センサー付きの押え金を使用すると自動的に振り幅を最大9ミリにセットします。
- センサーのついていない押え金を使うと自動的に最大振り幅が5．5ミリにセットされます。

送り長さの調節方法

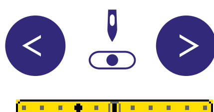
- ミシンパネル右上の上から2番目のつまみを回します。
- 変更した送り長さは、2種類の方法で表示されます。
- 送り長さバー0-5は、黄色で表示されます。
- 変更した送り長さは、送り長さバーで見られます。（ブルーでハイライトされています）。加えて、基本のセッティングは、青い数字で示されます。
- 基本セッティングは、変更後もいつでも見ることができます。（ここでは、1．5mm の黒いバー）。
- 送り長さは、特殊な場合を除いて、0mm から5mm の間で調整できます。





選んだ模様の表示

- 選んだ模様の図が、画面左部分に表示されます。
- 選んだ模様が変更された振り幅や送り長さと一緒に画面上に表示されます。



針基線の移動

- 左<、または右>の針基線プッシュボタンを押します。
- 一回押すたびに、針基線が一つづつ移動します。
- 針の位置を早く移動したい場合には、ボタンを押したままにします。
- バーの中心点は、黒でマークされています。
- 基本のセッティングは、いつでも見ることができます。（グレーでボーダーされています。）



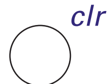
基本押え金表示

- 模様に適した基本の押え金が、スクリーンに番号で表示されます。
- 押え金のアイコンにタッチすると、その他お勧めの押え金が表示されます。
- 押え金が上位置に上がっている場合には、矢印とともに表示されます。



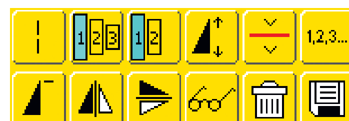
一時的に変更した模様のメモリー

送り長さ、振り幅、針基線等は、自動的に保存されます。ミシンの電源をオフにするか、クリアーボタンを押すと、変更は削除されます。



基本セッティングに戻す

- 外部プッシュボタン≪clr≫を押します。
- 模様などが基本セッティングにもどります。
- 振り幅および送り長さバーの上にある、小さな数字を押しても、基本セッティングに戻すこ





機能の選択方法

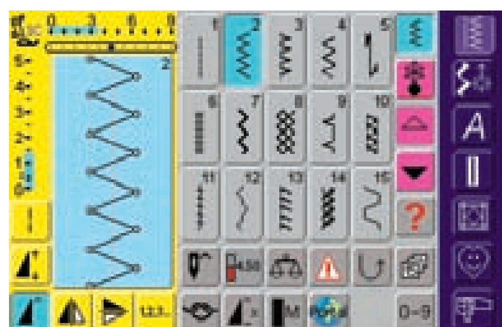
- 選びたい機能ボタンをタッチします。
- 機能が起動してボタンが青くハイライトされて表示されます。（同時にいくつかの機能を起動することも出来ます）。

機能については、29ページから33ページをご参照ください。

詳しくは39ページをご参照ください。

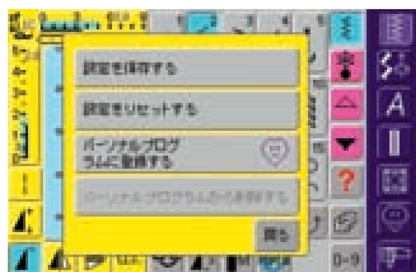
変更したセッティングをずっと保存するには

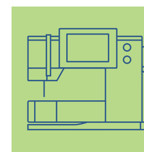
ベルニナがプログラムした基本セッティングに変更を加え、SAA に保存することができます。ミシンの電源を切った後でも、保存されたデータはそのまま残ります。その場合も、基本セッティングはいつでも見ることができます。



セッティング（送り長さ、振り幅、針基線、糸調子等）を変更するには

- 変更を加えたい模様を選択します。





基本セッティングを変更するには

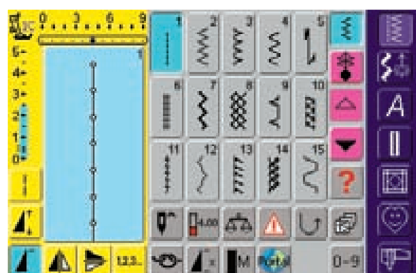
- 振り幅および送り長さを、外部のつまみで変更します
- 針基線を、外部のボタンで変更します
- ステッチ変更エリア(ブル—)をタッチ。
- 特殊スクリ—ンが開きます。
- 「セッティングを保存する」をタッチすると、すべての変更が保存できます。
- 「セッティングをリセットする」をタッチすると、基本のセッティングに戻ります。
- ESCをタッチすると、スクリーンは、何も保存も変更もしないままの状態で閉じます。

画面下の2本のバーについては、152ページ「ソナルプログラム」をご参照ください。

模様の選択方法

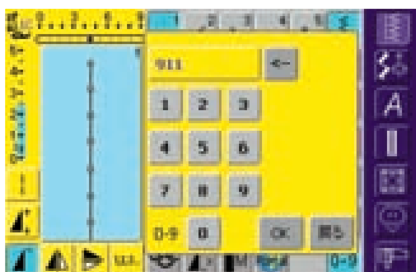
模様は、次に挙げるどちらかの方法で選択できます。

ご注意！
模様にない番号を入力すると、「この番号の模様はありません」のメッセージが表示されます。



画面のスクロール方法

- 画面右のスクロ—ル用矢印▼を一回タッチして下さい。
- 最上段の模様の行が消えて、下から新しい模様の行が現れます。
- 今度はスクロ—ル用矢印▲を一回タッチして下さい。
- 最上段が再び現れて、最下段がスクリ—ンから消えます。
- 押し続けると画面上の模様が下から上に移動します.
- スクロ—ル機能は、模様を見ながら探すのに便利です。
- ある特殊な模様を探している場合等にご利用ください。
- 模様が見つかったら、タッチして選択します。

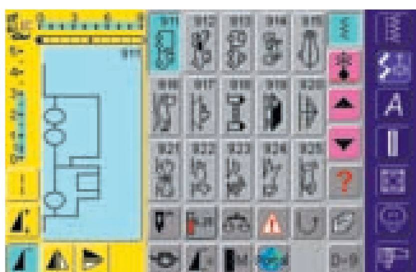


模様を番号で選ぶ方法

- 画面下の機能ツ—ルバ—で模様番号選択アイコン≪0-9≫をタッチします。
- 画面が模様番号選択機能の画面に変わります。
- 選びたい模様の番号を数字ボタンで入力します。
- 画面上に入力した番号が表示されます。

入力の訂正方法

- 間違った番号を入れたり、番号を変更したい時は、右上のスクロ—ル機能 <— アイコンをタッチします。
- 下の桁から一つづつ数字を消します。
- 番号の表示されている部分をタッチすると、全部の番号が一時に消えます。
- 正しい番号を入力します。



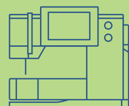
番号を確認して次の画面へ

- ≪OK≫ボタンをタッチして確認します。
- 選んだ模様がステッチ操作画面に表示されます。
- 番号で選んだ模様が青く表示されます。

前の画面へ戻る

- ≪ESC≫アイコンをタッチします。
- 元の画面が現れます。
- 番号で入力したあと≪OK≫をタッチして模様を確定します。
- ≪ESC≫アイコンは模様選択のキャンセルを意味します。

模様を選んでみます



メイングループボタン

- プッシュボタンを押します。
- 模様プログラムが選択されました。
- 最初の模様画面が現れます。

実用縫い

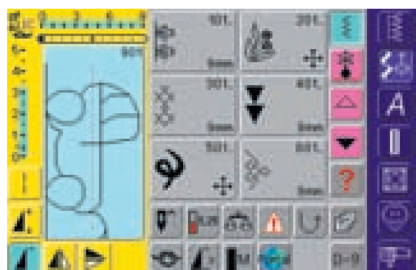




実用縫いメニューボタン

- 実用縫い模様画面が現れます。
- 画面には15種類の模様が表示されます。
- 他の模様を画面に表示するにはスクロール矢印をタッチします。

飾り縫い





飾り縫いメニューボタン

- 飾り縫い模様メニュー画面が現れます。
- 6種類のステッチグループが表示されます。
- 他の模様グループを表示するには▲▼アイコンで画面をスクロールさせて下さい。
- 他の模様グループを選べます。
- 横送り模様グループでは十字の矢印マークが表示されています。
- 模様グループアイコンをタッチして選びます。

文字

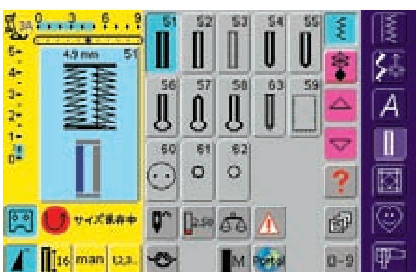




文字メニューボタン

- 文字メニューが現れます。
- 縫いたい文字ボタンをタッチして選びます。

ボタンホール

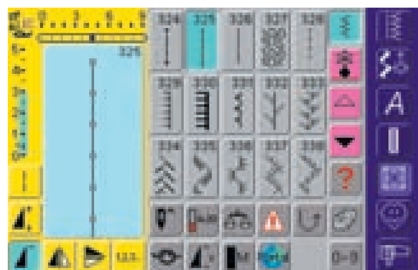




ボタンホールメニューボタン

- ボタンホールメニュー画面が現れます。
- アイレットや、ボタン付けプログラムも含まれています。

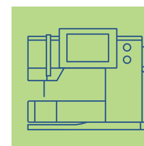
キルトステッチ





キルトステッチメニューボタン

- 三種類の画面が現れます。
- 縫いたい画面のボタンをタッチします。
- 各グループの模様画面が現れます。

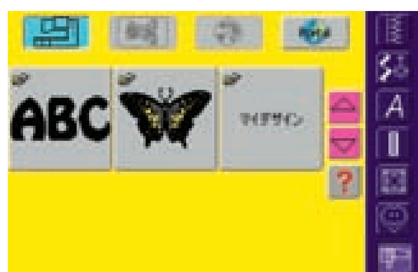






パーソナルプログラムボタン

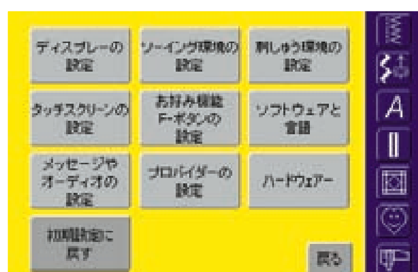
- パーソナル画面が表示されます。（セッティングが、カスタマイズされています）

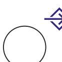




刺しゅうモード／ソーイングモード切替ボタン

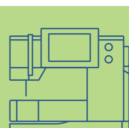
- 刺しゅうからソーイングに、またはソーイングから刺しゅうにと転換できます。





セットアップ・ボタン

- セットアップボタンを押します。
- セットアップ・メニューが現れます。
- 各機能をご利用し易いようにセットアップ機能を使って設定します。
- パーソナルセッティングを恒久的に保存できます。
- 必要な時にいつでも基本セッティングに戻せます。



外部機能ボタンの解説



針基線ボタン

- 左、または右のボタンを押します。
- 針基線が選んだ方向へ移動します
- 速く操作したい場合には、ボタンを押したままにします。
- 11の針基線が選択できます。(左右それぞれ5、中心1



チュートリアル(説明書)ボタン

- チュートリアルボタンを押します。
- 操作説明、布、針またはテクニック等に関するアドバイスが表示されます。

スクリーン外部機能



クリエイティブコンサルタント

- クリエイティブコンサルタントボタンを押します。
- 布、針またはテクニック等に関するアドバイスが表示されます。

クリエイティブコンサルタントについては、175ページから176ページをご参照ください。



≪clr≫クリアボタン

- clrボタンを押します。
- 振り幅、送り長さ、針基線が基本セッティングに戻ります。
- ほとんどの機能がリセットされます。
- 安全に関する機能(針停止位置、セキュリティプログラムおよびソーイングスピード等)は、例外としてクリアボタンではキャンセルできません。



≪F≫(お好み機能)ボタン

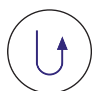
- このボタンはいかようにも、ご自分の好みの機能をプログラムして使うことが出来ます。
- プログラムされた機能は、「F」のマークがついて表示されます。
- キャンセルすることも、何度でもプログラムし直すことも可能です。

詳しくは、166ページをご参照ください。



セットアップボタン

- セットアップボタンを押します。
- ご自分に使い易く、便利に機能やステッチをセット出来ます。
- 電源を切ってもセットアップの状態は消えません。
- いつでも基本のセッティングに戻すことも出来ます。



ビルトイン自動糸切り

- 糸切りの外部ボタンを押します。
- 上糸と下糸の両方が、自動的にカットされます。



手元返し縫いボタン

- 返し縫いしたい場所で針元にある「手元返し縫いボタン」を押します。
- 縫い始めや縫い終りに止め縫いします。
- 押している間返し縫いを続けます。
- ボタンホールのサイズをプログラムしたり、自動つくろい縫いで長さをプログラムしたりするのにも使います。
- 自動直線止め縫い＃5のステッチでもスイッチとして使います。
- 刺しゅう機(オプション)を使うときは、スタートまたは、ストップボタンとして機能します。



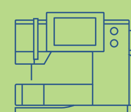
一模様縫いボタン

- ソーイング中に押すと、その模様のパターンを縫い終った時点でミシンを自動的に止めます。
- メモリーを使ったステッチの組合わせを一回だけ縫う時もにも使えます。

030794.71.10_0401_a200_JP

一般的な機能

以下の機能は、アーティスタ200のほとんどのスクリーンおよびプログラムで使われるものです。どのプログラムにおいても、機能の内容および使い方は同じです。

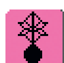


スクリーン操作機能



シングルモード

- ミシンの電源をオンにすると、いつでも自動的にアクティブ（ブルー表示）になります。
- 選んだ模様のみを縫う機能です。



コンビモード

- アイコンをタッチします。
- コンビモードがアクティブ（ブルー表示）になり、模様の組合せをプログラムすることができます。



上にスクロールする

- 一回タッチするごとに画面が上にスクロールします。
- 続けてスクロールさせるにはアイコンをタッチし続けてください。



下にスクロールする

- 一回タッチするごとに画面が下にスクロールします。
- 続けてスクロールさせるにはアイコンをタッチし続けてください。



≪? ≫ヘルプ機能

- ヘルプアイコンをタッチします。
- 続けて知りたいアイコンをタッチします。
- 選んだアイコンの説明が表示されます。
- ≪ESC（戻る）≫を押すと、閉じます。

ご注意：≪？≫アイコンをタッチすると、ミシンは休止状態になります。再度縫い始めるには、画面をタッチしてください。



≪ESC（戻る）≫エスケープ機能

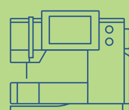
- ≪ ESC（戻る）≫アイコンにタッチします。
- 機能の完了や画面の終了を指示します。
- 以前の画面に戻ります。



≪OK≫アイコン

- 確認ボタンです。
- いろんな機能や、指示命令を確認できます。

便利な機能



以下の機能は、アーティスタ200のプログラムの中でよく使われるものです。各プログラムの中で使用できる機能は、スクリーンの黄色い部分、またはグレーの部分の下2列に表示されています。

メモ:
0~9 のステッチ番号入力アイコンとステッチヒストリーアイコン(最近使用した15のステッチの履歴)は、スクリーン上に常に表示されています。



押え金アイコン

- 選んだ模様の標準押え金の番号が、表示されます。
- アイコンをタッチします。
- その他に選んだステッチで使える押え金の番号が表示されます。



- 押え金が上がっている場合には、矢印とともに表示されます。





振り幅または送り長さの表示

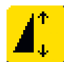
- 振り幅バー、または送り長さバーをタッチすると、基本のセッティングに戻ります。



ロングステッチ

- 機能をタッチして起動します。
- ミシンは2針に一回縫います。(5ミリの送り長さの縫い目では10ミリで縫えます)。
- いろんなステッチとの組み合わせが可能です。
- コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

適用:
- 直線縫いでしつけ縫いに。
- トリプルステッチ直線と使ってトップステッチに。



パターンの拡大2－5倍

- 一回、または何度かタッチします。
- 選んだステッチによって2－5の数字が出ます。
- 選んだステッチの長さを2－5倍に長くすることができます。
- 拡大したステッチでメモリーにプログラムできます。
- アイコンを長押しすると機能をキャンセルできます。機能が停止します(黄色表示)。

応用:
- いろいろなステッチを拡大してみましょう。
- ステッチを組み合わせてみましょう。



模様頭出し

- 模様を選択すると、このアイコンは自動的にブルーでハイライトされ、アクティブになります。
- 縫い始めると、機能は解除されます。(黄色表示に戻ります。)
- 機能ボタンにタッチして起動します。
- 針目を模様やメモリーの内容の先頭に戻します。

適用:
- 模様縫い、刺しゅう、ボタンホール縫い、コンビモードを使ったソーイングに。



左右反転

- アイコンにタッチします。
- 選んだステッチが左右の反転模様で縫えます。
- コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

応用:
- まつり縫いのシェルエッジに
- 飾縫い
- メモリーを使ったパターンの組合せ



垂直反転

- アイコンにタッチします。
- 選んだステッチが上下の反転模様で縫えます。
- コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

応用:
- 装飾縫い
- メモリーを使ったパターンの組合せ

030794.71.10_0401_a200_JP



ステッチカウンター
- アイコンをタッチします。
- 希望の長さに達したら、手元返し縫いボタンを押します。
- 表示が「auto」に変わります。（ボタンホールの場合は、2列目の長さまで手元返し縫いボタンで確定しなくてはなりません。）
- これで、一時的にプログラムすることができました。



保存（セーブ）
- アイコンをタッチします。
- シングルステッチ、ステッチの組合せあるいは文字や数字を保存します。



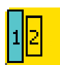
削除
- アイコンをタッチします。
- カーソルの上にあるステッチまたは文字等が削除されます。
- ステッチの組合せを削除することもできます。
- 引出しの内容を削除するのも、ここで行ないます。



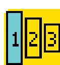
組合せの分割（1）
- アイコンをタッチします。
- 組合せを、いくつかのパートに分割することができます。
- 分割されたパートは、それぞれ一つの独立したモチーフとなります。



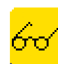
組合せの分割（2）
- アイコンをタッチします。
- 組合せを、指定したとおりにパートに分割することができます。
- 一つのパートが完了したら自動でとまります。フットコントローラーを踏めば、そのままで次のパートを縫い始めることができます。



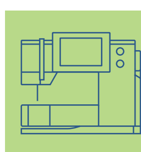
文字のサイズ
- 文字モードを最初に選ぶと、サイズは9mm に設定されています。（アイコンの1のフィールドが青く表示されます。）
- アイコンをタッチします。
- サイズが、6mm に縮小されます。（2のフィールドが青く表示されます。）



モノグラムのサイズ
- モノグラムモードを最初に選ぶと、サイズは30 mm に設定されています。（1のフィールドが青く表示されます。）
- アイコンを一回、または2回、タッチします。
- ブルーのフィールドに、選んだサイズが表示されます。
- 1＝30mm（標準サイズ）
- 2＝20mm
- 3＝15mm

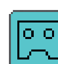


マルチ機能ボタン
（コンビモードのみで使用できます）
- アイコンをタッチします。
- 特殊スクリーンが開きます。
  - 組合せの削除
  - 組合せの保存
  - 組合せの反転
  - プレビュー





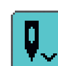
長さを直接入力する（mm 単位）、
またはオンスクリーンでのボタンのサイズ計測
- アイコンをタッチします。
- ボタンホールの長さ（mm 単位）は、振り幅つまみで直接入力できます。
- ボタンのサイズを計測するには、ボタンをスクリーンの左下コーナーに当てて、ボタンの長さを入力します。（表示されたブルーの〇を、振り幅つまみを回して、ボタンのサイズに合わせます。）
- ボタンの厚みとして、2mm が、自動的にプラスされます。（ボタンのサイズ測定時のみ）




ボタンホールの長さをプログラムする
- ボタンホールを選択すると、アイコンが自動的にアクティブ（ブルー表示）になります。
- 手元返し縫いボタンを使って、ボタンホールの長さを直接決めます。
- ボタンホールがプログラムされると、アイコンはオフ（黄色表示）になります。
- 新しい長さをプログラムする場合には、アイコンをもう1度選択します。



マニュアルによる4ステップまたは6ステップボタンホール
- アイコンをタッチします。
- 特殊スクリーンが開きます。
- ボタンホールをマニュアルで、4ステップ、または6ステップで縫います。（ボタンホールのタイプによって、ステップ数を選択してください。）

針上下停止位置表示
- 針上下停止機能プッシュボタンを押します。
- 上または下向きの矢印が表示されます。
- 矢印が下に向いていると、ミシンは常に針が下りた状態で止まります。
- もう一度押すと、矢印が反対に向きます。



大文字または小文字
- 文字を最初に選択すると、大文字がアクティブになります。
- アイコンをタッチします。
- 小文字に移りました。



一点止め縫い（4 針）

- アイコンをタッチして起動します。
  ステッチを縫っている最中に、このアイコンをタッチすると、ミシンは、縫っているステッチパターンの終わりで 4 針止め縫いをして、次のステッチを縫い続けます。
- ステッチの縫い始めと縫い終わりにタッチすると、4 針で一点止め縫いします。
- 組合せと一緒に使うと、縫い始めと縫い終りで止め縫いします。

適用：

- 飾り模様を使ってモチーフを縫う時
- 個々の文字を縫う時
- 文字とステッチの組合せを縫う時



上糸調子

- アイコンをタッチします。
- 糸調子のスクリーンが表示されます。
- 糸調子は、変更可能です。
- 選んだセッティングは、画面上の糸調子アイコンに表示されます。
- 34 ページの詳細説明をご参照ください。

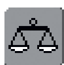


一模様縫い1－9

- 繰返し縫う回数だけアイコンにタッチして、セットします。
- 1＝各ステッチパターン一回、または一組のステッチが終わるたびにミシンが停止します。
- 2～9＝ステッチや一組のステッチが選んだ回数だけ繰り返された後にミシンは停止します。
- アイコンを長押しすると機能をキャンセルできます。機能が停止します（灰色表示）。

応用：

- 各モチーフを縫います。
- 実用縫いと4方向縫いを組み合わせます。



バランス

- アイコンにタッチしてバランス画面を開きます。
- 前進と返し縫いのステッチバランスと縫いのステッチバランスを修正します。
- 右側の画面に今縫えている状態を送りダイヤルと振り幅ダイヤルを使って再現すると、自動的にバランスを調整します。

応用：

- たとえばネットステッチのような実用縫いのステッチを減らしたり増やしたりしてみましょう。
- ちょっと変わった飾縫いを作ってみましょう。
- 生地に合わせてボタンホールのバランスを変える事も出来ます。
- 生地に合わせて横送り縫いのステッチを合わせてみましょう。



ソーイングスピード

- アイコンを一回づつタッチすると、1/4、2/4、3/4、4/4 の表示が現れ、最高スピードを制御します。
- 各スピード域でのトップスピードを、各 225 針、450 針、675 針、900 針／分にコントロールします。
- アイコンを長押しすると標準設定のスピード（フルスピード）にリセットされます。

適応：

- 刺しゅうなどの細かい複雑な作業での正確なスピードコントロールに。
- フリーハンドキルティングなどに。
- お子様の実習に。



セキュリティ（安全）プログラム

- アイコンをタッチします。
- 安全プログラムクリーンが表示されます。
- ご使用の針板のアイコンを選ぶと、選んだ針の種類によって、振り幅が自動的に制限されますので、2本針等が押え金や針板に当たって折れてしまう事故を防ぐことができます。
- 2本針または3本針についている番号は、針間の距離（mm 単位）を示しています。
- 機能がオンになると、アイコンはスクリーン上で赤く表示されます。
- 選んだ機能は、ミシンをオフにするまでアクティブのままです。
- 選んだ安全プログラムをオンにするには、「OK」アイコンをタッチします。
- 新しい針や針板を使う場合には、必ず事前のプログラムを選びなおして下さい。

適用

- ピンタックまたはヘムステッチに。
- ニットのヘム処理をするときに。
- 飾り縫いに。
- 特殊な布を縫うとき。



連続返し縫い
- アイコンにタッチします。
- 連続して返し縫いで縫えます。
- もう一度タッチして終了します。

応用：
- 直線縫いやランニングステッチで縫い縫いに便利です。
- 袖やズボンに装飾縫いをしてみましょう。
- キルティングにも使えます。



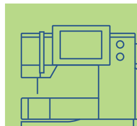
ステッチ･ヒストリー（履歴）
- アイコンをタッチします。
- 最近使用した、15個までのステッチが、スクリーンに表示されます。
- すでにヒストリーに入っているステッチを、もう一回縫った場合には、上書きされます。
- 同じステッチでも、セッティングの異なるものは、パーソナルプログラムに保存するようにします。
- 必要なステッチを選択すると、ステッチ変更エリアに表示されます。
- ステッチを縫うと、必ずヒストリーに記録が残ります。
- ミシンの電源をオフにしても、消えません。

適用：
- 一つの作品の中で入れ替わり立ち代りいろんなステッチを同じセッティングで何度でも使うことが出来ます。



マイアーティスタポータル
- モデム（オプション）を使います。
- アイコンをタッチします。
- 最初のメッセージを「YES」で確定し、2番目のメッセージは「OK」で確定します。
- マイアーティスタポータルのサイトへ接続されます。

適用：
- アーティスタ200に関するニュースや、情報、刺しゅうデザインのダウンロードにも使います。



ステッチ番号入力
- アイコンをタッチすると、特殊スクリーンが表示されます。
- テンキーボードからステッチ番号を入力します。
- 「OK」をタッチして、選択を確定し、ステッチを SAA に呼び出します。

応用：
- 各ステッチをすばやく選べます。
- コンビモードでのステッチ組合せもすばやく処理できます。



メモリーボックス（メモリーファイル引出し）
- アイコンをタッチします。
- 引出しのスクリーンが開きます。

下糸の残量

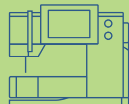
下糸が少なくなると、ミシンは停止し、「下糸をチェックしてください」のメッセージを表示します。
メッセージが表示されている間は、下糸監視センサーはオフ状態になり、そのままで下糸が無くなるまで縫い続けることができます。
「OK」をタッチしてメッセージを閉じると、下糸監視モニターが再びオンになります。



送り歯センサー
- 送り歯が下がっている場合には、このアイコンが、押え金表示の下に現れます。

糸調子

基本的な糸調子のセッティングはステッチやプログラムを選んだ時に、自動的に調節されています。

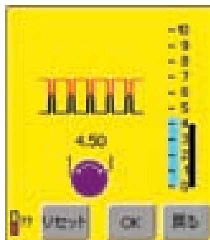


糸調子は工場でポリエステル100／2の糸でベストの仕上がりになるようにセットされています。

当然刺繍糸のように特殊なタイプの糸を使えば糸調子も変わって来ますので、このような場合には布地とステッチの種類に合わせて調整する必要があります。



糸調子
- アイコンをタッチします。



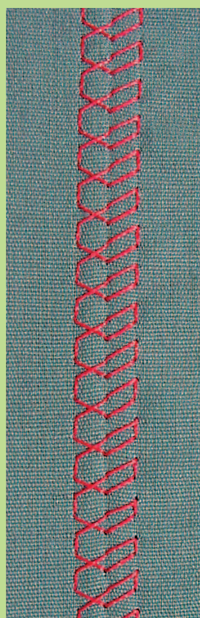
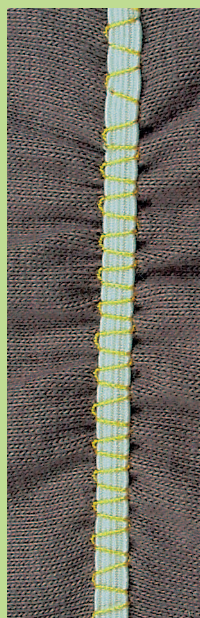
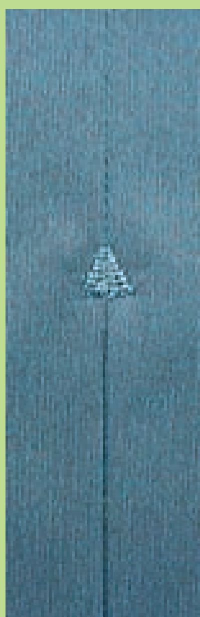
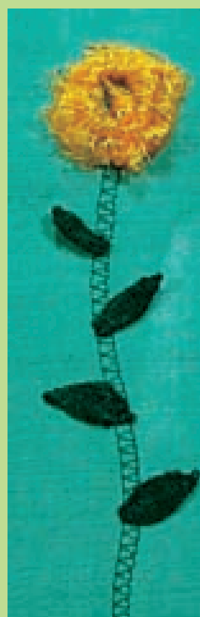
糸調子を変えてみよう
- 糸調子の画面が現われる。
- 完璧なステッチの形が画面左側に示されます。
- 標準セッティングがブルーのバーで示されています。
- 振り幅または送り長さつまみを回して、テンションを変えてみます。
- 反時計方向＝糸調子を弱くします。
- 時計方向＝糸調子を強くします。
- 糸調子は、数値で糸調子スケールの左側に表示されます。
- 上糸調子を強くすれば、下糸がより強く布の表面に引き出されるように画面に表示されます。
- 上糸調子を弱めれば、上糸がより強く布の裏面に引き出されるように画面に表示されます。
- 糸調子の調整は、選んだステッチのみに有効で、標準に戻したい場合には、「clr」ボタンを押します。また、ミシンの電源をオフにすれば、標準に戻ります。
- テンション調整がビジュアルに画面上に表示されます。
- 標準のセッティングは、常に画面上で黒いバーで表示されています。

一時的に保存して閉じるには
- ≪OK≫アイコンにタッチして下さい。
- 変更した状態で一時的なメモリーに保存され、画面は閉じます。
- 電源を切るか、リセットするまでは変更した状態で縫います。

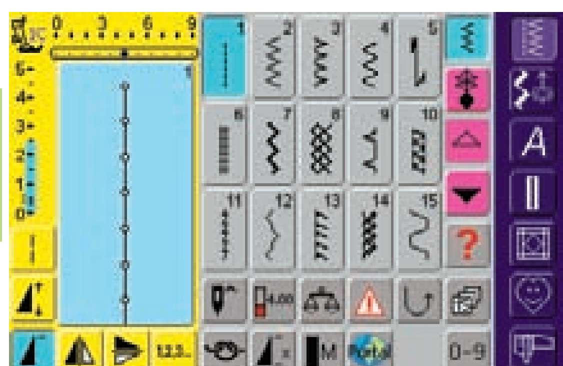
基本セッティングに戻す
- ≪リセット Reset≫アイコンにタッチして下さい。
- 「OK」アイコンにタッチして、確定します。
- 変更はリセットされ、標準セッティングに戻ります。

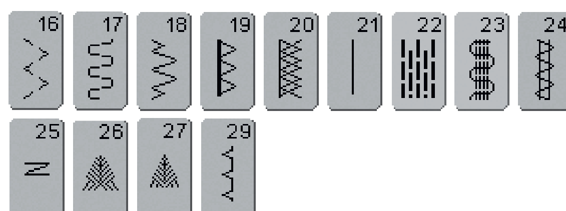
調整しない場合
- 画面を開いたけれど、何も調整しない時は、「ESC」アイコンをタッチします。
- 糸調子は変更されずに、元の画面に戻ります。

030794.71.10_0401_a200_JP

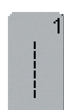
実用縫い





ステッチのまとめ

実用縫いの用途



直線縫い
伸縮性のない生地。すべての直線縫い



ジグザグ縫い
あらゆる生地。薄地でのジグザグ縫いや、ゴムひもやレースの縫い付けなど



バリオーバーロック
主に薄地のジャージー等、伸縮地の縁かがりやオーバーロック縫い



ランニングステッチ
あらゆる生地。つくろい縫い、パッチの縫い付けや補強縫いなど



自動止め縫い
あらゆる生地。直線縫いの始めと終わりを自動的に止め縫いする



トリプルステッチ
厚くて丈夫な生地。補強縫いに



トリプルジグザグ
厚くて丈夫な生地。補強縫い、トップステッチ、やヘム縫い、飾りステッチ、カウチングなどに。



ネットステッチ
インターロック地や滑らかな生地に。トップステッチやヘム縫いに。



まつり縫い
あらゆる生地。くけ縫いやソフトなジャージー、薄地のシェルタック、飾り縫いなど



ダブルオーバーロック
あらゆるニット地。縫うと同時に縁の始末ができる

030794.71.10_0401_a200_JP



スーパーストレッチ
非常に伸縮性の強いニット地やライクラ地などの縫い合わせ



ギャザリングステッチ
あらゆる生地ゴムひもを使ったシャーリング、キルト綿等突き合わせ縫い



ストレッチオーバーロック
中厚地のニット地、タオル地その他腰のある生地に。



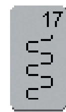
ジャージーステッチ
天然、混紡、あるいは化繊やデリケートなニット地。飾り縫い、縁かがり、縫い等に



ユニバーサルステッチ
フェルト等厚地の生地またはレザー等　突き合わせ、飾り縫い等



二点ジグザグ
粗い目の生地、布端の補強に、エラスティックや飾り縫いに、



ライクラステッチ
二方向伸縮性のニット地に、フラットな突き合わせ、縁縫い、下着などに



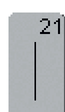
ストレッチステッチ
すべてのストレッチタイプの生地に、スポーツウェアなど。



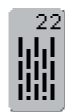
強化オーバーロック
中厚地のニット地、ジャージー、タオル地や、固めの織物に



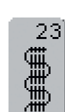
ニットオーバーロック
機械編みや、手編みのあらゆるニット地に縁かがりと縫い合わせを同時に仕上げます



しつけ縫い
しつけ縫い



自動つくろい縫い
薄地や中厚地の布の自動つくろい縫い



自動強化繕い縫い
厚地の自動繕い縫い



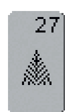
自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに



自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに



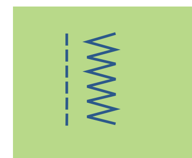
フライステッチ（大）
ポケットの端、ファスナー部分その他のあき止まりなど。中くらいから厚手の生地に。



フライステッチ（小）
ポケットの端、ファスナー部分その他のあき止まりなど。薄手の生地に。

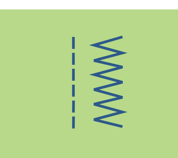


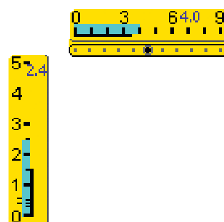
ブラインドステッチ（狭幅）
薄手の生地専用のブラインドヘム。

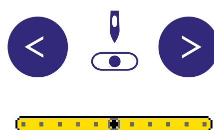


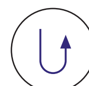
一般的な知識
個々の実用縫いステッチを調整する

布および使用目的によって、基本セッティングを調整する場合もあります







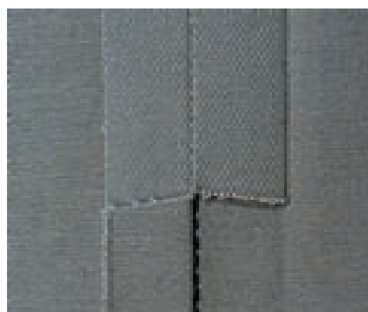


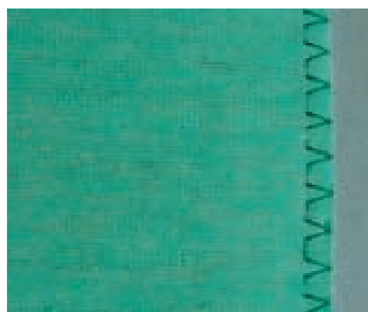
振り幅および送り長さを変えてみる
- 布地によっては、振り幅および送り長さを変更する必要があります。
- ソーイングしながら修正していくことも可能です。
- 振り幅および送り長さつまみを使います。

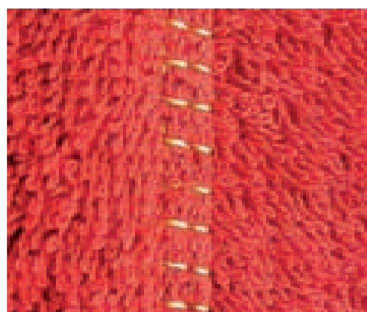
針基線を使う
- 外部の針基線ボタンを押して、針基線を変更し、縫うべきところに正確に針が落ちるようにします。
- 針基線は、11箇所から選択できます。(左側5箇所、右側5箇所、中心21ヶ所)。
- ボタンを押したままにすると、針基線を速く移動できます。

手元返し縫いボタンで止め縫いをする
- 縫い始めと縫い終わりを止めます
- 手元返し縫いボタンを押すと、ミシンが返し縫いをします。
- ボタンを離すと、ミシンは前に進みます。

実用縫いの縫い目







オープンシーム
アイロンで縫い代を割る縫い方です。
- 縫い代はできるだけ多く取ります。
- 縫い目は、平らになります。
- 縫い目は、伸縮しません。

適したステッチ
直線縫い
幅の狭いジグザグ
スーパーストレッチ縫い
トリプルジグザグ等

適用
- 厚手の織生地に。
- 衣服、家庭用品、クラフト等に最適です。

クローズドシーム(オーバーロック)
アイロンで開けない方法縫い方です。
- 縫うだけで完成します。
- 狭い縫い代。

適したステッチ
バリオーバーロック縫い
ダブルオーバーロック
ジャージーステッチ等

適用
- ニットおよびジャージー地に。
- ニットの服、ランジェリーおよびベッドカバーに最適です。

フラットジョイント縫い
布端同士を重ねて、縫い合わせたもの。
- 縫い代の上にステッチしていきます。

適したステッチ
ストレッチオーバーロック

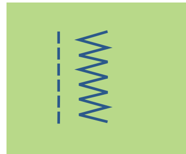
適用
- タオルまたはライクラ等の生地に
- ビーチウェアー、レジャー用服、ランジェリー等に最適です。

030794.71.10_0401_a200_JP

ステッチメモリー

ステッチ:　全てのステッチに標準の機能です。





一時的にステッチのプロパティーを変えてみる

- ステッチの送り長さ、振り幅、針基線等の機能が、自動的に記憶されます。
- 振り幅または送り長さを変更して、ステッチをお使いになる布に合わせます。

- ステッチメモリーは、2つ以上の異なるステッチ、例えば振り幅を変えたオーバーロックステッチと針基線を変えた直線縫い、を交互に使うときなどに便利です。
- 必要に応じて、セッティングを自由に変えられます。新しく変えたセッティングがそのステッチに記憶されます。
- 元のステッチに戻るとき、前に加えた変更はそのまま保存されています。

Memo：
メモリーには、機能を必要なだけ、いくつでも保存することができます。例えば、振り幅、送り長さ、針基線、反転、模様の拡大、ロングステッチ機能、糸調子、バランスおよび一模様縫い1-9×等があります。

例
- ジグザグステッチ2番を選択して、振り幅を9mmに変更、布端をオーバーロック縫いします。
- 次に直線縫いを選択して、縫います。再び、ジグザグステッチ2番を選択して、もう一方の布端をオーバーキャストします。
- 振り幅9mmの設定は、そのまま保存されていました。

基本セッティングに戻すには－ステッチメモリーの開放

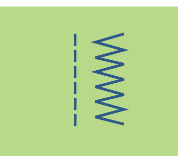
- 方法1：「clr」ボタンを押します。(ステッチは、標準セッティングに戻ります。)
- 方法2：　振り幅および送り長さバーをタッチするか、または調整つまみを回して、マニュアルで元に戻します。
- 方法3：　ミシンの電源をオフにします。これで、変更は保存されることなく、消去されました。

変更の保存は、パーソナルプログラムに保存するか、またはそのまま保存したものをデフォルトとして保存します。

「パーソナルプログラム」については、149-152 ページをご参照ください。

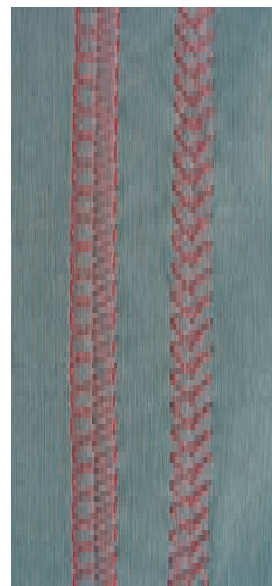
変更した内容で標準セッティングとして保存する方法については、24 ページをご参照ください。

ロングステッチ機能





ロングステッチ機能
- 1針飛ばして、2針に一回、縫う機能です。（送り長さを5mmに設定した場合の、10mmの縫い目が最大となります。）
- 実用縫いでも、飾り縫いでも、使えます。
- 長めのステッチが必要な場合に使います。
- その他の変更を加えることも可能です。



ロングステッチ機能を使うには
- 実用縫いまたは飾り縫いのステッチを一つ、選択します
- ロングステッチ機能を選択します。変更を加えた後のステッチは、ステッチ変更エリアに表示されます。

コルドネットを使ったロングステッチ
- トリプル直線縫いと一緒に使うと、トップステッチ用の飾り縫いに最適です。
- コルドネット紐には100から110の針、またはコルドネット用針90番から100番を使用します。

ロングステッチでしつけ縫い
- ロングステッチと直線縫いを組み合わせれば、しつけ縫いに使えます。

直線縫い

ステッチ: 直線縫い No1
針: 生地に合わせて選びます
糸: コットンまたはポリエステル
送り歯: 上
押え金: スーパー模様縫い押え #1

直線縫い
- ミシンの電源を入れると、実用縫い画面になり、直線縫いが縫える状態になっています。

ステッチの使い方

適用
- 縫い方に合わせて適当な押え金を選びましょう。
- スクリーン左すみ上の押え金アイコンをタッチすると直線縫いに適当な押え金が表示されます。

送り長さを変えてみよう
生地のタイプにより、送り長さを変えてください。
例 デニム等は3～4mmで長めに、薄手のコットン等には、2mm 程度で。

送り長さを変えてみよう
糸や布に合わせて、送り長さを変えてください。
例トップステッチ用の太い糸では、3mm から 5mm 程度で。

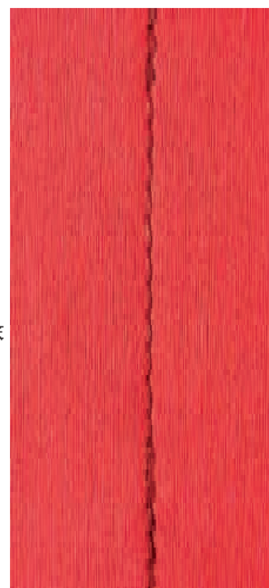
針下停止を使いましょう
縫っている途中でミシンを止めたいときに、布地がずれて縫い目がゆがむのを防ぎます。

030794.71.10_0401_a200_JP

自動返し縫い付き直線縫い

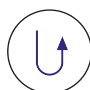


ステッチ：	自動返し縫い付きの直線縫い　No.5
針：	生地に合わせて選びます
糸：	コットンまたはポリエステル糸
送り歯：	上
押え金：	スーパー模様縫い押え　#1C



返し縫
- あらゆる生地に使えます。
- 縫い始めと縫い終わりを自動で返し縫いします。
- 返し縫いは、縫い目の上を正確にたどって縫い、布縮みしません。

縫い始め
- ミシンが自動的に縫い始めを止め縫いします。（5針前進、5針後進）
- その後、直線縫いを続けます。



縫い終わり
- 手元返し縫いボタンを押すと、ミシンが自動的に返し縫いをします。（5針後進、5針前進）
- 止め縫いが完了すると、ミシンは自動的に停止します。

自動止め縫い機能は、あらゆる縫い合わせに、また長い距離を縫う場合に特に便利です。

縁縫い(コバステッチ)

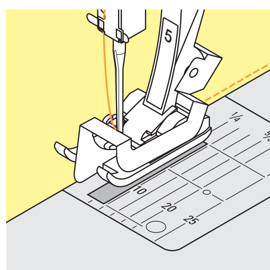
ステッチ:	直線縫い No.1
針:	生地に合わせて選びます。
糸:	コットンまたはポリエステル糸、トップステッチ用の太い糸
送り歯:	上
押え金:	スーパー模様押え #1C まつり縫い押さえ #5 または エッジステッチ用 #10(オプション)



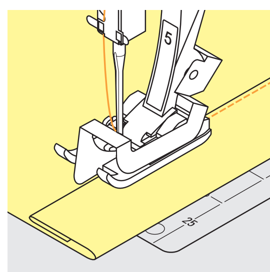
幅の狭いエッジ縫い

針基線
- 外側に縫い目が来る場合は、左基線
- 内側に縫い目がくる場合は、右基線

押え
まつり縫い押え5番

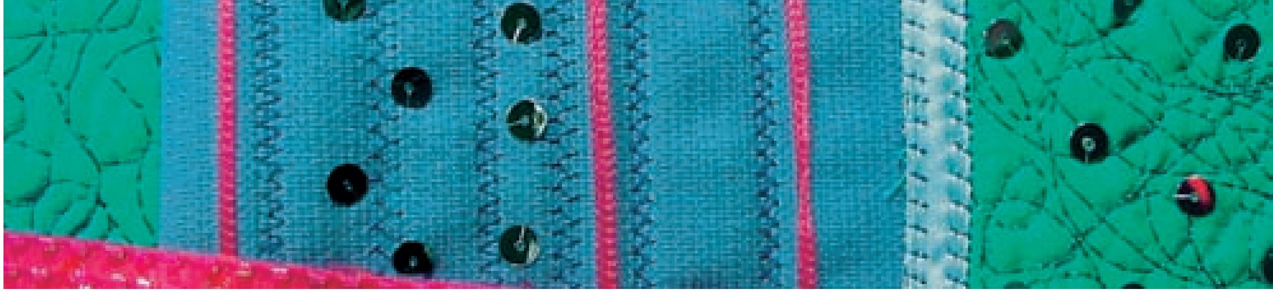


布端のエッジ縫い
- 折り返した布端を押さえの布ガイドの左側に当てて置きます。
- 端から縫い目までの距離に合わせて、左基線の針基線を決めます。



ヘム縫いの場合
- 折り返した布端を押えの布ガイドの右側に当てて置きます。
- 針基線を、折り返した布端の右寄りに選びます。

ご注意
- 5番押えの場合、左側ではどの針基線でもOK、右側では布ガイド板が右側に膨れている箇所があるので、針基線を右端にして縫うことが出来ます。
- 10番押えの場合、左右どの針基線でも使えます。

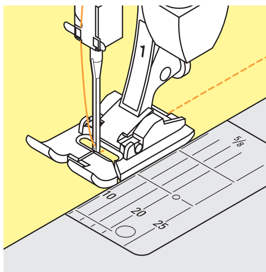


幅の広い縁縫い

針基線
- すべての位置で可能。
- 針基線を変えることで、布端から距離を自在にとることができます。

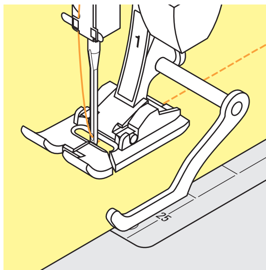
押え金
- スーパー模様縫い押え No.1

布のガイド方法

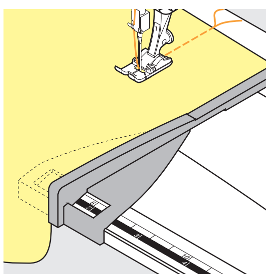


押え金をガイドとして使う
- 押えの幅をガイドとして、布端に押えの左右いずれかの端を合わせます。

針板シームガイドラインを使う
- 布端を針板のシームガイドラインに沿わせて縫います。



キルターガイドをガイドとして使う
- 定規棒（シームガイド）を図の押えホルダーの穴に差し込み、
- 好みの幅にして、ネジを締めます。
- 定規棒に沿って、布の折り山をガイドしながら縫います。
- 先に縫った線と平行にもう1本縫う場合には、定規棒が前の縫い線をなぞるように縫います。



ソーイングテーブルの布ガイドを使う
- ソーイングテーブル用の布ガイドを、テーブル下の溝に取り付けます。
- 押え金を、縫いたい位置に置きます。
- 布をシームガイドに沿わせて、縫い進めます。

縁縫いと定規棒
平行線や碁盤の目状に縫うときに、大変役立ちます。

ファスナー用押え No.14の（オプション）を縁縫いに使うこともできます。

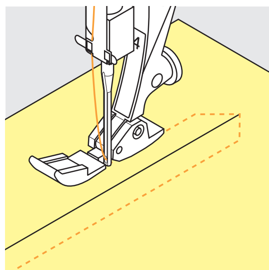
030794.71.10_0401_a200_JP

ファスナー付け

ステッチ: 直線縫い No.1
針: 生地に合わせて選びます。
糸: コットンまたはポリエステル糸
送り歯: 上
押え金: ファスナー用押え #4
針基線: 左端または右端



準備
- 縫い代部分の布端の処理をきちんとしておきます。
- 布端がファスナーの中心の上で合うように、しつけをかけておきます。



縫い方
- ファスナーを少し開いておきます。
- 左上部分から縫い始めます。
- 針がファスナーの金具部分に沿って落ちるような位置に、押え金を置きます。
- ファスナーのむしの手前で一時停止し(針は下位置で停止)、押え金を上げて、ファスナーを閉じます。
- そのまま一番下まで縫い、針を下位置で停止した状態で、土台布を回転させて、右下に向って縫います。
- もう一度、土台布を回転させ、今度はファスナーの右側部分を、下から上に向けて縫います。

応用:ファスナーの両側を下から上に向って縫う方法
- ベルベットのような毛足の長い布地に使います。
- 上記の方法でファスナーを用意します。
- まず片側を、下から上に向けて縫います。
- 次に、もう片側を、下から上に向けて縫います。

ファスナーを飾りに使う
作品の中に、ファスナーを縫いこんで飾りに使いましょう。

ファスナーのむしの部分の縫い方
- ファスナーを閉じた状態で、むしから5センチくらいのところまで縫います。
- 針を下位置停止にしておいて、押え金を上げます。ファスナーを開き、むし部分を針に引っかからない位置まで引きます。押え金を下げ、縫いつづけます。

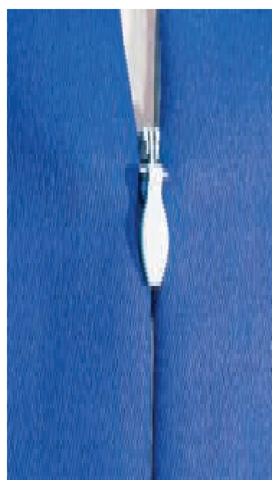
縫い始め
縫い始めは、糸を手でしっかりつかんで数針分のみ、生地をわずかに後ろに引き加減にするとよいでしょう。

針を選びましょう
ファスナーの生地は厚く固いので、均一なステッチのために、90番から100番の針を使用してください。

コンシールファスナー

ステッチ:	直線縫い No.1
針:	中くらい
糸:	コットンまたはポリエステル糸
送り歯:	上
押え金:	コンシールファスナー用押え #35(オプション) オープン刺しゅう用押え#20C
ファスナーの長さ:	開口部分プラス4センチの縫い代

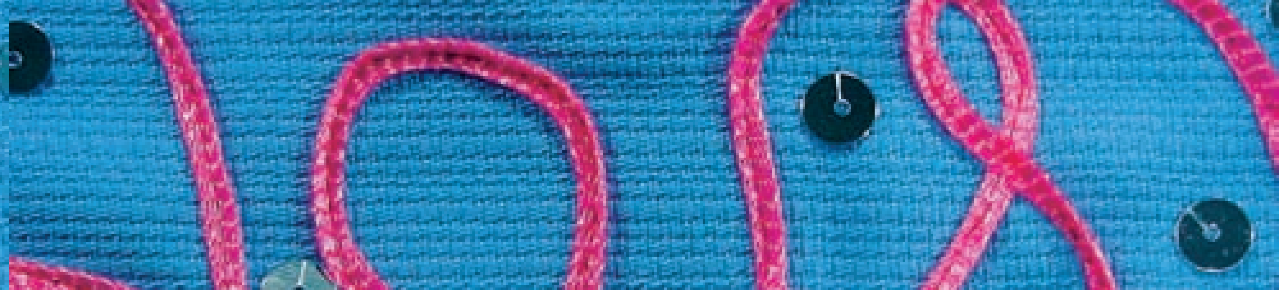




コンシールファスナー
- 特殊なファスナーを使用します。縫いつけると、縫い代の中に隠れてしまい、見えなくなるようなファスナーのことです。
- 衣服に使用すると、非常にエレガントな仕上がりになります。

ファスナーの片側を縫う
- ファスナーの終わり部分に印をつけます。
- ファスナーを全開します。
- ファスナーの右側と布端の右側を合わせます。
- ファスナーの片側に待ち針を打ち、しつけをかけます。
- 金具部分が、押えの底の溝にはまるようにしてから、押えを下げます。
- ファスナーの上から縫い始めて、下につけた印まで進みます。





ファスナーのもう一辺を縫う

- ファスナーを閉じ、もう一方の一番上部分を待ち針で止めます。
- ファスナーを開いて、全体に待ち針を打ち、しつけをかけます。
- 上から下にかけて、縫いつけます。ファスナーの金具部分は、押えの溝にはまっています。
- ファスナーを閉めます。



縫い代を閉じる

- オープン刺しゅう用押え#20Cを取り付けます。（押え金の前がオープンのため、ステッチの状態を確認しやすくなります。）
- 待ち針を打ち、しつけをかけます。
- できるだけファスナーの金具に沿うように縫っていきます。
- 少し開いてしまったような場合には、ファスナー用押え#4を使って、閉じます。（針基線は、適宜変更してください。）



ファスナーを短くする

ファスナーを短くした場合には、端は25番のバータックプログラムで縫いとめてください。

トリプル直線ステッチ



ステッチ:	トリプル直線ステッチ No.6
針:	80番から90番
糸:	ポリエステル糸
送り歯:	上
押え金:	スーパー模様縫い押え #1C または ジーンズ用押え#8



割縫い

- デニム、コーデュロイ等の堅い生地に適した丈夫な縫い目です。
- 普段着に最適です。

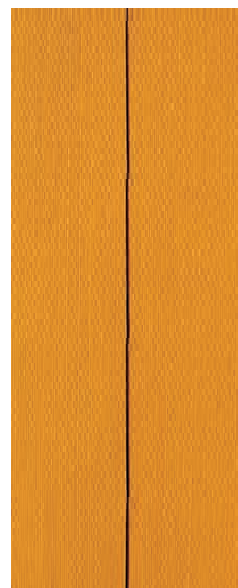
非常に堅く目の詰まった生地

デニムやキャンバス地には、ジーンズ用針とジーンズ用押え#8をご使用ください。

飾り用トップステッチ

ステッチを長くして、デニムのトップステッチ用にも使えます。

ステッチ:	しつけ縫い No.21
針:	生地に合わせて選びます
糸:	コットンまたはポリエステル糸
上糸テンション:	3.5–5
送り歯:	上
押え金:	スーパー模様押え＃1C



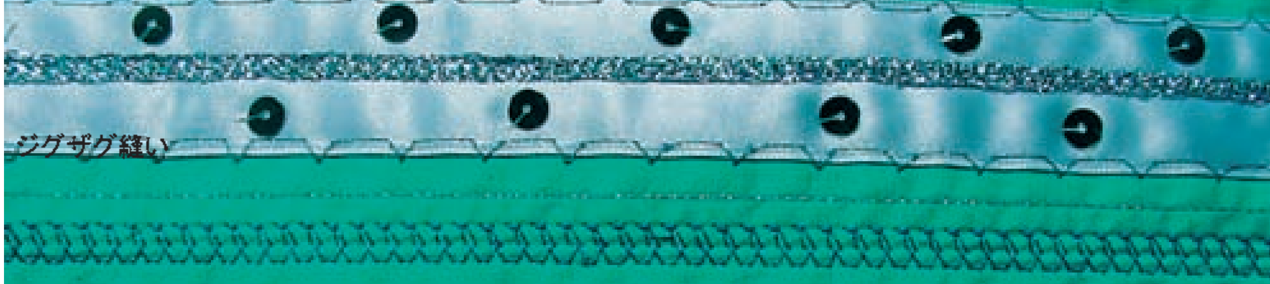


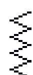
しつけ縫い
- 直線縫いで、4針に1針を縫います。(ステッチの送り長さを5mmに設定した時、最長20mmです)
- 長いステッチの必要な場所に。
- すばやく、簡単にしつけ縫いできます。
- 取り除きが簡単です。

縫い始めと縫い終わりの止め縫い
- しつけの縫い始めと終わりに直線縫いの標準セッティングで2～3針縫っておくか、または止め縫い機能を使うと、しつけの途中で糸が抜けることがなく、便利です。

しつけ糸
縫いこまれてしまっても、取り除きやすいよう、細いダーニング用糸を使います。

030794.71.10_0401_a200_JP





ステッチ: ジグザグ No.2
針: 生地に合わせて選びます。
糸: コットンまたはポリエステル糸
送り歯: 上
押え金: スーパー模様押え #1C



A－送り長さを変えて縫ったジグザグ
B－振り幅を変えて縫ったジグザグ
C－布端をジグザグでかがったもの

ジグザグ縫い

- あらゆる生地に適用
- 縁かがりの仕上げ
- 伸縮性のある布地に
- 飾り縫い

縁かがり

- どんなタイプの布にも適する縁かがりです。
- 布端を押えの中心に合わせます。
- ジグザグの左側で針は布の上に、右側で針は布の外側端ぎりぎりに落ちるようにします。
- 縁かがりをきれいに仕上げるには、振り幅や送り長さをあまり大きくしないようにします。
- 薄手の布地には、ダーニング用糸を使いましょう。



サテンステッチ

- ジグザグを密にしてステッチする方法で、アップリケ、カットワーク、刺しゅう、飾り縫い等に効果的です。
- 送り表示に、バーコードのように表示されているのが、サテンステッチの送り長さです。

ご注意
ミシンにサテンステッチ354番がプログラムされています。(詳しくは、143ページをご参照下さい)

ジグザグで縁かがり

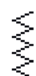
- 布端が丸く巻きこんでしまうときには、バリオーバーロックステッチと2A番の押えを使います。

サテンステッチの刺しゅう縫い

- 振り幅を調整して、効果的な刺しゅうをしましょう。

030794.71.10_0401_a200_JP

トリプルジグザグによる飾り用縁かがり



ステッチ：トリプルジグザグ No.7
振り幅：生地により、2.5～9くらい
送り長さ：標準設定
針：標準針またはジーンズ針
糸：コットンまたはポリエステル糸
送り歯：上
押え金：スーパー模様押え ＃1C





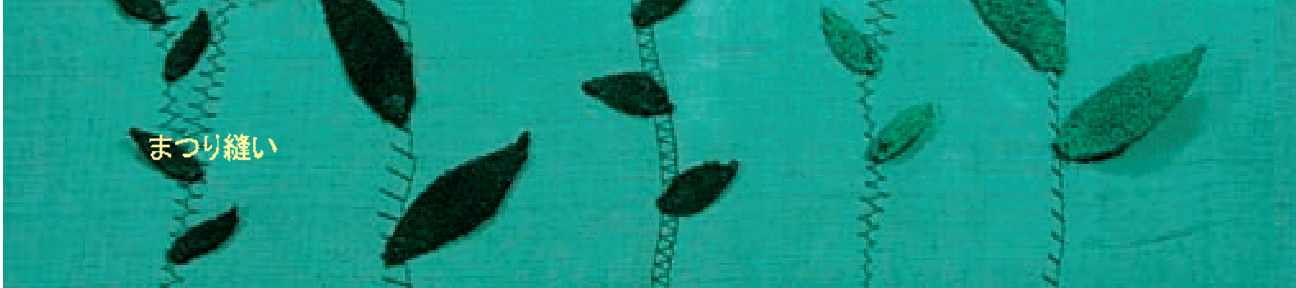
丈夫な飾り用ヘム縫い

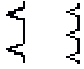
- デニムや目のつんだキャンバス地等の厚手の堅い布に適しています。

布端がほつれ易い生地に
よく洗濯するものの縁かがりでは、まず始めに布端をきちんとそろえ、その布端の上にミシンをかけておくと、ほつれなくなります。

厚地の硬い生地
厚手の堅い生地を縫う場合には、ジーンズ用針を使うとスムーズに縫えます。

030794.71.10_0401_a200_JP





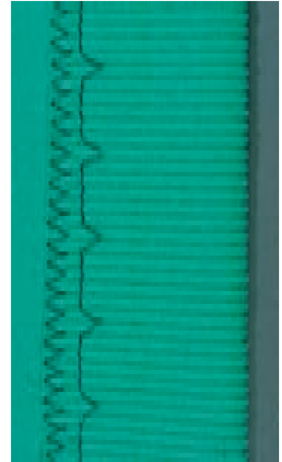
ステッチ： まつり縫い（幅広）No.9
まつり縫い（幅狭）No.29
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットン、ポリエステルまたはシルク
送り歯： 上
押え金： まつり縫い押え　#5

幅広まつり縫いステッチ　No.9
- 中厚手の生地に、目立たない縁縫いをするのに使います。

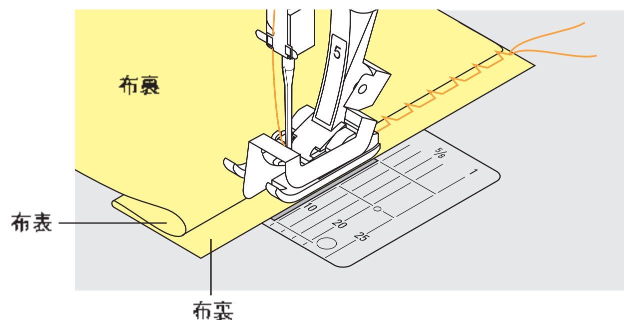
幅狭まつり縫いステッチ　No.29
- 薄手の生地に、目立たない縁縫いをするのに最適です。

準備
- 布端を切り揃え、オーバーロック縫いします。
- 布端の表を外にして折り、しつけ縫い、またはしつけピンを打ちます。
- そのままで、布地を中表に折り、布端を右側に出します。
- その後、図のように押え金の下に折り曲げた部分が押えのガイド板の左側にあたるように、生地を置きます。

縫い方
- 手縫いの場合同様、針が折り目の端ぎりぎりをとらえるように注意します。
- 10cm くらい進んだら、生地の裏表をチェックして、必要であれば振り幅を調整します。


幅広のまつり縫い


幅狭のまつり縫い



ご注意
小さなステッチが布の表に見えます。

振り幅の調節
- 布に試し縫いをしてみます。針が、折り目部分の端ぎりぎりに落ちるように、布に合わせて振り幅を調整します。
- 折り目の端を、押えのガイド金具に沿って進めると、仕上がりがきれいになります。

ニット地の縫い方

ニットを上手に縫うための大切なポイント

新しい針
- 生地をいためないよう、先のつぶれたものを使わないで、できるだけ新しい針を使いましょう。

ストレッチ針130/705H−S
- 針先が繊維を避けてすべるように縫うので、生地をいためません。

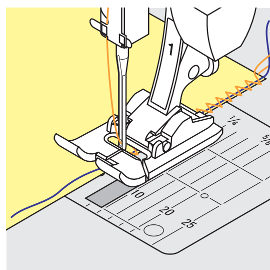
糸は、品質のよいものを使いましょう
- 固い糸はニット地をいため、洗濯時の穴あきの原因になります。
- 伸縮性の糸は、布をひきつらせますので、使いません。

しつけ用にしつけ糸を使う
縫いこんでも、後で取り除くのが簡単で、便利です。

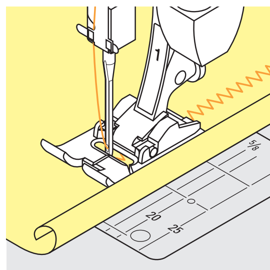
必要に応じて、試し縫いを
- 最近の生地の伸縮性は様々ですので、生地に合わせて送りと振り幅の標準設定を調節してください。
- 縫い目と生地の伸縮度は、同程度のものを選びます。
- 伸縮のきつい生地には、送り長さを短く、振り幅を大きくすることで対応できますが、いずれか一つの調整で十分な場合もあります。

押え圧
- 柔らかい、目の粗いニット地は、しわになる可能性があります。
- その場合は、しわができない程度まで、押え圧を弱めてください。
- ただし、送り歯がきちんと生地を送らなくなるほど弱くしてはいけません。

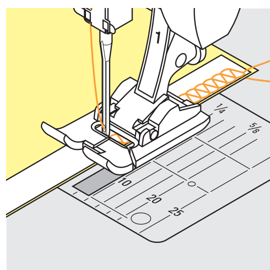
ニット地の縫い方に関する問題点



縫い目が波打ってしまう
- しつけする際、ステッチの中にもう1本、糸を仕込んでおきます。
- 縫い終わったら、糸を引いて、元の形状に戻すようにします。縫い目は、アイロンで平らに押さえます。

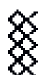


布端が丸まってしまう
- 端部分ではなく、5mm ほど中に入った部分を縫いましょう。
- ソーイングが完了したら、余った端部分はカットして処理します



時間が経って、縫い目にほころびが出る
- 縫い目をリボン（ショルダーリボン等）で補強しておきます。
- ある程度伸縮性のあるリボンも売っています。これを使えば、縫い目をもっとしっかりさせることができます。

ネットステッチで仕上げる布端



ステッチ：　ネットステッチ　No.8
針：　標準針、ボールポイント針
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー模様押え1番 C



ネットステッチ
あらゆる種類のジャージー地（木綿、ウール、化繊および合繊）に適しています。

準備
- 布端を1cmほど、内側に折り込みます。
- 必要に応じてアイロンをかけ、しつけをかけます。

縫い方
- 押えを端から離して、表側から縫います。
- 裏側で縫い目からはみ出た縫い代を切り取ります。

バランスで微調整を行なう
ネットステッチが広がってしまう場合、送りダイヤルを回しながら、画面上の操作でステッチの形を整えます。

バランス機能についての詳しい説明は、177ページをご参照ください。

針下停止機能
- 襟縫いや袖縫いの途中でミシンを停止しても、針が生地に刺さったままで残るので、ずれがおこらず便利です。

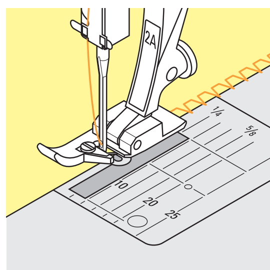
オーバーロック縫い

バリオーバーロック縫い



ステッチ：　バリオーバーロック No.3
針：　生地に合わせて選びます
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　オーバーロック押え #2A



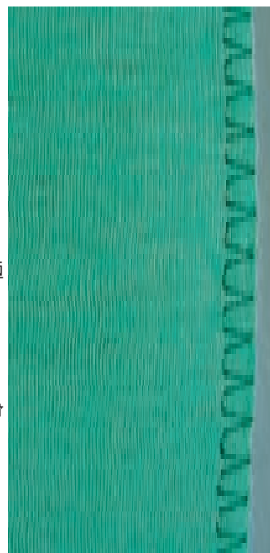


オーバーロック縫い

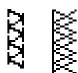
- シルクニットやインターロック等の薄く柔らかい伸縮地に適しています。

縫い方

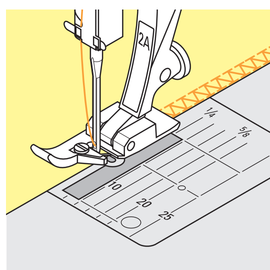
- 裁ち目を押え下側のピンに沿わせるようにして進めます。
- 布端が巻かないように縫うには、ピンを布歯しの外側に沿わせます。



ダブルオーバーロック縫い、ニット用オーバーロック縫い



ステッチ：　ダブルオーバーロック No.10
またはニットオーバーロック No.20
針：　生地に合わせて選びます
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　オーバーロック押え2番A

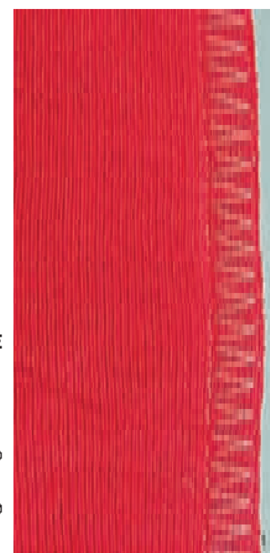


オーバーロック縫い

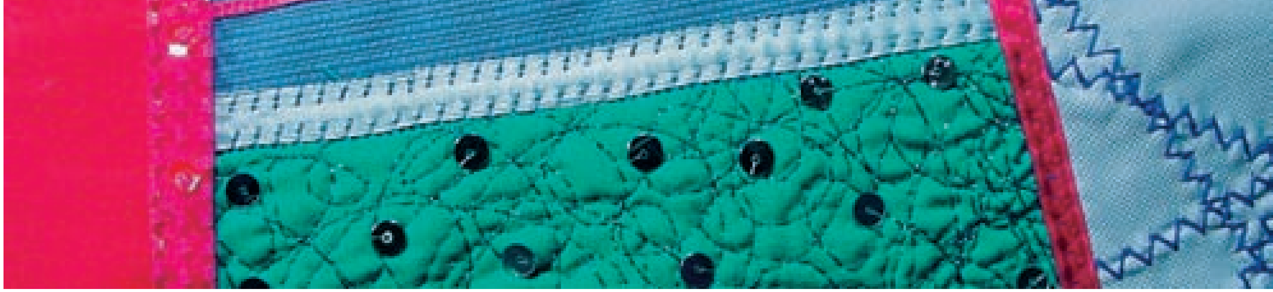
- 目の粗いニット地やジャージーにオーバーロック縫いをします。

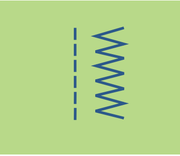
縫い方

- オーバーロック押え下側のピンの部分に裁ち目を合わせるようにして、進めます。
- 布端が巻かないように縫うには、ピンを布端の外側に沿わせます。

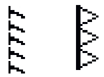


030794.71.10_0401_a200_JP





伸縮オーバーロック縫い、強化オーバーロック縫い



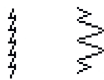
ステッチ： 伸縮オーバーロック縫い No.13
または強化オーバーロック縫い No.19
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1C
またはオーバーロック押え #2A



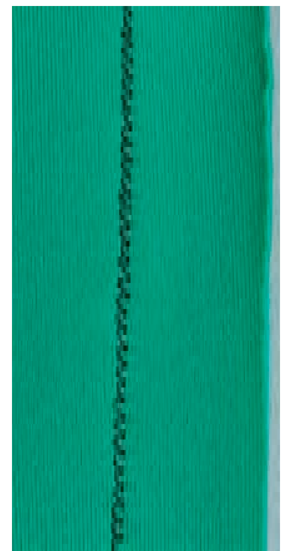
オーバーロック
目の粗いニットやソフトなニット地に最適。

縫い方
- 布端にストレッチオーバーロックをかける。
- 布端では針が布の外側に落ちるように縫います。

スーパーストレッチ縫い



ステッチ： スーパーストレッチ No.11
またはストレッチ No.18
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1C



割縫い
- スポーツウェアやレジャーウェア等の伸縮地に最適な、非常に伸縮性の高い縫い目です。
- 縫い代がかさばらず、フラットに仕上がります。

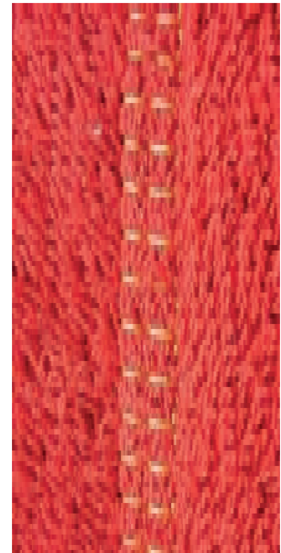
分厚い生地を縫う際には、布端から1cmのところを縫い、後から縫い代をカットするようにします。



フラットジョイント縫い



ステッチ： ストレッチオーバーロック No.13
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え ＃1C





フラットジョイント

- 布端を重ねて、縫い代の上を縫います。
- かさのある生地をフラットに、しっかりと縫うことができます。
- タオル地、フェルト、レザーなどの厚地や、フリースのような弾力のあるふわふわの生地等に適しています。

縫い方

- 布端を2センチくらいフラットに重ね、互いの布端に沿って、ステッチの直線部分を平行に、ジグザグが布端を押えるように縫います。

布地と糸

ふわふわの生地では、縫い目が目立たないように、共色の糸を使います。

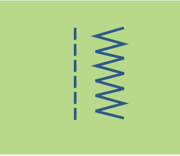
厚手の堅い生地を縫う場合

普通の直線縫いでは縫い目が緩みがちな厚手の生地に、最適です。

030794.71.10_0401_a200_JP



ジャージーステッチによる飾り用縁かがり





ステッチ：　ジャージーステッチ　No.14
針：　標準針、ボールポイント針
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー模様押え　#1C



伸縮地のヘム仕上げ

- あらゆる種類のジャージー地(コットン、ウール、化繊および合繊)の縁飾りに適しています。

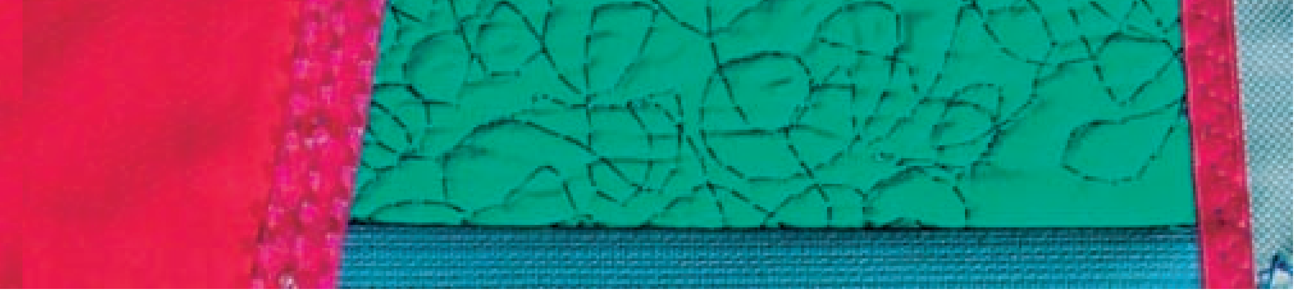
準備

- 縁を折り、アイロンしておきます。必要ならば、しつけもかけます。

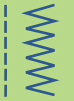
縫い方

- 表から見て、効果的な位置に縫います。
- 裏に残る余分な縫い代は、後で始末します。

030794.71.10_0401_a200_JP



オーバーロックによる襟つけ



ステッチ：	バリオーバーロック No.3
針：	生地に合わせて選びます
糸：	コットンまたはポリエステル糸
送り歯：	上
押え金：	オーバーロック押え #2A

オーバーロック縫いを使った襟つけ

- 薄手のジャージー地に適しています。

準備

- 襟の大きさは、出来サイズの2倍プラス縫い代2倍で取っておきます。
- 襟周り（リブ）を半分に折り、表側に待ち針としつけをします。

縫い方

- 布端にバリオーバーロックをかけます。
- その際、布端を押えのピンに沿うようにガイドします。
- 布端をフラットに仕上げるにはピンを、布端の外側に沿わせます。



表側

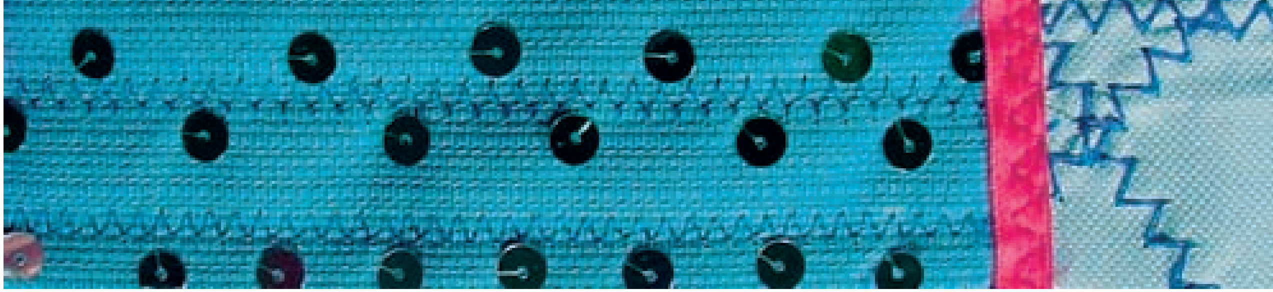


裏側

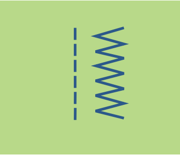
襟が波打ってしまうのを防ぐには、襟を少し短めにカットしておいて、待ち針を打つ際に、心持ち引っ張るようにするとよいでしょう。

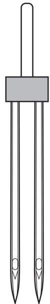
針下停止機能

- 針下位置停止機能を使えば、襟周りを揃えたりするのに途中でミシンを止めても、針が生地に刺さったまま残るのでずれが起こらず、便利です。



2本針による縁かがり





ステッチ：	直線縫い No.1
針：	2本針
糸：	コットンまたはポリエステル糸
送り歯：	上
押え金：	スーパー模様押え#1C



ニット地の縁飾り仕上げ

- ニットには、伸縮性のある縁飾りを。
- その他の縁縫いは、必要ありません。

準備

- 布の裁ち目を裏に折り、必要ならばアイロンおよびしつけをかけます。
- 2本針をセットして、糸を通します。（糸通しについては、16ページをご参照ください）
- セキュリティプログラムで、使用する2本針および針板を選択します。（針間が4mmの2本針を使う際には、2本針の4．0ボタンを押します。）

縫い方

- 布の表側から、縫い目ガイドに沿って縫います。表側には、2本の直線縫いが、裏側にはジグザグが見えます。
- 2mm程度を残して、余分な縫い代を始末します。



正確に縫う

針板または縫い目ガイドを使えば、正確にまっすぐ縫うことができます。

送り長さの調節

布に合わせて、送り長さを調節します。

より伸縮性の高い縫い目にするには

毛糸に近いナイロンを下糸に使うと、より伸縮性のある縫い目になります。



袖口（リブ）の仕上げ方



リブ付けとは

- 非常に実用的かつ見た目もきれいな布端の処理方法です。
- スウェットスーツ、パジャマ等に適しています。



リブをカットする

- 幅は、完成した状態の 2 倍プラス縫い代の 2 倍の寸法にします。
- 長さは、完成した状態プラス縫い代の 2 倍の寸法にします。
- リブを半分に折って、首、ウェストまたは足首周りに置いてみて、長さがよいかどうかチェックします。（首周りの場合は、頭が通る大きさかどうかを、必ず確認してください。）



準備

- リブの端と端を合わせて、縫い代に沿って縫い合わせます。（布に合うオーバーロック縫いの種類を選択してください。）
- 縫い代が内側にくるように、リブを半分に折ります。（端をしつけがけします。）
- リブを均等に4つの部分に分け、印付けをします。（1 番の印が、縫い代です。）
- リブ仕上げをする服の方も、均等に4つの部分に分け、印付けをします。
- リブと服を、印に合わせて、中表に待ち針でとめます。リブの縫い代は、背中または肩の縫い代に合わせます。
- オーバーロック縫い（56 ページ参照）をします。

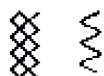


既製品のリブを使う

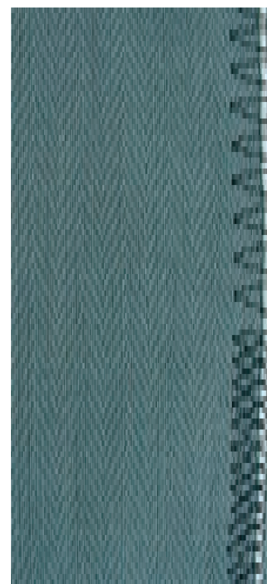
既製品のリブを使うと、自分でカットする必要がないので、便利です。



織地の縁を補強する



ステッチ：　ネットステッチ No.8、ランニングステッチ No.4
針：　生地に合わせて選びます。
糸：　細手のかがり糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー模様縫い押え＃1C



縁を補強

- 作業布、テーブルリネン、タオル等に。
- 共色の紐や糸を使って、縁を補強します。

適当な紐

- パール紡ぎ糸
- 細いレース糸
- 丈夫な手縫い糸
- 針金の入った飾り紐（注・ガーデニング用のものではありません）

縫い方

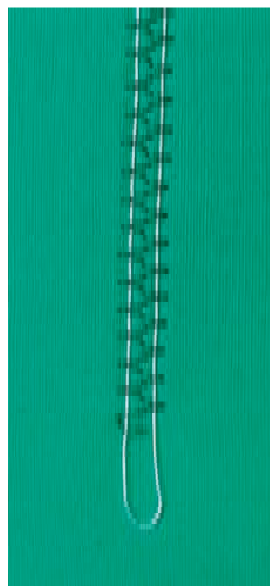
- ネットステッチかランニングステッチで、縁をかがり縫いします。
- 補強するために、縁に沿って紐をかがり縫いします。
- 必要ならば、縁から少し内側にもう一列、紐を縫いつけます。

エラスティック(ゴムひも)付け、シャーリングおよびギャザリング

ギャザリング



ステッチ: ギャザリングステッチ No.12
針: 生地に合わせて選びます。
糸: コットンまたはポリエステル糸
送り歯: 上
押え金: ボタンホール用押え#3C

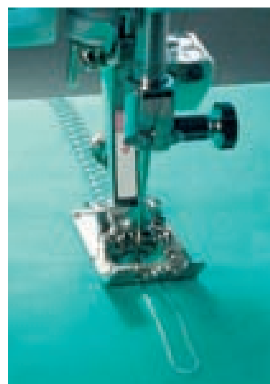




シャーリング用エラスティックコード
- 広い範囲にギャザーを寄せたいときに適しています。子供服や人形用の服、クラフト等に使用します。

準備
- ギャザーの倍の長さに、コードまたはゴム紐をカットしてから、半分に折ります。
- ボタンホール押えの手前中央の突起に、コードまたはゴムの輪の部分をひっかけ、押えの下の溝に沿って後方へ引きます。

縫い方
- 数針縫ったら、コードまたはゴム紐の両端が押えの後ろ側に届くくらいまで手前に引っ張り、そのまま縫いつけます。
- コードまたはゴム紐の上を縫わないように気をつけましょう。
- 縫い終わったら、コードまたはゴム紐を引いて、ギャザーを寄せます。
- ゴム紐の場合は、縫っている間、伸ばし加減にしておきましょう。強く伸ばすほど、ギャザーがたくさん寄ります。



始めと終わりを止め縫いする
- 送り歯を下げて、数針返し縫いしてください。

押え圧
必要に応じて強くします。

広い範囲にギャザリングするには
コードまたはゴム紐を、1本だけでなく、2本使いましょう。

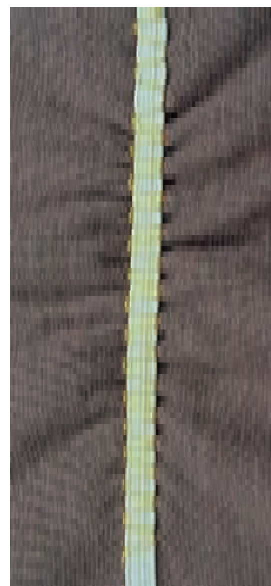
030794.71.10_0401_a200_JP

エラスティック(ゴムひも)付け、シャーリングおよびギャザリング

ゴム紐、コード付け



ステッチ：ユニバーサル No.15
振り幅：ゴムの幅に合わせる
針：生地に合わせて選びます。
糸：コットンまたはポリエステル
送り歯：上
押え金：スーパー模様押え＃1C
または刺しゅう押え＃6(オプション)



ゴム紐の縫い付け

- 広い範囲にギャザーを寄せたい場合や、薄手の生地にフリルをつけたい場合に適しています。
- 袖や襟部分にギャザーを寄せるのに、最適です。

準備

- ゴム紐を適当な長さにカットしておきます。

縫い方

- ゴム紐を縫いつける際、針がゴムに刺さらないように注意してください。
- 縫い終わったら、ギャザーを手で調整して、均一に寄せ直します。

縫い始めと縫い終わりの始末

- ゴム紐の縫い始めと縫い終わりは、直線縫いで数針ずつ止め縫いをしてください。

ヘム仕上げを簡単にすばやく

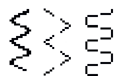
- 子供服や人形のドレスに。
- 脇縫いをする前の縁かがりのときに、ゴムを一緒に縫い付けてしまうという方法があります。

030794.71.10_0401_a200_JP

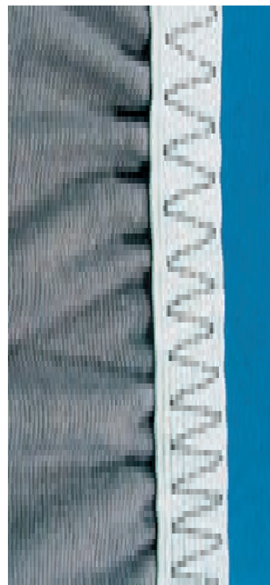
エラスティック(ゴムひも)付け、シャーリングおよびギャザリング

幅の広いゴムひも付け





ステッチ：	ランニングステッチ No.4 2点ジグザグ No.16 ライクラステッチ No.17
送り長さ：	ゴムの性質によって調整してください。
針：	生地に合わせて選びます。
糸：	コットンまたはポリエステル糸
送り歯：	上
押え金：	スーパー模様押え1番C
針停止位置：	下位置停止



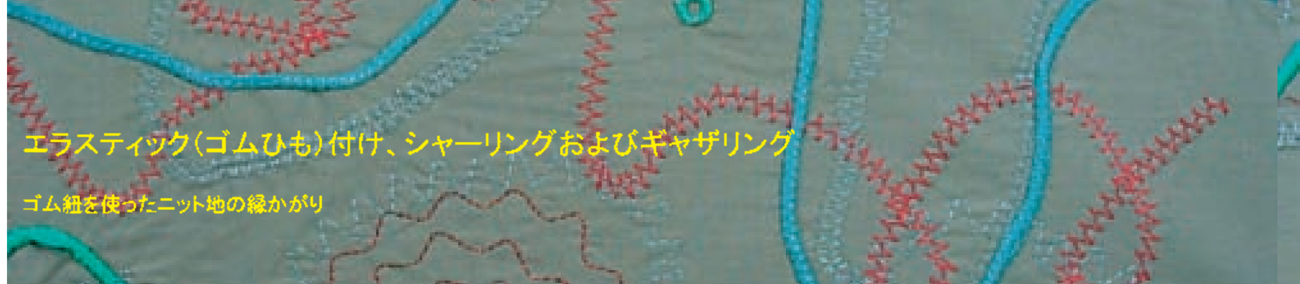
幅広のゴムひも
- スポーツウェアや下着に最適です。

準備
- ゴム紐を必要な長さに切り、
- 生地とゴム紐をそれぞれ4分割して印をつけ、
- 印を合わせて、待ち針で止めます。

縫い方
- ゴム紐を引っ張り加減にして、縫ってください。
- 縫い終わったら、はみ出た部分の布を始末します。

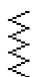
最初にギャザーを寄せておく方法
- 5mmほどの間隔を置いて、2本の直線縫いを
- 5cmほど、縫います。
- 糸の始めは、結んでおきます。
- 下糸を持って、引っ張るとギャザーが寄ります。
- ギャザーの上からゴム紐を縫いつければ、ゴムを引っ張りながら縫う必要がないので、簡単です。

ゴム紐が伸び過ぎないように
- 生地とゴム紐に合わせて押え圧を減らせば、ゴム紐が必要以上に伸びてしまうこともなくなります。



エラスティック（ゴムひも）付け、シャーリングおよびギャザリング

ゴム紐を使ったニット地の縁かがり





ステッチ：　ジグザグ2番
振り幅：　約5mm
送り長さ：　1～1,5mm
針：　生地に合わせて選びます。
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー横様押え1番C



シャーリングゴム紐を使ったニットの縁縫い

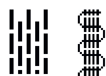
- 布端の伸びや型崩れを防ぎます。

縫い方

- 生地の2倍の長さのゴム紐を、軽く引っ張り気味に布端に沿わせます。
- ジグザグステッチで、ゴム紐を縫い付けます。
- ゴム紐を縫いこまないように、注意してください。
- 縫い終わったら、ゴム紐を引っ張って生地を好きな形、サイズに整えます。

生地の伸びを防ぐ
縫っている間に生地が伸びてしまうとき
生地に合わせて、押え圧を弱くすると、防げます。

自動つくろい縫い
かぎ穴や擦り切れた箇所を簡単に縫うには

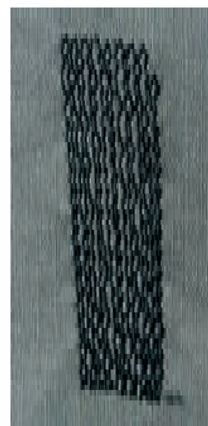


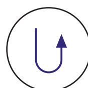


ステッチ: 自動つくろい縫い No.22
補強つくろい縫い No.23
針: 生地に合わせて選びます。
糸: 細手のかがり糸
送り歯: 上
押え金: 自動ボタンホール押え＃3A
またはスーパー模様押え＃1C(No.22の自動繕い縫いのみ)

No.22のステッチを使った簡単なつくろい縫い

- 縦方向の布目を補強します。





準備

- スーパー模様押え＃1Cを使います。
- ステッチカウンターアイコンを、画面下のツールバーで選択します。
- 必要ならば、薄手の安定紙を、つくろい縫いしたい部分の下に当てておきます。

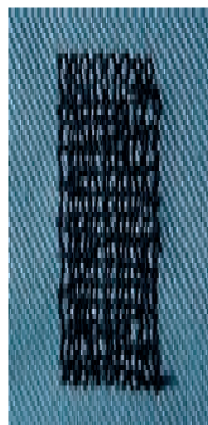
縫い方

- 最初の列を縫います。
- 必要な長さを縫ったら、手元返し縫いボタンを押して、一列目の長さをプログラムします。
- ミシンが自動的に停止するまで、縫います。

ご注意
No.22のステッチは、＃3Aの自動ボタンホール押えでも可能です。

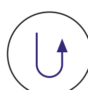
No.23 のステッチを使って補強つくろい縫い

- 生地の縦と横の織り目に添って、傷みの激しい個所のつくろい縫いをします。



準備

- 自動ボタンホール押え＃3Aを使います。
- 必要ならば、薄手の安定紙を、つくろい縫いしたい部分の下に当てておきます。



縫い方

- 針をつくろう場所の左上に刺します。
- まず縦目を縫います。
- 手元返し縫いボタンを押して長さを記憶します。
- 縫いつづけます。終われば、自動的に停止します。

大きなほころび箇所をつくろう場合
押え金の下で生地を移動しながら、プログラムを繰り返します。(長さは記憶されています。)

ダーニングがゆがんでしまう場合
177ページのバランス機能についてをご参照ください

マニュアルでつくろうには

ステッチ：　直線縫い No.1
針：　生地に合わせて選びます
糸：　細手かがり糸
送り歯：　下
押え金：　ダーニング押え #9（オプション）

マニュアルでつくろい縫い

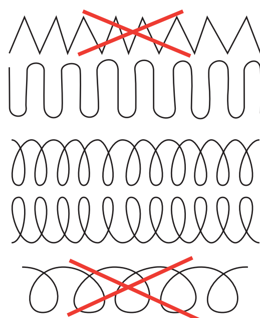
- 縦糸と横糸を足して、布地にできた穴や傷をつくろいます。生地の種類は問いません。

準備

- 布縮みを防ぐため、刺しゅう枠に生地をセットします。
- ソーイングテーブルを使うと、作業がしやすくなります。

縫い方

- 刺しゅう枠を、滑らかに動かします。
- 左から右に縫います。その際、押え圧は0にしておきます。
- 縫い終わりで方向転換をするときは、滑らかなカーブを描くようにして動きます。急な方向転換は、穴が開いたり、針が折れたりする原因になります。
- 長さをいろいろ変えてつくろっていくと、糸が布のなかに紛れ込んで、目立たなくなります。



1. 穴の上にステッチをかける

- 穴を覆うように最初の列を縫います。（間隔が狭すぎないようにご注意ください）
- 長さを、わざとまちまちに縫うようにしてみましょう。
- 生地を90度回します。

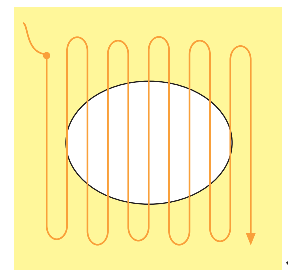
2. 最初の列をカバーする

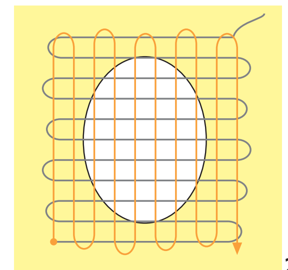
- 次に、最初の列をカバーするようにしながら縫います。あまり間隔を近づけると、仕上がりが堅くなってしまうので、ご注意ください。
- 生地を180度回します。

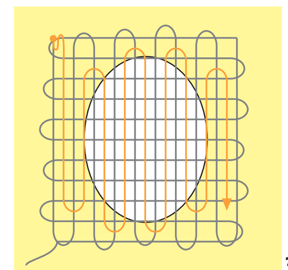
3. 仕上げ

- 同じ方向にゆるく2列目を縫います。

メモ：
適当な当て布をつくろう部分の下に当てて縫います


1


2


3

縫い目が乱れる

- 上糸が生地の表側でゆるむのは、針のスピードに対して、刺しゅう枠の動かし方が速すぎるからです。
- 生地の裏側に糸ループができるのは、刺しゅう枠の動かし方が遅すぎます。

糸が切れる

- 刺しゅう枠を滑らかに動かすようにしてください。

030794.71.10_0401_a200_JP

ニットやジャージーのつぎあて



ステッチ：　ジャージーステッチ No.14
針：　生地に合わせて選びます
糸：　細手のかがり糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー模様押え＃1C





ほころびや磨耗個所のつぎあて

- 伸縮する生地や、ランジェリーに最適です。

準備

- いたんだ部分は、切り取らないでください。
- あて布は、角張らないように丸くカットすると、全方向への伸縮性が残ります。
- 待ち針を打ち、右側をしつけ縫いします。

縫い方

- パッチをつぎ当て部分に使います。
- 縁を縫います。
- 必要があれば、最初に縫った内側をもう一列縫います。
- いたんだ部分を切り取ります。

ニット地

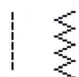
- ニット地をいためないように、新しいボールポイント針を使用してください。

伸縮する布を縫うには

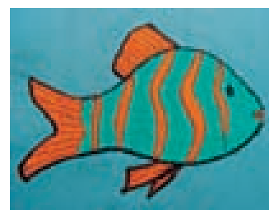
- 布の下に安定紙をあてましょう。
- 必要ならば、ストレッチ針（130－705HS）を使うと、針の先端が繊維の間をすべるように縫うので、生地をいためません。
- 生地が伸びたり、うねったりするのを防ぐため、押え圧を弱くしてください。

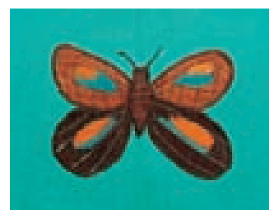
030794.71.10_0401_a200_JP

フリーハンド刺しゅう



ステッチ：直線縫い No.1またはジグザグ No.2
針：生地に合わせて選びます。
糸：刺しゅう糸。下糸は細手のボビン用糸。
送り歯：下(ダーニング位置)
押え金：ダーニング押え#9(オプション)
またはフリーハンド刺しゅう用押え#24(オプション)





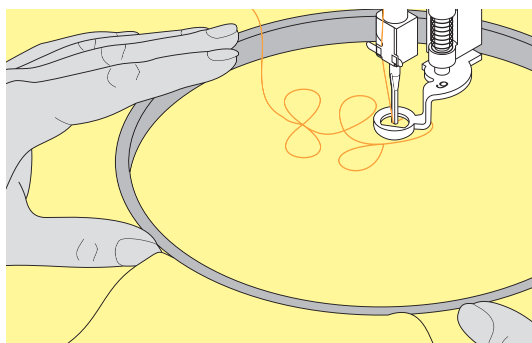
フリーハンド刺しゅう

- フリーハンド刺しゅうは、オリジナルデザインを刺しゅうするときに使います。直線縫い No.1 とジグザグ No.2 を組み合わせて、布の表面に絵を描きます。
- 土台布には、薄手から中くらいの厚さのものを選びます。

準備

- 鉛筆または布用マーカーで、生地にモチーフを下書きします。
- 生地の下に、安定紙を置きます。
- 土台布と安定紙を一緒に、木製刺しゅう枠(オプション)にセットします。
- ソーイングテーブルを使用します。

ご注意
太い飾り用糸を下糸に使う場合には、下糸テンションを調節するときのために、余分に一個ボビンケースをご購入ください。



縫い方

- 送り長さは0に、上糸調子を少しゆるくしておきます。
- 2番のジグザグステッチを使う際は、モチーフに合わせて、振り幅を調整してください。
- 1番の直線縫いは、直線を描くのに使います。
- 慣れるまで、円形を描くような動きの練習をするとよいでしょう。
- 刺しゅう枠を両手で持って、なめらかに動かします。上下の移動の方が、左右の動きよりは楽ですので、左右に刺しゅうする部分に来たら、90度回して、上下の動きにしましょう。
- ステッチの密度を考えながら、布の表面を埋めていきます。

刺しゅう枠を動かすスピードは、一定に保つようにしましょう。布の表面で糸がゆるむようなときは、刺しゅう枠の動かし方が速すぎます。また、裏側で糸ループができてしまうときは、動かし方がゆっくりすぎるのです。

水溶性安定紙を使う

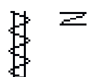
モチーフを水溶性安定紙の上に刺しゅうして、透過性の刺しゅうを作ることも楽しいです。必ずステッチ同士が重なるようにしてください。作業が完了したら、安定紙を洗い流して、モチーフを作品にアップリケします。

ザインの可能性を広げる

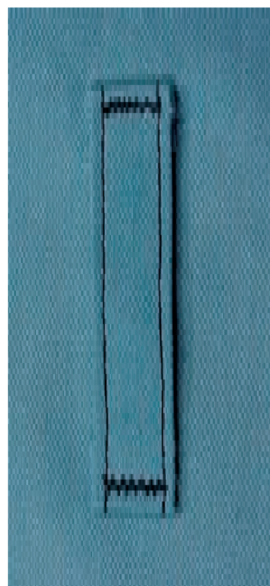
バラエティーに富んだ糸と布を使っても、試してみましょう

030794.71.10_0401_a200_JP

自動環ぬき止め縫い（バータック）



ステッチ：　バータックプログラム No.24または No.25
針：　生地に合わせて選びます。
糸：　コットンまたはポリエステル糸
送り歯：　上
押え金：　スーパー模様縫い押え＃1





バータックプログラム

- ファスナー、ポケット、ベルト通し等の縫い終わりを補強する
- リボンをキルトに飾りとしてつけるときに。

縫い方

- ミシンは、左上から縫い始め、自動的に停止します。

飾り縫いのバータック

- ステッチの中さを長くして、飾り縫いの糸を使って、バータックをします。または、他のステッチと組み合わせて、小さな飾り縫いの四角形を作ります。

ファスナーを短くする

長すぎるファスナーは、短くカットした後、バータック No.25を使って、補強します。

030794.71.10_0401_a200_JP





ステッチ: フライステッチ No.26、No.27
針: 布に合わせて選択します。
糸: コットン、刺しゅう糸またはポリエステル
送り歯: 上
押え金: スーパー模様縫い押え#1C
または横送り縫い押え#40C



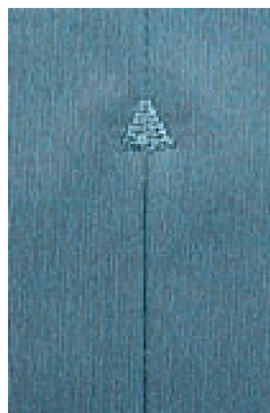
フライステッチ

フライステッチとは、縫い終わりに使用して、補強するものです。ポケットの端やスリットに使います。

- No.26は、中厚手の布に。
- No.27は、薄手から中くらいの布に。

縫い方

- 押え金#1Cを縫い目の中心、スリットの終わりまたはポケットの端に置きます。
- フライステッチが、自動的に開始されます。(下から上へ)
- ミシンは、自動的に停止します。



手縫い風の効果

手縫い風の効果を狙うのなら、フライステッチは、太い糸で縫いましょう。

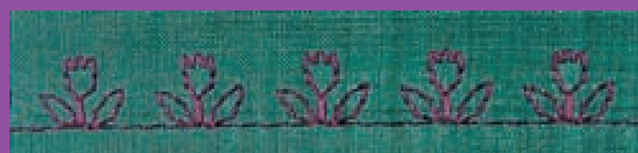
飾り縫いとしても使えます。

030794.71.10_0401_a200_JP





飾り縫い

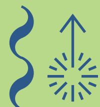


飾りステッチ

9mm、40mm、16方向縫いおよび4方向縫い



飾りステッチ
16方向と4方向飾りステッチボタン
- 16方向・4方向ボタンを押してください



まとめ

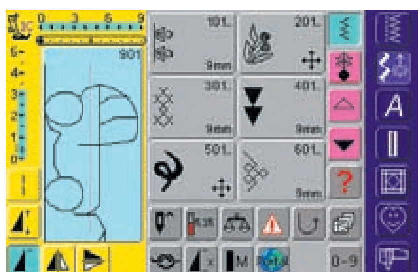


まとめ
- 表示されるグループのリストです。

グループ 101＝	「自然」をテーマとした9mmステッチ
グループ 201＝	「自然」をテーマとした40mmステッチ
グループ 301＝	9mmクロスステッチ
グループ 401＝	9mmホームデコレーションステッチ
グループ 501＝	40mmサテンステッチとパッチワーク・キルティングステッチ
グループ 601＝	ミシンによる飾りステッチ
グループ 701＝	9mm伝統的なステッチ
グループ 801＝	40mm伝統的なステッチ
グループ 901＝	「子供」をテーマとした9mmステッチ
グループ 1015＝	「子供」をテーマとした40mmステッチ
グループ 1101＝	星占いのシンボル
グループ 16方向縫い	
グループ 4方向縫い	

ステッチの全リストは、260-263 ページをご覧ください。

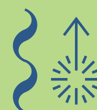
飾りステッチに関する重要事項



飾りステッチを選択するには

- 飾りステッチのアイコンを押します。
- 画面に一覧表が表示されます。

- 101, 301, 401, 601, 701, 901＝9mmの飾りステッチグループ（振り幅9mmまでの飾りステッチ）
- 201, 501, 801, 1015, 1101＝横送りステッチ（4 つの矢印がついています）です。横送りステッチは、大きなステッチまたはアウトラインで描かれたデザインで、布を前後左右の 4 方向に送りながらステッチされます。
- 4方向縫い、16方向縫いは、それぞれ、4方向、16方向に自動的に送って縫います。
- アイコンをタッチして、まずグループを選んでください。
- グループの中のステッチを選んでください。



飾りステッチの用途

布の種類により、シンプルな柄にするか、凝ったものにするか決めて、布に縫ってみましょう。

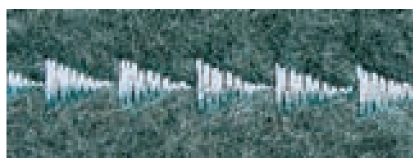
- 薄手の布地には、シンプルなデザインのステッチを使います。（飾りステッチ101番など）



- 中くらいの厚さの布地には、シンプルかつ薄手のものよりは少し複雑なステッチを使うことができます。トリプルステッチや、一部にサテンステッチの入ったステッチがよいでしょう。（飾りステッチ107番等）



- 厚手の布地には、サテンステッチで構成されたボリュームのあるデザインも使えます。（飾りステッチ401番等）



ステッチをきれいに縫い上げるには

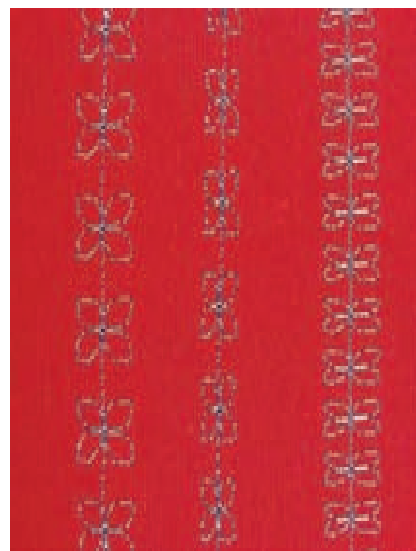
- 上糸と下糸は、同色にしましょう。
- 布の裏側には、安定紙をあてましょう。
- タオル、ウール、ベルベット等の毛足の長い布地を使う場合には、布表面に、水溶性安定紙をおいてからステッチしてください。

9mmの飾りステッチ

9mmステッチ

ステッチ： 9mm幅飾りステッチ
針： 生地に合った刺しゅう針
糸： コットンまたはポリエステル、レーヨン等の刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え#1C
オープン刺しゅう押え#20C

飾りステッチ
- あらゆる生地に使えます
- 布の飾りつけに最適です


1 2

アプリケーション

ステッチの選択
- 飾りステッチ選択アイコンを押します。
- メニューからステッチフォルダーを選びます。(100番、300番、400番、600番、700 番および900番台のグループが、9mmステッチです。)
- ステッチを選びます。

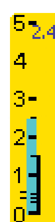
画面表示
- 選択したステッチの振り幅と送り長さは、ブルーで表示されます。
- 基本設定は、変更可能です。



振り幅を変えてみる(1)

- 飾り目的以外にも、例えば土台布の分厚い個所で、ステッチを調整することができます。
- 幅を広くするには、外部の振り幅つまみを時計回りに回します。
- 狭くするには、時計と反対回りに回します。
- 基本のセッティングおよび変更後の状態は、画面に表示されます。
- 元に戻すには、振り幅または送り長さバーをタッチするか、外部のつまみを回します。

基本のセッティングに加えた変更を保存するには
- パーソナルプログラムに保存することができます。
- または、基本のセッティング自体を変更して、いつでも今現在の変更した形で表示されるようにもできます。



送り長さを変えてみる(2)
- 飾り目的以外にも、例えば土台布の分厚い個所で、ステッチを調整することができます。
- 長くするには、送り長さつまみを時計回りに回します。
- 短くするには、時計と反対回りに回します。
- 基本のセッティングおよび変更後の状態は、画面に表示されます。
- 元に戻すには、振り幅または送り長さバーをタッチするか、外部のつまみを回します。

パーソナルプログラムについては、150 ページをご覧ください。

基本のセッティング自体の変更については、24-25 ページをご覧ください。

飾りステッチと各種機能の組み合わせ

ステッチ：　9mm飾りステッチ
針：　布に合わせて選びます。
糸：　コットン、デコラティブ
送り歯：　上
押え：　スーパー模様押え#1C
またはオープン刺しゅう押え#20C

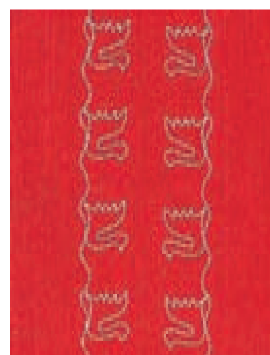
基本設定と様々な機能を組み合わせて、クリエイティブなステッチをお楽しみください。

方法
- ステッチを選びます。
- 機能を選びます。
- 変更後のステッチが、画面に表示されます。
- シングルステッチと、いくつかの機能を組み合わせることができます。

機能を削除するには
- 外部のクリアーボタンを押すか、画面で各機能にタッチします。



飾りステッチを反転させる
- 左右の反転機能をタッチすると、ステッチは、左右反転した形に変更されます。

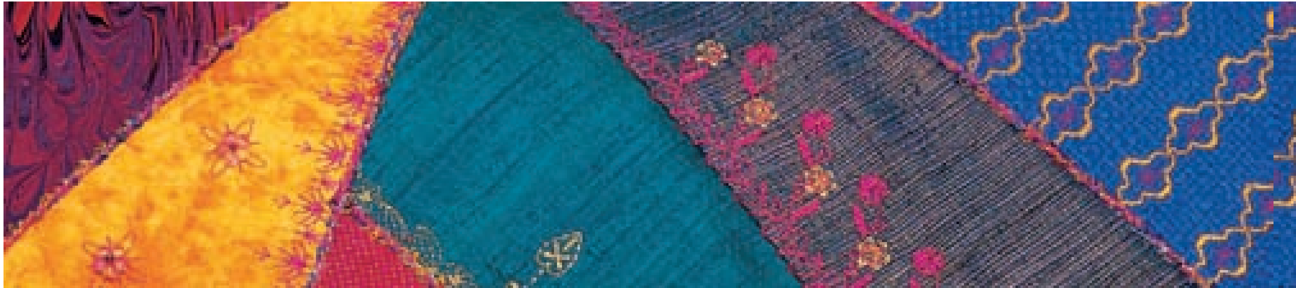


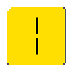


- 上下の反転機能をタッチすると、ステッチは、上下に反転した形に変更されます。



- 上下、左右両方の機能に同時にタッチすると、ステッチは、上下左右に反転された形に変更されます。





飾りステッチとロングステッチ機能を組み合わせる（1）

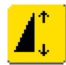
- ロングステッチ機能を押します。
- 2ステッチごとに1ステッチを縫うようになります。変更後のステッチが、画面に表示されます。



1



2



パターンの拡大機能で、飾りステッチを拡大する（2）

- パターンの拡大機能を一回またはそれ以上タッチします。
- 選択したステッチが、2倍から5倍の間で拡大されます。

ステッチのデザインによっては、3倍以上にはできないものもありますので、ご注意ください。

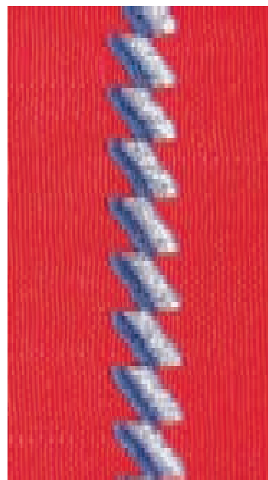


2本針、3本針、またはウィング針で縫ってみる（3）

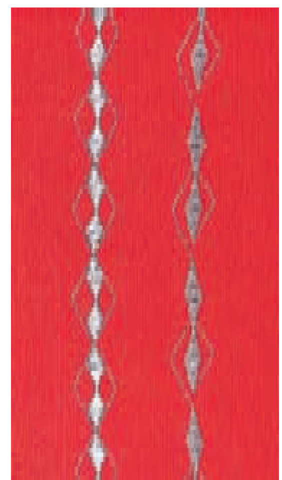
- 特殊針を使う場合には、必ずセキュリティプログラムをオンにしてください。

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。

- セキュリティプログラムをオンにしていれば、ステッチを選択したとき、針のタイプによって、振り幅が自動的に制限されます。
- 特殊針を使う場合は、シンプルなパターンが効果的です。



3



4



バランス（4）

- バランス機能をうまく使えば、いろいろなバリエーションを加えることができます。

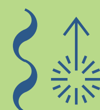
バランス機能については、177ページから178ページをご覧ください。

「一模様縫い」機能を加えてみましょう

- 針元の「一模様縫い」ボタンを押すと、今縫っているステッチを縫い終わると、または組合せ模様を一回縫い終わると、ミシンが自動的に停止します。
- 一方、画面上の「一模様縫い1—9×」アイコンをタッチすると、模様を指定した数（1から9まで）だけ縫うと、ミシンは自動的に停止します。

組合せモードを使った実用縫いと飾りステッチ

ステッチ： 9mmの実用縫いおよび飾りステッチ
針： 布に合わせて選びます。
糸： コットン、デコラティブ
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え＃1C
またはオープン刺しゅう押え＃20C





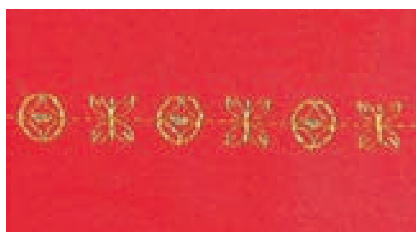
「組合せモード」アイコンをタッチします。
- 組合せモードが開き、ステッチの組合せを作成できます。

ご注意
実用縫いおよび飾りステッチの内、ほとんどのステッチは組合わせることが可能ですが、例外もあります。
一点止め縫いプログラム No.324
ステッチの返し縫い No.5
しつけ縫い No.21
ダーニング No.22および No.23
バータック No.24よび No.25
フライステッチ No.26および No.27
アイコンホール用ステッチ各種 No.51から No.63まで
以上のステッチは、組合わせに使用することができません。

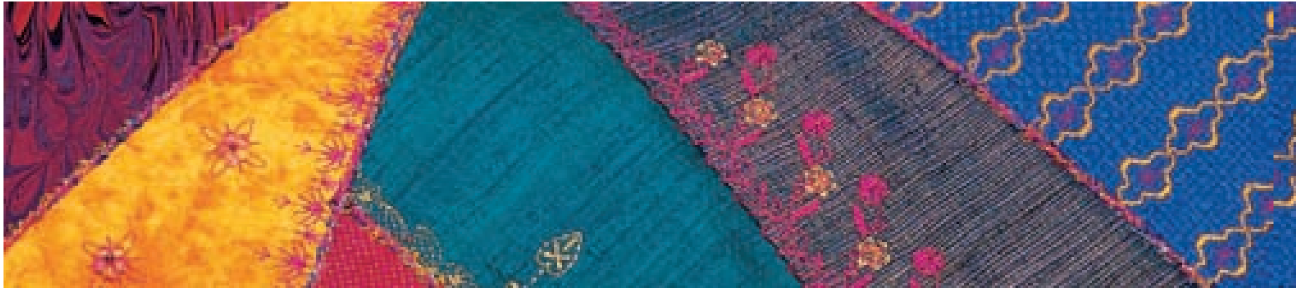


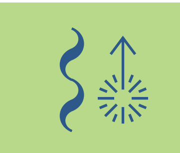
実用縫いと飾りステッチを組み合わせる
- ステッチを選びます。
- 選択したステッチは、画面に表示されます。
- もう一つのステッチを選びます。
- 組合せが完成するまで、この作業を繰り返します。

組合せのプレビューについては、156ページをご覧ください。



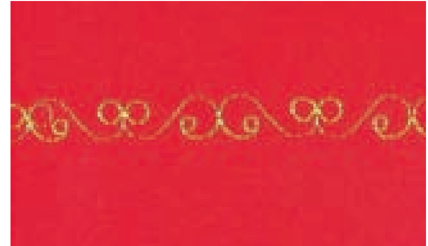
ステッチ組合せの例
- ミシン飾りステッチ No.655 を一回タッチします。
- 実用縫いのウィンドウを開き、直線縫い No.1を一回、タッチします。
- 飾りステッチのウィンドウを開き、ミシン飾りステッチ No.606 を一回タッチします。
- 実用縫いのウィンドウを開き、直線縫い No.1を一回、タッチします。
- このパターンが、繰り返し縫えるようになります。





ステッチと各種機能の組合せの例

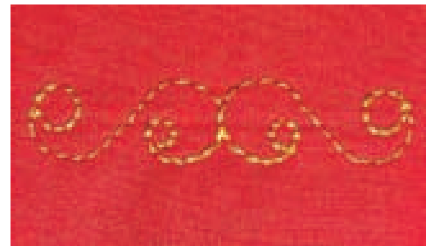
- No.656 のステッチを一回、タッチします。
- No.656 のステッチをもう一回タッチしてから、上下方向への反転のアイコンをタッチして、二番目に選んだステッチを反転させます。
- これで組合せが出来上がりました。
- 標準のステッチと反転されたステッチが繰り返し縫えます。





ステッチの組合せを一回だけ又は複数回縫う

- ステッチ組合せをデザインします。
- 「一模様縫い1—9×」を1回、または複数回タッチして、繰り返しの回数を決めます。（指定した数が、表示されます。）
- 指定の回数縫うと、ミシンが自動的に停止します。



組合せを修正する



ステッチを挿入するには

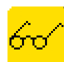
- カーソルで指定した場所に、ステッチを加えることができます。
- 組合せたステッチの最初に別のステッチを追加したい場合には、赤色のカーソルを、スクロール用の矢印を使って、上に移動します。
- 挿入したい場所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- 挿入するステッチを選びます。
- これで、カーソルで指定した個所に、新しいステッチを挿入できました。



ステッチを削除するには

- カーソルで指定したステッチを削除することができます。
- 希望の個所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- 「削除」をタッチします。
- これで、ステッチの削除が完了しました。

組合せの保存については、154ページをご覧ください。



組合せ全体を左右に反転するには

- マルチ機能アイコンをタッチします。
- 「組合せを反転」アイコンをタッチします。
- これで組合せ全体を左右に反転することができました。



留め縫い機能を追加するには（4針留め縫いします）

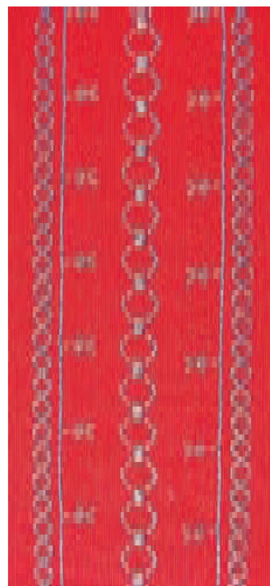
自動的に返し縫いする方法が、いくつかあります。

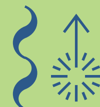
1. 「返し縫い」をタッチしてから、縫い始めます。組合せの最初に、返し縫いが入ります。
2. ステッチの最後に「返し縫い」をタッチします。組合せの最後に、返し縫いが入ります。

ステッチ組合せのプログラムに、返し縫い機能も組み込んでしまいます。そうすれば、指定したステッチを返し縫いするようにできます。

クロスステッチ

ステッチ： クロスステッチ No.301から No.314
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットン、デコラティブ
送り歯： 上
押え： スーパー模様縫い押え＃1C
またはオープン刺しゅう押え＃20C





- クロスステッチは、伝統的なテクニックです。飾りステッチと組み合わせて、手軽にすてきなデザインを作ることができます。
- クロスステッチを、麻のような質感の生地に縫うと、手刺しゅう風に仕上がります。

用途
- ホームデコレーションや小物に
- 洋服のトリミングに
- さまざまなものの飾りに

組合せ
- 他の飾りステッチと同様、No.301 から No.309、No.314 のクロスステッチも、組み合わせて使えます。

縫い方
- クロスステッチを選びます。
- シームガイドまたはスライドオンテーブルのガイドを使って、一列縫います。
- 2列目以下は、最初の一列をガイドにして、縫うので、最初の一列を直線上にまっすぐ縫うことが大切です。
- 新しいステッチを選びます。
- 押え金の端に一列目のステッチを揃えて、2列目をステッチします。（シームガイドを使ってもよいでしょう。）
- 続けて縫っていきます。

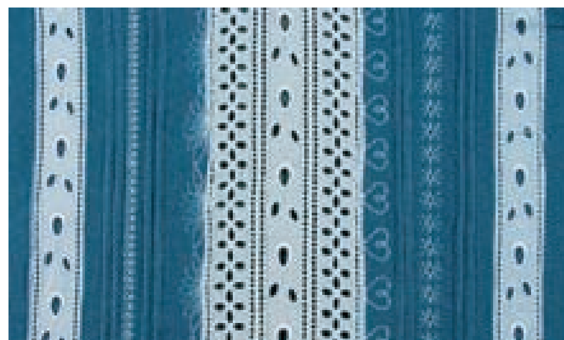
クロスステッチにはコットンの刺しゅう用糸が最適
- ステッチは通常よりボリューム感をもって仕上がります。

030794.71.10_0401_a200_JP

エアルームテクニック・レースの縫い方

エアルームとは

- 古くから伝わる伝統的な針仕事のことです。
- 白い木綿または麻にレース等の飾りを縫い付けて、ふだん使いの小物や服飾品を作ります。
- エアルーム刺しゅうには、ヘムステッチのようなテクニック、レースを縫い付けたり、中に挟んだりするもの、およびサテンステッチでスキャロップを付けるもの等があります。

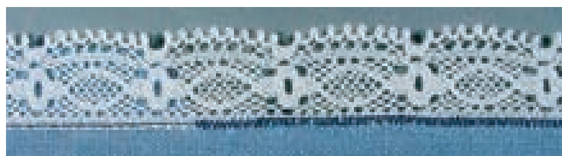


レースを縫い付ける、または中に挟む方法

ステッチ：　ジグザグ No.2
針：　布に適したもの
糸：　コットンまたは飾り縫い用
送り歯：　上
押え：　スーパー模様押え＃1C
　　　またはエッジステッチ用押え＃10C

準備

- レースと同色の糸を使うこと
- 事前に、レースにスプレーで糊付けして硬くしておくと、縫い易くなります。

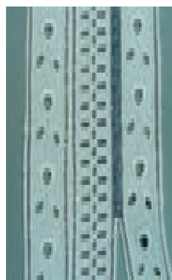


レースを縫い付ける

- 布の表側にレースを置きます。その際、レースと布の端が1センチ以上重なるようにして(縫い代)、待ち針を打ちます。
- レースの耳を布端に合わせてください。
- 直線縫い No.1 で、レースを縫い付けます。
- 縫い代を、布の裏側に折り返します。
- 右側から、幅の狭いジグザグ(1.5 から 2.5mm、送り長さは0.5mmくらい)で、レースを縫いとめます。レースの端をステッチするようにして、布端を始末してください。
- 裏側から、余分な縫い代を始末します。

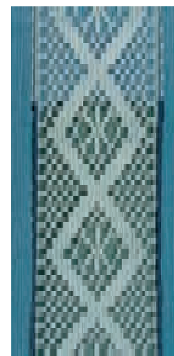
レースをレースに縫い付けるには

- レース同士を隣り合わせにします。(その際、端はきっちりと合わせる)
- 幅の狭目のジグザグ(1.5mmから2.5mm、送り長さは0.5mmくらい)で、レース同士を縫いとめます。ジグザグの振りは、正確に2本のレースの端をとらえるようにしてください。エッジステッチ押え#10(オプション)を使います。



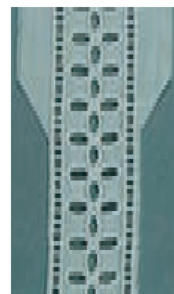
レースを布の間に挟むには

- 布の上にレースを待ち針、またはしつけ縫いでとめます。レースの両側を、直線縫い No.1 で縫います。
- レースを傷つけないように注意しながら、レースの下になっている布の中央をカットします。
- 縫い代部分を布の裏側に折り返して、アイロンします。
- 布の表側から、幅の狭目のジグザグ(1.5mm から 2.5mm、送り長さは 0.5mm くらい)をかけて、レースの端を綴じるようにします。
- 裏側から、余分の縫い代を始末します。



アントレドゥ(フランス・レース)
アントレドゥを布に縫い付ける

- アントレドゥを布の上に、右側の端を合わせるように置きます。
- アントレドゥを布に、直線縫いで縫いつける。その際、エッジステッチ用押え金#10(オプション)を使用、押え金の中央のガイドを、アントレドゥの縫い代に沿わせるように布を送ります。
- 縫い代を3mmに揃えます。
- アントレドゥおよび布の縫い目を、幅の狭目のジグザグ(ジグザグステッチ NO.2、振り幅2mm、送り長さ 1.5mm)で縫います。

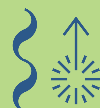


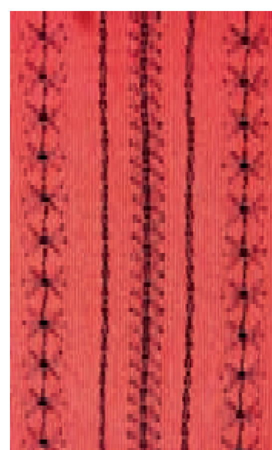
アントレドゥをレース等に縫い付けるには

- アントレドゥの縫い代を、片側だけ始末する。
- レースをレースに縫い付けるテクニックと同じように縫います。

エアルームテクニック・ヘムステッチ

ステッチ：	ヘムステッチ No.701、702、709-711、713、720 721、723、725、726、732、742
針：	ウィング針、ウィング2本針
糸：	コットンまたは飾り縫い用糸
送り歯：	上
押え：	標準押え金＃1C またはオープン刺しゅう用押え＃20C





1

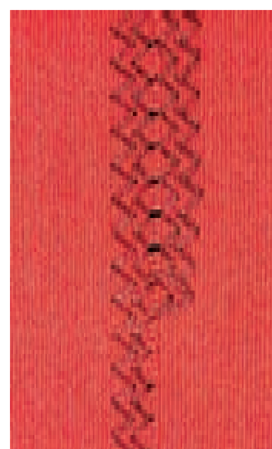
ヘムステッチ

- ウィング針を使えば、簡単に素晴らしい穴開きの効果が得られます。
- 目の粗い布、薄手から中くらいまでのニット等、針で織りを押し分けることのできる布に最適です。
- 家庭用小物および服飾品に最適です。

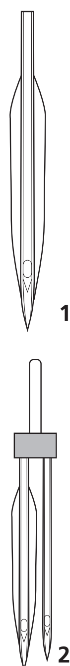
準備

- 布の裏側にアイロンで接着できる安定紙をつけ、補強しておきます。
- 布の種類および狙った効果により、安定紙を二重にしてもよいでしょう。
- ウィング針または2本ウィング針を取りつけて、セキュリティプログラムの振り幅制限を起動させておきます。

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。



2



ウィング針を使う(写真1)

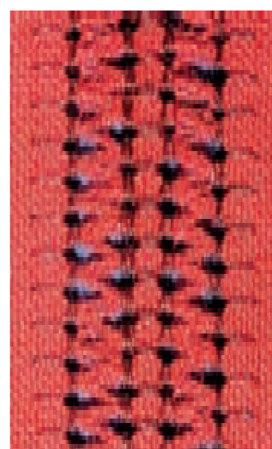
- 通常のウィング針は、どんなヘムステッチにでも使えます。
- ヘムステッチを選んで縫います。

ウィング2本針を使う(写真2)

- 2本針のうち、ウィング針になっているほうが、布に穴を開け、通常のウイング針の方は直線縫いをします。
- ステッチを選び(ここではトリプルジグザグステッチ No.7)、最初の一列を縫います。
- 布の向きを変え、2列目を縫います。針は、一列目の穴を刺すようにします。

糸を引き出す(写真3)

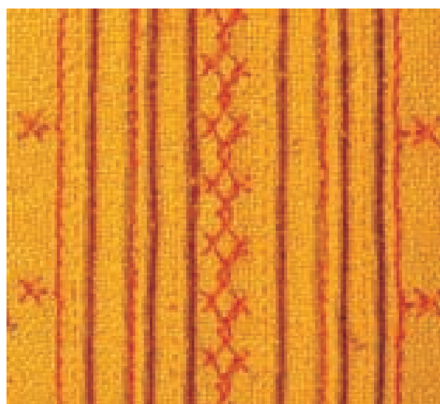
- より手縫い的な感じに仕上げたい場合には、ヘムステッチを始める前に、布から一部の織り糸を抜き出しておきます。
- ステッチを始める前に、スプレー糊で糊付けし、アイロンをかけておいてもよいでしょう。
- 糸を抜いた隙間の横に、ヘムステッチができていきます。
- 糸を束ねるようにするには、布と、糸を抜き出した隙間の両方を、交互に刺すようにします。



3

エアルームテクニック・ピンタック

ステッチ：直線縫い No.1
針：2本針1mmから4mm（ピンタック用押え金による）
糸：コットンまたは飾り縫い用糸
送り歯：上
押え：ピンタック用押え#30（3列）、
ピンタック用押え#31（5列）、
ピンタック用押え#32（7列）
またはピンタック用押え#33（9列） これらすべてオプションです。



ピンタックを縫う

- このテクニックを使うと、布のサイズが縮まりますので、大きめの布をご用意下さい。
- ピンタックとは、布を少しつまんで、縫いとめたものです。通常、型紙に合わせてカットする前に、縫っておきます。
- 飾り用に単独で、または他のエアルームテクニックと合わせて使います。

ご注意
ピンタックをすると、布の幅が狭くなります。十分な大きさの布をご用意下さい。

ピンタック用押え金

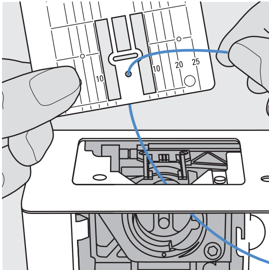
- #30（3列）＝4mm2本針、厚手の布用
- #31（5列）＝3mm2本針、中—厚手の布用
- #32（7列）＝2mm2本針、薄手—中くらいの布用
- #33（9列）＝1mmまたは 1.6mmの2本針、非常に薄手の布用（コードの縫込みはできません）

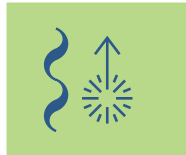
コード芯入りピンタック

- ピンタックをコード芯と一緒に縫うこともできます。
- コード芯を使うと、立体感のある仕上がりになります。
- 選んだピンタック用押え金の溝に合うコード芯を使用します。
- コード芯は色落ちしない、縮まないものを選びましょう。

030794.71.10_0401_a200_JP

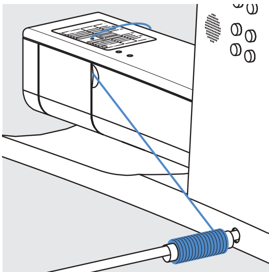






コード芯をセットする

- 針板を外して、ボビンカバーを開きます。
- 下側からコード芯を通し、ボビン部分を抜けて、針板の穴を通すようにします。
- 針板を取りつけます。



- ボビンカバーを閉じます。
- コード芯は自由に送れるようにします。ボビンカバーの細いすきまをガイドに使いましょう。
- コード芯の糸こまは、フリーハンドシステム（膝押え上げレバー）に通しておきます。
- コード芯がスムーズに進むかどうか、チェックしておきましょう。

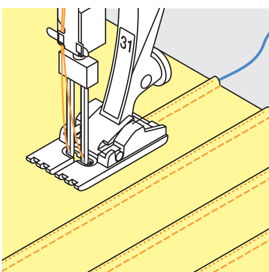
針に糸を通す

- 2本針を取りつける。
- セキュリティプログラムの2本針用の振り幅制限を起動させます。（使用する針のサイズをきちんと指定してください。）

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。

- 2本の針に糸を通します。

2本針の糸通しについては、16ページをご覧ください。



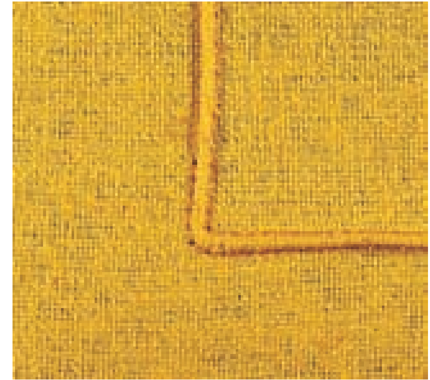
ピンタックを縫う

- 最初のタックを縫います。最初にラインを描いておいてもよいでしょう。
- コード芯は、自動的にピンタックの中に縫いこまれます。
- 必要ならば、布の向きを変えながら進めます。
- 最初のピンタックを、押え金の溝の一つに合わせます。（タック同士の距離を考えて、希望のものに合わせます）
- 2列目を縫います。
- これら2列のピンタックに合わせて、残りを縫っていきます。



コーナー部分をステッチするには

- 2本針では、コーナー部分を正確に回ることができません。そのため、コーナー部分は数回に分けて縫うことになります。
- 2本針を布に刺した状態で、はずみ車を回し、針が布の上ぎりぎりに来るまで上げます。（針穴が見えるが、針先はまだ布に刺さっている状態です）
- 布を45度回転させて、一針縫い、針をまた元の位置に戻します（布のちょうど上まで）。
- 布をもう45度回転させ、ステッチを続けます。
- 角度のある部分に来たら、その角度になるまで、この手順を繰り返します。



曲線のピンタック

- 直線だけでなく、ピンタックを流線型にすることもできます。



飾りステッチとピンタックの組み合わせ

- ピンタック間に飾りステッチをしたい場合には、スーパー模様押え＃10を使って、ピンタックを縫う前に飾りをつけます。
- 作品の下に安定紙をおいて、作業しましょう。安定紙は、飾りステッチが終了したら、外します。
- ピンタックを、飾りステッチの両側に施します。



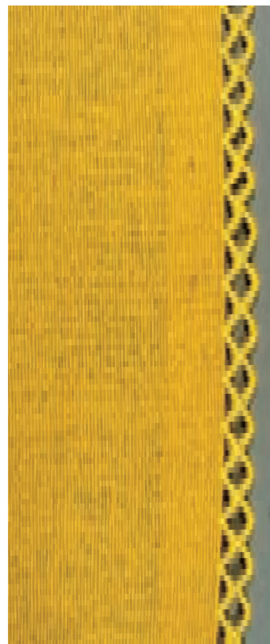
ヒント

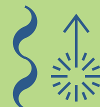
縫い目ガイド

縫い目ガイドを使うと、ピンタックの幅を均一にできます。特に離れたものを何本か作る場合、便利です。

エアルームテクニック・エッジに沿ってスキャロップを作る

ステッチ: パッディドサテンステッチ No.416
針: 選んだ布に合うサイズおよびタイプのもの
糸: コットンまたは刺しゅう糸
送り歯: 上(ソーイング位置)
押え: オープン刺しゅう押え#20C
または刺しゅう押え#6(オプション)



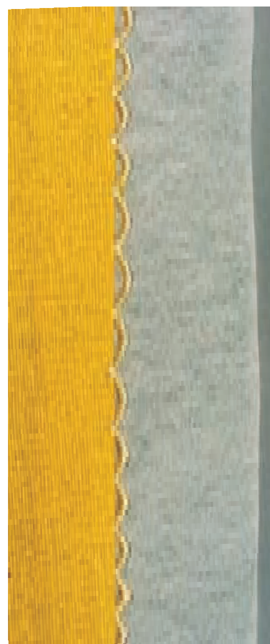


オープンスキャロップ
- 布端をレース状に仕上げます。
- 服飾品およびテーブルクロスやベッドカバーに最適です。

準備
- スキャロップをレース状にするには、水溶性または破り取れるタイプの安定紙を布の下に、端から少しはみ出るようにセットします。
- 安定紙を待ち針、またはしつけ縫いでとめます。
- コード芯の糸こまを、膝押え上げレバーに取りつけます。(85 ページ参照)
- コード芯は、スキャロップを作る糸と同色、かつ色落ちしない、縮まないものを使いましょう。
- コード芯を、針板の穴に下から通します。

コードの挿入に付いては、85ページをご覧ください。

ステッチ
- スキャロップの一列目をステッチします。
- スキャロップはいつも、布端から始まり、布端で終わるようにします。カーブ部分は、安定紙の上にはみ出します。
- スキャロップの始まりと終わりが布端から離れてしまうと、後で外れてしまいますので、ご注意ください。
- スキャロップを一列だけでなく、2列、3列つけても面白いでしょう。
- 2列、3列のスキャロップを付ける場合には、前に作ったスキャロップと、新しく作る列の始まりと終わりがきちんと重なっていることを確認しましょう。
- ステッチが完了したら、安定紙を取り除きます。



完璧な仕上がりのために
パッディドサテンスキャロップは、熟練が必要なテクニックです。練習して始めましょう。

エアルームテクニック・芯糸入りスキャロップ

ステッチ: サテンスキャロップステッチ No.507、508
針: 選んだ布に合ったサイズおよびタイプのもの
糸: コットンまたは刺しゅう糸
送り歯: 上(ソーイング位置)
押え: 横送り縫い押え#40C
およびオープン刺しゅう押え#20C
または刺しゅう押え#6(オプション)


芯糸入りスキャロップ

コード入りスキャロップ
- 服飾品およびテーブルクロス、ベッドカバー用

横送り縫いについては、90 ページをご覧ください。

最初に
- 布の端に安定紙を置きます。
- #40Cの押え金をセットして、布端から1センチ程度のところにスキャロップをサテンステッチします。その際、まっすぐにできるよう、縫い目ガイドまたはスライド式テーブルの縫い目ガイドを使うようにしてください。

布端の始末
- スキャロップが完成したら、余分の布を始末します。


芯糸を入れて縫ったスキャロップ

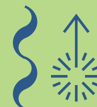
芯糸入りスキャロップの上からもう一度ステッチします
- #20Cの押え金をセットし、フリーハンドシステムのレバーにコード芯の糸こまを取りつける。
- コード芯は、スキャロップを作る糸と同色のもので、色落ちしない、縮まないものを選ぶこと。
- ジグザグステッチ No.2を使い(振り幅5、送り長さは大体2分の1から1)、スキャロップの上からもう一度ステッチします。その際、コード芯をステッチに沿ってガイドしてゆく。
- 針が、交互にスキャロップのステッチとコードのすぐ横の布端を捉えるようにします。
- スキャロップの終わり部分では、少しだけ振り幅を縮めるようにします。スキャロップの終わりの数針を縫ったら、布を少しだけ回し(針は刺したまま)、また数針を縫い、それから振り幅をまた広げて、広い部分を縫うようにします。


芯糸入りオーバーキャスティング
スキャロップ

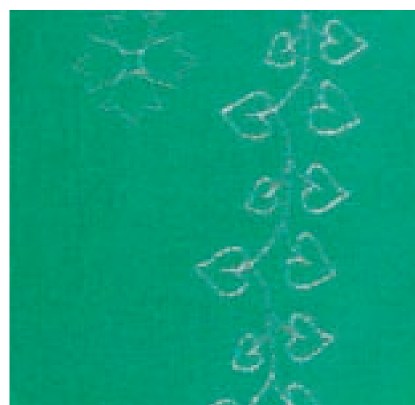
スキャロップの上からもう一度ステッチするには
- ソーイングスピードをゆるめ(モータースピード機能を使う)、
- 針下位置停止機能を使うとよいでしょう。

サテンスキャロップの端を補強するには
ダブルコードを使うとよいでしょう。



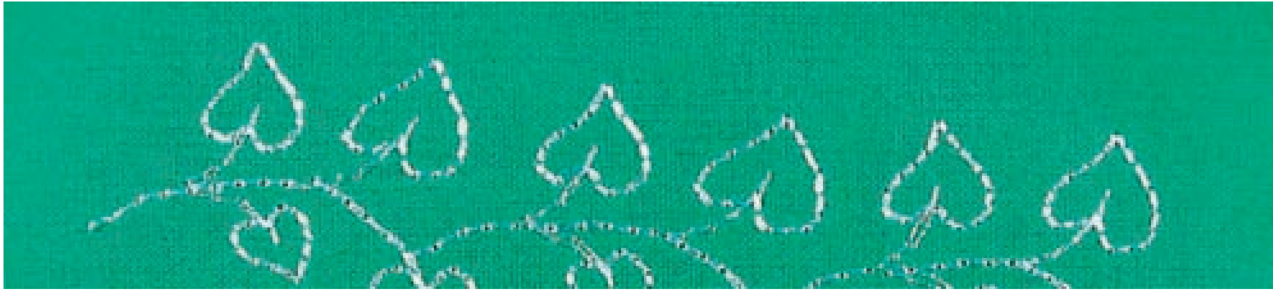


横送り縫い
- 横送り縫いとは、布を前後だけでなく、左右にも送って縫う、大きなステッチのことです。
- 選択するには、画面をタッチします。
- 横送り縫いは、ステッチ変更エリアに、4つの矢印とともに表示されます。
- 縫い始め（グリーンで表示）と、縫い終わり（赤で表示）を、ステッチ変更エリアで見ることができます。



- No.218 等のシングルモチーフでは、縫い終わるとミシンが自動的に停止します。
- その他のステッチ（No.808 等）は、続けてステッチされます。

テンプレートについて
- 取扱説明書の最後に、テンプレートが付いています。ステッチをレイアウトする場所を決めるのに、非常に便利です。
- 横送り縫いのステッチは、すべて実物大でこのテンプレートに印刷されています。
- 縫い始めは○、縫い終わりには＋の印がついています。また、どちらの個所も、テンプレートに穴が開いています。（布に印つけをするのに、便利です。）
- 縫い始めおよび縫い終わりは、画面のステッチ変更エリアにも表示されます。
- ソーイングの方向は、押え金のシンボルおよび細いガイドラインで示されます。
- 押え金は、ガイドラインに対して、いつでも平行になるようにしてください。
- テンプレートを土台布に重ねて、縫い始めを印つけしてください。

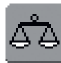


横送り縫いをする

- スライドオンテーブルを使うと、作業スペースを広げることができます。
- 針を、縫い始めの個所に刺します。(テンプレートに表示された方向にご注意ください。)
- テンプレート上のガイドラインが、押え金に対して平行になるように布を置き、テンプレートを外します。
- 縫います。
- 布が自由かつ均等に送られるように、ご注意ください。何かにぶつかったり、引っ張られたりすることのないよう、障害物は排除しておきます。
- ミシンに「手助け」はいりません。布を押したり、引いたりするのはやめましょう。
- 縫い始める前に、テンプレートのガイドラインを布に写しておくと、ステッチの方向が常にわかって、便利です。

横送り縫いと各種機能を組み合わせる

- 横送り縫いは、画面上でアクティブになっている機能のどれとでも組み合わせることができます。(反転等)
- 横送り縫いのモチーフは、サイズ変更できないものがほとんどです。(振り幅および送り長さの変更は、入力できない状態になっています。)



横送り縫いのバランス

- 布地、安定紙、糸その他の要素により、ステッチの形に影響が出る場合があります。
- そのような場合には、バランス機能を使って、調整を行ないます。

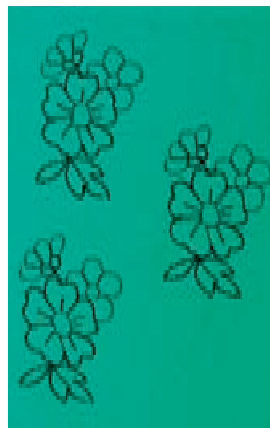
バランスについては、178 ページをご覧下さい。

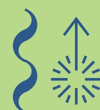
試し縫い

実際に使用する予定の布、安定紙および糸を使って、試し縫いをすることをお勧めします。

テンプレートを使って横送り縫いを組み合わせるには

ステッチ: 横送り縫い
針: 布に適したもの
糸: コットンまたはデコラティブ
送り歯: 上
押え: 横送り縫い押え#40C





テンプレートを使って横送り縫いを配置する

- 土台布にテンプレートを当てて、ステッチの配置を考えます。
- 縫い始めの○を布に写します。



縫い方

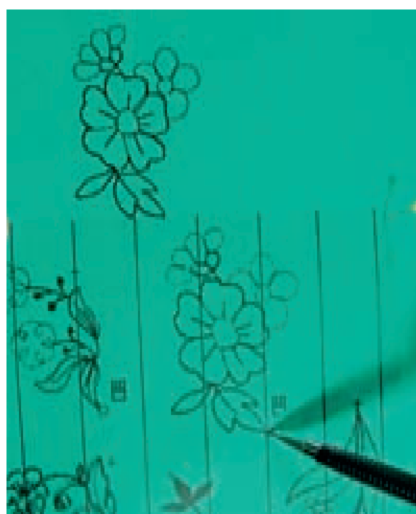
- スライドオンテーブルを使うと、作業スペースが広がります。
- シングルモードのステッチを選択します。
- 押え金を、針が縫い始めの点を刺す位置に、指定の方向に向けて下ろし、縫い始めます。

一模様縫い機能で連続縫い

- 「一模様縫い1～9×」機能を1回タッチ(1の数字が表示されます)します。ミシンは、自動的に停止します。

テンプレートを使って、ステッチを追加する

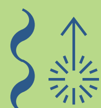
- 他のステッチを追加したい場合には、土台布にもう1度テンプレートを置き、縫い始め点を印付けします。押え金を下ろして、縫います。





自動糸カッター—
横送り縫いは、縫い始めおよび縫い終わりが自動的に返し縫いされるので、自動糸カッター機能を使うと、非常に便利です。

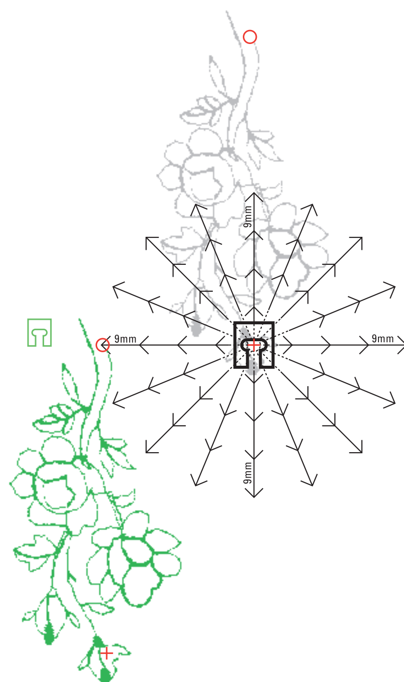
16方向縫いと横送り縫いの組み合わせ



ステッチ: 横送り縫い
針: 布に合ったもの
糸: デコラティブ
送り歯: 上
押え: 横送り縫い用#40C

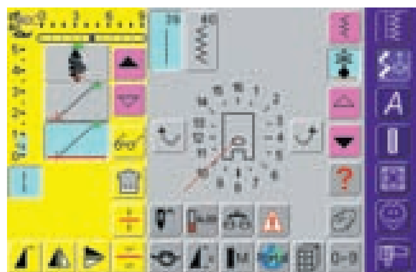
横送り縫いを16方向縫いと自動的に組み合わせるには

- コンビモードで、16方向縫いを指定すると、横送り縫いを様々な方向につなげることができます。



テンプレートを使ってスペースを決めるには

- 最初の横送り縫い(ここではNo.205)のテンプレートを置きます。
- 縫い始めおよび縫い終わりを印付けします。
- 16方向のテンプレートを置いて、2番目のステッチの位置を決めます(最初のステッチと同じ方向にしてください。)。
- 押え金のアイコン(縫う方向を示しています)を、最初のステッチの縫い終わりに合わせてください。
- 2番目のステッチの縫い始めは、16方向のどれかの、スペースポイント(矢印)に合わせるようにします。
- ステッチの方向を間違えないように注意しましょう。また、ステッチ間のスペースを数えておきましょう。(矢印一つが9mmです)。



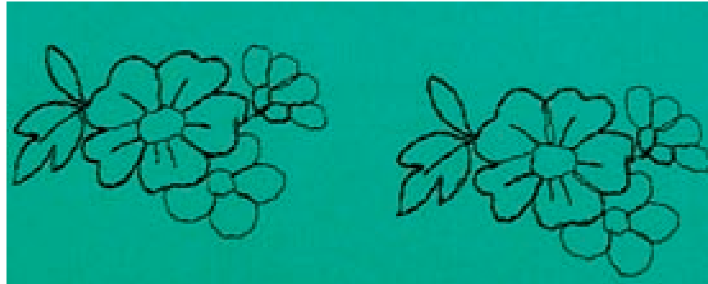
横送り縫いとスペースをプログラムする

- コンビモードで、横送り縫い(ここではNo.205)を選択します。
- 「16方向縫い」を選択します。
- 直線縫いNo.39を選択し、送り長さ1の基本設定にします(3ステッチ＝3mmごとに1回、縫います)。
- オンスクリーンの矢印ボタンで、前と同じ方向を入力します。
- ロングステッチ機能(9ステッチごとに1回縫う)を選択します。
- 直線縫い No.39の(送り長さ1)をロングステッチ機能に組み合わせたので、9mmのスペースができます。
- 直線縫いのステッチ数(これがステッチのつなぎになります)を入力します。数は、必要なスペース(1スペース＝9mm)と同数に設定します。
- ロングステッチ機能を削除することを忘れないようにしてください。
- 2番目の横送り縫いを選択します。

シングルリピートで連続縫いするには、「一模様縫い1－9×」機能を選択しておきます。(画面に「1」が表示されます。)

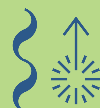
030794.71.10_0401_a200_JP





ステッチのコンビネーションを縫う

- 横送り縫い用押えを、テンプレートにしたがって布の上に下ろします。このとき、針が縫い始めの印を刺す位置にあることを確認してください。
- ミシンは、まず最初のステッチを縫い、それから自動的にステッチのつなぎに移ります。そして、2番目のステッチを縫った後、自動的に停止します。
- 横送り縫いは、自動的に返し縫いされるので、ステッチのつなぎはそのまま始末してください。



コンビネーションを訂正する



ステッチを挿入するには

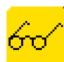
- カーソルで指定した場所に、ステッチを加えることができます。
- ステッチコンビネーションの最初に別のステッチを追加したい場合には、カーソルを、スクロール用の矢印を使って、上に移動します。
- 希望の個所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- 新しいステッチを選択します。
- これで、カーソルで指定した個所に、新しいステッチを追加できました。

ステッチを削除するには



- カーソルで指定したステッチを削除することができます。
- 希望の個所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- 「削除」をタッチします。
- これで、ステッチの削除が完了しました。

コンビネーションの保存については、154 ページをご覧ください。



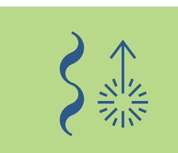
コンビネーションのプレビューについては、156 ページをご覧ください。

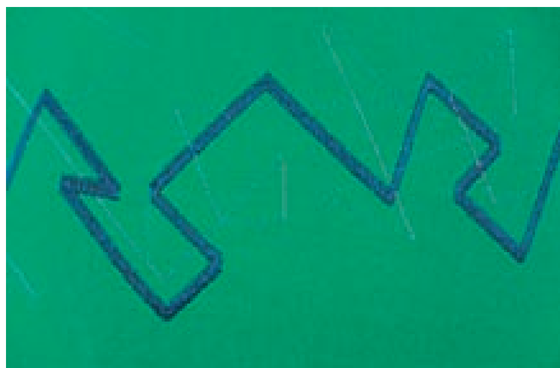


自動糸カッター
横送り縫いは、縫い始めおよび縫い終わりが自動的に返し縫いされるので、自動糸カッター機能を使うと、非常に便利です。

16方向縫い

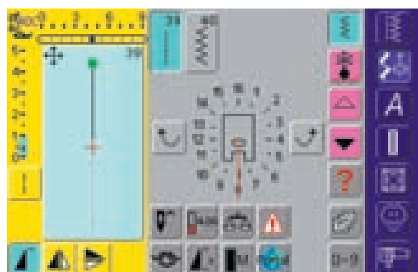
ステッチ: 直線縫い No.39、ジグザグ縫い No.40
針: 布に適したもの
糸: コットン、刺しゅう糸
送り歯: 上
押え: 横送り縫い用押え#40C





16方向縫い

- 自動的に16方向縫いをします(布を動かす必要はありません)。
- 飾り用に最適です。
- 布を動かすことなく、キルティングができます。



画面の表示

- 16方向縫いの画面表示を選択します。
- 直線縫いまたはジグザグをタッチします。
- 16方向への矢印に囲まれた押え金のシンボルが、画面中央に表示されます。
- 左右への矢印のオンスクリーンボタンを使って、1回にワンステップずつ移動することができます。



直線縫い No.39

- 3ステッチに1回、縫うステッチです。
- 基本のセッティングは、送り長さ1=3mmですが、0から1(=0~3mm)の範囲で変更できます。
- これに加えて、ロングステッチ機能を選択すると、ミシンは9ステッチに1回縫うようになります。(送り長さの基本セッティングは、1=9mmとなります。)

ジグザグ No.40

- 送り長さはサテンステッチの設定となっており、0から1mmの範囲で変更できます。
- 振り幅は、0~9mmの範囲で調整できます。

縫い方

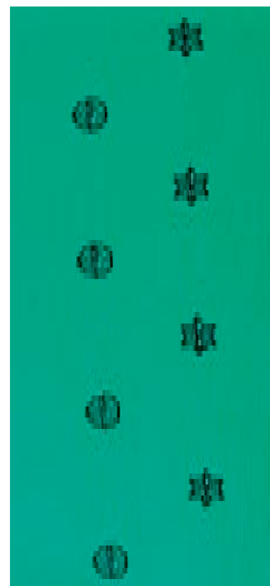
- ステッチを選択します。
- 必要な場合には、振り幅および送り長さを調整します。
- 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、縫う方向を指定します。
- これで、選択したステッチを、指定した方向に縫うことができます。

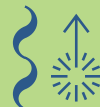
方向を変更するには

- 必要な長さを縫い終わったら、ミシンを止めます。
- 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、方向を変更します。
- 続けて縫います。

ステッチのつなぎ（ロングステッチ機能と直線縫いの組み合わせ）

ステッチ：　直線縫い No.39
針：　布に適したもの
糸：　コットン、刺しゅう糸
送り歯：　上
押え：　横送り縫い用押え＃40C





16方向を直線縫いでつないで縫う

- モチーフを、広い範囲にばらばらに配置したいときに使います。
- モチーフや横送り縫い、モノグラムの文字等をつなげて縫います。
- 縫い終わったら、直線縫いの長い部分の糸は切り取ります。

ロングステッチ機能と直線縫いの組み合わせ

- ・39番の直線縫いを選択し、送り長さ1の基本設定にすると、3ステッチ＝3mmごとに1回、縫うことができます。
- ロングステッチ機能（9ステッチごとに1回縫う）を追加すると、9mmのスペースができます。
- ステッチの長さは、変更可能です。

自由に方向を決めて縫うには

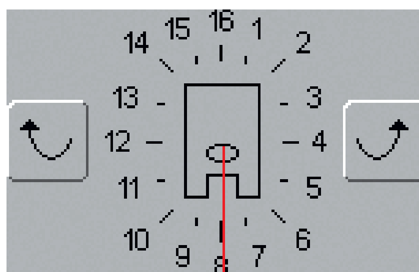
- 飾りステッチを選んで、一回縫います。（一模様縫い機能1-9Xアイコンを一回タッチします）
- 直線縫い No.39を選択します。
- 矢印のオンスクリーンボタンを使って、縫う方向を指定します。
- ロングステッチ機能をタッチします。
- ステッチのつなぎを縫います。（ミシンが自動的に指定の方向に指定したつなぎを縫います）。
- 外部の一模様縫いボタンを押します。
- 縫い終わると、ミシンが自動的に停止します。

ロングステッチ機能を削除しておくことを、忘れないようにしてください。

コンビモードでコンビネーションをデザインする

- 自由に方向を決めて縫っていく代わりに、コンビモードで、ステッチとつなぎを合わせてプログラムしてしまうこともできます。

ステッチのプログラムは、横送り縫いやモノグラムの文字の組み合わせと同様の方法で行ないます。



- 飾りステッチを選んで、一回縫います。（一模様縫い機能1-9Xアイコンを一回タッチします）
- 直線縫い No.39を選択、矢印のオンスクリーンボタンを使って、縫う方向を再度指定します。（前の方向とは違ってもかまいません）。ロングステッチ機能をタッチして、ステッチのつなぎを縫います。この手順を繰り返します。



ご注意
モチーフの縫い始めと縫い終わりを返し縫いするため、返し縫い機能をオンにしておきます。ステッチのつなぎを始末した後、モチーフがほつれるのを防ぐことができます。



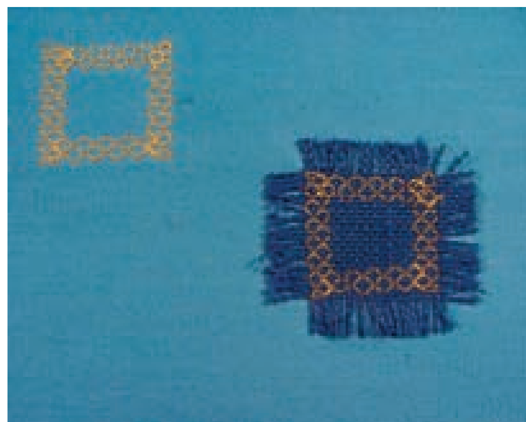
- 連続横送り縫いについては、92ページ
- モノグラムの文字の連続については、105ページ
- コンビネーションの保存については、154ページを、それぞれご覧ください。

4方向縫い

ステッチ:	模様縫い No.41ー48
針:	布に合わせたもの
糸:	コットン、刺しゅう糸
送り歯:	上
押え:	横送り縫い用押え＃40C

4 方向縫い

- 土台布を回さずに、4 方向縫いします。
- 飾り縫いで四角形を作りたいとき、
- 四角形をアップリケするとき、
- 継ぎ当て（特にズボンや袖など）するときに、最適です。





画面の表示

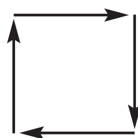
- 4 方向縫いのスクリーンを選択します。
- 8 種類の中から選ぶことができます。
- No.41　直線縫い
- No.42　ジグザグ縫い
- No.43　トリコットステッチ
- No.44　ランニングステッチ
- No.45　ダブルオーバーロックステッチ
- No.46　ボタンホールステッチ
- No.47　スーパーストレッチステッチ
- No.48　ネットステッチ

- 4方向の押え金の表示が画面中央に現われます。
- 矢印を用いて方向を選択してください。
- これらのステッチの幅は、変えることは出来ませんが、送り長さは、返し縫いおよび前進するときの両方とも、変更可能です。

準備

- 布の上に四角形のパッチを配置し、必要ならば待ち針を打って、しつけがけします。
- パッチは、まず両面接着芯で布に固定しておきます。

両面接着芯については、143 ページ「アップリケの準備」をご覧ください。



四角形の縫い方

- ステッチを選択します。
- 四角形は、時計回りに縫っていくのがよいでしょう。
- 一辺を振り縫い（四角形の内側と外側ぎりぎりを交互に縫う）します。
- 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、方向転換します。
- 次の一辺を縫います。同様の手順を繰り返します。



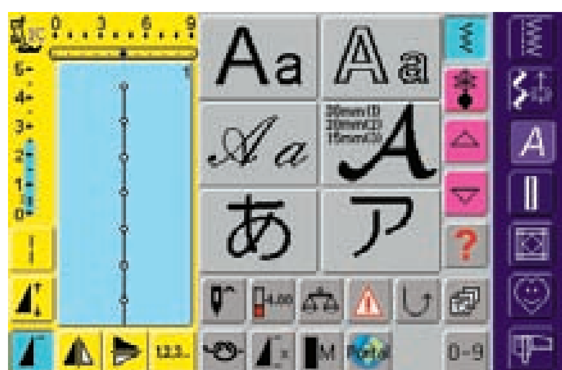
レタリング



文字
- レタリング選択ボタンを押します

A

まとめ



レタリングメニュー
- レタリングメニューが表示されます

Aa **ブロック体**

Aa **ダブルブロック体**

Aa **イタリック体**

あ ひらがな

ア かたかな

漢 漢字

A **モノグラム**
30/20/15mm、
(横送り縫い)

フルステッチサマリーについては、264ページをご覧ください。

レタリングを上手に縫うポイント

レタリング – 文字、数字、特殊文字



- 7種類の字体があります。
- モノグラム以外の字体は、2種類のサイズで縫うことが可能です。（小文字も同様です）
- モノグラムは、3サイズあります。

使い方

- 名前、モノグラム、住所の刺しゅう用に
- 単語または文章の刺しゅう用に
- キルト作品のラベル作りに

A



文字の選択

- 文字ボタンを押します。
- 文字メニューが画面に表示されます。
- ブロック体（9mm）
- ダブルブロック（中抜き文字）体（9mm）
- イタリック体（9mm）
- ひらがな（9mm）
- カタカナ（9mm）
- 漢字（9mm）
- モノグラム30/20/15mm（横送り縫いによる）
- 各文字をタッチすると、選んだ文字が左画面に表示されます。



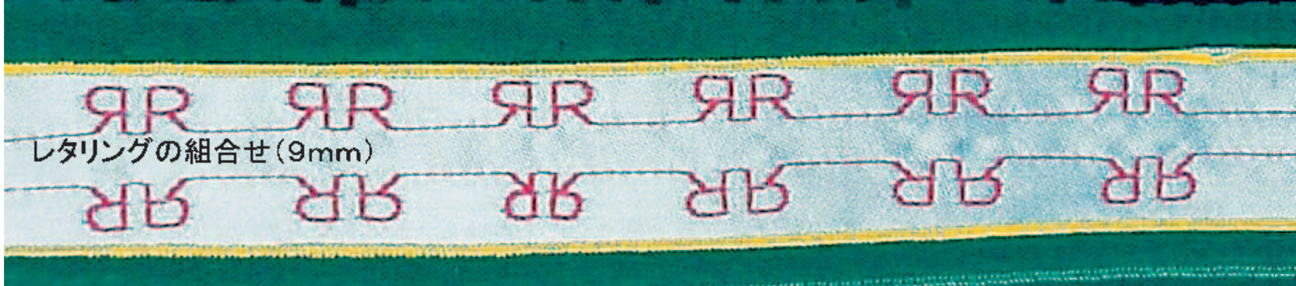
スクリーン上での文字の選び方

- 大文字、数字、句読点および特殊文字は、画面をスクロールすれば見られます。
- 画面上で、「A/a」アイコンをタッチすれば、サイズを縮小して縫えます。

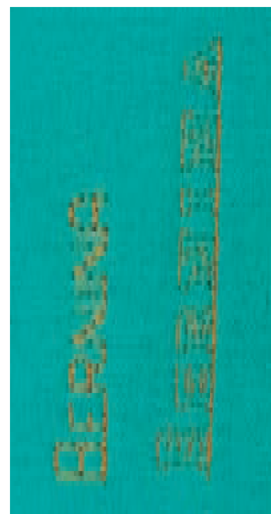
ステッチを完璧に仕上げるには

- 上糸、下糸を同色にします。
- 作品の裏側に安定紙を置いて補強します。
- タオル地や毛足の長い布（ウール、ベルベット等）の場合は、刺しゅうするサイズに合わせた水溶性安定紙を上下にあてて布をはさみこみます。
- 薄手の布地には、単純な形の文字（ダブルブロック体等）を、直線縫いでプログラムし、厚手の布地には、モノグラム等のサテンステッチを使ったレタリングを適用すると、効果的です。

030794.71.10_0401_a200_JP



ステッチ：	9mmレタリング
針：	布に合ったもの
糸：	コットン、刺しゅう糸
送り歯：	上
押え：	スーパー模様押え#1C



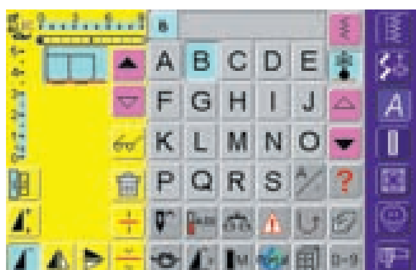
9mmのレタリング

- 一つ一つの文字、および同じ字体の同じ文字を連続する場合には、シングルモード、
- 名前、住所、言葉等を刺しゅうするには、組合せモードを使います。

A

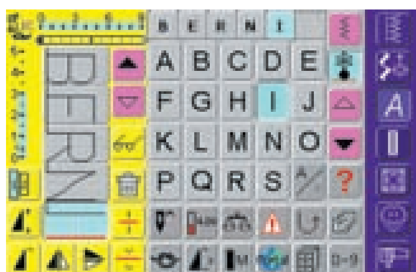
アプリケーション

組合せモードのレタリング



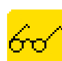
文字を組合せるには

- 組合せモードを開き、必要な文字を選びます。
- 文字は、ステッチ操作エリアの、文字メニュー上のバー部分に表示されます。
- カーソルは、文字の下に表示されます。

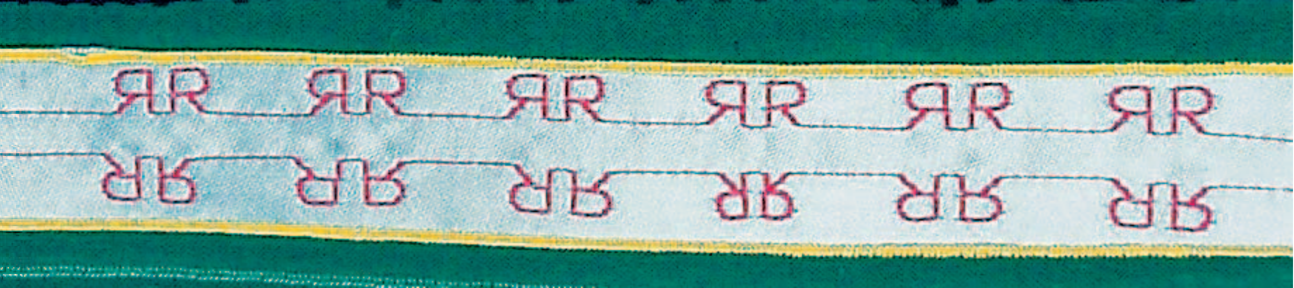


続けて、

- 次の文字を選んで、ボタンをタッチします。
- 2番目の文字が、ステッチ操作エリアに表示されます。



組合せのプレビューについては、156 ページをご覧ください。



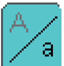
レタリングと各種機能を組合せる



サイズ変更

- レタリングのプログラムをする前に、機能を選んでおきます。
- 文字のサイズボタンをタッチすると、2番のフィールドが青く表示されます。
- 文字サイズは、6mmに縮小されました。
- 文字サイズをもう一度タッチすると、大きなサイズに戻り、1番のフィールドが青く表示されます。





小文字を選択する

- レタリングのプログラムをする前に、機能を選んでおきます。
- 大文字小文字ボタンをタッチします。
- フィールドが青く表示されるのは、小文字が選択されている状態です。

もう一度、大文字小文字ボタンをタッチすると、大文字に戻ります。

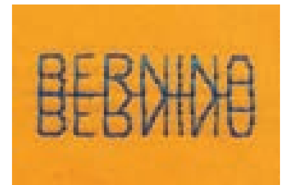




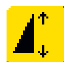


レタリングを反転する

- 「左右の反転」をタッチすると、ステッチは左右に反転されます。
- 特殊効果を狙う場合には、「上下の反転」を選んでもよいでしょう。



左右反転組合せについて、詳しくは、158 ページをご覧ください。



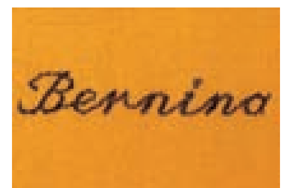
拡大機能を使って、レタリングを引き伸ばす

- 模様拡大機能アイコンを一回タッチします。
- 選んだ模様や文字などが2倍に拡大されます。



レタリングと各種機能を組合せた例

- 「組合せモード」を開いて、イタリック体を選んで、大文字のBをタッチします。
- 大文字の「B」が、ステッチ操作エリアに表示されます。小文字機能を選んで、ernina を小文字で選びます。
- ステッチ操作エリアには、Bernina の文字列が表示されます。





繰り返しによるパターン組合せ

- パターンの組合せを作成します。
- 「一模様縫い」ボタンを、一回から9回までの間でタッチします。(1から9までの数字が表示されます。)
- ミシンは、指定の回数だけパターンを縫って、自動的に停止します。

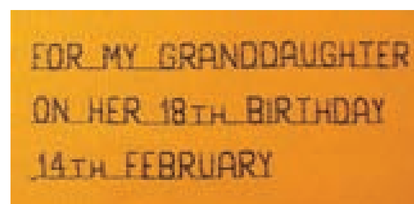
A





組合せの分割機能（サブディバイダー）

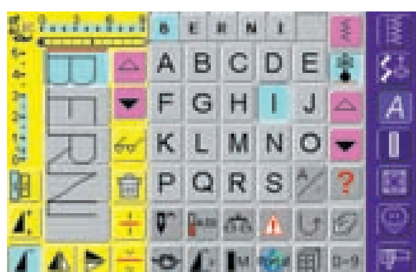
- 組合せの分割機能は、住所等のテキストを、スペースを入れて並べて刺しゅうしたい場合に使用します。
- 「分割機能」を、必要な個所に挿入して、縫います。ミシンは、最初の切れ目で自動的に停止します。
- 布を置き直します。
- 再度縫い始めると、ミシンは2番目の切れ目で再度停止します。
- 同じ手順を繰り返します。



ご注意
レタリングを均一なスペースで並べるために、布にガイドラインを引いておくとよいでしょう。センタリングされたテキストに関しては、まず試し縫いをして間隔を測り、それからガイドラインを引くようにします。

A

組合せを訂正するには



文字を挿入する

- カーソルで指定した個所に、文字を追加できます。
- レタリングの始めに文字を追加するには、カーソルを上にスクロールします。
- ステッチ操作エリアの文字を選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- 新しい文字を選びます。
- これで、新しい文字がカーソルの上に挿入されました。



文字を削除する

- カーソルで指定している文字を削除できます。
- ステッチ操作エリアの文字を選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- 「ごみ箱」アイコンをタッチします。
- これで文字を削除できました。

組合せの保存に関しては、154 ページをご覧ください。



返し縫い機能（小さく4ステッチ）をプラスするには

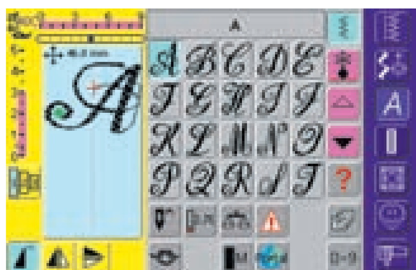
自動返し縫いには、いくつか方法があります。

1. 縫い始めに返し縫いをするには、先に、機能ボタンをタッチしておきます。
2. 終わりに返し縫いをするには、ステッチを終わってから、機能ボタンをタッチします。
3. 縫い始め、縫い終わりのそれぞれに返し縫いをするには、組合せの中に機能をプログラムしておきます。

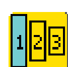


特殊針（2本針等）を使用するには

- 特殊針を取りつけてから、セキュリティプログラムの「2本針」を指定します。
- これで、ステッチの振り幅が、針の種類によって自動的に制限されます。
- 通常の針を使用する際も、レタリングのサイズをあまり大きくしたくない場合には、振り幅を制限することができます。



モノグラム（横送り縫い）
- 横送り縫いとは、布を前後と同時に左右にも送りながら縫われる、大きなステッチのことです。
- 横送り縫いは、ステッチ操作エリアの4本の矢印で選択できます。
- 開始地点（グリーンのポイント）および終点（赤の十字）は、ステッチ操作エリアで確認できます。



モノグラムのサイズについて
- レタリングサイズの1番は、30mmです。
- モノグラムのプログラムを起動すると、通常、1番のサイズが適用されます。
- サイズの1番は、1文字用なので、1文字刺しゅうするごとに返し縫いをして、ミシンが自動的に停止します。
- マニュアルに添付されているテンプレートは、1番のサイズのモノグラムです。

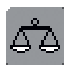
レタリングサイズ2番は、20mmです。
- 文字サイズボタンをタッチすると、2番のフィールドが青く表示されます。
- サイズの2番は、水平に連続して刺しゅうされます。

レタリングサイズ3番は、15mmです。
- 文字サイズボタンをタッチすると、3番のフィールドが青く表示されます。
- サイズの3番は、水平に連続して刺しゅうされます。



横送り縫いを縫う
- スライド式テーブルを使って、作業スペースを広げましょう。
- 布が自由に、均一に動くようにします。布が何かにぶつかったり、引きずられたりしないように注意します。
- 布を押したり、引いたり、押え付けたりしないようにしましょう。

ご注意
サイズ1番のモノグラムは、サイズ2番、3番とは違った手順で処理されます。サイズ1番については、104 ページから 106 ページを、サイズ2番と3番については、107 ページから 108 ページをご覧ください。



バランス
- 布の種類、安定紙、糸の質等によって、ステッチのパターンが多少変わってしまうことがあります。
- ステッチの調整には、バランス機能を使用します。

試し縫い
本番前に、使用する布、安定紙、糸と同じものを使ってテストするのがよいでしょう。

A

モノグラム・サイズ1



ステッチ：	モノグラム・サイズ1
針：	布に合ったもの
糸：	コットン、刺しゅう糸
送り歯：	上（ソーイング位置）
押え：	横送り縫い用押え#40C



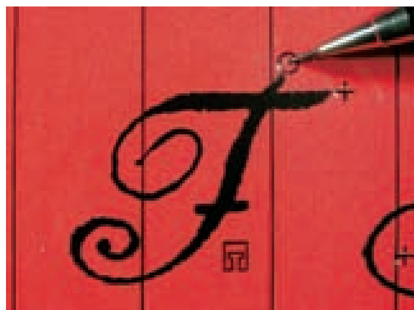
サイズ1のモノグラム

- サイズ1のモノグラムは、1文字用なので、1文字刺しゅうするごとに留め縫いをして、ミシンが自動的に停止します。
- モノグラムの位置を決めるのに、テンプレートが便利です。
- モノグラムのレイアウトおよび組合せは、テンプレートを使っても可能ですが、自動的に16方向のいずれかに並べることもできます。

テンプレートを有効に使う

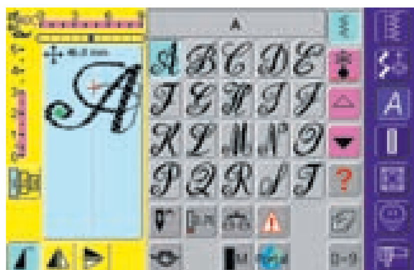
- 取扱説明書に添付されたテンプレートは、布のどの位置にステッチをするかを決めるのに便利です。
- モノグラムのサイズ1はすべて、実物大でテンプレートに印刷されています。
- 画面上で縫い始めは青い○印で、縫い終わりは赤い＋印で示されています。どちらもテンプレートに穴の開いた状態になっているので、布にマークすることができます。
- 縫い始めおよび縫い終わりは、画面上でも見ることができます。
- 縫い進む方向は、押え金のシンボルおよび細いガイドラインで示されます。
- 押え金は、ガイドラインに対して常に平行に進めるよう布を軽く指でガイドします。

テンプレートを使って、モノグラムの文字をマニュアルで組合せる



テンプレートを使って、モノグラムの文字を組合わせる

- テンプレートを使って、文字を好きな位置に配置します。
- 縫い始めを、布にマークしておきます。



縫い方

- シングルモードで文字を選びます。
- 横送り縫い用押えを、テンプレートに従って布の上にセット、針が縫い始めの個所を刺すようにします。
- 文字を刺しゅうします



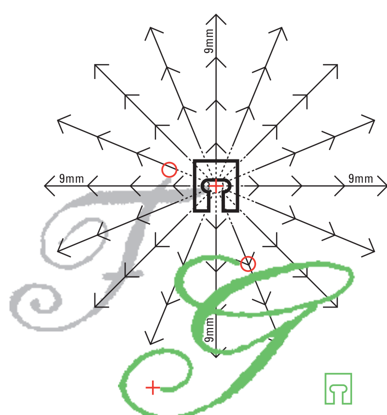


テンプレートを使って文字を追加する

- 縫い始めをマークして、文字を選んで、押え金をセット、刺しゅうする、という手順を繰り返します。

モノグラムの組合せを、自動的に16方向へつなげるには

モノグラムの文字を一文字ずつ組合せる代わりに、テンプレートと16方向へのソーイング機能を使って、自動的につなげます。



テンプレートを使って、スペースを決める。

- モノグラムの最初の文字（ここでは「F」）の上から、テンプレートを置きます。
- 縫い始めと縫い終わりをマークします。
- 16方向へのソーイングテンプレートを使って、モノグラムの2番目の文字（最初の文字と同方向を向いたもの）を配置します。
- 押え金のアイコンの方向（進む方向を示すもの）は、最初の一針の終わり部分に合わせておきます。
- 2番目の文字（ここでは「G」）の縫い始めは、16方向の一つおよび矢印のスペース用ポイントの一つに重なるようにしてください。
- 次のステッチの方向を確認して、間にあるスペースの数を数えます。（9 mm）



モノグラムとスペースをプログラムする

- 組合せモードで、必要な文字を選びます（ここでは「F」）。
- 16方向縫いを、飾りステッチのカテゴリーで選びます。
- 39番の直線縫いを、送り長さの基本セットアップ1番（3ステッチごとに、3mm縫う）にセットアップします。
- 進む方向を選びます。
- ロングステッチ機能（9ステッチごとに、一回縫う）を起動させます。
- 39番の直線縫い（送り長さ1番）をロングステッチと組合せると、9mmのスペースを置くことができます。
- 数えておいたスペースの数により、つなぎに必要なステッチ数をプログラムします（ステッチのつなぎ）。
- ここで、ロングステッチ機能を解除してください！
- 2番目の文字を選びます。（ここでは「G」）
- 一文字ごとに縫い進めるには、一模様縫い機能を起動しておきます。（1番が表示されます。）



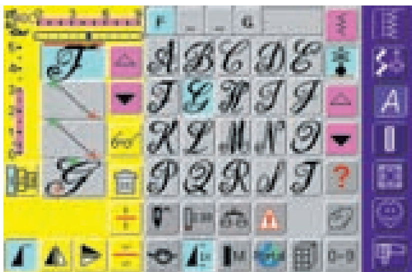
モノグラムを縫う

- 横送り縫い押えをテンプレートにしたがって布の上に置き、針が文字の縫い始めを刺すようにします。
- まず最初の文字（F）を刺しゅうし、それから自動的にステッチのつなぎを縫い、そして2番目の文字（G）を刺しゅうした後に、ミシンは自動的に停止します。
- モノグラムは自動的に返し縫いされるので、ステッチのつなぎは、カット処理することができます。



A

組合せを訂正する



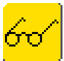
ステッチを挿入する

- カーソルで指定した個所に、ステッチを挿入できます。
- 例えば、レタリングのトップにステッチを追加するには、赤い線のカーソルを一番上までスクロールします。
- 挿入したいステッチがある画面を出します。
- 新しいステッチを選びます。
- これで、新しいステッチがカーソルの上に挿入されました。



ステッチの削除

- カーソルで指定しているステッチを削除できます。
- ステッチ操作エリアの削除したいステッチを選びます。
- 「ゴミ箱」アイコンをタッチします。
- これでステッチを削除できました。



組合せのプレビューについては、156 ページをご覧ください。

組合せの保存に関しては、154 ページをご覧ください。



自動糸カッター

横送り縫いは自動的に返し縫いされるので、ステッチのつなぎは、自動糸カッターで処理すると便利です。

サイズ2番および3番のモノグラム

ステッチ: サイズ2番および3番のモノグラム
針: 布に合ったもの
糸: コットン、刺しゅう糸
送り歯: 上(ソーイング位置)
押え: 横送り縫い用押え#40C



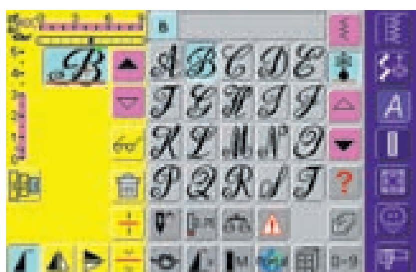


サイズ2番および3番のモノグラム

- サイズ2番および3番のモノグラムは、連続して横方向に縫い進みます。
- サイズ2番および3番のモノグラムは、9mmのレタリングと同様の方法で処理されます。

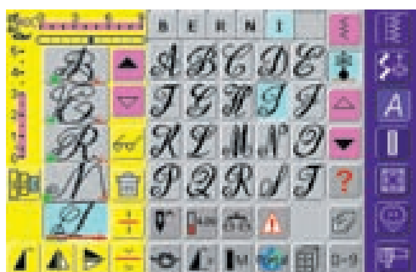
A

組合せモードでのサイズ2番および3番のモノグラム



サイズ2番と3番のモノグラムを組合せるには

- 組合せモードを開き、必要な文字を選びます。
- 選んだ文字は、ステッチ操作エリアに表示されます。
- カーソルは、文字の後方に表示されます。



さらにプログラムしてゆきます

- 次の文字を選んで、ボタンをタッチすると、ステッチ操作エリアに表示されます。

ご注意:
日本語をメモリーに入力する場合には、アルファベットのように、入力した文字を画面最上段に表示しませんが、縫いには影響ありません。



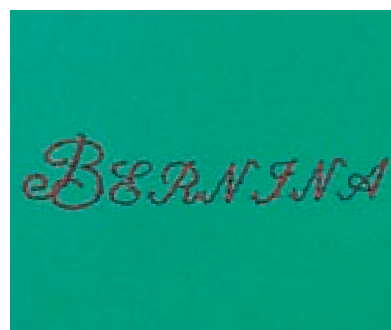
組合せのプレビューについては、156 ページをご覧ください。



サイズ2および3のモノグラムと各種機能を組合せるには

レタリングと各種機能を組合せた例

- 「組合せモード」を開いて、Bをタッチします。
- 「B」が、ステッチ操作エリアに表示されます。
- サイズ2番のモノグラムを選んで、「E」をタッチします。
- サイズ3番のモノグラムを選びます。
- 続けて、R、N、I、N、Aの順番に選んでいきます。
- ステッチ操作エリアには、BERNINA の文字列が表示されます。



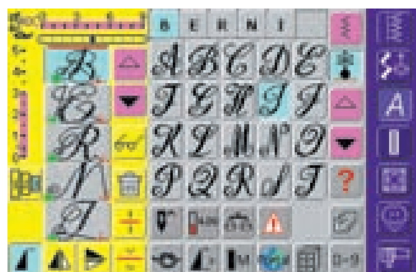
A



繰り返しによるパターン組合せ

- 組合せを作成した後、「一模様縫い」ボタンを、一回から9回までの間でタッチします。（1から9までの数字が表示されます。）
- 選んだ回数だけ、パターンを刺しゅうすると、ミシンが自動的に停止します。

組合せを訂正する



ステッチを追加する

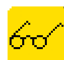
- カーソルで指定した個所に、ステッチを追加できます。
- レタリングの始めにステッチを追加するには、カーソルを上にスクロールします。
- ステッチ操作エリアのステッチを選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- 新しいステッチを選びます。
- これで、新しいステッチがカーソルの上に挿入されました。



ステッチの削除

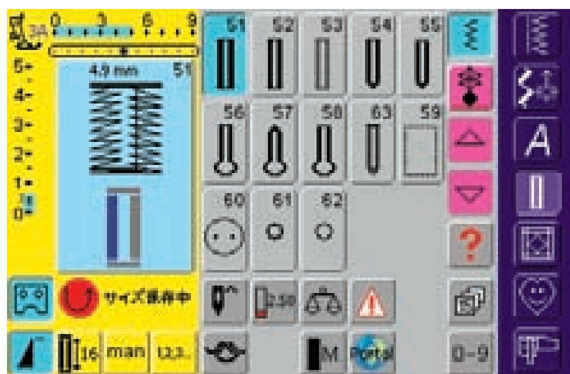
- カーソルで指定しているステッチを削除できます。
- ステッチ操作エリアのステッチを選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- 「ごみ箱」アイコンをタッチします。
- これでステッチを削除できました。

組合せのプレビューについては、156 ページをご覧ください。



組合せの保存については、154 ページをご覧ください。

ボタンホール



まとめ

ボタンホール縫いと用途



標準ボタンホール
薄手から中厚手の生地。ブラウス、シャツ、ズボン、ドレス、寝具等に



標準ボタンホール（幅小）
薄手から中くらいの厚さの生地 ブラウス、シャツ、幼児服等



ストレッチボタンホール
木綿、化繊、シルクウールのあらゆる伸縮性ある生地。



ラウンドエンドボタンホール（標準バータック）
中、厚地に最適、洋服、ジャケット、コート、レインコートなどに



ラウンドエンドボタンホール（水平バータック）
中、厚地に最適、洋服、ジャケット、コート、レインコートなどに



標準鳩目ボタンホール
厚地、伸縮性のない生地。
ジャケット、コート、ズボン、レジャーウェアー等に。



鳩目ボタンホール（ポイントバータック）
伸縮性のない堅い生地に。
ジャケット、コート、レジャーウェアーに。



鳩目ボタンホール（水平バータック）
厚地で伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン等



手縫い風ボタンホール
薄手から中くらいの厚さの生地 ブラウス、レジャーウェア、ベッドカバー等



直線縫いボタンホール
ボタンホールの準備縫いに、ポケットの開口部に、レザーやウルトラスエードなどに。



ボタン付け
二つ穴、または四つ穴のボタン付けに。



ジグザグ・アイレット
紐穴や、リボンやバンド穴、飾り縫いに。



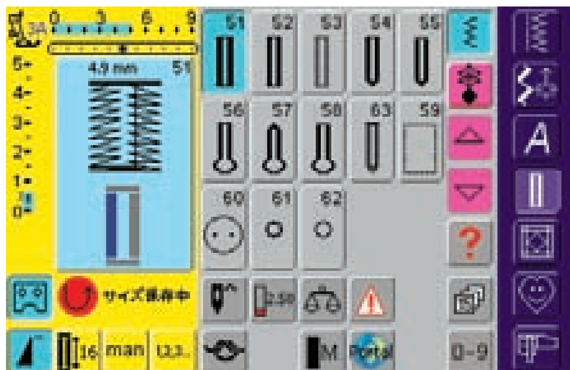
直線縫いアイレット
鳩目穴、細ひもやリボンの挿入口に。

030794.71.10_0401_a200_JP

ボタンホールについて

ボタンホールは装飾的な効果にも使うことができる実用的なステッチです。アーティスタ 200 では、幅広い選択肢をご用意いたしました。

すべてのボタンホールは、さまざまな方法でプログラムして縫うことも可能です。



ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレット



- ボタンホール用のボタンをおします。
- 画面にはボタンホールとアイレットの全種類の概観が表示されます。

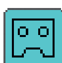
ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレットの選択

- 選んだボタンホールをタッチします。
- 選んだボタンホール、アイレットまたはボタン付けプログラムが起動します。
- No.51 から No.63 のステッチのいずれかが起動している場合、使用できるすべての機能は、機能ツールバーに表示されます。

- ボタンホールの使い方については、116 ページから 133 ページをご覧ください。

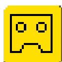
ボタンホールプログラム機能

No.51-59,そして No.63 のいずれかのボタンホールが選ばれている場合には、下記の機能が画面下に表示されます。



ボタンホールの長さをプログラムする

- ボタンホールを選択している場合、シンボルは自動的に青くハイライトされています。
- 手元返し縫いボタンで、ボタンホールの長さを直接決定します。
- プログラムが完了すると、ハイライトは消えて、シンボルの表示は黄色くなります。
- 新しい長さをプログラムする場合には、シンボルをもう１度選択してください。





手動でボタンホールを縫う

- シンボルをタッチすると、特殊画面が開きます。
- 手動のボタンホールを4ステップ、または6ステップで縫います。（どちらにするかは、ボタンホールのタイプによってちがいます。）

使い方

- 手動で一つ一つボタンホールを縫う場合ボタンホールの修理をしたい場合に、適しています。



ボタンホールの長さをプログラムする

- ボタンホールを選択している場合、シンボルは自動的に青くハイライトされています。
- 手元返し縫いボタンで、ボタンホールの長さを直接決定します。
- プログラムが完了すると、ハイライトは消えて、シンボルの表示は黄色くなります。
- 新しい長さをプログラムする場合には、シンボルをもう１度選択してください。

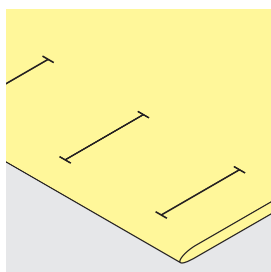


ステッチカウント式ボタンホール

- ボタンホールを選択します。
- シンボルをタッチして、ステッチカウント式ボタンホールを起動します。
- ボタンホールの最初の一列が、必要な長さに達したら、外部の手元返し縫いボタンを押します。
- 続いて、2番目の列の長さを同様の方法で決定すると、「自動ステッチカウント式」の画面に変わります。
- ボタンホールのプログラムが完了しました。

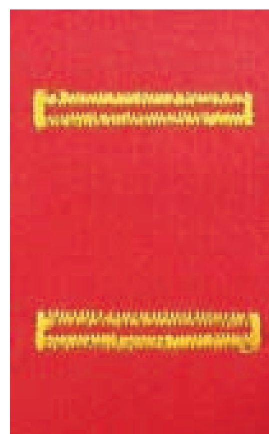
ボタンホールに関する重要事項

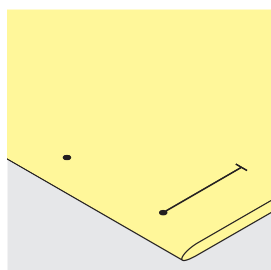
ボタンホールの印をつける



マニュアル（手動）で縫うボタンホールの場合

- ボタンホール押え＃3C を使います。
- マニュアルで縫うボタンホールの場合は、特に布にきちんと印をつけておく必要があります。

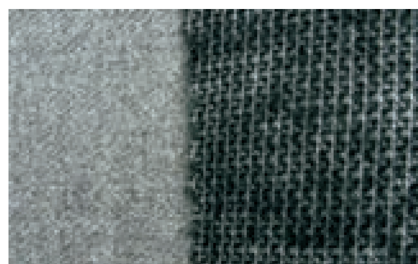




自動ボタンホールの場合

- 自動ボタンホール押え＃3Aを使います。
- 最初のボタンホールの位置に、長さの印をつけます。
- 最初のボタンホールを縫うと、次々自動的にボタンホールがプログラムされます。
- 2番目からは、ボタンホールを縫い始める位置のみ、印付けをします。
- ボタンホールの長さとは、ボタンホールの開き部分を指します。（mm単位）

ボタンホール用の安定紙について


1


2

自動ボタンホール

- 必ず安定紙を使いましょう。(1) 仕上がりがきれいになります。
- 安定紙は、布のタイプに合ったものを選びます。
- 分厚く、毛羽立ったタイプの布には、刺しゅう用の安定紙を使います。(2) 布の送りが、スムーズになります。

ボタンホールを縫う

試し縫い

- 必ず、同じ布、同じ芯地を使い、同じ種類のボタンホールを縫います。
- ボタンホールを縫う方向も、同じにしてください。（織り目に対して、順目か逆目かをよく確認しましょう。）





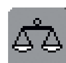
調節

- ピッチ幅の調節は、振り幅で行ないます。
- 穴かがりの縫い目の数は、送り長さで調節します。
- 送り長さの変更は、自動であっても、手動であっても、常に左右両方に適用されます。（縫い目を密、または粗くします）。

糸調子

- ボタンホールを選択すると、糸調子は自動的に最適の状態にセットされます。
- 上糸は、少しゆるく自動調節されます。
- この糸調子で縫うと、表側で丸みを帯びた形に縫いあがり、非常にきれいに仕上がります。

ボタンホールのバランスについて

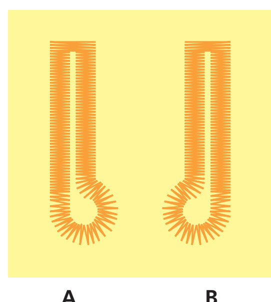


標準ボタンホールの長さを直接入力する場合のバランス

- バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。

ご注意

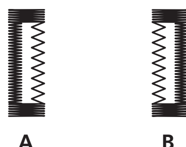
長さを直接入力して、マニュアルでボタンホールを縫う場合には、ボタンホール一つ一つにバランス調整をすることが可能です。ステッチカウント方式のボタンホールでは、左右どちらか一方の縫い目のみの調整を行なうことが可能です。調整を行なった場合、鳩目部分も同様に変更されます。



A　B

長さを直接入力した丸型とキーホール（鳩目）ボタンホールのバランス

- バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。
- 丸型およびキーホールのバランスは、以下のような手順で調整します。
  1）　キーホールまたは丸型部分に来るまで、直線縫いをし、ミシンを止めます。
  2）　「バランス」をタッチして、バランス画面の右側に表示された図を、送り長さの調節つまみを回して、好きなように調整します。
- キーホールが右に向ってゆがんでしまった場合（A）には、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。
- 左に向ってゆがんだ場合（B）には、送り長さ調節つまみを時計と反対回りに回します。
  3）　「OK」をタッチして、ボタンホールを完成させます。



A　B

ステッチカウント方式ボタンホールのバランス

- バランスの調整は、左右の縫い目それぞれに、違うように作用します。
- 左側の穴かがりが密すぎる場合（写真 A）:
  送り調節つまみを反時計方向に回します。左側が長く、右側が短くなってバランスします。
- 左釜の穴かがりが粗すぎる場合(写真 B):
  送り調節つまみを時計方向に回します。左側が短く、右側が長くなってバランスします。
- バランスの調整後は、ボタンホールのプログラムをやり直してください。

マニュアル（手動）の標準ボタンホールのバランス

- バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。

マニュアルのキーホールまたは丸型ボタンホールのバランス

- バランスの調整は、左右の縫い目それぞれに、違うように作用します。
- キーホールまたは丸型部分は、以下のように調整します。
- キーホールが左側にゆがんでしまった場合には（B）、送り長さ調節つまみを時計と反対回りに回します。
- キーホールが右側にゆがんでしまった場合には（A）、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。

お勧め

- 実際の布地に試し縫いをしてみましょう。



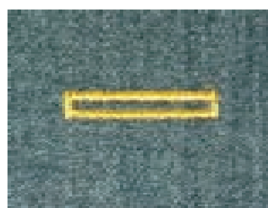
バランスをクリアーするには

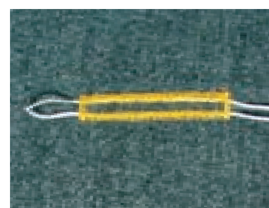
- バランスの特殊画面で「リセット」をタッチするか、外部の「クリアー」ボタンを押します。ただし、「クリアー」は、プログラムしたボタンホール自体を消去してしまうので、ご注意ください。

芯入りのボタンホール

芯糸

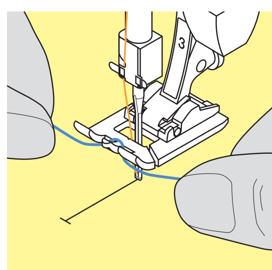
- 芯糸はボタンホールを補強し、きれいに仕上げます。
- 芯糸の輪の部分が、もっとも力のかかるボタンホールの端に来るように考えて、
- 押えの位置を決めます。
- 芯糸は、標準ボタンホールおよび伸縮ボタンホールに使うと、非常に効果的です。





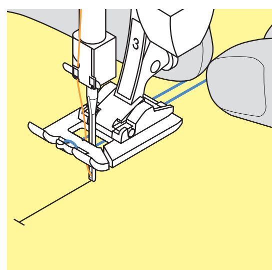
芯糸用には

- パールヤーンの8番
- 太く丈夫な手縫い糸
- 細い鉤針編みの毛糸



ボタンホール押え#3Cの突起部分に芯糸をかける

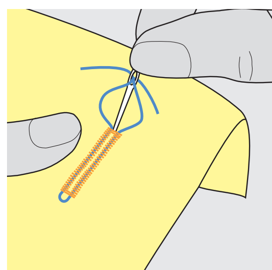
- ボタンホールの縫い始めに針を刺します。
- 押えを上げます。
- 押えの前方中心にある突起に芯糸をひっかけます。



- 芯糸の端は2本そろえて、押えの下の2本の溝を通して後方に引きます。
- 押え金を下げます。

縫い方

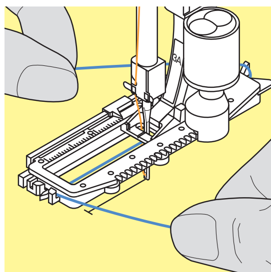
- ボタンホールを縫い始めます。芯糸は、強く引っ張らないようにご注意ください。
- 芯糸を包むようにボタンホールが縫われ、芯糸は見えなくなります。



芯糸の始末

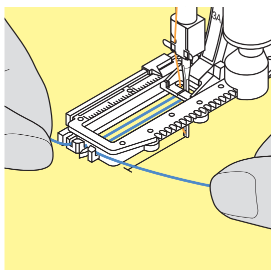
- 芯糸のループが隠れるまで、両端を引っ張ります。
- 手縫いの針を使って、芯糸の両端を裏側に通し、結びます。

押え金3番Cを使って、キーホールおよび丸型ボタンホールに芯糸を入れることも可能です。



布ガイド付き自動ボタンホール押さえ3番Aを使った芯糸のかけ方

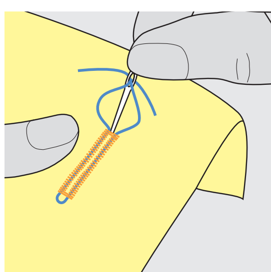
- ボタンホールの縫い始めに針を刺します。
- 押え金を上げます。
- 芯糸を両手に持って、押えの後ろにある突起に上からかぶせるように、芯糸を引っ掛けます。
- 両方の芯糸を押えの下を通して、手前に持ってきます。



- 芯糸の両端を両手で持って、自動ボタンホール押えの前に持ってきます。
- 両方の芯糸を、左右の芯糸止めに、それぞれ引き込みます。

縫い方

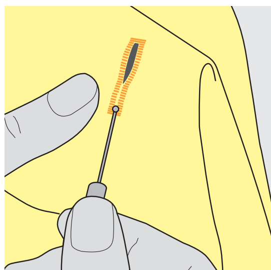
- ボタンホールを縫い始めます。
- ソーイング中は、芯糸を持たないようにご注意ください。
- 芯糸を包み込むようにボタンホールが縫われます。



芯糸の始末

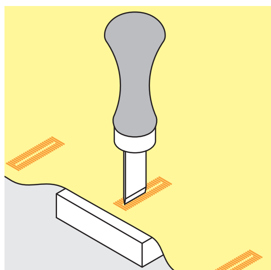
- 芯糸のループが隠れるまで、両方の芯糸の端をボタンホールに沿って引きます。
- 手縫いの針を使って、芯糸を布地の裏側へ通し、結びます。





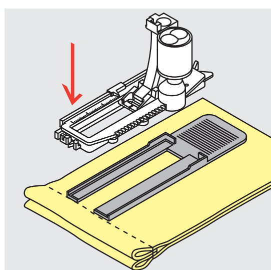
ボタンホールを開ける

- リッパー、またはボタンホールカッターとブロックを使って、両端から中心に向って切りこみます。
- 短いボタンホールの場合、端部分を誤ってカットしてしまわないように、待ち針を打っておきましょう。



ボタンホールカッターとブロック（別売りオプション）

- 布を木片（ブロック）の上に置きます。
- カッターを、ボタンホールの中心に入れます。
- ハンドルを手で押し込むか、または金づちで叩いて、穴を開けます。



ボタンホール用高さ調整板（別売りオプション）

- 自動ボタンホール押え3番Aを使って、縫い目の重なり部分等、平らでない部分にボタンホールを縫う場合は、高さ調整板を使います。
- 布と押えの間に板を入れ、厚みのある部分につくまで押し込みます。
- これで高さが調整されました。押えをなめらかに進めることができるので、非常にきれいな仕上がりになります。

030794.71.10_0401_a200_JP

自動ボタンホール（一般）
長さをダイレクトに入力する



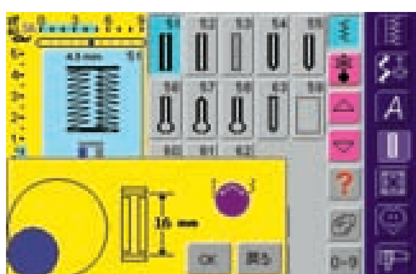
ステッチの送り長さ、または振り幅の調節つまみを使って、ボタンホールの長さ（ホールの開き・単位mm）を直接入力します。
4mmから最大値までのサイズのボタンホールすべてに適しています。



ボタンホールの長さを入力する

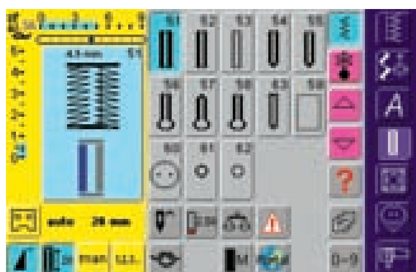
- ボタンホールは、自動ボタンホール用押え金3番Aで、一定の長さに縫うことができます。
- ボタンホールのタイプを選択します。
- ダイレクトエントリー機能をタッチします。

アプリケーション



ボタンホールの長さを決める

- 特殊画面が表示されます。
- ボタンホールの長さを振り幅または送り長さの調節つまみで入力します。
- プログラムされた長さは、2本の矢印の間に表示されます。



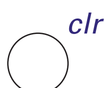
- 希望の長さを「OK」で確認すると、画面は自動的に転換します。
- 「自動 auto」を指定すると、プログラムされた長さがmm単位で表示されます。
- ボタンホールの長さとは、ボタンホールの穴の長さをいいます。（mm単位）

訂正

- 上記の方法で、新しい値を入力します。

ボタンホールメニューに戻る

- ESC をタッチすると、ボタンホール画面に戻ります。





保存してあるボタンホールを削除するには

- 外にある clr ボタンを押すか、recording 記録をタッチします。
- auto が消えて、recording 記録が表示されます。
- 新しいボタンホールの長さがプログラムできます。

自動ボタンホール（スタンダードおよびストレッチ）
画面上でボタンのサイズを測るには

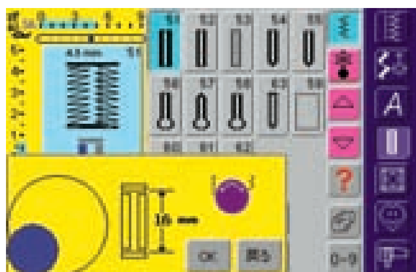


ボタンホールのサイズは、画面上でボタンを測って決めます。長さは、ステッチの振り幅および送り長さの調節つまみで決定します。



ボタン計測を開くには

- ボタンホールを選択します。
- 「ダイレクトエントリー」機能をタッチします。



ボタンのサイズを決める

- 特殊画面が表示されます。
- ボタンを、画面の左下角に向けて持ちます。
- 外付きの振り幅または送り長さ調節つまみを使って、色つきの○部分がボタンの周囲にフィットするサイズになるようにします。
- ボタンのサイズは、mm単位で表示されます。（例では、16mm）
- 正しいサイズを「OK」で確認すると、画面は自動的に変わります。

ボタンホールメニューに戻る

- ESC をタッチして、ボタンホール画面に戻ります。オリジナルのセットアップがそのまま残っています。

ボタンホールサイズ

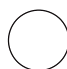
- 計測したボタンのサイズを元に、ミシンがボタンホールのサイズを自動的に計算します。
- ボタンの厚みを考えて、実際のサイズに2mm足したものとなります。

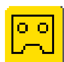
特別に厚いボタンの場合

- 球形等のボタンの場合は、ボタン計測の画面で、色付きの○を実際のサイズより1mmから4mm程度大きく広げて指定してください。

テストボタンホール

- ハギレと芯の端を使って、試し縫いします。
- ボタンホールをカットして開きます。
- ボタンが入るかどうか、テストします。
- 必要ならば、サイズを訂正します。





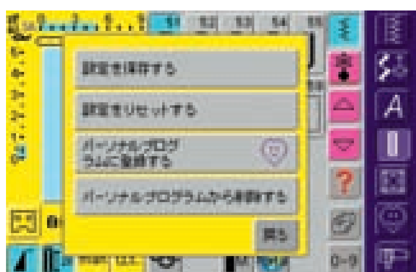
保存してあるボタンホールを削除するには

- 外付きの clr ボタンを押すか、recording をタッチします。
- auto が消えて、recording が表示されます。
- 新しいボタンホールの長さをプログラムできます。

ボタンホールを長期保存するには



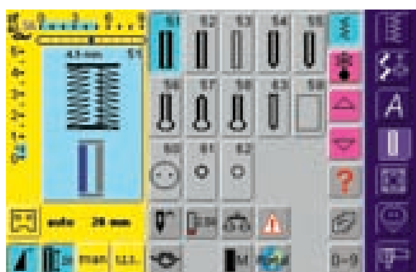
auto で指定した長さのボタンホールに限り、プログラムを長期間保存することができます。



ボタンホールを保存する

- ステッチ変更エリア(画面左側)に表示されたボタンホールをタッチします。
- 追加のメッセージが表示されます。
- 保存機能にタッチすると、ボタンホールは長期間保存されるモードになります。

希望どおりの自動ボタンホールをプログラムする方法については、116-117 ページを参照のこと。



保存してあるボタンホールを呼び出す

- ボタンホールのタイプを選択します。
- オン画面のダイレクトエントリーボタンに、ボタンホールの長さが表示されます。
- ダイレクトエントリー機能をタッチして、「OK」で画面に表示された保存してある長さを確定します。
- auto を押すと、画面に長さがmm単位で表示されます。

保存してあるボタンホールを変更する

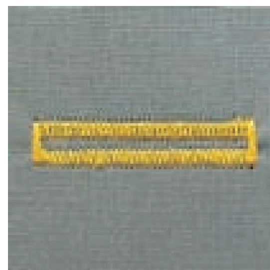
- ボタンホールのタイプを選択します。
- ダイレクトエントリー機能をタッチします。
- 画面上で保存されているボタンホールの長さを変更し、OKで確定します。
- 上記の方法で、新しいボタンホールを保存します。
- 新しいボタンホールをプログラムした場合、前のデータは上書きされて、消失します。

保存してあるボタンホールを削除する

- ボタンホールのタイプを選択します。
- ダイレクトエントリー機能をタッチして、新しい長さをプログラムするか、ステッチ変更エリアに表示されたボタンホールをタッチします。
- 追加のメッセージが表示されます。
- 「リセット」をタッチすると、保存されているボタンホールのデータは削除されます。
- 新しいボタンホールの長さをプログラムできます。

自動ボタンホール（標準とストレッチボタンホール）
（ステッチカウント方式は除く）

ステッチ：　自動ボタンホール#51、#52、#53
針：　布に適したもの
糸：　コットン、ポリエステル糸
送り歯：　上
押え：　自動ボタンホール押え No.3A







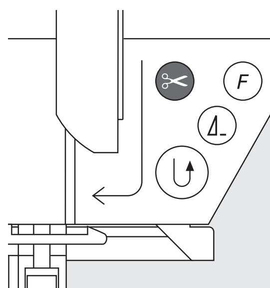
自動ボタンホール
- ボタンホール押え No3Aについたセンサーで、ボタンホールの長さを自動的に読み取ります。
- 4mmから最長の長さまで、振り幅または送り長さの調節つまみを使ってセットできます。

ご注意
左右両方の穴かがりを、同じ方向に縫います。ボタンホールの長さとは、カットした穴の長さを指します。

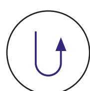
自動ボタンホールの縫い方



最初の穴かがりを縫う
- 縫う順番がステッチ変更エリアに表示されます。
- 最初の穴かがりを前進で縫い、止めます。

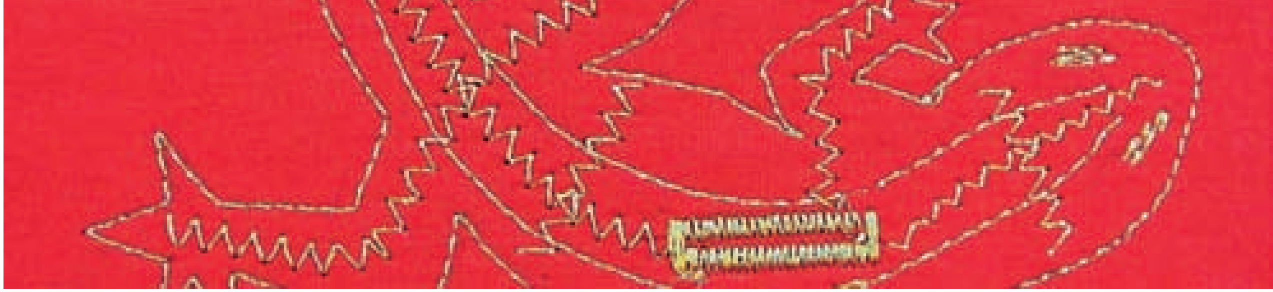


ボタンホールをプログラムする
- 手元返し縫いボタンを押します。
- 「auto」と長さ（mm単位）が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。



自動ボタンホール
ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。
- 直線縫いを返し縫いで
- 最初の環止め部分
- 2つ目の穴かがり
- 2番目の環止め部分
- 返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）

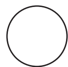


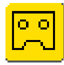


重要・やり直したい場合

- 「模様頭出し」機能をタッチします。
- ミシンは、ボタンホールの縫い始めの状態に戻ります。

clr





保存してあるボタンホールを削除するには

- 外部の「クリアー」ボタンを押すか、<<recording 記録>>をタッチします。
- <<auto>>が消えて、<<recording>>が表示されます。
- これで、新しいボタンホールの長さをプログラムすることができます。

正確に反復ソーイング

- 自動機能を使うと、ボタンホールの長さも見た目も、まったく同じものを縫うことができます。

印をつける

- ボタンホールの縫い始めにだけ、印をつけます。実に簡単です。

美しいボタンホールを縫うために

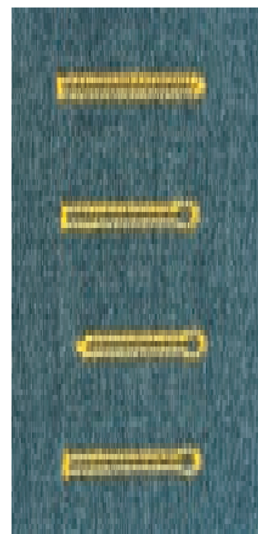
- ボタンホールを縫うスピードを一定にすると、穴かがりの目の大きさにばらつきが出ず、非常にきれいに仕上がります。必要ならば、モータースピード機能で、スピードが出ないように調節しておきましょう。

丸型、キーホール型および手縫い風自動ボタンホール

ステッチカウント方式は除く



ステッチ： 丸型および手縫い風ボタンホール#54、#55、#63、キーホール型ボタンホール#56－58
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 上
押え： 自動ボタンホール押え No.3A





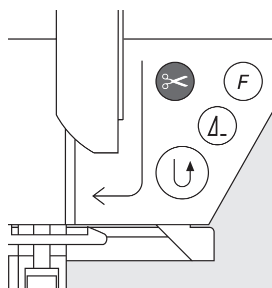
自動ボタンホール

- ボタンホール押え3番Aについたセンサーで、ボタンホールの長さを読み取り、自動的に完成させます。

ご注意
左右両方の穴かがりを、同じ方向に縫います。ボタンホールの長さとは、カットした穴の長さを指します。



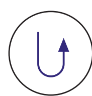
丸型およびキーホール型のボタンホールの縫い方





直線縫い

- 縫う順番がステッチ変更エリアに表示されます。
- 直線縫いで前進し、必要な長さで停止します。



ボタンホールをプログラムする

- 手元返し縫いボタンを押します。
- 「auto」と長さ（mm単位）が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。



自動ボタンホール

ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。

- ボタンホールの丸、あるいは鳩目部分
- 最初の環止め部分を返し縫いで
- 直線縫いを前進で
- 2つ目の穴かがりを返し縫いで
- 2番目の環止め部分
- 返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

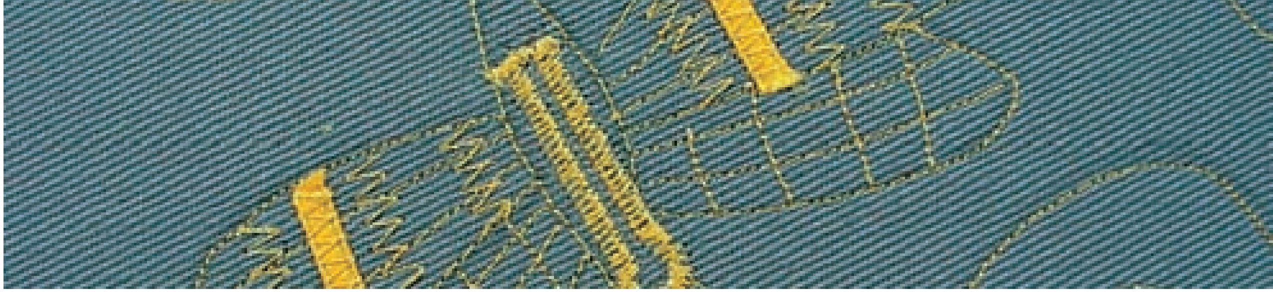
それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）



重要：途中で失敗したときには

- 模様頭出し機能アイコンをタッチします
- ボタンホールの最初から縫いだします

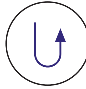
030794.71.10_0401_a200_JP



手縫い風ボタンホール
・　一定のスピードで縫うようにします。



最初の穴かがりの長さ
・　必要な長さまで縫ったら、
・　ミシンを止めます。

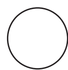


ボタンホールをプログラムする
・　手元返し縫いボタンを押します。
・　「auto」と長さ（mm単位）が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。

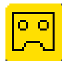


自動ボタンホール
ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。
・　丸型または鳩目の部分
・　2つ目の穴かがりを返し縫いで
・　上の環止め部分およびその止め縫い。終了すると、自動的に停止します。
・　返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）

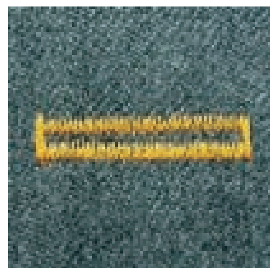


保存してあるボタンホールを削除するには
・　外部の「クリアー」ボタンを押すか、recording 記録をタッチします。
・　auto が消えて、recording が表示されます。
・　これで、新しいボタンホールの長さをプログラムすることができます。



ステッチカウント式ボタンホール（全種類）

ステッチ： ボタンホールステッチすべて
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 上
押え： ボタンホール押え No.3C
または自動ボタンホール押え No.3A





ステッチカウント式ボタンホール

- ボタンホールを選択します。

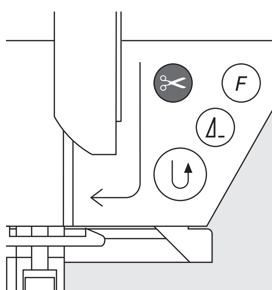


ステッチカウント・アイコンをタッチすると、ステッチカウント式ボタンホールプログラムが起動します。

- ボタンホールの長さは、ステッチカウント式によって設定する準備が出来ました。

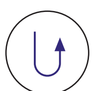


ご注意
最初、左側の穴かがりは前進で、次に右側は後進で縫います。
ステッチカウント式で縫ったボタンホールのサイズは、電源をオフにすると消去されます。



ステッチカウント式ボタンホールの縫い方

- 一定のスピードで縫うようにします。



最初の穴かがり縫い

- 最初の穴かがり縫いを縫い、
- ミシンを停止します。

- ≪手元返し縫い≫ボタンを押します。




環止め、次の穴かがり縫い

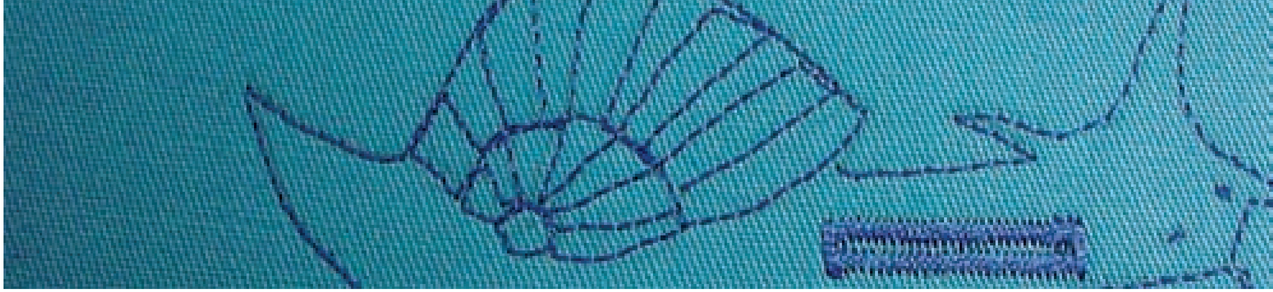
- 下の環止めを縫い、続いて後進で次の穴かがり縫いをします。
- 最初の穴かがり縫いの一針目にきたら、ミシンを止めます。
- ≪手元返し縫い≫ボタンを押します。

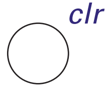


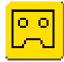
環止め、止め縫い

- 上の環止めを縫ったら、自動的に止め縫いをします。
ミシンは自動的に停止します。
- 「自動（auto)」と「ステッチカウント方式」が、画面に表示されます。
- ボタンホールがこれでプログラムされました。
- 続いてすべてのボタンホールをプログラム通りに自動で縫います。

030794.71.10_0401_a200_JP







一時記憶したボタンホールを削除するには

- ミシンパネル上の<<clr クリアー>>ボタンを押すか、レコードアイコンをタッチします。
- <<auto>>の文字が画面上で消えて、<<レコード recording>>が表示されます。
- これで、新しいボタンホールの長さを新規にプログラムすることができます。

修正

- ステッチの長さ、幅、バランスを変更した時は、ボタンホールのプログラムをやり直して下さい。

ご注意
別の布地でボタンホールをプログラムする時は、

- ステッチカウント式ボタンホールは生地の種類が変われば見た目も異なります。
- 使用する生地で新たにプログラムし直して下さい。
- 実際に縫う布地で試し縫いをして下さい。

押え金 No.3Cを使うと、ボタンホールがより簡単に縫えます

- 自動ボタンホール押え No.3Aが使えないサイズのボタンホールに最適です。

きれいなボタンホール

- 縫い目が揃うように、スピードは一定に保ってください。
- 多少スロースピードで縫うと、きれいに仕上がります。必要ならば、モータースピード機能で、スピードを制限しておきましょう。

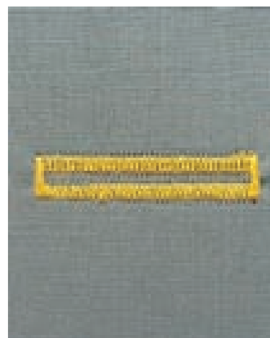
印をつける

自動機能を使う場合には、ボタンホールの縫い始めにだけ、印をつけます。実に簡単です。

030794.71.10_0401_a200_JP

4ステップ、または6ステップ・マニュアル・ボタンホール

（全てのボタンホールで使えます）



ステッチ：　ボタンホールステッチすべて
針：　布に適したもの
糸：　コットン、ポリエステル糸
送り歯：　上
押え：　ボタンホール押え No.3C、
または自動ボタンホール押え No.3A

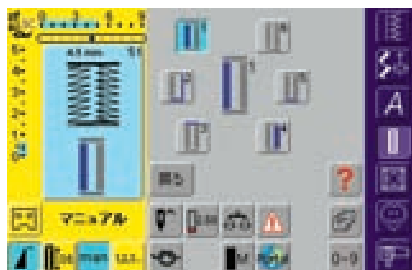
ご注意
マニュアル・ボタンホールは一つだけ縫う時やボタンホールの修繕に便利です。
選んだボタンホールのタイプによりステップの数が決まります。



マニュアル・ボタンホールはメモリーに記憶させることは出来ません。

man

ボタンホールの画面を選びます
- ボタンホールタイプを選択します。
- 画面下の≪man≫アイコンをタッチします。



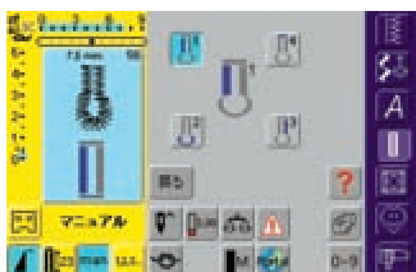
各ステップの画面表示
- 選んだボタンホールの各ステップが画面に表示されます。
- 「1」が起動されます。
- 標準ボタンホール　＝　6ステップ
- ラウンドボタンホール　＝　4ステップ
- 鳩目ボタンホール　＝　4ステップ
- 手縫い風ボタンホール＝4ステップ
- 今現在の進行状況が、画面中央に表示されます。

ボタンホールの修繕
- 手順は省略することができます。
- 擦り切れた部分を修繕するのに必要な手順のみ、使います。

030794.71.10_0401_a200_JP

4ステップ・ボタンホールを縫う

ラウンド・はとめボタンホール



4ステップボタンホ―ールを縫う

≪1≫にタッチ

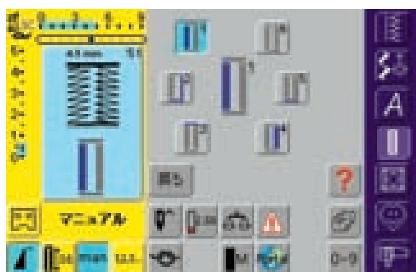
- 適当な長さまで左側の穴かがりを縫います
- ミシンを止めます
- ≪2≫にタッチ
- ミシンは円形の環止めあるいは、はと目を縫います。
- ≪3≫にタッチ
- 後進で右側の穴かがりを縫います
- 縫い初めの位置で止めます
- ≪4≫にタッチ
- 上部の環止めを縫い、自動的に返し縫いします。
- 各ステップの針数はご自分で自在に決められます。
- 環止め、はとめ部分および返し縫いは、プログラムされます。

ご注意
画面の表示は、ラウンド、はと目いずれのボタンホールでも同じです。

戻る

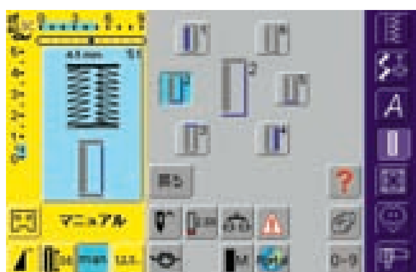
マニュアル・ボタンホール縫いを終える

- 画面上の≪戻る≫にタッチ
- ボタンホールの画面に戻ります



6ステップのボタンホールを縫う

- 画面の≪1≫にタッチします。
- 最初に左の穴かがりを縫います
- 適当な長さまで縫ってミシンを止めます。

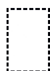


- ≪2≫にタッチします。
- ミシンは自動的に直線縫いで後進します
- 左側の穴かがりのスタート位置でミシンを止める
- ≪3≫にタッチする
- ミシンは上の環止めを縫い、自動的に停止します。
- ≪4≫をタッチ
- 右の穴かがりを前進縫いします
- ミシンを止めます。
- ≪5≫にタッチ
- 下の環止めを縫い、自動的に停止します。
- ≪6≫にタッチ
- 止め縫いをして、自動的に停止します。

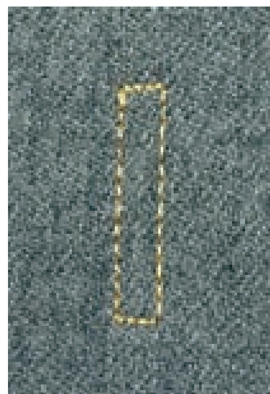
ご注意
環止めは、自動的に6針縫われます。もし6針以上縫いたい場合には、フットコントローラ―をもう1回踏んで、もう1度縫ってください。

- 左右の穴かがり、環止めそして止め縫いの針数はご自分で自在に決められます。
- 環止め、丸部分および返し縫いは、プログラムされます

直線縫いボタンホール



ステッチ： 直線縫いボタンホールステッチ＃59
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 上
押え： ボタンホール押え No.3C、
または自動ボタンホール押え No.3A

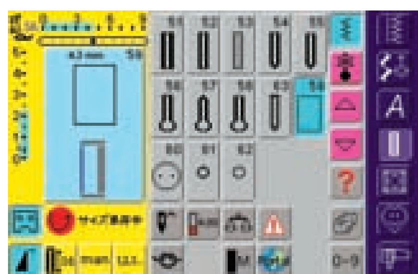




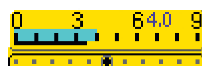
自動ボタンホール押え No.3Aを使った自動ボタンホール
ボタンホール押え３番Aについたセンサーで、ボタンホールの長さを読み取り、自動的に登録しますので、まったく同じものをいくつも縫うことができます。



ご注意
直線縫いステッチ（あるいは仮縫いステッチ）のボタンホールは特にウールのような柔らかで織の粗い布地や擦り切れやすい場所に縫うボタンホールなどに良く使います。

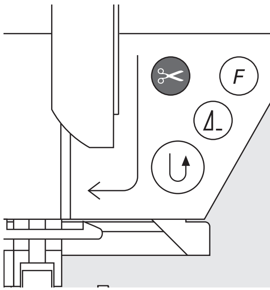


直線縫いボタンホール
ステッチ＃59を選びます。



穴かがり幅を変える
- 左右の穴かがりの間隔が狭すぎる、又は広すぎる場合には振り幅調節ダイヤルで左右の穴かがりの幅を変えて調節出来ます





直線縫いボタンホールを縫う

自動ボタンホール押えを使って縫う

- 最初のラインを直線縫いで、必要な長さまで縫います。
- 手元返し縫いボタンを押します。
- 画面に「auto」表示がされ、長さが記憶されました。
- このあと、自動的にボタンホールを縫います。
- 次に続くボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）
- 左右の縫い目の幅は、振り幅調節ダイヤルで調節します。



ボタンホール押え3Cを使ったボタンホール縫い

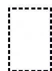
- ステッチカウント式のボタンホールの機能を選択します。
- ボタンホール3Cのセンサーが、ボタンホールのステッチ数を読み取り、記録します。

ステッチカウント式ボタンホールの縫い方

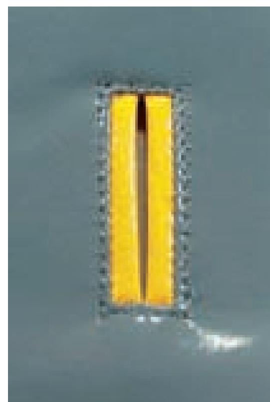
- 最初、左側の穴かがりを縫い、正確な位置で止めます。
- 手元返し縫いボタンを押します。
- 環止めを縫い、返し縫いで右側の穴かがりを縫っていきます。
- 左側の穴かがりの縫い始めの位置で止め、
- 手元返し縫いボタンを押します。
- ミシンは、水平に縫い進めて返し縫いをし、自動的に停止します。
- 「auto」が表示され、プログラムされた長さが、mm単位で表示されます。
- あとは、同じ長さで記憶されたボタンホールを縫います。

直線縫いボタンホールは、皮、人工皮革、ビニールやフェルトにボタンホールを縫う場合の補強にも使われます。

バウンド(玉縁)ボタンホール

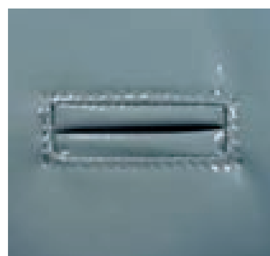


ステッチ:	ボタンホール用直線縫い59番
針:	80から100H
糸:	コットン、ポリエステル
送り歯:	上(ソーイング位置)
押え:	ボタンホール用押え3C または自動ボタンホール用押え3A トップステッチには、直線縫い用押え53(滑り底付き・オプション)



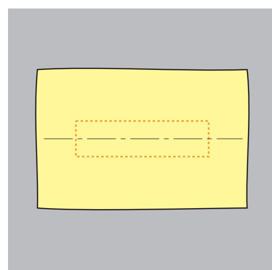
バウンドボタンホールに適した素材

- 人工皮革
- 皮革
- アルカンタラ
- ビニールコートされた布地

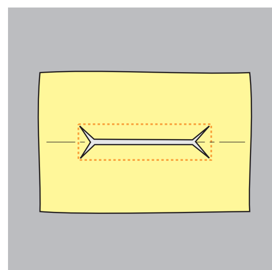




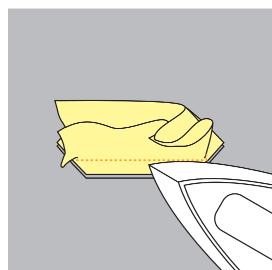
バウンドボタンホールを縫う



1. ボタンホールのサイズを決めます。
- ボタンホールサイズプラス横3センチ、縦4センチの大きさの長方形に、布をカットします。これが、後ろからのぞく部分になります。
- これを元布に、中表に重ねます。折り返し部分があれば、それも考慮してください。
- ステッチの振り幅9mmで、59番のボタンホール用直線縫いをします。



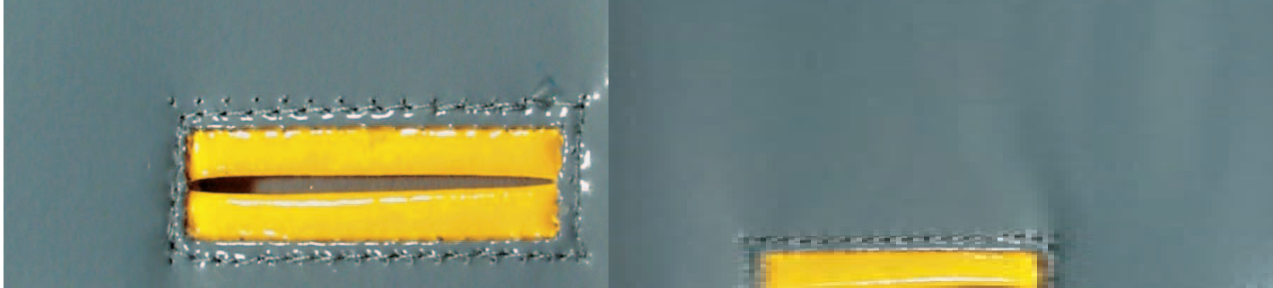
2. ボタンホールをカットして開きます。
- 先のとがったハサミ等で、中央を切り開く。その際、両側5mmずつ残してください。
- 角部分では、縫い目に対して45度の角度になるようにカットします。縫い目まで切ってしまわないように注意してください。

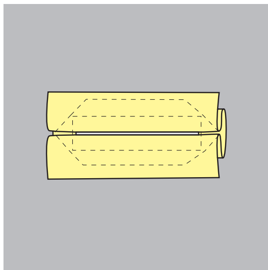


3. ボタンホールをひっくり返します
- 裏側からボタンホールを返します。
- 端を外側に向けてアイロンがけします。

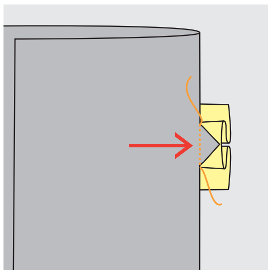
人工皮革や皮革の場合、当て布をしてから、中くらいの温度で注意してアイロンしてください。

030794.71.10_0401_a200_JP

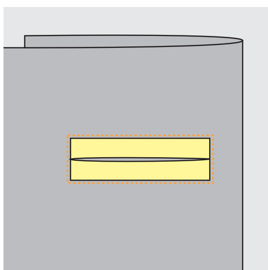




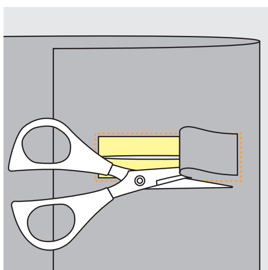
4. のぞく部分をアイロンします。
- ボタンホールに、図のように端ミシンをかける。
- 折り返し部分は、裏側に折ります。



5. 端ミシンをかける。
- テフロン加工のすべりやすい底がついた53番の押えで、表側から、折り返し部分ごと縫います。



6. トップステッチで押さえる
- 裏側の折り返し部分を長方形に切り取り、ボタンが通るようにします。



7. レザーの余分を処理します。
- 表から見たとき、均一な2本のバー状になるように、裏側からアイロンがけするか、またはしつけ縫いしておきます。

他の素材でバウンドボタンホールを作るには
- 1から7の手順で、ボタンホールを縫います。
- 最後に、端は手縫いでしっかりと止め縫いします。

飾りボタンホール

ステッチ：　ボタンホール用ステッチ（全てに対応）
針：　布に合ったサイズおよびタイプのもの
糸：　コットン、ポリエステルまたは刺しゅう用糸
送り歯：　上（ソーイング位置）
押え：　スーパー模様押え No.1C（トップステッチ用）、
ボタンホール押え No.3Aまたは No.3C

飾りのついたボタンホール

- どんなボタンホールにも使えます。
- 作品の飾りの一部分としてボタンホールを使いたいときに最適です。



縫い方

スケッチした「トカゲ」の模様をステッチします

- 布にスケッチで描いたトカゲの模様を写すか、または細い鉛筆、チャコペンまたは消えるマーカーを使って絵を描きます。（先に試し書きをしておいてください）。
- 線に沿って、トカゲを直線縫いでステッチします。トカゲの背中の模様は、ジグザグステッチを使います。（図参照のこと）。
- No.3A、または No.3Cの押え金を使って、ボタンホールを縫います。



飾り縫いと組み合わせたボタンホール

- No.3A、または No.3Cのボタンホール用押え金を使って縫います。
- ボタンホールを、#107 の飾りステッチで飾り、更に#708 のステッチも加えます。

ボタンホールと刺しゅうを組み合わせる

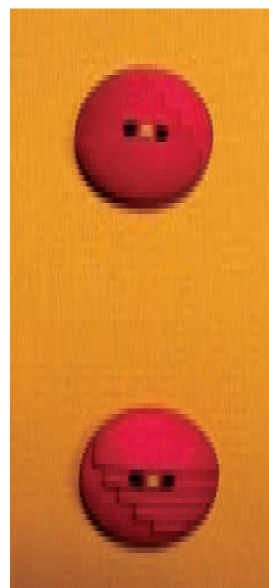
ボタンホールを縫って、アーティスタのパソコン用刺しゅうソフトで、オリジナルの刺しゅう柄を取りこみ、組み合わせてみましょう。



ボタン付けプログラム



ステッチ： ボタン付けステッチ＃60
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 下（ダーニング位置）
押え： ボタン付け用押え No.18





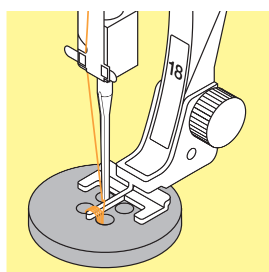
ご注意
押えの18番を使うと、二つ穴、又は四つ穴のボタン付けが出来ます。
ボタンから布までの距離（糸足）は、自由に決められますので、実用ではなく、飾り用にボタンを縫いつける場合には、糸足なしで堅く縫いつけることも可能です。



ボタン付けプログラム
・ ステッチ No.60 を選択します。

ボタン付けの方法

二つ穴のボタン
・ 画面で60番のステッチを選択します。
・ はずみ車を回して穴の間隔を測り、必要ならば振り幅を調整します。
・ 縫い始めは、2本の糸を手に持ってください。
・ 縫い始めます。
・ プログラムが終ればミシンは自動的に止まり、すぐに次のボタンを縫いつけることができます。



四つ穴のボタン
・ 最初に手前の二つ穴を縫います
・ 注意してボタンを手前に引きます。
・ 次に後ろの二つ穴を縫います
・ プログラムが終ればミシンは自動的に止まります

糸の始めと終わり
・ 糸は返し縫いされているので、切り取るだけで始末できます。

返し縫いの仕上げについて
・ 下糸を引っ張って、上糸を布裏に引き込みます。
・ 下糸を切ります。（必要に応じて、玉結びをして下さい。）

ミシンでボタンを縫いつける
シャツやブラウスなどのように、同じボタンをいくつも縫うときには、特に時間を節約できます。

洗濯の回数の多い衣服のボタン付けは、プログラムを2回繰り返すようにするとよいでしょう。

ジグザグまたは直線アイレット縫い



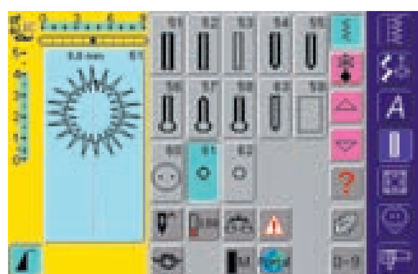
ステッチ：　幅の狭いジグザグアイレット＃61、
　　　　　　または直線アイレット＃62
針：　布に適したもの
糸：　コットン、ポリエステル糸
送り歯：　上
押え：　スーパー模様押え No.1C



ご注意
アイレットは、紐や細いリボンを通す穴に最適です。また、子供服や手芸品に使う模様としてもよいでしょう。ただし、ステッチコンビネーションでは使用できません。







アイレット（鳩目）
- アイレットを選ぶ
- No.61ジグザグアイレット
- No.62直線縫いアイレット

アイレットを縫う
・生地を押えの下に準備して、縫います。
- プログラムが終ればミシンは自動的に止まります
- サテンステッチをもっと密にしたい場合には、もう1回縫います。

アイレットに穴を開ける
- 突ききりを使ってアイレットの穴を開けます

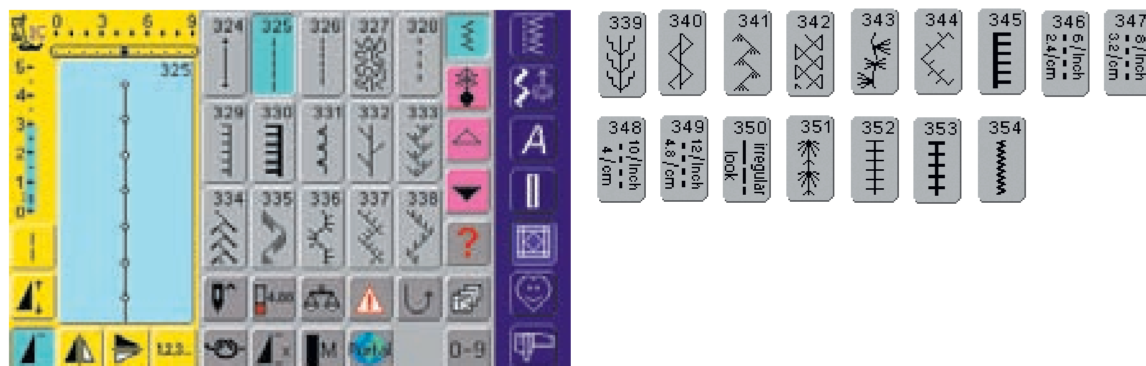
アイレットを飾り付けに使う
ぬいぐるみや人形の目を刺しゅうできます。飾り糸を使って、素敵な模様を作ってもよいでしょう。

030794.71.10_0401_a200_JP





パッチワークキルティング



各種ステッチ

キルティング用、パッチワークまたはアップリケ用に使用できるステッチには、以下のようなものがあります。

No.324　キルト返し縫いプログラム
No.325　ピーシング用直線縫い
No.326　ピーシングステッチ、直線縫い
No.327　スティップリングステッチ
No.328　手縫い風キルトステッチ
No.329　ブランケットステッチ
No.330　ダブルブランケットステッチ
No.331　アップリケステッチ
No.332　フェザーステッチ
No.333から No.338　フェザーステッチのバリエーション
No.339から No.345キルト用飾りステッチ
No.346から No.350キルト用飾りステッチ
No.351キルト用飾りステッチ
No.352　ブランケットステッチ（二重）
No.353　ダブルブランケットステッチ（二重）
No.354　サテンステッチ

選んだステッチにタッチすると
- ステッチが起動します。
- スクリーン上にすべての情報が表示されます。
- 振り幅および送り長さを変更、お好みのセッティングを選べます。

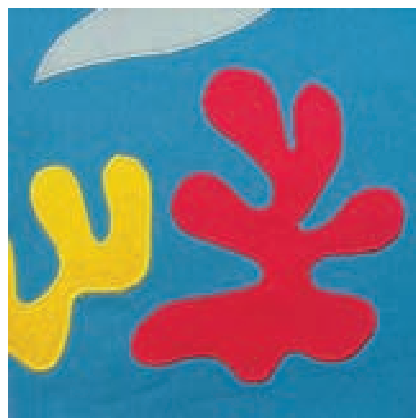
いろんなテクニック

パッチワーク、アップリケおよびキルティング



パッチワーク
- 異なる色、形、模様の布を縫い合わせて、布団、壁掛け、服飾品等を作ることができます。
- パッチワークのデザインには、基本的な定型の組み合わせがもっとも使いやすい形です。（正方形、長方形、三角形等）

パッチワーク用のステッチ
- #326 のピーシング用直線縫い



アップリケ
- 土台布にハギレを縫いつけるか、刺しゅうでハギレの周りを囲むようにして縫いつけるテクニックをいいます。
- 飾り以外にも、破れた個所をカバーするために使える方法です。

アップリケ用のステッチ
- #354 サテンステッチ
- #329、#330、#352、#353 のブランケットステッチ
- #331 ブラインドステッチ

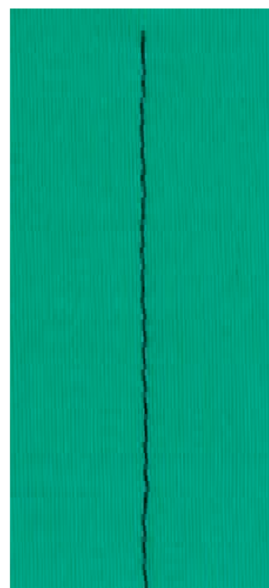




キルティング
キルトは、三つの層で構成されています。
- 装飾的なトップ（通常はパッチワーク）
- 真中の層は、キルト芯
- 裏地は、無地の布。
- 三枚の布をサンドイッチした後、待ち針を打ち、しつけ縫いしてから、いろいろなステッチで縫います。この作業をキルティングといいます。

以下のステッチは、キルティング用となります。
- #324 キルト用返し縫いプログラム
- #325 ピーシング用直線縫い
- #328、#346 から#350 までは、手縫い風キルトステッチ（手縫い風）。
- #327、#331 から#345、#351 までは、飾りキルトステッチ。

ステッチ：キルト用返し縫いプログラム#324
針：布に適したサイズおよびタイプのもの
糸：コットン、飾り縫い糸またはモノフィラメント
送り歯：上（ソーイング位置）
押え：スーパー模様押え No.1C、
またはウォーキング押え No.50（別売りオプション）



アップリケーション

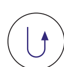


ご注意
よく着るもの、またはよく洗濯するものに関しては、返し縫いは#5のステッチを使います。

キルト用返し縫いプログラム
- あらゆる布、キルトに適しています。
- 縫い始めと終わりを返し縫いします。

準備
- キルトサンドイッチを作ります（中央に芯を入れます）。
- 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。

縫い始め
- ミシンが自動的に返し縫い（小さく6針）します。
- 終わり近くまで縫いつづけます。



縫い終わり
- ヘッドフレーム上の手元返し縫いボタンを押して、離します。ミシンが自動的に、小さく6針返し縫いしてから、停止します。

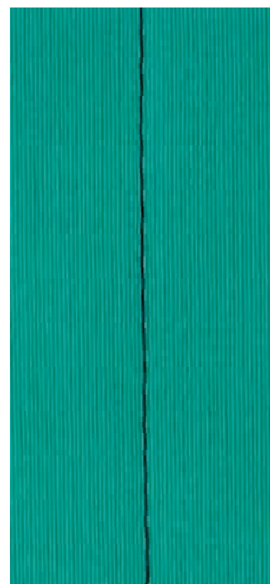
完璧な縫い目のためには：
分厚い布を使う場合には、ステッチの送り長さを長くします。

針下位置停止機能
大変効率よく作業でき、便利です。

030794.71.10_0401_a200_JP

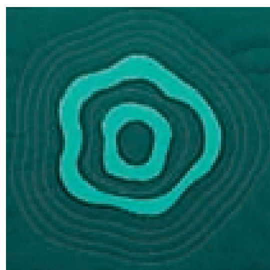
キルティング用直線縫い

ステッチ：　キルティング用直線縫い＃325
針：　布に合ったサイズおよびタイプのもの
糸：　コットン、飾り縫い糸またはモノフィラメント
送り歯：　上（ソーイング位置）
押え：　スーパー模様押え No.1C
またはウォーキング用押え No.50（別売りオプション）



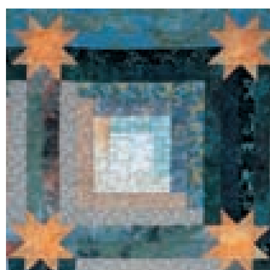
キルティング用直線縫い
- ミシンキルティング用に、針目を長めにセットアップされた直線縫いです。
- どんな布やどんなキルトにも適しています。

準備
- キルトサンドイッチを作る（中央に芯を入れます）。
- 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。



アウトラインキルティング（エコーキルティング）
- 作品にちょっとしたアクセントをつけることができます。
- パッチワークの縫い目または、モチーフの周囲から、一定の距離でステッチしていく方法です。





シャドーキルティング
- ハギレを縫い合わせたのみの作品にアクセントを加えるのに、最適です。
- キルトステッチで、作品の縫い目のラインに沿って、直接縫いつけます。

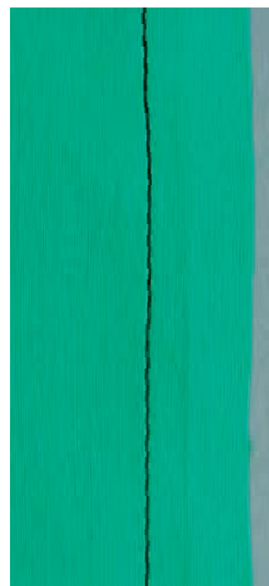
綺麗な縫い目を出すには：
分厚い布を使う場合には、送り長さを長くします。

縫い目を隠すには
モノフィラメントの糸を使うと、縫い目が見えなくなります。

針下位置停止機能
大変効率よく作業でき、便利です。

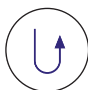


ステッチ: ピーシング用直線縫い#326
針: 布に合ったサイズおよびタイプのもの
糸: コットン
送り歯: 上(ソーイング位置)
押え: スーパー模様押え No.1C、
またはパッチワーク用押え No.37(別売りオプション)



ピーシング用直線縫い
- これは送り長さの短い直線縫いです。
- パッチワークのピーシングに最適です。

縫い方
ハギレを合わせて待ち針を打ち、縫い合わせます。



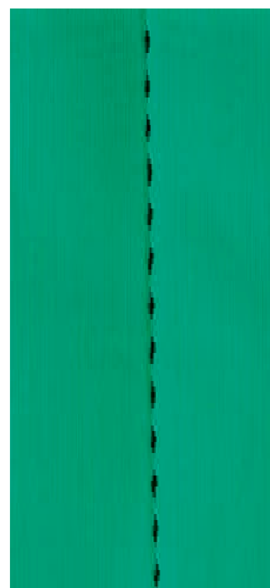
ステッチカウンター機能を使って縫い合わせる
同サイズの何枚かのハギレを組み合わせたパッチワークの場合、ステッチカウンター機能を使うと便利です。
- シンボルをタッチすれば、ステッチカウンターが起動します。
- 必要な長さまで縫います。
- 外部の手元返し縫いボタンを押す。
- 先に縫ったステッチの数が、一時的にプログラムされます。
- ログラム後は、同じステッチ数で、同じ長さまで縫い、自動的に停止します。



030794.71.10_0401_a200_JP

手縫い風キルトステッチ

ステッチ： キルティングステッチ328番、346番ー350番
針： 布に合わせたもの
上糸： モノフィラメント
下糸： 30番—50番程度のコットン、又はレーヨン、ポリエステル刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え No.1C、またはウォーキング押え No.50（別売りオプション）



手縫い風キルトステッチ
- 手縫いのような縫い目を可能にしたものです。手縫いに見せたい作品に最適です。

試し縫い
- 下糸が表面に交互に出るように縫います。
- 上糸は、モノフィラメントなので、下糸が一目おきに目立つようになり、手縫いの効果を出します。

上糸調子
- 自動でセットされます。
- 布のタイプにより、必要ならば調節してください。

バランス
- 必要に応じて調節してください。

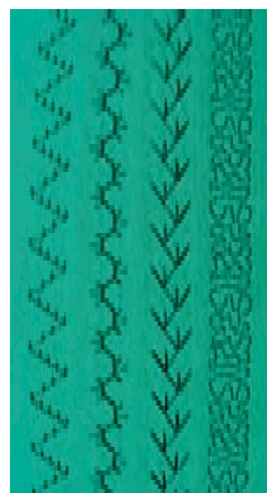
縫い方
- 針基線は、どこででも縫えます。
- スピードを一定にして、低速から中速で



コーナー部分をきれいに仕上げるには
- 一模様縫い機能および針下位置停止機能をオンにして、縫い始めます。
- 必ず針が布に刺さっている状態で、布を回しましょう。

モノフィラメントの扱い方
- よく糸切れするような場合には、縫う速度をゆるめるか、上糸テンションを少しゆるめましょう。

飾り模様のキルトステッチ



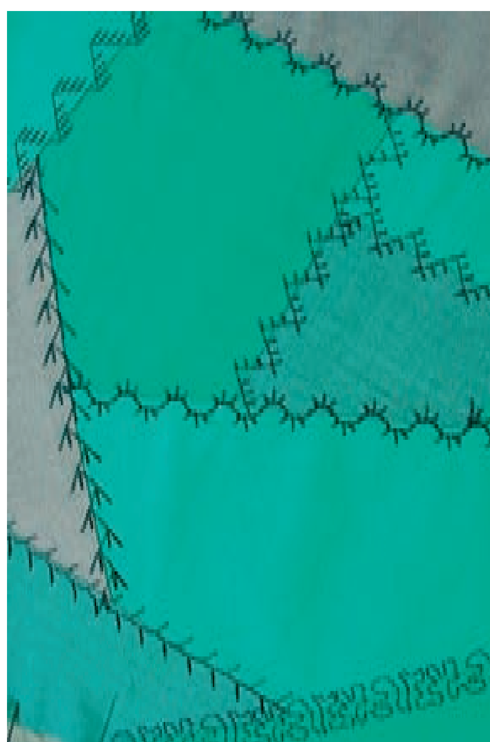
ステッチ： キルトステッチ326番－338番、351番
針： 布に合わせたもの
糸： コットン、飾り縫い糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え1番C、
またはオープン刺しゅう押さえ20番C

飾りキルトステッチ
- あらゆる布、キルトに使えます。
- 特にクレージーキルトに最適です。

準備
- キルトサンドイッチを作ります（中央に芯を入れます）。
- 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。

縫い方
- キルトステッチを選択して、縫います。
- クレージーキルトの場合には、ステッチがパッチの上に来るようにします。
- キルトステッチはすべて、コンビモードで組み合わせることができます。





完璧な縫い目のために
- 分厚い布を使う場合には、送り長さを長くします。
- 必要ならば、バランス機能でステッチの調整をします。

コーナーをきれいに仕上げるには
一模様縫い機能および針下位置停止機能をオンにしてから、布を回すようにします。

327番・スティップリングステッチ
横送り縫いの＃515、または#516 を使うと最大 3cm の幅でスティップリングが可能です。

030794.71.10_0401_a200_JP

サテンステッチ

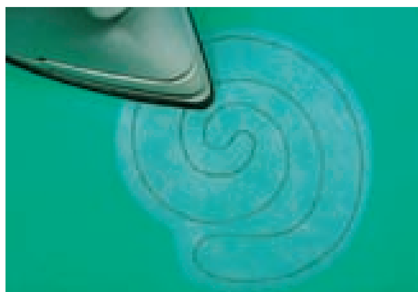


ステッチ：　サテンステッチ#354
針：　布に合ったもの
糸：　コットン、ポリエステル、飾り縫い糸
送り歯：　上（ソーイング位置）
押え：　アップリケ用押え No. 23（オプション）、
スーパー模様押え No.1C
またはオープン刺しゅう用押え No.20C



サテンステッチ
- 飾りのアップリケなどに最適です。
- ほとんどの布に使えます。

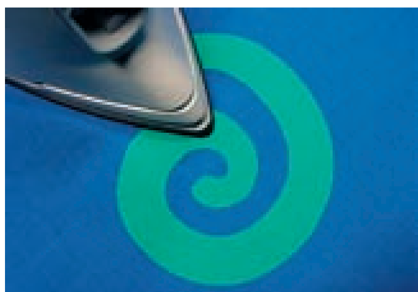
ご注意
両面接着芯のかわりに、スプレー式の布接着剤を使ってもよいでしょう。


1

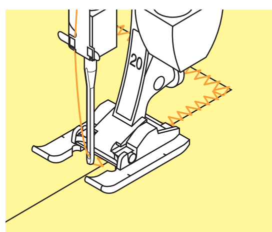
アップリケの準備
- 土台布にモチーフを固定して、シワにならないようにするには、両面接着芯が便利です。
- モチーフをオリジナルサイズでデザインします。
- モチーフの反転型を、接着芯の紙の側に写し取り、大まかに切り取る。
- 接着芯を、糊のついた側を布につけるようにして、アイロンがけします。（写真1参照）


2

- 線に沿って、モチーフを切り取る。（写真2参照）
- 紙をはがす。（写真2参照）


3

- モチーフを土台布の上に置く（写真3参照）
- 必要ならば、土台布の下に安定紙を置き、補強します。（刺しゅう用安定紙等がよいでしょう）。

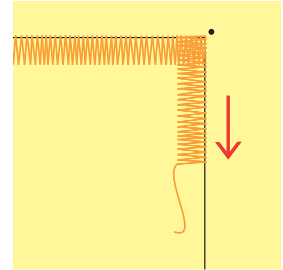


アップリケを縫う
- アップリケの端を縫って、留めておきます。
- 針が右に振れるとき、アップリケの端をほんの少し越えて、土台布に刺さるような位置でステッチします。（必要ならば、針基線を変更します）。



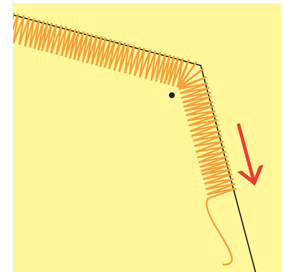
直角のコーナーを縫う

- 布の外側の端を、3、4針縫います。
- モチーフの端にかけて、ステッチします。針基線は下、縫いながら布を回していきます。
- 縫い続ける。コーナー部分は、2回縫う形になる。



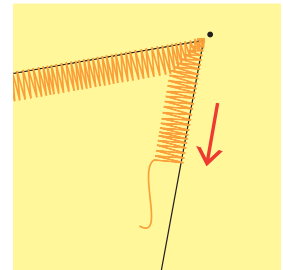
100度程度のゆるやかな角を縫う

- 針がモチーフの内側の中間点に達するまで、縫います。
- 日光のような放射状に、コーナー部分を縫います。その際、針が落ちる位置は常に一定であるよう気をつけながら、布を少しずつ回していきます。2針縫ったら、回す、といった感じで。



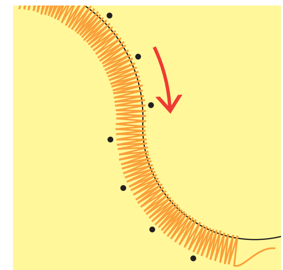
鋭角を縫う

- コーナー部分手前1センチくらいまで縫います。
- 縫いつづけながら、サテンステッチの振り幅を少しずつ減らして、0に近づけていきます。
- コーナーの中心点まで縫い進めます。針基線は下（モチーフの外側に落ちるようにします）で、布を回転させながら縫います。
- 縫いつづけながら、振り幅を少しずつ元の1センチまで戻します。



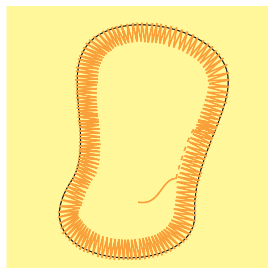
カーブを縫う

- ゆっくり、何回も止まりながら縫い進めます。
- 内側のカーブ（1番）では、針基線をカーブの内側にして、止まる。
- 外側のカーブ（2番）では、針基線をカーブの外側にして、止まる。
- 布を小刻みに動かしながら、縫い進めます。
- 以上の手順を繰り返す内に、美しい均一なカーブが刺しゅうできます。



留め縫い

サテンステッチの内側に、直線縫いを数針だけします。



針下位置停止機能

布を回すときにも針が刺さっているので、位置が変わらず便利です。

ソーイングスピード

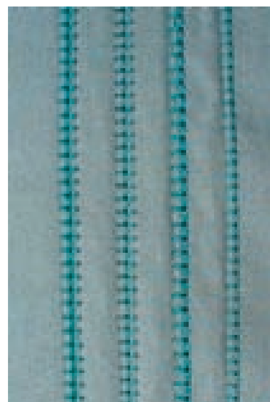
スピードをゆるくすると、仕上がりがきれいになります。

完璧なステッチのために:

布の性質によって、振り幅と送り長さのセットアップを微妙に調整する必要があります。

ブランケットステッチ

ステッチ: ブランケットステッチ、#329、330、352、353
針: 布に合ったもの
糸: コットン、飾り縫い糸
送り歯: 上(ソーイング位置)
押え: スーパー模様押え No.1C、
またはオープン刺しゅう押え No.2C



ブランケットステッチ
- #329 および#352 のステッチは、薄手から中くらいまでの布用です。
- #330 および#353 のステッチは、中くらいから厚手の布用です。

#329 または#330(ダブルブランケットステッチ)で縫う
- アップリケに最適です。
- アップリケ用のモチーフを用意して、土台布に置きます。
- アップリケの周囲を縫います。
- ステッチの垂直部分は、アップリケの端に沿った部分に、平行な部分は、アップリケの上にかかるようにします。



アップリケの縫い方については、146ページから147ページをご覧ください。

#352 または#353 のブランケットステッチ(いずれも二重縫い)で縫う
- アップリケ、リボンを縫いつける、布ストリップを縫い合わせる、または飾り糸や毛糸をカウチングする場合に最適です。
- 作品を準備します。
- アップリケやリボンの端を正確に押さえるように縫います。
- ステッチの垂直部分は、アップリケまたはストリップの端に沿った部分に、平行な部分は、上にかかるようにします。

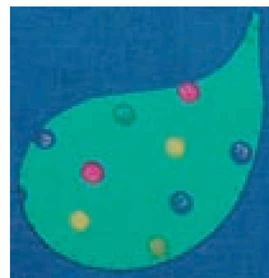


手縫い風の効果
- 手縫い風に見せるには、ステッチの送り長さおよび振り幅を布地によって変更します。
- シングルのブランケットステッチでは、90番の針に2本の糸を通すと、手縫い風に仕上がります。(2本のスプールの糸をまとめて、一緒に針穴に通します)

端を折り返した（ターンドエッジ）アップリケ



ステッチ：　ブラインドステッチ#331
針：　布に合ったもの
糸：　モノフィラメント
送り歯：　上（ソーイング位置）
押え：　スーパー模様押え No.1C



ターンドエッジアップリケ

- 端を折り返したモチーフを土台布に縫いつける方法です。
- モノフィラメント糸を使うと、縫い目はまったく目立ちません。





準備

- モチーフの反転型を、接着安定紙の糊のついていない側に描きます。
- 安定紙を、ハサミまたはロータリーカッターで、型に沿ってカットします。
- アップリケ用布地の裏側に、切り取った安定紙をアイロン接着します。（きちんと接着したか確認すること）
- 6mm程度の余分を残して、アップリケをカットします。
- 余分に、5mm間隔でハサミを入れます。（カーブ部分では、もう少し細かく）。
- カットした余分を、裏側（安定紙側）に折り返します。安定紙の形のアップリケが完成したら、指で端をスムーズになるよう、調整します。
- アイロンがけします。必要ならば、形の崩れを修正します。

縫い方

- モチーフを土台布の上に置き、待ち針かスプレー糊で止めます。
- アップリケの周囲を、時計回りにブラインドステッチしていきます。
- ステッチの左部分が少しだけ、アップリケ用モチーフにかかっているような形で縫い進めます。



バリエーション

アイロン接着芯でなく、紙のテンプレートでもよいでしょう。

- テンプレートには、厚手の紙も使えます。
- 縫う前に、テンプレートを取り出すので、アップリケはソフトな感じに出来あがります。(カバー、クッション等に最適です)。
- モチーフを厚手の紙に描き、それに合わせて、6mmの余分を残して布をカット、余分は紙の端に沿って折り返しておきます。
- アイロンがけをしたら、紙を取り除きます。
- モチーフを待ち針で土台布に固定し、ミシンをかけます。

フリーザーペーパー





- フリーザーペーパーは、アイロン接着の安定紙の代わりとして、広く知られています。
- スプレー糊を使って、フリーザーペーパーを布に固定し、アップリケをカットします。
- つやのある面に、アップリケの周囲の余分をアイロン接着します。
- そのまま縫います。終了前に、一旦停止して、ペーパーを取り出してから、再び縫って完成させます。

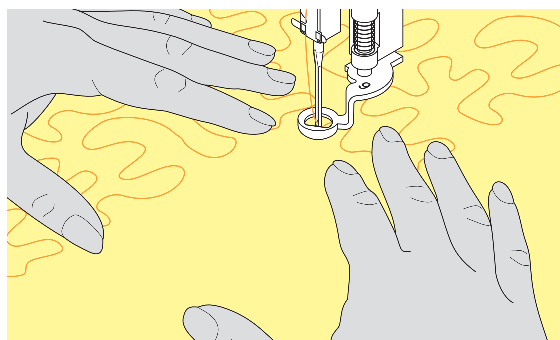
フリーハンドキルティング

ステッチ: キルティング用直線縫い#325
針: 布に合ったもの
糸: モノフィラメント、コットン、飾り縫い糸
送り歯: 下(ダーニング位置)
押え: ダーニング用押え No.9、
またはキルティング用押え No.29(別売りオプション)



準備
- トップの布、キルト芯、裏布を重ねます。
- キルトサンドイッチを待ち針でとめるか、しつけがけをします。

フリーハンドキルティング
- あらゆるフリーハンドキルトに使えます。



作品の持ち方
- 両手を刺しゅう枠のように使って、布をしっかり押さえて、ガイドしていきます。
- 布の中心から外側へ向けて、縫っていきます。

キルトラインを縫う
- 選んだキルトパターンを縫うコツは、滑らかに丸く布を回して動かすことです。(フリーハンドの場合も、テンプレートを使う場合も同様です。)

スティップリング・キルティング
- キルトの表面全体を、ステッチで埋める方法です。
- ステッチのラインは、角のない丸みのあるカーブの連続です。縫い目が交差することのないよう、注意して縫い進めます。

フリーハンドキルティングとつくろい縫い
共に基本的な縫い方は同じです。

ステッチの形が悪い場合
- 布の動かし方が速すぎると、糸のループができてしまいます。
- 裏に結び目ができてしまう場合は、布の動かし方がゆっくり過ぎます。
- 刺しゅう枠を使えば、動かすのが楽になります。

モノフィラメントの糸切れ
モノフィラメントが切れやすい場合は、縫うスピードをゆるめるか、または上糸調子を少しゆるめるとよいでしょう。

糸切れ
- 手をいきなり速く動かしてしまった場合等に、よく起こります。布は、滑らかに均一のスピードで動かすようにしましょう。

030794.71.10_0401_a200_JP







マイプログラム

マイプログラムを登録する

よく使うステッチを、マイプログラムに登録しましょう。
ある目的（洋服用等）のためのステッチをまとめておいてもよいし、ただ好きなステッチやアルファベットを集めておいてもよいでしょう。
マイプログラムには、ステッチのバリエーションすべてを登録することができます。

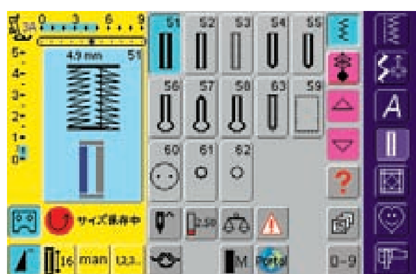
ご注意
ステッチとともに登録できるのは、以下の機能です。
- 振り幅
- 送り長さ
- 針基線
- 糸調子
- 左右、上下反転
- 拡大
- ロングステッチ
- バランス
- ソーイングスピード



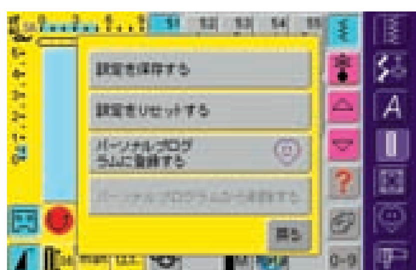
最初のステッチを登録する
- 例えば、実用縫いモードで、ジグザグ縫い＃2を選びます。
- （必要ならば、変更を加えます。）
- ステッチ操作スクリーン（ライトブルー部分）をタッチします。



- 操作メニューが表示されます。
- 3段目の「マイプログラムに追加（ハート印）」のバーをタッチします。
- これでジグザグ縫いを、変更とともに登録することができました。
- 操作メニューは、閉じます。



2番目のステッチを登録する
- ボタンホールモードを選びます。
- 標準ボタンホール＃51を選びます。
- 必要な変更を加えます。
- ステッチ操作スクリーン（ライトブルー）をタッチします。



- 操作メニューが表示されます。
- 3段目の「マイプログラムに追加（ハート印）」のバーをタッチします。
- これでボタンホールを、変更した状態で登録することができました。
- 操作メニューは、閉じます。
- 同様にしてステッチを登録してゆきます。

マイプログラムに登録されたステッチを選択するには



マイプログラムを起動させる
マイプログラムボタン（ハート印）をタッチします。



マイプログラム
- マイプログラムでは、登録されたステッチが表示されます。
- 15個以上のステッチが登録されている場合には、矢印を使って、スクロールして、ステッチを閲覧します。

マイプログラムに登録されたステッチを削除するには

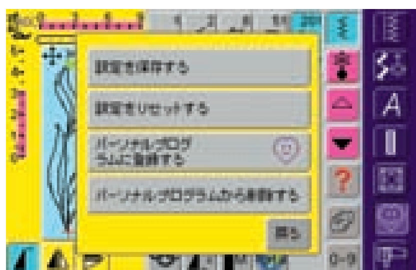


マイプログラムを起動させる
マイプログラムボタンを押します。



マイプログラム
- 削除したいステッチを選びます。
- ステッチ操作スクリーンをタッチします。





- 操作メニューが表示されます。
- 4段目の「マイプログラムから削除」のバーをタッチします。



これでステッチは削除されました。
- 操作メニューは閉じます。
- 選んだステッチは削除され、残りのステッチがすべて一つずつ繰り上がります。

030794.71.10_0401_a200_JP

ステッチを変更する

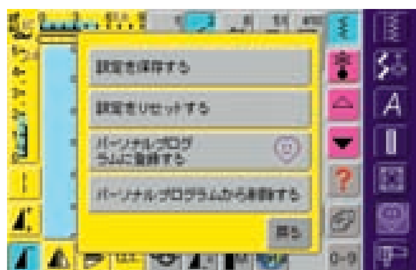


マイプログラムを起動する
マイプログラムボタンを押します



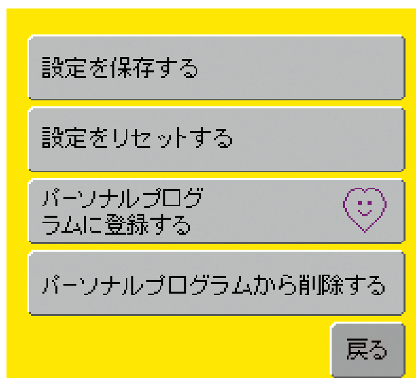
マイプログラムスクリーン

- 変更を加えるステッチを選びます。（ジグザグ等）
- 振り幅および送り長さは、フロントパネル上の調節つまみで調整します。
- 基本セットアップと並んで、変更を加えたものが表示されます。
- ステッチ操作スクリーン（ライトブルーの部分）をタッチします。



- 操作メニューが表示されます。
- 「セットアップを保存」をタッチすると、加えた変更がすべて保存され、操作メニューは閉じます。



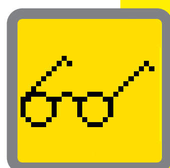


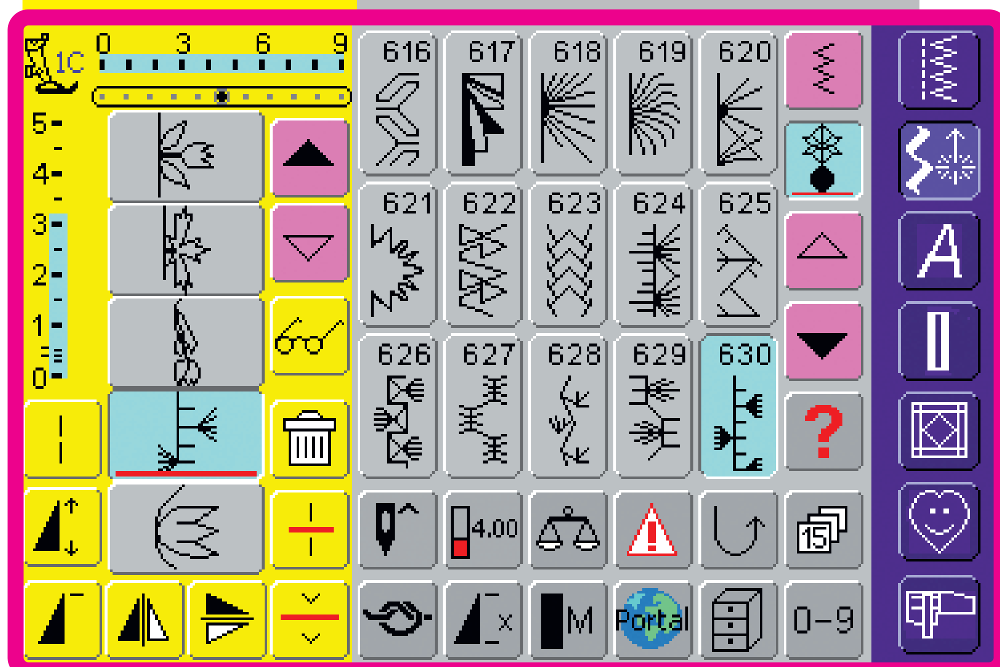
操作メニュー

- 「セットアップを保存」、ステッチの振り幅、送り長さ等に関するすべての変更が保存できます。
- 「セットアップをリセット」、基本セットアップに戻すときに使います。
- 「マイプログラムに追加」、選んだステッチが、マイプログラムに保存されます。
- 「マイプログラムから削除」、選んだステッチを、マイプログラムから削除します。
- ESC にタッチすると、何も保存せずにスクリーンが閉じます。

変更後のセットアップの保存については、24ページをご覧ください。

基本セットアップに加えることのできる変更は、それぞれのカテゴリーの中でも変更して保存しておくことが可能です。







メモリーを使う

030794.71.10_0401_a200_JP

はじめに

ステッチ、文字および数字は、組み合わせて、メモリーに保存することができます。 ミシンには大容量のメモリーが用意されてあり、ソーイングと刺しゅうの2種類のメモリー、およびマイプログラム用のメモリーがあります。

メモリーの容量は共通なので、空きのある限り、ステッチのコンビネーションを大量に保存する等も可能ですが、あまり多くのステッチやステッチのコンビネーションを保存することで、メモリーが一杯になり、刺しゅうデザインやマイプログラムが使えなくなることもあります。

メモリーは、長期間保存されるものです。保存した内容は、削除されるまで、残されます。電源をオフにしても、保存したプログラムには影響ありません。

メモリーを使う

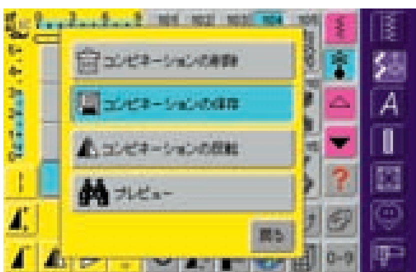
ステッチの組合わせを保存する



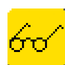
ステッチのプログラムおよび保存



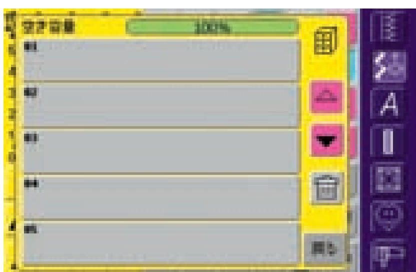
- コンビモードを選びます。
- ステッチ操作スクリーンが、その機能とともに表示されます。
- ステッチを選びます。
- 必要ならば、送り長さ、振り幅、針基線を変更します。または反転等の機能を加えます。



次のステッチを選択する。

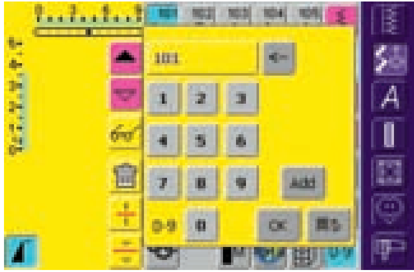


- マルチ機能ボタンをタッチします。
- 「Save Combination コンビネーションの保存」をタッチします。



保存する<<メモリー引き出し>>をタッチして選びます。
メモリーの空き容量が、スクリーンの上部に、パーセンテージで表示されます。

ステッチ番号を使ってプログラミングと保存を実行する



- コンビモードを選びます。
- スクリーン右下の「0-9」のステッチ番号入力ボタンをタッチします。
- 選びたいステッチ番号を入力します。
- 入力した数値を一桁削除するには、左向きの矢印を一回タッチします。
- 入力した番号を取り消すには、番号が表示されたボックスをタッチします。
- 「Add 追加」をタッチして、次のステッチを選べます。
- 全てのステッチ番号の入力を終わったら、OKをタッチします。
- マルチ機能ボタン（めがねアイコン）をタッチします
- 「コンビネーションを保存」機能をタッチします。
- コンビネーション･ステッチを保存するメモリー引出しを選びます。

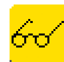
ステッチ操作スクリーンをクリヤーする

- 前回コンビモードを使用してから、電源を切っていない場合、ステッチ操作スクリーンに、前回のコンビネーション･ステッチが表示されています。
- そういう場合は、コンビネーションを削除してステッチ操作スクリーンを空にするか、または、空のメモリー引出しを開いて、新しいコンビネーションをプログラムします。



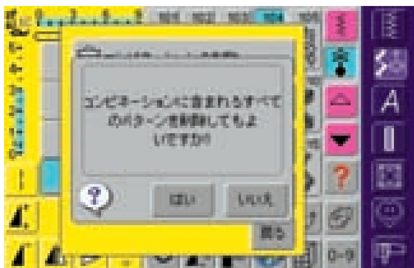
ステッチ操作スクリーンを、一つ一つ空にするには

- 削除したいステッチの上にカーソルを置く。
- 「削除」機能をタッチして、ステッチ操作スクリーンを空にします。



ステッチ操作スクリーンを、一回で空にするには

- マルチ機能ボタンをタッチします。
- 「コンビネーションを削除」を選択。
- 「イエス」をタッチして、メッセージを確定します。
- ステッチ操作スクリーンが空になりました。新しいコンビネーション･ステッチをプログラムできます。

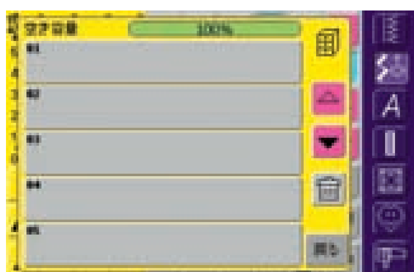




ご注意
削除の作業を行なっても、すでに保存されて、残っている他のコンビネーション･ステッチに影響することはありません。



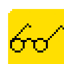
空のメモリー引出しを開くには
- 「メモリー引出し」アイコンをタッチします
- メモリー引出しスクリーンが表示されます。
- 空のメモリー引出しをタッチして選びます。
- メモリーの空き容量が、メモリー引出しスクリーンの上のバーにパーセンテージで表示されます。





- ステッチ操作スクリーンが空になったので、新しいコンビネーション・ステッチをプログラムできます。
- 必要ならば、コンビネーション・ステッチを保存します。

メモリー引出しの内容を確認するには



- コンビネーション・ステッチをプログラムします。
- 関連するコンビネーション・ステッチは、ステッチ操作スクリーンで見ることができます。
- マルチ機能ボタンをタッチします。
- 「プレビュー」を選択。
- コンビネーション・ステッチが、スクリーンに表示されます。
- ステッチはそれぞれ直接選べます(変更を加えることもできます)。
- ステッチを選択すると、自動的にSAAが表示されて、選んだステッチに変更を加えることができます。
- コンビネーション・ステッチの中を移動するには、矢印をスクロールします。
- 双眼鏡のアイコンを使って、プレビュースクリーンを表示すると、組合わせたステッチを一覧できます。
- ESC をタッチすると、プレビュースクリーンは閉じます。





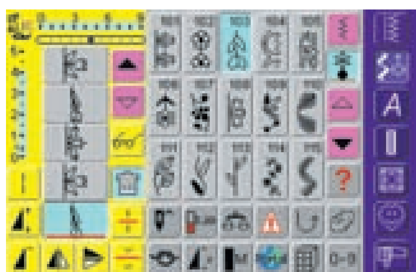
保存してあるコンビネーションを開く



保存したコンビネーション・ステッチを開くには
- 「メモリー引出し」をタッチします
- 保存した内容が表示されます。
- 必要ならば、使いたいメモリー引出しが表示されるまでスクロールします。
- メモリー引出しにタッチします。
- 選んだコンビネーションが、ステッチ操作スクリーンに表示されます。



コンビネーション・ステッチを修正する



最後にプログラムしたステッチを削除する

- 「削除」をタッチします
- これで削除完了です。

ご注意
カーソルの上にあるエリアはすべて変更されます。



コンビネーションの中に含まれるステッチ一つを削除するには

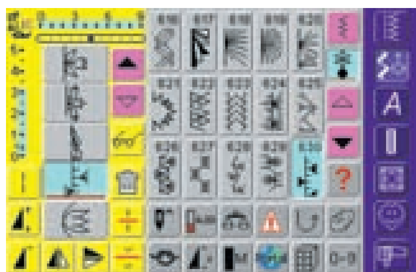
- 矢印のスクロールで、カーソルを削除したいステッチの下まで移動するか、ステッチを直接選びます。
- 「削除」をタッチします。
- カーソルの上のステッチが削除されます。
- ステッチは、削除したものを除いて、自動的にまた組み合わされます。

訂正や変更するには



ステッチを挿入するには

- 必要な個所を起動するには、カーソルをスクロールするか、または必要なステッチを直接選択する。(選んだステッチの後に、新しいステッチが挿入されます)
- ステッチをコンビネーションの先頭に挿入したい場合には、スクロール矢印を使って、カーソルを1番始めの部分まで移動します。



- 新しいステッチを選択。
- 新しいステッチは、カーソルの上に挿入されます。

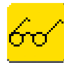




コンビネーション・ステッチを変更するには

- 必要な個所を起動するには、カーソルをスクロールするか、または必要なステッチを直接選びます。
- 必要な機能を選びます。(反転等)

ご注意
すでに保存されているコンビネーション・ステッチも、同様の方法で変更または修正できます。変更または修正を保存したい場合には、そのコンビネーションを再度保存することになります。



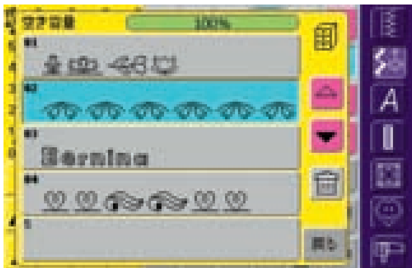
コンビネーション全体を反転したい場合
- マルチ機能ボタンをタッチします。
- 「コンビネーションを反転」をタッチします。
- コンビネーション全体が、左右に反転されます。



コンビネーションを分割するには
- コンビネーションを分割するには、「コンビネーション分割2」の機能を使用します。（名前、住所等を刺しゅうするのに便利です）
- 最初の部分を縫うと、ミシンが自動的に停止します。
- 布を置き直して、フットコントローラーを踏むと、次の部分を続けて縫い始めます。
- 「コンビネーション分割1」機能を使用すると、カーソルの置かれている部分のみを縫いますので、たくさんのコンビネーション・ステッチを一つのメモリー引出しにプログラムすることが可能になります。「コンビネーション分割1」機能では、各文節を一つの独立したファイルとして使います。



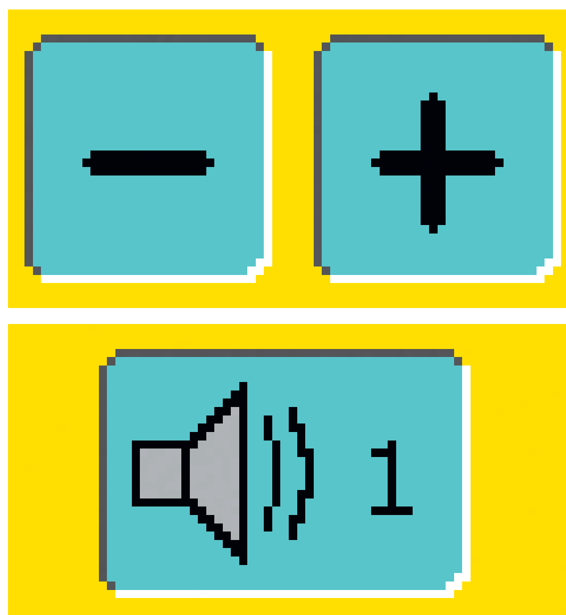
メモリー引出しの保存データを削除する



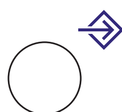
方法その1：上書きする
- 新しいコンビネーション・ステッチをプログラムします。
- マルチ機能ボタンをタッチします。
- 「保存」ボタンをタッチします（メモリー引出しスクリーンが表示されます。）
- 上書きしたいメモリー引出しを選択。
- メッセージに「イエス」と答えて確定します。
- 新しいコンビネーション・ステッチが、このメモリー引出しに保存されました。

方法その2；削除する
- 「メモリー引出しをファイルする」ボタンをタッチします。
- 保存されたコンビネーションが表示されます。
- 「削除」をタッチします。
- メッセージが表示されるので、削除したいコンビネーションを選びます。
- メモリー引出しをタッチして、コンビネーションを削除します。
- ESC をタッチして、メモリー引出しスクリーンを閉じます。









セットアップ・プログラム

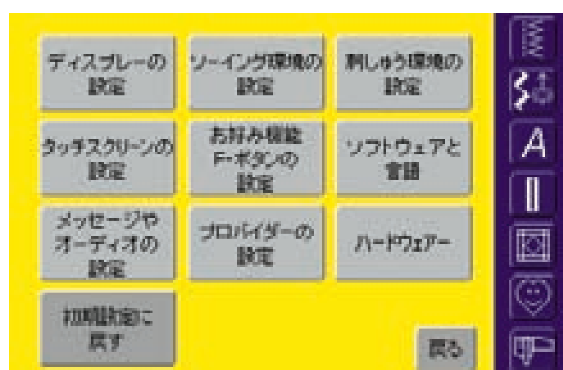
まえがき

セットアッププログラムでは、必要に応じて、お好みのセッティングに仕様を変更できます。
それと同時に糸調子等の基本セッティングを恒久的に変えたり、針元にある「お気に入り F ボタン」をプログラムし直すことも可能です。
変更された内容は、恒久的に保存され、スイッチを切ってもそのまま残ります。
また、ミシンを工場出荷時の基本設定に戻すのも、簡単です。

ご注意
基本設定に含まれる刺しゅう用ステッチを削除、または上書きしてしまった場合には、付録のCDロムをミシンにダウンロードすれば、回復できます。




セットアッププログラムを開く
- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- セットアップのオプション付きメニューが表示されます。



メニュー
メニューには、変更可能な事項がリストアップされます。
- スクリーン
- ソーイングのセッティング
- 刺しゅうのセッティング
- タッチ（スクリーンの反応）
- お気に入りボタンのカスタマイズについて
- ソフトウェアおよび言語
- メッセージとオーディオのセッティング
- ポータルプロバイダーのセッティング
- ハードウェア
- 工場出荷時の基本設定にリセットする

変更は、ミシンをオフにしても保存されます。
変更は、いつでもプログラムし直すことができます。

戻る

セットアッププログラムを閉じる
- ESC をタッチします。
- セットアッププログラムが閉じ、前スクリーンに戻ります。





次ページへ
- 「次ページへ」をタッチします。
- 次のスクリーンが表示されます。

OK

保存して閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 変更が保存され、スクリーンが閉じてメニューに変わります。

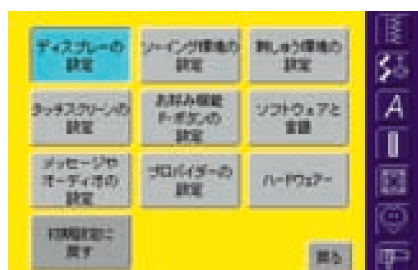


前ページへ
- 「前ページへ」をタッチします。
- 前のスクリーンが表示されます

戻る

スクリーンを閉じる
- 「ESC」をタッチします。
- スクリーンが閉じて、変更は基本のセッティングに戻り、メニューが表示されます。

ディスプレイ



セットアッププログラムを開く

- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「ディスプレイ」をタッチします。
- スクリーン上で可能なセットアップが描かれた「ディスプレイセットアップ」スクリーンが表示されます。

ディスプレイセットアップ



コントラスト

- 「+」または「-」をタッチします。
- スクリーンのコントラストが変化します。

明るさ

- 「+」または「-」をタッチします。
- スクリーンの明るさが変化します。
- 変更は、バーに表示される数字および、「+」または「-」のブルーの背景によって示されます。
- 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。

ウェルカムスクリーン

- テキストバーにタッチします。
- キーボード付きのスクリーンが表示されます。



ウェルカムスクリーンのテキスト

- ウェルカムスクリーンのテキストを書くことができます。
- オンスクリーンの「ABC」ボタン（大文字）が、自動的にアクティブ（青）になります。
- 「abc/123」ボタンを押すと、小文字および数字に転換します。
- 「@#」ボタンは、特殊文字を起動します。
- キーボード下のバーは、スペースバーで、単語間または文字間にスペースを入れたいときに使います。
- プログラムしたテキストは、キーボード上のテキストバーに表示されます。
- このテキストバーにタッチすると、プログラムされたテキストは、完全に削除されます。
- テキストバーの右側の矢印にタッチすると、入力されたテキストは右から左の方向で1文字ずつ削除されます。



OK

保存および閉じる

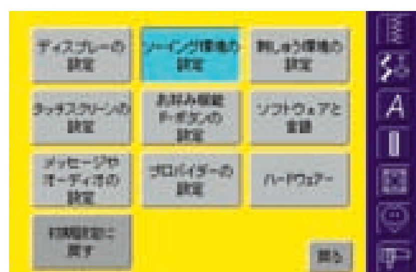
- 「OK」をタッチします。
- 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

戻る

スクリーンを閉じる

- 「ESC」をタッチします。
- スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。オリジナルのセットアップは、そのまま保存されます。

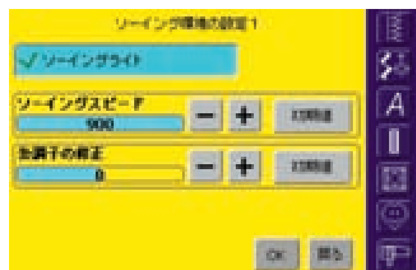
ソーイングのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「ソーイングのセットアップ」をタッチします。
- 「ソーイングセットアップスクリーン1」が表示されます。

ソーイングセットアップスクリーン1



ソーイングライト

- バーがアクティブ（ブルー表示）のときは、ミシンの電源がオンになっている限り、ソーイングライトもオンの状態です。
- バーが「×」状態のときは、ミシンがオンであっても、ソーイングライトは点灯しません。

ソーイングスピード

- 「＋」または「－」をタッチすると、最高スピード（4/4）が変更されます。10ステッチ単位で、スピードを増減します。
- バーの数字が、1分間のステッチ数を示します。
- 最高スピードの変更は、4つすべてのスピード（1/4-4/4）に影響します。（どのレベルのスピードも、この変更によって、速くなったり、遅くなったりします）
- 「デフォルト」ボタンで、基本セットアップに戻ります。

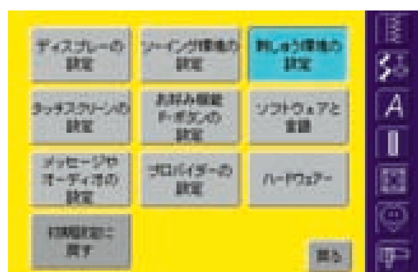
糸調子の修正

- 「＋」または「－」をタッチすると、上糸のテンションを、基本セットアップの「0」から、20パーセントずつ増減することができます。

  0　＝基本セットアップ（工場出荷時のセットアップ）
  1　＝＋10　パーセント
  2　＝＋20　パーセント
  -1 ＝-10　パーセント
  -2 ＝-20　パーセント
- 糸のウェイト等により、テンションの基本セットアップ微調整が必要なときに、行ないます。
- バーに表示された数字および「＋」または「－」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。
- テンションの調整は、すべてのステッチに影響します。そして、ミシンの電源をオフにした後も、保存されます。



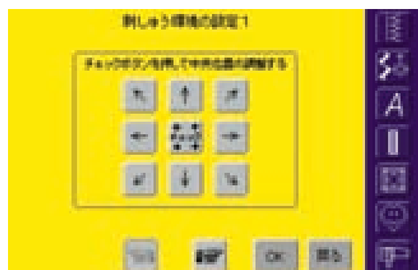
刺しゅうのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「刺しゅうのセットアップ」をタッチします。
- 「刺しゅうセットアップスクリーン1」が表示されます。刺しゅう枠の調整は、ここで行ないます。

刺しゅうセットアップスクリーン1



「リファレンス位置の調整」では、針を刺しゅう枠の中央に置くように、計測を行ないます。刺しゅう機が取り付けられている場合のみ、調整が可能です。リファレンス位置の調整を行なうと、すべての刺しゅう枠に関して変更が適用されますので、一回のみでけっこうです。

- 刺しゅう用テンプレートを刺しゅう枠に挿入します。
- 「チェック」をタッチします。
- 刺しゅう枠の位置が読みこまれ、針は中央に位置されます。（テンプレートの中心点を刺す位置に来ます）。
- うまくいかない場合には、矢印で調整します。
- 「OK」をタッチします。
- 調整を保存すると、スクリーンは閉じ、メニューが表示されます。

刺しゅうセットアップスクリーン 2



- 「次ページへ」をタッチします。
- 「刺しゅうセットアップスクリーン2番」が表示されます。

ソーイングスピード

- 「＋」または「－」をタッチすると、スピードを、10ステッチ単位で増減できます。
- バーの数字が、1分間のステッチ数を示します。
- 最高スピードの変更は、4つすべてのスピード（1/4-4/4）に影響します。（どのレベルのスピードも、この変更によって、速くなったり、遅くなったりします）

自動糸カッター

- バーがアクティブ（ブルー）のとき、上糸および下糸は自動的にカットされます。
- バーが「×」状態のときは、自動糸カッターはオフとなります。
- この機能のオンオフは、「自動糸カッター」のバーをタッチすることで行ないます。

糸調子の修正

- 「＋」または「－」をタッチすると、上糸のテンションを、基本セットアップの「0」から、20パーセントずつ増減することができます。
  - 0　＝基本セットアップ（工場出荷時のセットアップ）
  - 1　＝＋10パーセント
  - 2　＝＋20パーセント
  - -1　＝-10　パーセント
  - -2　＝-20　パーセント
- 糸の番手により、テンションの基本セットアップ微調整が必要なときに、行ないます。
- バーに表示された数字および「＋」または「－」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。
- テンションの調整は、すべてのステッチに影響します。そして、ミシンの電源をオフにした後も、保存されます。





次ページへ
- 「次ページへ」をタッチします。
- 次スクリーンが表示されます。



前ページへ
- 「前ページへ」をタッチします。
- 前スクリーンが表示されます。



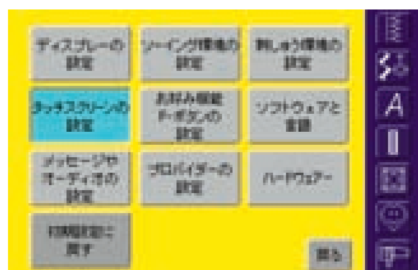
保存および閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 変更が保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。



スクリーンを閉じる
- 「ESC」をタッチします。
- オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。



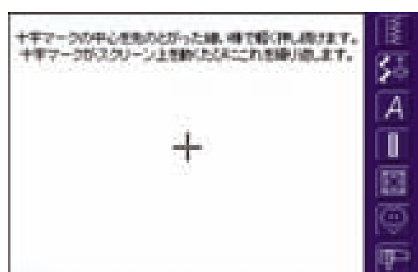
タッチセンサー感度の調整



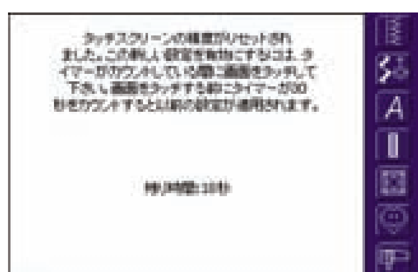
セットアッププログラムを開く
- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「タッチセンサー」ボタンをタッチします。
- 「タッチセンサーのセットアップ」スクリーンが表示され、スクリーンのタッチの感度を設定できます。



タッチ感度のセットアップスクリーン
- 「+」または「−」ボタンをタッチします
- タッチの感度を変更できます。
- バーに表示された数字および「+」または「−」のブルーの背景が、セッティングの状態を示します。
- 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セッティングに戻せます。
- 感度を変更した後、「スクリーン感度」バーをタッチします。
- 次のスクリーンが表示されます。



タッチ2
- 新しくスクリーン感度をセッティングするには、スクリーン上の指示に従ってください。
- 新しいスクリーンが表示されます。



タッチ3
- 新しくセットアップしたデータを保存するには、スクリーン上の指示に従ってください。
- 「タッチ感度のセットアップ」スクリーンが、再表示されます。

OK

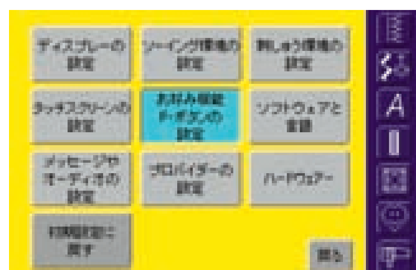
保存および閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 新しいセッティイングが保存され、スクリーンは閉じてメニューが表示されます。



戻る

作業をキャンセルしてスクリーンを閉じる
- 「ESC」をタッチします。
- 従来のセッティングのままで、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

お気に入り機能 F ボタンを設定する



セットアップププログラムを開く
- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする」をタッチします。
- 「お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする」のスクリーンが表示されます。



お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする
- お気に入り機能の基本セットアップは、「パターンビギン」(Fバーでアクティブになっているのが見える機能です)。
- オンスクリーンの機能ボタンのサマリーから、他の機能を加えて選択することもできます。(ソーイングスピード等)



- F ボタンに指定した機能が、画面上に表示されます。
- プログラムした機能は、「F」で表示されます。

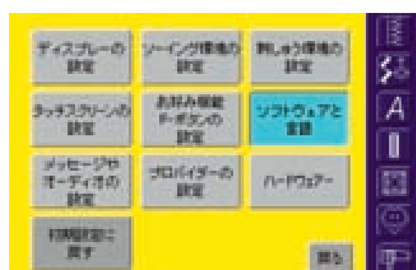


保存および閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。



スクリーンを閉じる
- 「ESC」をタッチします。
- オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

ソフトウェアおよび言語



セットアッププログラムを開く
- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「ソフトウェアおよび言語」をタッチします。
- 「ソフトウェアおよび言語」のスクリーンが表示されます。ソフトウェアのバージョンおよび今現在使用している言語については、ここで見ることができます。





ソフトウェアのバージョン
- 今現在のミシンおよび、ミシンに取りつけられた状態の刺しゅう機の、ソフトウェアバージョンを見ることができます。

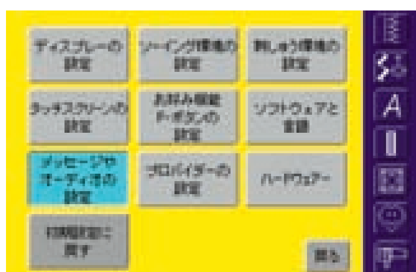


言語
- 今現在使用している言語が表示されます。



保存および閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 変更内容が保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

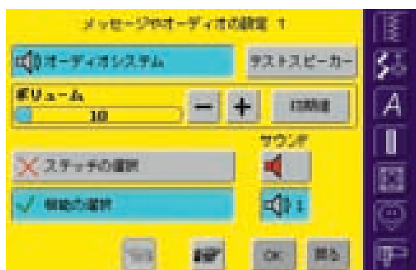
メッセージおよびオーディオのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「メッセージおよびオーディオのセットアップ」をタッチします。
- 「メッセージおよびオーディオのセットアップページ第1ページ」のスクリーンが表示されます。

メッセージおよびオーディオのセットアップ1



オーディオシステム

- このバーで、サウンドのオンオフができます。
- ブルーの背景およびグレイのスピーカーのシンボルは、スピーカーがオンであることを示しています。
- グレイの背景および赤いスピーカーのシンボルは、スピーカーがオフであることを示しています。

スピーカーのテスト

- このオンスクリーンのボタンで、スピーカーの機能をチェックできます。
- ボタンをタッチしてから、離す。
- オーディオシステムがオンになっている場合、サウンドが聞こえるはずです。

ボリューム

- 「＋」または「－」をタッチすると、ボリュームが変更できます。
- バーに表示された数字および「＋」または「－」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。

ステッチの選択・選択機能

- ステッチおよび機能の選択を、音で示します。
- 「機能選択」バー、またはサウンドボタンをタッチすると、サウンドを選ぶことができます。
- 1から５のサウンドチョイスがオンとなり、バーおよびサウンドボタンの表示はブルーになります。選んだサウンドは、サウンドボタンの中に、1から5の番号で表示されます。
- サウンドボタンを数回タッチすると、5種類のサウンドが聞こえます。（1番から5番の順に進みます）。
- サウンドの消去は、以下の方法で行ないます。
- 「ステッチの選択」バー、または「機能の選択」を、必要な回数タッチします。
- バーはオフ状態（グレイ）になり、オンスクリーンの「サウンド」ボタンにあるスピーカーのシンボルは赤くなります。

メッセージおよびオーディオセットアップ2



- 「次ページへ」をタッチします。
- 「メッセージおよびオーディオセットアップ2」が表示されます。
- 以下のメッセージは、オンにすることもオフにすることも可能です。また、1番から5番までの希望のサウンドを使うことができます。
- 上糸コントロール、下糸コントロール、送り歯の位置、押え金の位置
- メッセージおよび選んだサウンドは、それぞれ片方だけをオンオフすることができます。（メッセージのサウンドをなくして、表示のみにする、等）
- 背景がブルーの場合、そのバーまたはボタンはオンになっています。
- グレイの場合は、オフです。



メッセージおよびオーディオセットアップ3



- 「次ページへ」をタッチします。
- 「メッセージおよびオーディオセットアップ第3ページ」が表示されます。
- 以下のメッセージは、オンにすることもオフにすることも可能です。また、1番から3番までの希望のサウンドを使うことができます。
- 下糸自動巻取装置、刺しゅうの完了、糸カッター、糸通し
- メッセージおよび選んだサウンドは、それぞれ片方だけをオンオフすることができます。（メッセージのサウンドをなくして、表示のみにする、等）
- 背景がブルーの場合、そのバーまたはボタンはオンになっています。
- グレイの場合は、オフです。



次ページへ
- 「次ページへ」をタッチします。
- 次スクリーンが表示されます。



前ページへ
- 「前ページへ」をタッチします。
- 前スクリーンが表示されます。



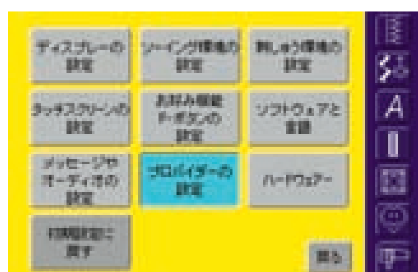
保存および閉じる
- 「OK」をタッチします。
- 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。



スクリーンを閉じる
- 「ESC」をタッチします。
- オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

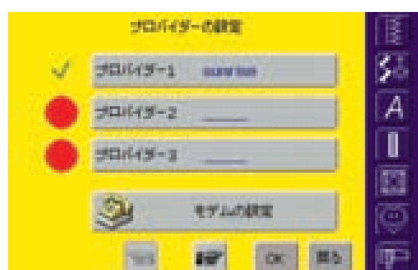


ポータルプロバイダーのセットアップ



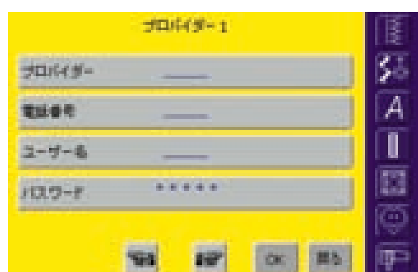
セットアッププログラムを開く

- フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「ポータルプロバイダーのセットアップ」をタッチします。
- 「ポータルプロバイダーのセットアップ」のスクリーンが表示されます。



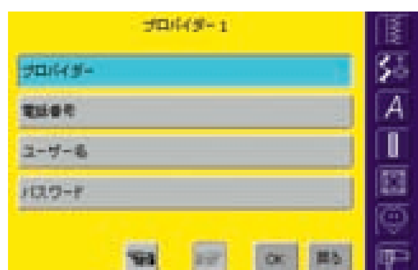
ポータルプロバイダーのセットアップ

- スクリーンには、プロバイダーのアドレスが表示されます。
- 最高3社までのプロバイダーをセットできます。赤い○印をタッチすると、○はグリーンのチェックマークに変わります。✓
- 選んだプロバイダーのバー、または「次ページへ」をタッチします。



プロバイダー1番

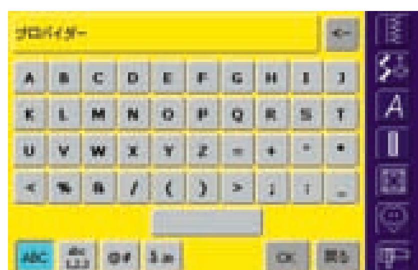
- すでに登録したプロバイダーがあれば、左の画面のように「プロバイダー1番」のスクリーンに、プロバイダーの名前が表示されます。
- 新しいプロバイダーのセットアップは、以下の手順で行います。
- 「ポータルプロバイダーのセットアップ」スクリーンで、空のプロバイダースペースを選びます。(ここでは、プロバイダー3番)



プロバイダー3番

- 「プロバイダー3番」のスクリーンが表示されます。
- 「プロバイダー」のバーにタッチします。

ご注意
モデムからポータルプロバイダーまでのコネクションの立ち上げ方については、185ページ参照のこと。



- アルファベットキーボードが表示されます。
- 必要な情報を入力します。
- 入力が終わったら「OK」をタッチします。
- 入力した情報は保存され、スクリーンは閉じて、「ポータルプロバイダー3番」スクリーンが再度表示されます。
- どのバーも、同じ方法で書きこみます。



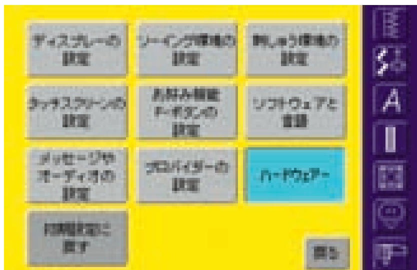
OK

保存および閉じる

- 「OK」をタッチします。
- 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

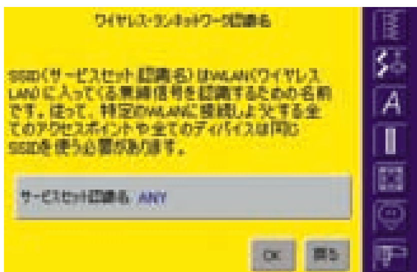
030794.71.10_0401_a200_JP

Hardware



セットアップブログラムを開く

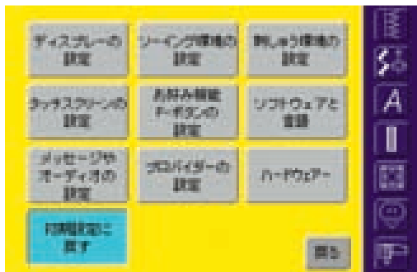
- パネル上のセットアップボタンを押します。
- メニューが表示されます。
- 「ハードウェア」をタッチします。
- 「ＳＳＩＤ」画面が表示されます。



ＳＳＩＤ（ワイアレス・ランネットワーク認識名）

- ＳＳＩＤバーをタッチします。
- キーボード画面が表示されます。
- 「ANY」を削除して、お使いのアクセスポイントのＳＳＩＤを入力してください。

工場出荷時の基本セッティングにリセットする



セットアップブログラムを開く

- 外部セットアップボタンを押す。
- メニューが表示されます。
- ≪ハードウェア≫ボタンをタッチします。
- 画面に≪ワイヤレス･ランネットワーク認識名 SSID≫と表示されます。



ワイヤレス･ランネットワーク認識名 SSID

- SSID バーをタッチします。
- キーボードが表示されます。
- 表示されている"ANY"という文字を削除して、貴方のワイヤレス･ランネットワーク認識名 SSID を入力してください。



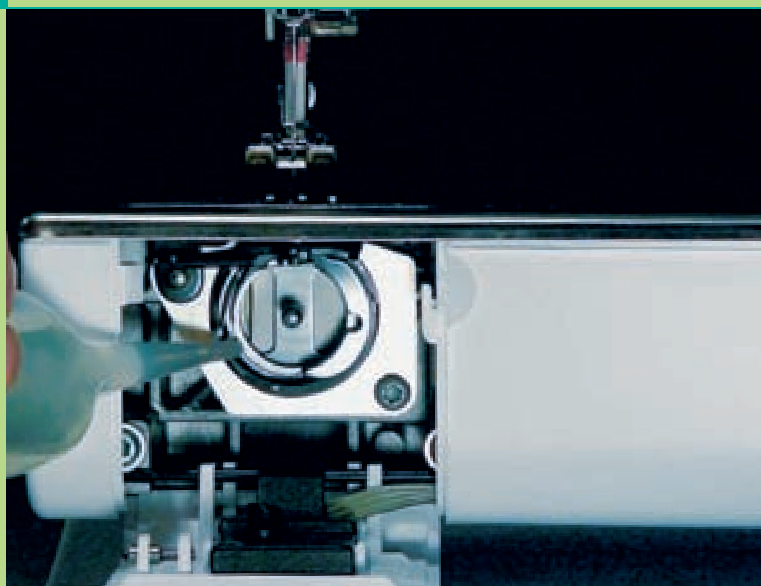
ご注意
工場出荷時の刺しゅう用デザインが削除または上書きされている場合、これらのデータを回復するには、ミシンに同梱の Design（デザイン）CDロムを使って、刺しゅうデータを本体にダウンロードすることが出来ます。

OK

保存して閉じる
≪OK≫アイコンをタッチすると変更した内容が保存され、画面にメニューが表示されます。

戻る

画面を閉じる
≪戻る≫アイコンをタッチすると、何も変更せずに、メニュー画面に戻ります。



ソーイングおよび ソーイングコンピューターに関するサポート

ヘルププログラムについて

ヘルププログラムは、ステッチおよび機能に関する情報を、画面に表示するものです。情報の内容は、取扱説明書と同様のものですが、画面上で検索する方が時間の短縮になり、便利です。

どの画面が表示されていても、ステッチおよび画面の機能に関するヘルプを開くことができます。「ESC」をタッチすれば、元の画面に戻ります。

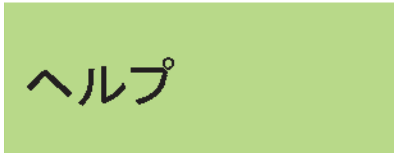
ご注意：≪?≫アイコンをタッチすると、ソーイング中でも刺しゅうの途中でも、ミシンを一時的に休止させ、作業を中断することができます。

作業を再開するには、画面をタッチしてください。ミシンが起動し、先に中断した状態から作業を続けることができます。

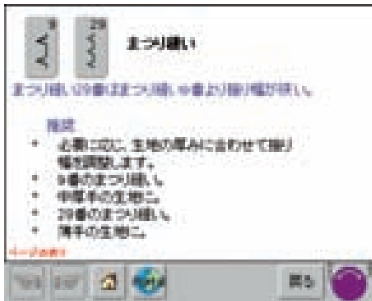
≪?≫アイコンは、マルチ機能アイコンとなっており、ソーイングモードでも刺しゅうモードでも、使用中の機能や情報をそのまま保ちながら、次に画面をタッチするまではミシンを休止状態にします。



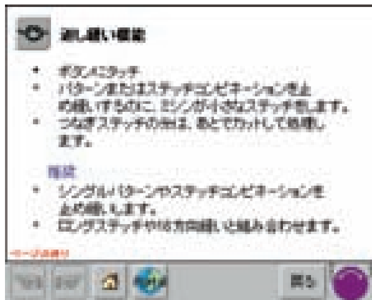
ヘルプを開く
- ヘルプ「?」をタッチ。
- 必要なステッチまたは機能をタッチ。



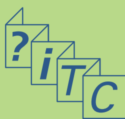
ご注意：
何時の時点でヘルプを開いても、進行中の作業には全く影響ありません。

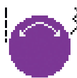


ヘルプ画面・ステッチ用
画面には、以下の情報が表示されます。
- ステッチの名称
- 適した布の種類
- どんな作業に使用するかに関する簡単な説明



ヘルプ画面・機能用
画面には、以下の情報が表示されます。
- 機能の名称
- 機能の説明
- どんな場合に使用するかに関する簡単な説明





テキストをスクロールする
- このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。



前画面に戻る
- 「ESC」をタッチ。
- ヘルプが閉じ、前画面が表示されます。



チュートリアルを開く

- フロントパネル上の「チュートリアル」ボタンを押す。

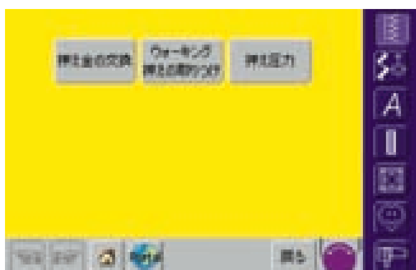
ご注意
コンピューター用語では、チュートリアルとは、「セルフヘルプ」を意味します。チュートリアルを使うと、ミシンに関する様々な事項の説明を画面上で見ることができます。説明の内容は、取扱説明書と同様です。



項目

- 主な項目は、以下のものとなります。
- ミシンの糸通しについて
- ソーイングテクニック
- ボタンホール
- 周辺機器について
- 刺しゅう機
- フリーハンドシステム（FHS）
- トラブルシューティング
- 押え金
- 針
- それぞれのシンボルにタッチしてください。（ここでは、押え金）

チュートリアル

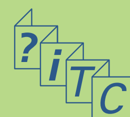


押え金の項目が表示されます。

- 必要な項目を選択します。（ここでは、押え金の交換について）



選んだ項目に関する情報が表示されます。



前ページへ、次ページへ

- スクロール用矢印で、前、または次ページに進むことができます。



項目に戻る

- 「ホーム」のシンボルをタッチ。
- チュートリアルの最初の画面（項目）が表示されます。



「マイアーティスタポータル」

- モデムを接続します。
- シンボルをタッチ。
- 最初のメッセージを「イエス」で確定し、2番目のメッセージに「OK」します。
- これで、「マイアーティスタポータル」への接続が完了しました。



映像ガイダンスによるチュートリアル

- 「映写機」アイコンをタッチ。
- 選択した項目のデモンストレーションが、映像ガイダンスで再生されます。

ご注意
ヘルプを開いても、作業中の機能には影響ありません。



前画面に戻る

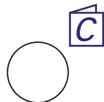
- 「ESC」をタッチ
- チュートリアルが閉じ、前画面が表示されます。



テキストをスクロールする

- このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。

クリエイティブコンサルタントでは、ソーイングに必要な様々な情報およびヘルプを見ることができます。布の種類および使いたいテクニックを入力すると、針、押え金、送り歯の位置、安定紙、押え金のプレッシャー等についてのアドバイスが表示されます。お勧めの押え金が特殊アクセサリーである場合は、最寄のお買い上げ店にご相談ください。



選択した作業のタイプによって、クリエイティブコンサルタントは自動的にセッティングを開始します。

- 糸テンション
- ステッチの振り幅
- ステッチの送り長さ
- バランス
- 針位置
- 針の停止位置（上または下）
- 選択したテクニックに最適のソーイングスピード

クリエイティブコンサルタント

薄地	中厚地	厚手の固い生地
シルク、シルキ－ポリエステル	コットンの織地	厚手のデニム
レーヨン	ウール	ウール
光沢のある織地	生成りのシルク	ドレイパリー
ブラウス用リネン	スーツ用リネン	家具の布張り用
バティスト	サンド ウォッシュ シルク／レーヨン	コーデュロイ
カイト用生地	ベルベット	タオル
一重のニット、ジャージー	コットン ベルベッティーン	キャンバス地
薄地リブニット	ライクラ	ウルトラレザー、プラスチック
ネット	二重のコットンニット	ビニール
レース	スウェットシャツ用ニット、フリース	フリース
	二重のポリエステルニット	レザー、ウルトラスエード
	ビニール	人工皮革

Portal 戻る

布のメニュー

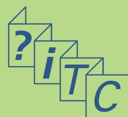
- 布のタイプが、3列に表示されます。
- 薄手の布地
- 中くらいの布地
- 厚手の布地
- 一般的に多く使われる布地の名称が表示されます。
- 使いたい布地がリストにない場合には、1番近いと思われる性質のものを選択してください。
- 選択するには、布地の名称をタッチします。（ここではジャージ－）

テクニックのメニュー

- 画面上に、ソーイングテクニックの名称がいくつか表示されます。

縫い合わせ	オーバーロック縫い	トップステッチ
まつり縫い	ボタンホール	ファスナー付け
コンシールファスナー	飾り縫い	ミシンキルティング
フリーモーションミシンキルティング	ヘムステッチ	アップリケ
横送り縫い		

- 使いたいテクニックをタッチする。（ここではボタンホール）。
- 使いたいテクニックがリストにない場合には、1番近いものを選択します。
- 選択した布地に、そのテクニックが適さない場合には、フィールドがオフになります（グレイに変わります）。





説明と特記事項

- 3番目の画面には、選択した布地およびテクニックに関するセッティングおよびアドバイスが表示されます。
  - 押え金の番号
  - 針(サイズおよびタイプ)
  - 押え金のプレッシャー
  - 安定紙が必要かどうか
  - 送り歯の位置
  - ボタンホールコード
- 「押え金」および「針」については、いくつか選択肢がある場合もあります。
- 1番お勧めの押え金が、1番最初にリストされ、その他使えるものについては、かっこ付きで表示されます。
- お勧めリストの中には、そのテクニック専用のものもあります。標準アクセサリーではない場合、最寄のお買い上げ店にご相談ください。
- 押え金および針を、選択します。
- 安定紙が必要な場合には、その旨が表示されます。
- ボタンホールの補強が必要な場合には、「ボタンホールコード」が表示されます。
- それ以上のアドバイスについては、「レコメンデーション」に表示されます。
- 「チュートリアルコネクション」は、ここでアドバイスされた機能に関する詳細な説明にリンクしています。
- 「ステッチ」には、プログラムされたステッチおよび他の選択肢が、説明付きでリストされています。




前ページへ、次ページへ

- スクロール用矢印で、前、または次ページに進むことができます。



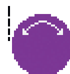
前画面に戻る

- 「ESC」をタッチ
- チュートリアルが閉じ、前画面が表示されます。



布メニューに戻る

- 「ホーム」のシンボルをタッチ。
- クリエイティブコンサルタントの最初の画面(布メニュー)が表示されます。



テキストをスクロールする

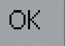
- このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。



「マイアーティスタポータル」

- モデムを接続します。
- 最初のメッセージを「イエス」で確定し、2番目のメッセージに「OK」します。
- これで、「マイアーティスタポータル」への接続が完了しました。

ノート
クリエイティブコンサルタントを開いても、作業中のものには影響ありません。



プログラムされたステッチ

- 「OK」をタッチ
- プログラムされたステッチに関する画面が、自動的に表示されます。

製品の工場出荷時に、ステッチバランスはすべて入念にチェックされ、調整済みの状態になっています。

異なる種類の布地、糸、安定紙および芯等を使うことにより、プログラムされたステッチが、均一にならず、重なってしまったり、離れすぎてしまったりということも起こり得ます。

そのような場合には、バランス機能を使って調整を行ないます。

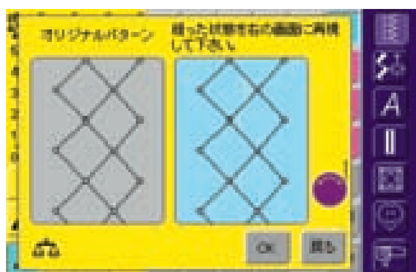
実用縫いおよび飾り縫い（9mm）のバランス

ジャージーやトリコット等の柔らかい素材を縫う場合、布地が押え金の下で伸びてしまい、結果的にステッチも伸びてしまうことがあります。例えば、ハニーコームステッチなどは、広がって伸びてしまうことが多いです。逆に、分厚い布地の場合、縫い目が重なって、詰まってしまうこともあります。これらの問題点は、バランスの調整を行なえば、簡単に解決できます。

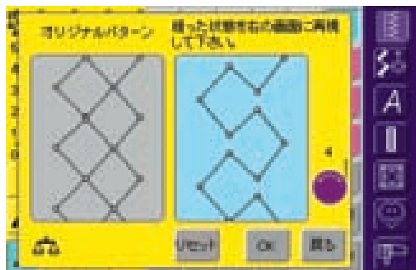


バランスを開く
- 「バランス」機能のボタンをタッチ。

バランスを開く



バランス画面
- バランスの特殊画面が開く。
- 左半分には、ステッチのオリジナルフォームが表示されています。
- 右側には、修正後のステッチの状態が表示されます。
- ステッチの修正は、ソーイングしながらでも可能です。（画面は開いておく）。



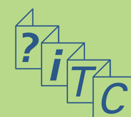
修正
- 作業中のステッチ（ここではハニーコームステッチ）が、広がった状態になってしまっている場合。
- ステッチの送り長さダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現状に近づけます。

OK

保存および画面を閉じる
「OK」をタッチ。
修正は保存され、バランス画面が閉じます。

リセット

修正を削除する
「リセット」をタッチ。
選択したステッチに関する修正が、削除されます。

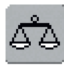


戻る

画面を閉じる
- 「ESC」をタッチ。
- バランス画面が閉じて、前画面に戻ります。

横送り縫いのバランス

布地、糸、安定紙および芯によっては、横送り縫いに影響が出ることもあります。そのような場合には、バランスを調整します。



バランスを開く
- 「バランス」アイコンをタッチ。



バランス画面
- バランスの特殊画面が開く。
- 左半分には、ステッチの基本形が表示されています。
- 右側には、修正後のステッチの状態が表示されます。
- ステッチの修正は、ソーイングしながらでも可能です。（画面は開いておく）。

ステッチ（ここでは、201番）は、縦横それぞれの方向にゆがんでいます。



縦方向の修正
- ステッチの送り長さダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現在作業中のゆがんでしまった形に近づけます。

横方向の修正
- ステッチの振り幅ダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現在作業中のゆがんでしまった形に近づけます。



保存および画面を閉じる
「OK」をタッチ。
- 修正は保存され、バランス画面が閉じます。

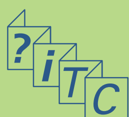


画面を閉じる
- 「ESC」をタッチ。

バランス画面が閉じて、前画面に戻ります。



修正を削除する
「リセット」をタッチ。
- 選択したステッチに関する修正が、削除されます。



クリーニングの方法

ミシンを極端に気温の低い部屋においている場合、使用の1時間位前から通常の気温の部屋に移しておいて下さい。



クリーニング

ご使用後、針板の下にたまった糸の毛羽やくずを掃除してください。

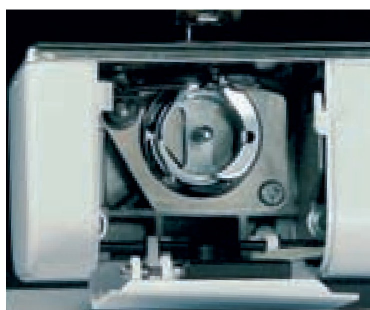
- 電源をオフにし、
- 押えと針を外して、
- 開閉カバーを開きます。
- 針板の右後ろ隅を人差し指で強く押さえて針板を浮かせます。
- 持ち上げて外します。
- ブラシで掃除し、
- 針板をもとに戻します。

スクリーンの掃除

- 濡れたソフトクロスで拭きます。

! 安全にご使用いただくために"をご参照下さい。

クリーニングの方法

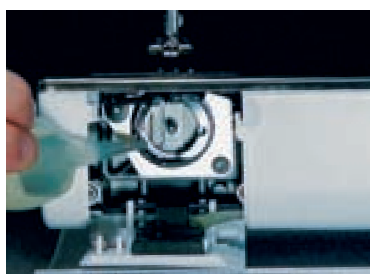


釜の掃除

- 電源をオフにし、コードをコンセントから抜いてください。
- ボビンケースを取り出します。
- 中がま押えカバーといっしょに黒い樹脂の中がま押えを手前に倒します。
- 大がまレース(溝)の回りをブラシや布で掃除します。その際、金属などの尖ったもので釜に傷をつけないように。
- ボビンケースを戻します。

ミシンのクリーニング

- 濡れたソフトクロスで拭きます。
- 汚れがひどい時は中性洗剤を溶かした水をソフトクロスに浸して拭きます。



注油について

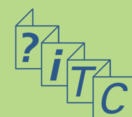
当ミシンは、注油を必要としない新システムのかま機構を採用しています。生地に油シミのつく可能性がありますので、注油は控えめに。上質のミシンオイルをご使用下さい。

重要
絶対にシンナー等の溶剤の入った洗剤等は使わない事

ソーイングランプの交換



- アーティスタ200にはインバーター蛍光灯ソーイングランプが取り付けられており、長時間蛍光灯の交換なしでご使用いただけます。



ご注意
交換に当たっては、必ず正規販売代理店にご相談ください。

トラブルシューティング

故障かな？ と思ったら次の要領でまずお調べ下さい。

チェックポイント
- 上糸、下糸が正しくかかっていますか。
- 針が正しくとりつけられていますか。（平らな部分を後ろ側にします。）
- 針は、針と糸の一覧表を見て、正しいものを使用して下さい。
- ミシンをきれいに掃除し、糸くずを取り除いて下さい。外がまの掃除も忘れずに。
- 上糸テンションディスクの間や、ボビンケースの糸みちのごみを取り除いて下さい。

上糸切れの原因
- 上糸テンションが強すぎる。
- 針の品質が良くない。（ベルニナ正規販売代理店でお買い求め下さい。）
- 針が正しくセットされていない。（平らな部分を後ろ側にして下さい。）
- 針先がつぶれている、または曲がっている。
- 糸の品質が良くない。（こぶがあったり、ささくれていたり、古くて乾燥しすぎている等）
- 針板の糸穴やかまのけん先に傷がついている。このような場合には、ベルニナ正規販売代理店にご相談下さい。

下糸切れの原因
- 下糸テンションが強すぎる。
- ボビンケースの中で、糸がからまっている。ボビンを取り出し、チェックしてください。
- 針板の針穴に、傷がついている。このような場合には、ベルニナ正規販売代理店にご相談下さい。
- 針先がつぶれている、または曲がっている。

目飛びの原因
- 針が正しくない。ベルニナ純正の 130/705H サイズの家庭用ミシン針を使用して下さい。
- 針先がつぶれているか、曲がっている、または正しくセットされていない。（針は一杯まで差し込んで止めて下さい。）
- 品質の悪い針を使っている、または針がさびている
- 布地に合った針を使っていない。
- 幅の狭いステッチを縫う場合には、穴の小さな針板（5.5mm、別売りオプション）を使いましょう。

針折れの原因
- 針の止めネジの締め方が十分でない。
- 縫い終わった後、布を手前へ引いてしまった。
- 厚地を縫っていて、針が布地に刺さっている状態で布を押してしまった。ジーンズ用押えを使いましょう。
- 質の悪い糸を使っていた。（糸よりが均一でない、こぶがある等。）

針については、19ページをご覧ください。

縫い目が乱れる原因
- テンション皿に糸くずが残っている。そのような場合には、薄い布を半分に折り、織り目の部分をテンション皿にはさんで、上下に動かして掃除します。
- ボビンケースのテンションばねの内側に、糸くずが残っている。
- 上糸、下糸の糸通しを再確認してください。
- 糸こま押えのサイズが正しくない。
- 回転釜を掃除して、注油する。（ミシン油は純正品のみをご使用ください。詳しくは179ページをご覧下さい。）

厚い布地が縫えない
- 針と糸の組み合わせが正しくない。（針に対して、糸が太すぎる。）
- 高さ調整板を使うと、縫い目の厚い部分を押さえることができる。

ミシンが回転しないか、高速にならない原因
- 下糸巻き装置がオンになっている。
- 電源コンセントが正しく入っていない。
- 電源スイッチがオフになっている。
- 室温が低すぎミシンが冷え切って十分に機能しない。

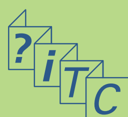
ミシンが前進送りしない原因
- 機能選択ボタンの「連続返し縫いボタン」がオンのままになっている。

ソーイングライトが点灯しない
- ベルニナ正規販売代理店にご相談ください。

周辺機器のトラブル
- 接続がきちんとされていない。コンセントをきちんと入れ直す。
- ミシンを再起動させてみる。

下糸センサー
- 釜カバーが閉じていない。
- セットアッププログラムで、センサーをオンにしていない。
- ボビンケースの糸くずを掃除する。

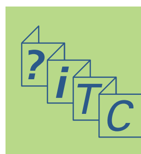
上糸センサー
- セットアッププログラムで、センサーをオンにしていない。



スクリーンメッセージ

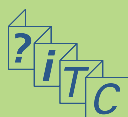
メッセージが画面に表示される場合があります。選択したアプリケーションや機能に関する、確認や注意です。

- 警告機能がオンになっています。縫う前に、オフにしてください。
- この番号は存在しません。
- このパターンはコンビモードでは使えません。
- 送り歯をソーイング位置に戻してください。
- 上糸をチェックしてください。
- 下糸巻取装置がオンになっています。
- 下糸をチェックしてください。
- 押えを下げてください。
- 押えを上げてください。
- 押えを下ろすと、糸通しがしやすくなります。
- 針が針板または押えを通過します。
- ミシン又は刺しゅう機が正常に機能していません。アーティスタ 200 正規販売代理店にご相談ください。
- スタートアップでエラーが生じました。ミシンを再起動してください。この状態が続く場合には、アーティスタ 200 正規販売代理店にご相談ください。
- ダウンロードしたデータは無効です。あとでもう1度、トライしてください。

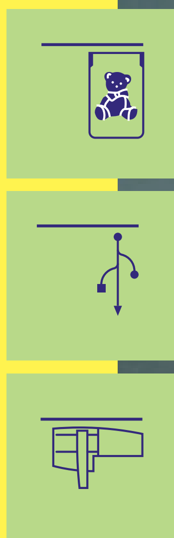


スクリーンメッセージ

- ベルニナモデムを認識できません。モデムをセットして、もう1度トライしてください。
- ダイヤルできません。電話回線への接続をチェックして、もう1度ダイヤルしてください。
- プロバイダーの認証に失敗しました。ユーザーネームおよびパスワードを確認してください。
- プロバイダーとの接続に失敗しました。あとでもう1度トライするか、別のプロバイダーをご利用ください。
- モデムに何らかの問題が生じました。もう1度トライしてください。
- マイアーティスタポータルのファイルに保存したり、または削除したりできません。
- マイアーティスタポータルに接続できません。もう1度トライしてください。
- ミシンのオーナー定期点検の時期が来ました。糸をはずし、針板の下と送り歯周辺の糸くずを掃除してください。詳しくは取扱説明書の 179 ページをご参照ください。
- ディーラー定期点検の時期になりました。アーティスタ 200 正規販売代理店に定期点検をお申し込みください。
- ディーラー定期点検がまだ完了していません。このメッセージは、次回の定期点検が発生するまで表示されません。
- チュートリアル映像ガイダンスのCDをセットして、「OK」を押してください。
- CDドライブが作動しません。
- メインモーターに問題が生じました。釜関係をチェックしてください。







周辺機器を接続する

ベルニナコンピューターシステム

周辺機器（別売りオプション）を接続すれば、アーティスタ200は、ミシンからコンピューターシステムに変身します。趣味の手芸が、独創的な芸術へと昇華する瞬間です。

マイアーティスタポータル（アーティスタウェブサイト）とダイレクトに接続すれば、ミシン専用に作成されたポータルサイトを見ることができますが、それに加えて、ベルニナCDドライブを使えば、映像ガイダンスによるチュートリアルを見ることも可能です。また、刺しゅう機を接続すれば、ミシンが刺しゅう機になります。

詳しくは、アーティスタ 200 正規販売代理店へお問い合わせください。

周辺機器

アーティスタ200には、以下の周辺機器を接続することが可能です。

- 刺しゅう機
- ベルニナモデム
- ベルニナCDドライブ

ご注意
周辺機器はすべて別売りオプションで、国によって異なります。詳しくは、アーティスタ200正規販売代理店にお問い合わせください。

刺しゅう機
刺しゅう機があれば、ミシンがよりすばらしいものとなります。アイデアをそのまま、刺しゅう作品に生かすことができます。

ご注意
この取扱説明書の後半には、刺しゅう機の説明書が用意されています。

モデム（マイアーティスタポータルへのアクセスができます）



ベルニナモデムがあれば、マイアーティスタポータル（情報源）に直接アクセスすることができます。ミシン専用にプログラムされたページを、アーティスタ200のスクリーンに呼び出すことができます。





接続の方法

- モデムを接続します。
- 「ポータル」をタッチします。
- 接続に関するメッセージを「イエス」で確定します。
- プロバイダーへの接続が完了したら、表示されるメッセージを「OK」で確定します。
- マイアーティスタのポータルサイトの目次が表示されます。
- 必要なページを指定します。

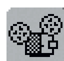
マイアーティスタのポータルページの内容は、逐次アップデートされています。

ご注意
ベルニナモデムの取扱に関しては、モデムに同梱された取扱説明書をご参照ください。

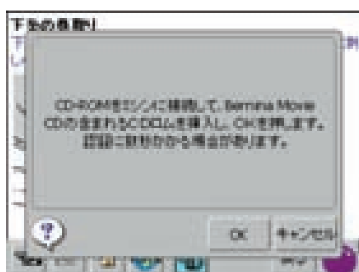
CDドライブ（周辺機器）：別売りオプション



ビデオチュートリアル等を含むベルニナCDロムを読み込むには、周辺機器のベルニナCDドライブが必要です。

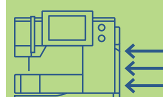


このアイコンがツールバーに表示されているときには、スクリーン上に表示された項目に関する映像ガイダンスが用意されています。



- アイコンをタッチします。
- 指定したビデオチュートリアルがない場合には、左記のメッセージが表示されます。
  「CD ドライブを接続してチュートリアル CD-ROM をセットしてください」
- CDドライブを接続して、チュートリアル CD-ROM をセットします。
- 「OK」をタッチすると、ビデオチュートリアルが開始されます。
- 「ESC」をタッチすると、ビデオチュートリアルは閉じます。

ご注意
ベルニナCDロムドライブの取扱に関しては、CD ドライブに同梱された取扱説明書をご参照ください。



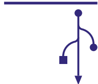
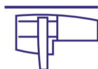
周辺機器の接続(ミシン対応機器)



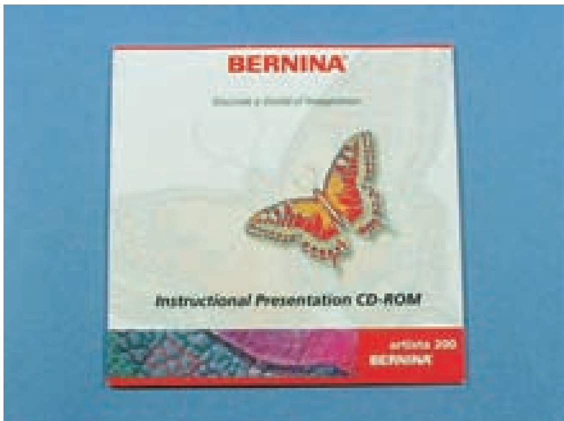
周辺機器の接続

- 外部装置の電源プラグを、ミシンの右側にあるソケットに接続します。

ご注意
ベルニナアーティスタ200には、ベルニナ製の周辺機器のみをご使用ください。市販のものは周辺として認識しません。

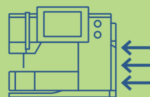
1. ベルニナモデム 
2. ベルニナCDロムドライブ 
3. ベルニナ刺しゅう機 

詳しくはベルニナ正規販売代理店にお問い合わせください。

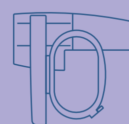


インストラクションおよびプレゼンテーション用CDロム(パソコン用)

アーティスタ200のソーイングおよび刺しゅう機能を映像でご紹介する、プレゼンテーションおよびインストラクション用のCDロムです。お手持ちのパソコンでお楽しみください。



第2章　刺しゅうの部

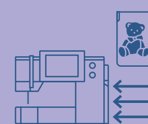










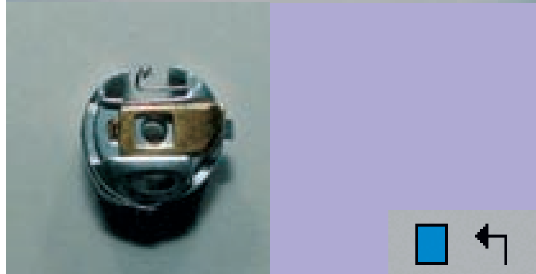




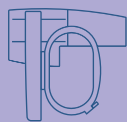
030794.71.10_0401_a200_JP

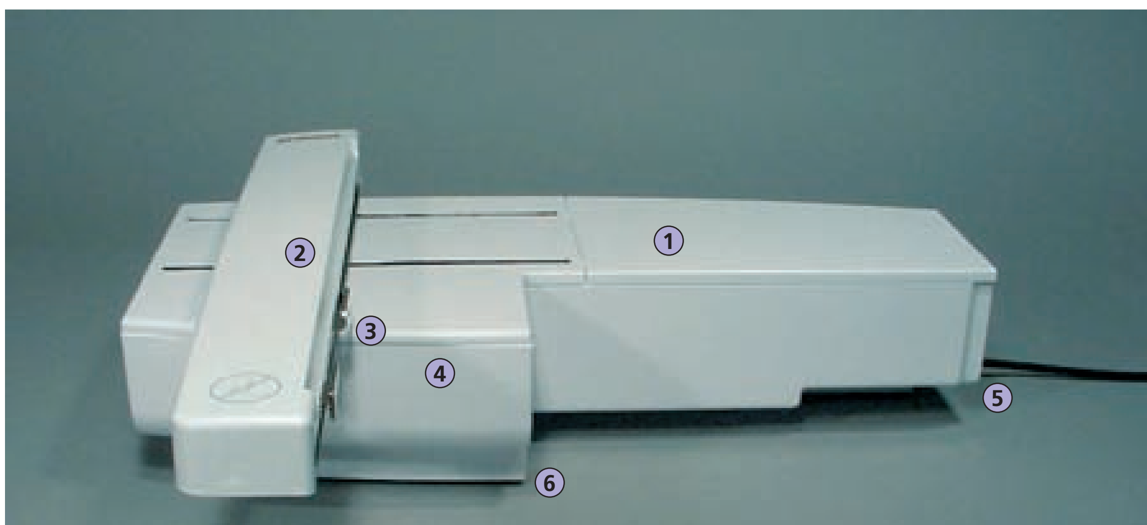






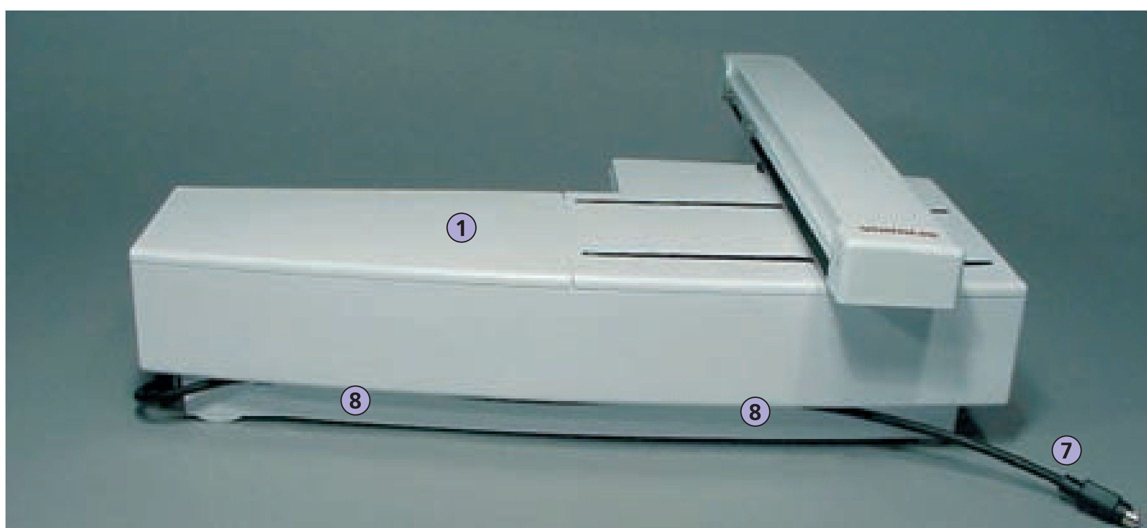
エンブロイダリー コンピューター





前面

刺しゅう機を準備する



背面

ご注意
ミシンの側面(はずみ車側)には、刺しゅうカードやモデム接続用のスロット、コード接続用ソケット等があります。詳しくは、ミシンの取扱説明書9ページをご覧ください。

1. 刺しゅう機上面
2. 刺しゅうアーム
3. 刺しゅう枠取り付け金具
4. アクセサリー用ボックス
5. 右側接続用ラグ
6. 中央接続用ラグ
7. ミシンとの接続コード
8. コード収納ホルダー

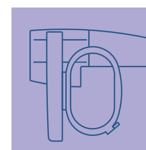
標準アクセサリー（刺しゅう機に含まれるアクセサリー）



大型のだ円形刺しゅう枠（145x255mm）
刺しゅう枠用テンプレート



中型の刺しゅう枠（100x130mm）
刺しゅう枠用テンプレート





小型刺しゅう枠（72x50mm）
青いテンプレートは、通常の刺しゅう用
赤いテンプレートは、フリーアーム刺しゅう用です。



フリーアーム刺しゅう用アダプター



刺しゅう用押え金15番
上糸の糸こま用ネット
糸が均一に送られるよう、上糸の糸こまにかぶせておきます。



刺しゅう用ボビンケース



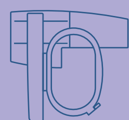
ポケット付きソフトカバー



刺しゅう用ソフト接続USBコード
（オプションのソフトが別に必要です）

030794.71.10_0401_a200_JP

特殊アクセサリー（別売りオプション）

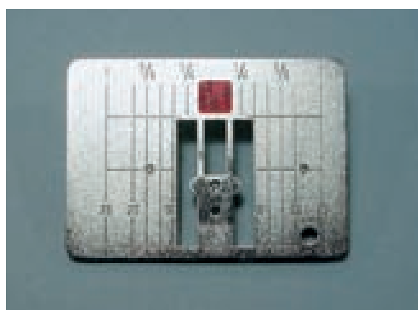




ミシンおよび刺しゅう機一体型スーツケース



特大の刺しゅう枠（150x400mm）
刺しゅう枠用テンプレート



直線縫い用針板



ベルニナ刺しゅうカード



ベルニナCDドライブ

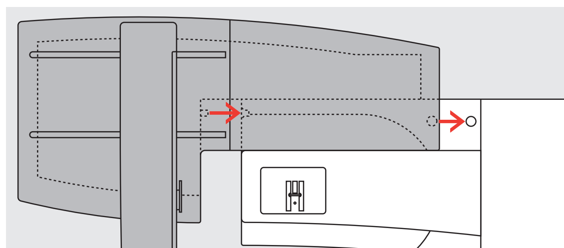


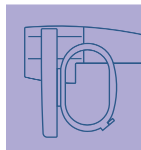
ベルニナモデム



アーティスタ刺しゅうソフトウエアー
- オートデザイナー
- デザイナープラス
- アートリンク

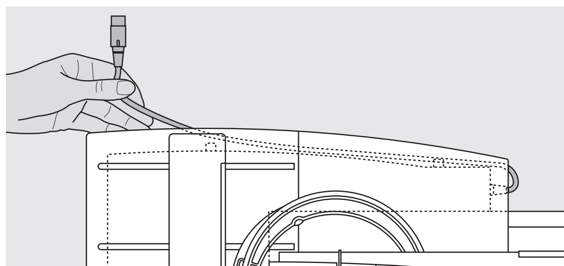
刺しゅう機をミシンに接続する





刺しゅう機をミシンに接続するには

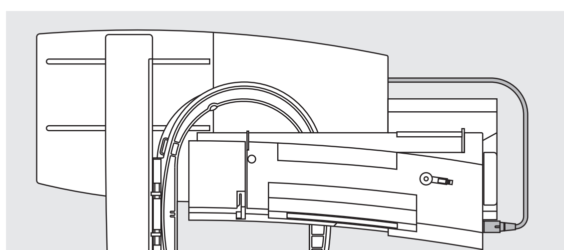
- 刺しゅう機をミシンのフリーアームの後ろに置きます。
- 刺しゅう機を、左側からミシンに向けて、押しつけるようにすると、ベースプレートのラグがはまります。



コードを取り出すには

- 刺しゅう機とミシンは、コードで接続されています。
- 刺しゅう機背面のホルダーから、コードを引きぬきます。

刺しゅうの準備



コードを接続する

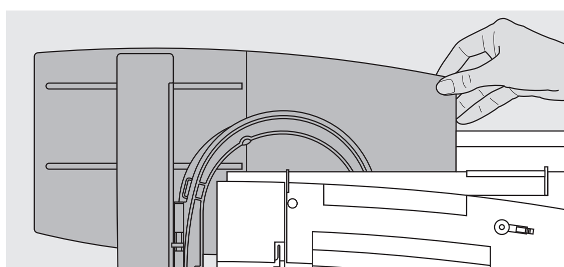
- 平らな面を前に向けて、接続します。
- ミシンの右側にあるソケットに、プラグを挿入します。(アイコンで示してあります)。

コードを外すには

- プラグを引きぬきます。

コードを刺しゅう機にしまう

- コードをホルダーにしまうことができます。
- コードをしまう際、力を入れ過ぎないようにしてください。



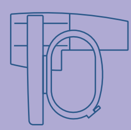
刺しゅう機の取り外し方

- 刺しゅう機の後方右の角をつかんで、刺しゅう機を持ち上げ、左側にずらして取り外します。

ご注意:刺しゅう機およびフリーアームアダプターを取りつける際には、機械全体が平らな面の上で安定していることをご確認ください。

注意
運搬の際には、ミシンと刺しゅう機を別々にするようにしてください。接続したままで運搬するのは、非常に危険です。

ミシン・刺しゅう機カバー

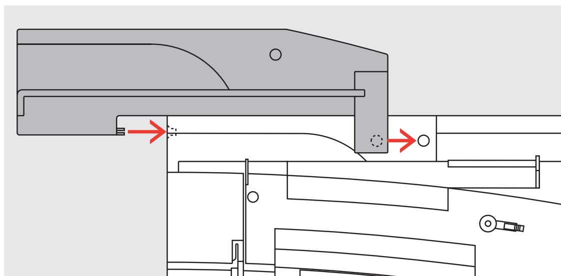




ソフトカバー

- ほこり対策として、ソフトカバーをかぶせるとよいでしょう。
- ミシンを使わないときは、カバーをしておきます。
- 刺しゅう機用のソフトカバー部分は、ジッパーで取り外しできます。

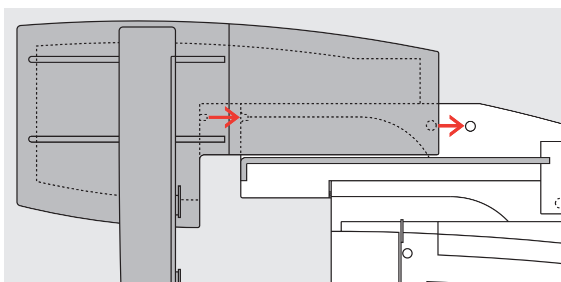
フリーアーム・アダプターを接続するには



袖、ズボンのすそ、子供服、ソックス等の筒状のものに刺しゅうをする際、ミシンのフリーアーム上にアダプターを取りつけます。

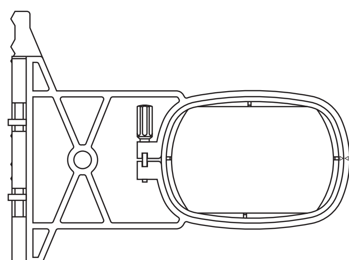
アダプターをミシンに取り付ける

- アダプターを、フリーアームの後ろからミシンに向って、押します。ベースプレートで、ラグがはまれば、接続完了です。



刺しゅう機をアダプターに取りつける

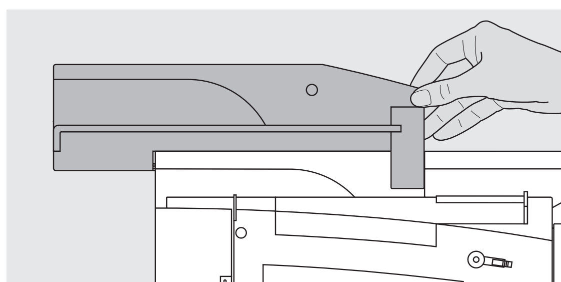
- 刺しゅう機をアダプターの上に置きます。その際、刺しゅう機の前端を、アダプターのL型ガイド部分にできるだけ近づけるようにします。
- 左側から、刺しゅう機をガイドに沿って押します。ベースプレートで、ラグがはまれば、接続完了です。



フリーアーム用刺しゅう枠

- 小型のだ円形刺しゅう枠を使います。

注意
フリーアーム刺しゅうには、この小型の枠以外は使えません。

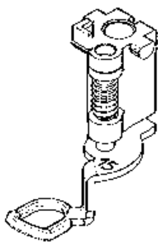


アダプターを取り外す

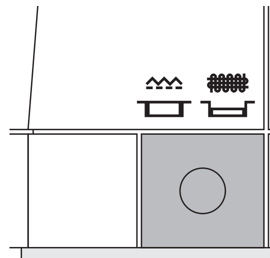
- 刺しゅう機を、アダプターから外します。
- アダプターの背面の右コーナー部分に、グリップがあります。
- このグリップを持って、アダプターを持ち上げ、取りはずします。

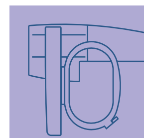
030794.71.10_0401_a200_JP

刺しゅうの準備をする









刺しゅう用押え金15番

- 刺しゅう用押え金15番を取りつけます。
- 刺しゅう枠が取りつけられるよう、押え金は上げておきます。

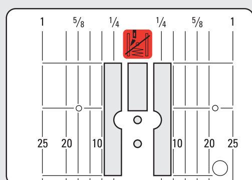
刺しゅう用針

- 最高の仕上がりを得るには、正しい刺しゅう針をお使いください。(19 ページ参照)

送り歯を下げる

- ミシンの右側にあるボタンを押して、送り歯を下げておきます。

針についての詳細は、17-19 ページをご覧ください。

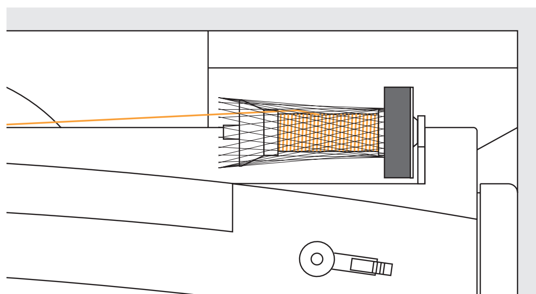


刺しゅうの準備

直線縫い用針板(オプション)

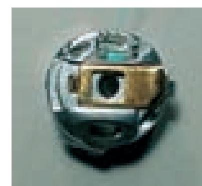
直線縫い用針板には、小さな針穴が開いています。針の入る場所(つまり、上糸と下糸がつながってステッチとなるところ)が限られているため、刺しゅうの仕上がりがきれいになります。
標準装備の針板をはずして、こちらを取りつけます。

針板についての詳細は、17ページをご覧ください。



上糸を通す

- パッド付糸立て台を取付けて、上糸をセットします。
- レーヨンまたはすべりやすい刺しゅう用の糸を使用する場合には、上糸の糸こまに、ネットをかぶせておきます。
- 糸が滑らず、均一に送ることができるので、仕上がりがきれいになります。



ご注意

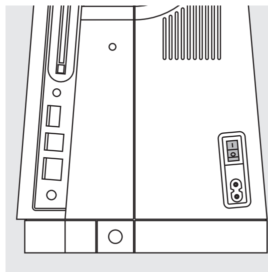
下糸のインディケーターセンサーは、ボビンカバーが閉じている場合のみ、有効です。ボビンケースを挿入した後、ボビンカバーを閉じましょう。(センサーは、セットアッププログラムでオンにしておく必要があります。)

垂直糸立て

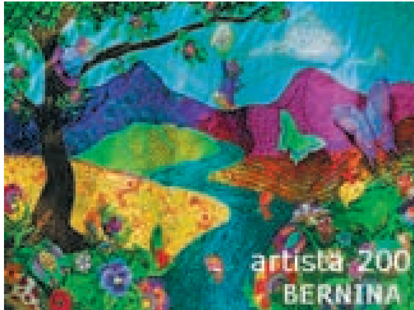
メタリックまたは特殊な糸を使用する場合には、垂直の糸立て棒および糸ガイド(別売りオプション)を使うとよいでしょう。

ご注意

ソーイングのときと同様、刺しゅうをしながら、同時に下糸を巻くことも可能です。(13ページをご覧ください)



ミシンのスイッチを入れる
- アーティスタの刺しゅうは、外部のボタン、調節つまみ、きます。
- スイッチを「1」(オン)にします。



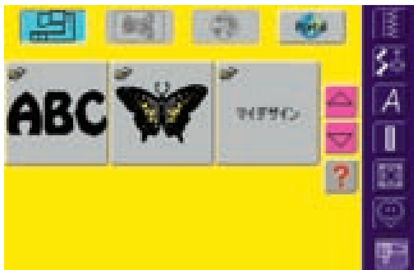
ウェルカム画面
- ミシンの電源を入れると、ウェルカム画面が数秒間、表示されます。
- 次に、メッセージを表示します

ご注意
ウェルカム画面は、セットアップログラムで、好みのメッセージにカスタマイズできます。

刺しゅうデザインを選ぶ

デザインモード選択画面が表示される
- デザインモード選択画面で、刺しゅうデザインをどこから選ぶかを決めることができます。

ミシンに内蔵されたデザインを選ぶ



デザインモード選択画面が立ち上がる
- 通常刺しゅう機が接続された状態でスイッチを入れると左のデザインモード選択画面が表示されます。
- デザインモード選択画面の上段ツールバーで「ミシン」アイコンが青色で表示されアクティブになっています。
- ミシンに内蔵された、「アルファベット」、「デザイン」および「マイデザイン」のモードからどれか選びます。



アルファベットを選択するには
- 「アルファベット」ボタンをタッチします。
- 10 種類のアルファベット書体が表示されます。
- 上下にスクロールして、一つを選びます。
- アルファベットキーボードが表示されます。

レタリングに関する詳細は、226 ページをご覧ください。



デザインを選択するには
- デザインモード選択画面で「蝶のデザイン」ボタンをタッチします。
- いろんな刺しゅうデザインが、カラーで表示されます。
- デザインにタッチして、刺しゅうデザインを選択します。

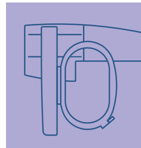


マイデザインに登録したデザインを選択するには
- デザインモード選択画面で「マイデザイン」ボタンをタッチします。
- 保存してあるオリジナルデザインのデザインが、カラーで表示されます。
- デザインにタッチして、デザインを選択します。

刺しゅうカードからデザインを選ぶ

（刺しゅうカードを挿入してください）





刺しゅうカードのオンスクリーンボタン

- デザインモード選択画面の上段ツールバーで「刺しゅうカード」をタッチします。
- 刺しゅうカード（オプション）に収録されたデザインが、カラーで表示されます。
- オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。

- 刺しゅうカードについては、255 ページをご覧ください。

CDロムからデザインを選ぶ

（CD ドライブ（オプション）を接続してデザイン CD をセットしてください）



CDロムのオンスクリーンボタン

- デザインモード選択画面の上段ツールバーで「CDロム」をタッチします。
- CDロム（別売りオプション、国によってちがいます）に収録されたデザインが、カラーで表示されます。（CDロムドライブを事前に接続、CDロムをセットしておきます）
- オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。

- CDドライブについては、253 ページをご覧ください。

マイアーティスタポータルからデザインを選ぶ

（モデム（オプション）をセットして電話回線にセットしておいて下さい）



ポータルのオンスクリーンボタン

- デザインモード選択画面の上段ツールバーで「ポータル」をタッチします。
- モデムの接続に関する保存デザイン操作画面が表示されます。
- モデム（オプション）が接続されれば、マイアーティスタポータル（情報源）にあるデザインが表示されます。
- オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。



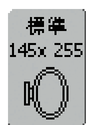
- マイアーティスタポータルについては、252 ページをご覧ください。

刺しゅう枠を選択する



デザインメニュー編集画面１

デザインを一つ選択します。
「デザインメニュー編集画面１」が表示されます。



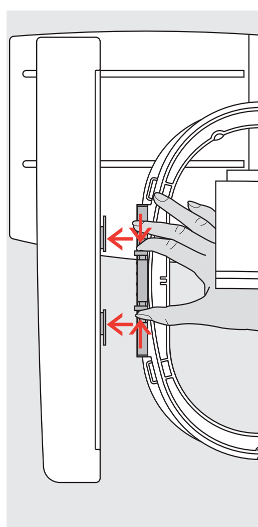
- 選択した刺しゅうデザインが、サイズの合う中で１番小さい刺しゅう枠に収まった形で表示されます。
- 「刺しゅう枠」オンスクリーンボタンに、どの刺しゅう枠を使うべきかが表示されています。
- 指示された刺しゅう枠をセットします。

刺しゅう枠をセットする

針および刺しゅう用押え金を上に上げる

- 針および押え金を上に上げます。
- 布表を上にして入れた刺しゅう枠を、金具を左側にして持ちます。

デザインを刺しゅうする



刺しゅう枠をセットする

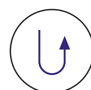
- 押え金の下に、刺しゅう枠をくぐらせます。
- 刺しゅう枠の横部分についている取付け用の金具をつまみます。
- 小さな取付け用クランプの中心点を、刺しゅうアームのブラケットに合わせます。
- 刺しゅう枠を下に押しつけて、取りつけます。
- つまんでいた取付け用金具を離します。

刺しゅう枠を外す

- 刺しゅう枠の取付け用金具をつまんで、押します。
- そのまま刺しゅう枠を持ち上げて、取り外します。





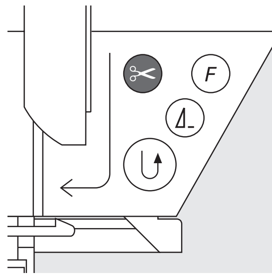


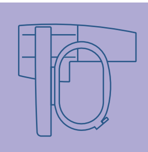
- デザインメニュー編集画面１で「OK」をタッチするか、手元返し縫いボタンを押します。
- 刺しゅう枠が取り付けられているかどうか、ミシンが動いてチェックします。



刺しゅうメニュー（準備画面）

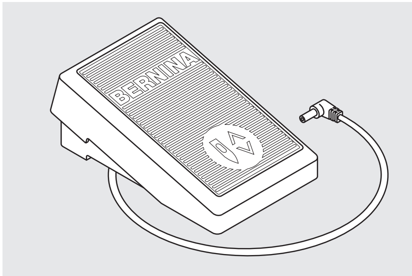
- デザインが表示され、刺しゅうメニュー（準備画面）が開きます。
- 準備ができているので、すぐにステッチできます。





手元返し縫いボタンで、刺しゅうを開始する

- 押え金を下げます。
- 刺しゅうを始めるには、刺しゅう機が動き出すまで返縫いボタンを長押しします。
- 手元返し縫いボタンを押します。
- ミシンは6針縫い進めて、自動的に停止します。
- デザインの縫い始めの糸端をカットします。
- 手元返し縫いボタンを押して、刺しゅうを開始します。



フットコントローラーを使って、刺しゅうをする

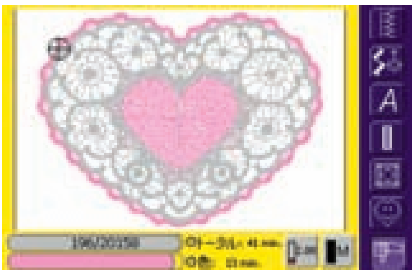
- スピードを調節したり、細部を注意して縫うのに便利です。
- 押え金を下げます。
- フットコントローラーを踏み込みます。
- ミシンは6針縫い進めて、自動的に停止します。
- デザインの縫い始めの糸端をカットします。
- フットコントローラーを踏み続けて、刺しゅうを開始します。

刺しゅう画面

- 刺しゅうを開始すると、刺しゅう画面が表示されます。

刺しゅうを中断するには

- 自動で刺しゅうしている時は、手元返し縫いボタンを押すか、またはフッ
ローラーを軽く踏みます。
- フットコントローラーを使って刺しゅうしている時は、フットコントローラーか
離します。
- ミシンが停止します。



糸の色

- 押え金を下げます。
- 手元返し縫いボタンを押すか、フットコントローラーを踏み込みます。
- 同色の個所をすべて刺しゅうし終わると、ミシンは自動的に停止します。
- 自動糸カッターで、上糸と下糸の両方を自動的にカットします。
- 「次の糸に交換してください」のメッセージが表示されます。
- 「OK」をタッチして、確認します。

色を変える

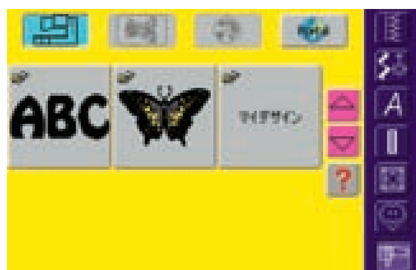
- ミシンは、次の色部分をステッチする準備ができています。
- 上糸を交換します。
- 刺しゅうを続けます。

刺しゅう完了後に糸端をカットする

- 押え金を上げます。
- 刺しゅうアームから、刺しゅう枠を取り外します。
- デザイン間のつなぎ部分の糸を、注意深く取り除きます。

030794.71.10_0401_a200_JP

デザインモード選択画面



刺しゅう用ミシンの電源をオンにするか、またはソーイングモードから刺しゅうモードに変換すると、デザインモード選択画面が表示されます。「ミシン」アイコンが青く表示されアクティブになっています。



デザインモード選択画面に戻る
- この機能は、「アルファベット」、「デザイン」または「マイデザイン」のどれかのデザインモードを選択したときに、表示されます。
- ボタンをタッチ。
- デザイン選択画面が表示されます。

オンスクリーン機能と画面表示



上にスクロール
- アイコンを必要な回数タッチします。
- 画面の表示が上にスクロールして、いろいろな選択肢を見ることができます。
- 速くスクロールしたい場合には、アイコンをタッチしたままにします。



下にスクロール
- アイコンを必要な回数タッチします。
- 画面の表示が上にスクロールして、いろいろな選択肢を見ることができます。
- 速くスクロールしたい場合には、アイコンをタッチしたままにします。



ヘルプ(マルチ機能ボタン)

機能に関する質問およびヘルプの場合
- ?-アイコンをタッチして、質問したい機能を選択します。
- 選択した機能に関する説明が表示されます。
- ESC で閉じます。

デザインに関する質問およびヘルプの場合
- ?-アイコンをタッチして、質問したいデザインを選択します。
- 保存デザイン操作画面が開いて、以下の情報が表示されます。
- デザインの名称およびフォーマット
- デザインの幅、高さ、刺しゅうに要する時間、ステッチカウントおよび色の数(表示内容は、デザインによって、多少のちがいがあります)。
- この画面から、直接、デザインを開くことも出来ます。(デザインモード選択画面に戻るには、ESC をタッチします)
- メモリーに記憶させたデザインを削除することも出来ます。詳しくは 243 ページ参照。



保存デザイン操作画面を閉じる
- デザインメニュー編集1から、デザインモード選択画面に移動したい場合、この機能を使います。
- アイコンをタッチします。
- 保存デザイン操作画面が閉じて、前画面に戻ります。



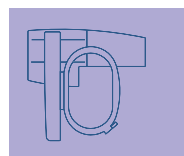
スピンする糸こま
- この糸こまのアイコンは、コンピューターが演算処理中であることを示します。
- この計算が行なわれている間は、ミシンの操作はできません。

ご注意：刺しゅう機およびフリーアームアダプターを取りつける際には、機械全体が平らな面の上で安定していることをご確認ください。

デザインメニュー編集1と編集2に共通の機能と画面表示

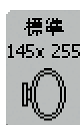






デザインメニュー編集1
デザインを選択すると、この画面が表示されます。このメニューでは、新しいデザインを選択したり、またはデザインのコンビネーションを作成することができます。

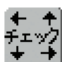
デザインメニュー編集2
デザインメニューには、サブメニュー(編集2)があります。デザインに変更(デザインの拡大縮小、反転、回転等)を加える際に使用します。



刺しゅう枠を選択する
- 選択したデザインを刺しゅうするのに、最適の刺しゅう枠を表示します。
- オンスクリーンボタンにタッチ。
- 「刺しゅう枠を選択」の画面になります。
- 各刺しゅう枠の刺しゅうに使用できるサイズが、mm単位で表示されます。



刺しゅう枠の選択(「刺しゅう枠の選択」画面)
- 刺しゅう枠を、小、中、大、特大から選択します。
- 画面は閉じて、選択した刺しゅう枠が、「刺しゅう枠」のオンスクリーンボタンの中に表示されます。
- 「ESC」をタッチすれば、刺しゅう枠の選択をしなくても、画面を閉じることができます。



チェック
- アイコンをタッチします。
- 刺しゅう枠が垂直方向に移動し、ミシンが今現在取り付けてある刺しゅう枠のサイズを読みこみます。
- 刺しゅう枠の読みこみが済んだら、「キャンセル」をタッチします。
- デザインをステッチできる範囲は、4回停止しながら計測されます。
- 左下部分
- 右下部分
- 左上部分
- 右上部分
- 停止するたびに、「OK」で進めます。
- 取り付けてある刺しゅう枠が、表示されます。
- 刺しゅう枠が取り付けられていない、または取り付けてある枠が小さすぎる場合には、エラーメッセージが表示されます。



デザインの中心点
- アイコンをタッチします。
- デザインの中心点が、カーソルで表示されます。
- 刺しゅう枠は、針がデザインの中心点に落ちる位置まで、移動します。
- アイコンを再度タッチします。
- 画面では、デザインの最初のステッチがカーソルでマークされます。



デザインに関する情報
- アイコンをタッチします。
- デザインに関する以下の情報を表示した画面に変わります。
- デザインの幅、高さ、刺しゅうに要する時間、色の数およびステッチカウント、糸の色および糸のブランド
- ここで必要な色を確認し、刺しゅうを開始する前に糸をそろえることが可能になります。

↔125 mm
↕ 95 mm

デザインのサイズ
- デザインの幅および高さがmm単位で表示されます

刺しゅうに要する時間

33 min.

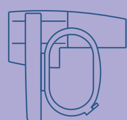
- 選択したデザインを刺しゅうするのに要する時間が、分単位で表示されます。



色の数
デザインに必要な色の数を表示します。
- アイコンをタッチします。

色の数の画面が表示されます。(アイコンに再度タッチすれば、画面は閉じます)。



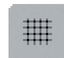


カラーデザインの表示
- 色の順番は、矢印でスクロールすることができます。
- 選択した色の表示は、画面上およびカラーインフォメーションバーに表示されます。
- カラーインフォメーションバーにタッチします。
- 「色およびブランドを変更する」の画面が表示されます。
- 今現在表示されている糸の色またはブランドを変更することができます。

- 糸色の変更については、232 ページをご覧ください。




ズーム
- アイコンをタッチします。
- デザインが拡大表示されます。
- もう一度、アイコンをタッチします。
- デザインが、もう一段階拡大表示されます。
- 振り幅または送り長さ調節つまみで、デザインをスクロールして見ることができます。
- 更にもう一度、アイコンをタッチすると、デザインのサイズは元に戻ります。



画面目盛を表示
- アイコンをタッチします。
- 大きな十字が、デザインの中央に表示されます。
- もう一度、アイコンをタッチします。
- 画面目盛が表示されるので、デザインをより正確に配置することができます。
- 更にもう一度、アイコンをタッチすると、画面目盛は消えます。



モチーフ検索機能
この機能は、デザインを組み合わせてデザインしている場合にのみ、表示されます。
- アイコンをタッチします。
- コンビネーションの中のモチーフを順に表示します。
- アクティブになったモチーフは、色付きで表示されます。
- 目的のモチーフがアクティブになるまで、アイコンをタッチします。



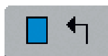
ヘルプ
- アイコンをタッチして、機能を選択します。
- 選択された機能に関する説明が表示されます。
- ESC をタッチすると、閉じます。



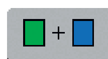
刺しゅうメニュー（準備完了）
- 「OK」をタッチします。
- デザインメニュー編集１の画面から、刺しゅうメニュー（準備完了）に変わります。

デザインメニュー編集１





新しいデザイン
- 「新しいデザイン」をタッチします。
- デザインモード選択画面が表示されます。
- 新しいデザインを選択するか、または ESC で画面を閉じます。



デザインを加える
- 「デザインを加える」をタッチします。
- デザインモード選択画面が表示されます。
- 新しいデザインまたはレタリングを選択するか、ESC で画面を閉じます。
- 画面上に、新しいデザインが追加されて表示されます。



デザインを複製する
- 「複製」をタッチします。
- 画面に表示されているデザインが、自動的に複製されます。



削除
- この機能は、デザインを組み合わせてコンビネーションを作成しているときにのみ表示されます。
- アイコンをタッチします。
- 選択されているデザインを削除します。削除後は、次のデザインがカラー表示されます。



保存

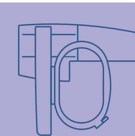
- アイコンをタッチします。
- 「保存」の画面が表示されます。

- 保存については、240-242 ページをご覧ください。



次ページ(編集2)へ

- アイコンをタッチします。
- デザインメニュー編集1の画面が、編集2に変わります。



デザインメニュー編集2





デザインを移動

- アイコンをタッチします。
- ステッチの振り幅および送り長さ調節用の紫のアイコンが表示されます。
- デザインを横方向に移動するには、振り幅調節つまみを回します。右への移動は、時計回りに、左への移動は、時計の反対方向へ回してください。
- デザインを縦方向に移動するには、送り長さ調節つまみを回します。上への移動は、時計回りに、下への移動は、時計の反対方向へ回して下さい。
- 紫のアイコンの中に、変更した距離が、10分の1mm単位で表示されます。デザインを斜めに移動するには、振り幅調節つまみと送り長さ調節つまみを同時に回します。
- 2つの紫の調節つまみアイコンの中に、同じ数字が表示されるようにすると、デザインは斜めに移動します。
- デザインを中心に戻したいときには、紫の調節つまみアイコンをタッチするか、または「デザインの移動」を再度タッチします。



デザインの拡大縮小

- アイコンをタッチします。
- ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- デザインを拡大するには、調節つまみを時計回りに回します。
- 縮小するには、時計と反対回りに回します。
- 拡大縮小の率が、パーセンテージで表示されます。
- 元のサイズ(100%)に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。



デザインの回転

- アイコンをタッチします。
- ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- デザインを時計回りに回転するには、調節つまみを時計回りに回します。
- 時計と反対回りに回転するには、時計と反対回りに回します。
- 回転の度合いが、角度で表示されます。
- 元の状態(0° または360°)に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。
- 「デザインの回転」をタッチした数だけ、デザインは時計回りに90° ずつ回転します。(90° 、180° 、270° 、360° の順)



デザインの高さ、または幅を拡大・縮小する

- アイコンをタッチします。
- ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- デザインを左右に拡大するには、振り幅調節つまみを時計回りに回します。
- 左右に縮小するには、時計と反対回りに回します。
- デザインを上下に拡大するには、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。
- 上下に縮小するには、時計と反対回りに回します。
- 拡大縮小の率が、パーセンテージで表示されます。
- 元のサイズ(100%)に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。



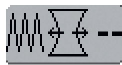
左右に反転する

- アイコンをタッチします。
- デザインは、左右に反転されます。



上下に反転する

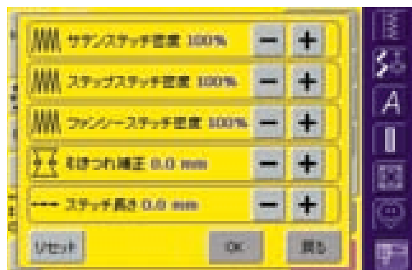
- アイコンをタッチします。
- デザインは、上下に反転されます。



デザインのプロパティ

デザインのプロパティ機能を使えば、以下のことが可能となります。

- あるステッチに関して決まっているステッチ数を変更する。
- 布のつれを調整する。デザイン間の余分なスペースまたは重なりを防ぎます。
- ランレングスの変更。アウトラインの長さを変更します。
- アイコンをタッチします。
- 保存デザイン操作画面が表示されます。



- ステッチの数を変更(サテンステッチ、ステップステッチ、飾りステッチのファンシーフィル等)。
  - ・「+」をタッチすれば、ステッチ数は増えます。
  - ・「−」をタッチすれば、ステッチ数は減ります。
  - ・変更は、パーセンテージで表示されます。
- 布のつれを調整する
  - ・「+」をタッチすれば、布の引きを強くして、デザイン間の余分なスペースおよびフィルステッチの際に生じるアウトラインも減ります。
  - ・「−」をタッチすれば、布の引きが弱くなるので、デザイン同士の重なり合いおよびフィルステッチの際に生じるアウトラインもなくなります。
  - ・変更は、10分の1mm単位で表示されます。
- ランレングス(アウトライン)の変更
  - ・ランレングスを長くするには、「+」をタッチします。
  - ・短くするには、「−」をタッチします。
- 「OK」をタッチすると、確定されます。
  - 変更は、10分の1mm単位で表示されます



文字の操作

アイコンをタッチします。
保存デザイン操作画面が表示されます。



- レタリングを挿入するには、テキストバーをタッチします。
  - キーボード付きの画面が表示されます。
- アルファベットのタイプを変更するには、アルファベットのアイコンまでスクロールしていきます。
  - 画面に表示されたアルファベットのタイプが変更されます。
- レタリングのサイズを変更するには、高さのボックスまでスクロールしていきます。
  - 変更は、mm単位で表示されます。
- レタリングのベースラインを変更するには、必要なオンスクリーンボタンをタッチします。
  - 横方向へのベースライン
  - 反時計回りの文字列は、カーブしたベースラインの下にレタリングを配置することができます。(3種類のカーブがありますが、グリーンの○が大きいほど、カーブはゆるやかになります)。
  - 時計回りの文字列は、カーブしたベースラインの上にレタリングを配置することができます。(3種類のカーブがありますが、グリーンの○が大きいほど、カーブはゆるやかになります)。
  - 縦方向へのベースライン
- 上下の矢印を使って、文字間のスペースを変更できます。

次ページへ 編集1

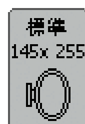


- アイコンをタッチします。
- デザインメニュー編集1が表示されます。

ご注意
編集2で最後に使用した機能(デザインの移動、回転、サイズ変更等)は、デザインメニュー編集1に戻れば、また変更することができます。

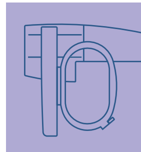
刺しゅうメニュー（準備完了）



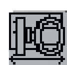


刺しゅう枠の表示

- 取りつけられている刺しゅう枠が、刺しゅう可能な範囲のサイズ（mm単位）とともに表示されます。

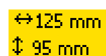


刺しゅうメニュー（準備完了）では、デザインへの変更（糸調子の調整、モータースピードの調整等）は完了し、刺しゅうを開始できる状態となっています。



刺しゅう枠のリロケーター

- この機能を使うと、針が刺しゅう枠の左端に非常に近い位置にある場合の糸通しが簡単にできます。
- アイコンをタッチします。
- 刺しゅう枠は、中央に向って水平に移動します。
- 糸を交換して
- 手元返し縫いボタンをタッチします。
- 刺しゅう枠が元の位置に戻り、刺しゅうを続けることができます。



デザインサイズ

- デザインの縦横のサイズを、mm単位で表示します。



刺しゅうに要する時間

選択したデザインを刺しゅうするのに要する時間が、分単位で表示されます。

カラーインフォメーションバー

カラーインフォメーションバー

- 今現在刺しゅうしている糸の色に関する情報が表示されます。
  - 今現在の糸の色。
  - 糸の色の位置（1番目の数字）
  - 数（2番目の数字）
  - 糸のブランドにおける色番号
- 左右の矢印で、糸色を変更できます。
- カラーインフォメーションバーをタッチします。
- 刺しゅう枠は、今現在の色の最初のステッチ位置に移動します。（カーソルのアイコンが、カラーインフォメーションバーに表示されます。）。
- カラーインフォメーションバーにタッチすると、今現在刺しゅうしている色を、一つ一つ刺しゅうすることもできます。

刺しゅう時間



- 上のバーには、刺しゅうに要する時間および残り時間が表示されます。
- 上のバーに表示された数字
- 左の数字は、画面上のデザインの総針数です。
- 右の数字は、刺しゅうした針数です。
- 今現在、刺しゅう中の色に関する刺しゅう時間は、下のバーに表示されます。
- 刺しゅうが進むにつれて、上下どちらのバーの残り時間も減っていきます。



糸調子（変更）

- アイコンをタッチします。
  - 糸調子画面が表示されます。
  - 糸調子は、好きなように変更できます。
  - 選択したセッティングは、オンスクリーンボタンで見ることができます。

030794.71.10_0401_a200_JP



デザインメニュー編集1

- アイコンをタッチします。
- 刺しゅうメニュー（準備完了）から、デザインメニュー編集1に変わります。



刺しゅうのスピード 1/4-1/2-3/4-4/4

- アイコンをタッチします。（一回または複数回）
- 好みのスードを選択できます。
- アイコン上に、変更の内容がバーの長さで表示されます。
- 刺しゅうの最高スピードを制御出来ます。

❖ アイコンを長押しすると、標準設定のスピードに戻ります。



シングルまたはマルチカラーデザイン

- アイコンをタッチします。
- アイコンがアクティブな場合には、デザイン全体が1色で、止まることなく最後まで刺しゅうされます。
- アイコンがアクティブでない場合には、各色ごとに刺しゅう機が止まります。



針目のトレース（糸が切れた時など）

- アイコンをタッチします。
- 振り幅調節つまみの操作ガイドボックスが画面に現れます。
- 振り幅ダイヤルを回すと針目を前後に追跡出来ます。
- 刺しゅう枠が針目を追って、動きます。
- 刺しゅうの先の針目をトレースする時は、調節つまみを時計回りに回します。
- 刺しゅうの縫ったあとの針目をトレースするには、反時計方向に回します。
- 調節つまみのガイドボックスに表示された番号は、ダイヤルで動かした針目の数です。
- ダイヤルで動かす前のゼロ位置に戻すには、調節つまみのガイドボックスの中のダイヤルアイコンをタッチします。



刺しゅう枠を移動する

- アイコンをタッチします。
- 振り幅調節つまみおよび送り長さ調節つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 例えば、大きなデザインを刺しゅうする場合、布を刺しゅう枠に張り直す必要があることもあります。（レタリング、ボーダー等）。このような場合、調節つまみで刺しゅう枠を動かして、前の刺しゅうで最後に針がさした位置へ移動する事が出来ます。

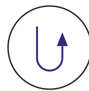


<<?>>ヘルプ

- アイコンをタッチして、それから内容を知りたい機能を選択します。
- 選択した機能の説明が表示されます。
- 「戻る」アイコンで閉じます。

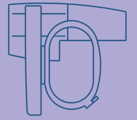
下糸の残量

- 下糸が少なくなると、ミシンは停止し、「下糸をチェックしてください」のメッセージが表示されます。
- メッセージが表示されている間は、下糸監視センサーはオフ状態ですので、下糸が無くなるまでソーイングを続けることができます。
- 「ＯＫ」でメッセージを閉じると、下糸監視モニターが再びオンになります。



手元返し縫いボタンで、刺しゅうを開始する

- 手元返し縫いボタンをタッチすると、刺しゅうが開始されます。
- デザインメニューから、直接刺しゅうメニューを入力する場合には、手元返し縫いボタンをタッチします。

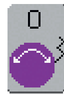




自動糸カッター

- 1色の作業が完了すると、上糸および下糸は自動的にカットされます。

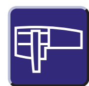
外部操作ボタン





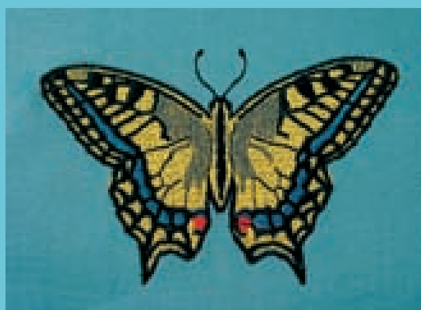
ステッチの振り幅よび送り長さ調節つまみ

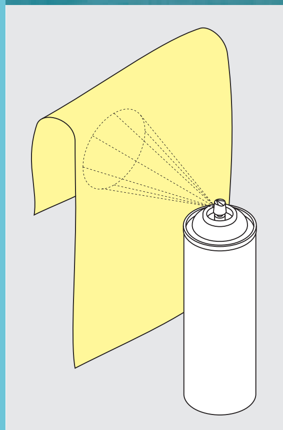
- 通常振り幅や送り長さを調節するダイヤルです。マルチ機能を持っており、糸調子、サイズ変更、デザインの回転等の操作をもコントロールします。
- これらのダイヤルを使って操作するときには、画面に操作ガイドボックスが表示されます。



刺しゅうモード、ソーイングモード切替ボタン

- 刺しゅうモードをソーイングモードに切り替えます。
- その反対もこのボタンをタッチして行います。





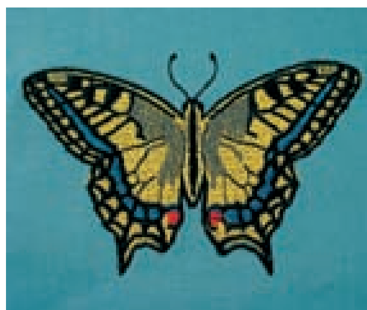




知っておきたい刺しゅうの知識







刺しゅう用デザインを選ぶ
- 薄手の土台布を使う場合には、ステッチ数が少ない、単純なデザインがよいでしょう。
- 大型で、ステッチの数の多いデザイン（色数も多く、刺しゅうの方向が一定でないもの）は、分厚い土台布に適しています。

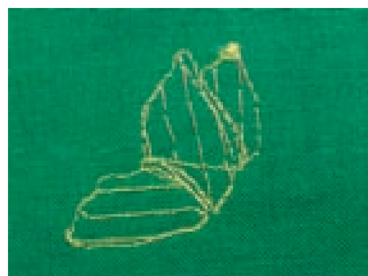
刺しゅうテスト
- サンプルの布を用意して、いつでもテストを行なうようにしましょう。色、糸の質、針、ステッチの数、テンション等の調整が必要かどうか確認できます。
- テスト用には、実際に使用する土台布と同じものに、同じ安定紙を用意します。

デザインのサイズ
- デザインは、PC上でもミシンでも、アーティスタのソフトウェアを使ってサイズ変更できます。
- きれいな仕上がりのためには、縮小は75%まで、拡大は150%までにするとよいでしょう。

一般的な知識

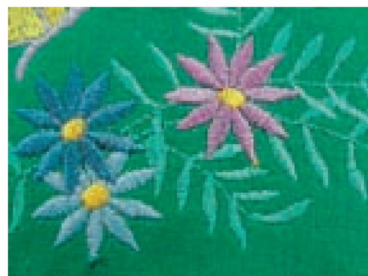
いろいろなステッチ

アンダーレイステッチ
アンダーレイステッチは、デザインの基礎となる部分であり、土台布を安定させ、その形を保たせるために使われます。また、ニットなどの土台布に、ステッチが沈み込んでしまうのを防ぐためにも使われます。アーティスタ200に収録されたデザイン、およびアーティスタのデザインカードのデザインには、自動的にアンダーレイステッチがなされます。



フィルステッチ

サテンステッチ
- ジグザグを細かい目で繰り返していくものです。糸がデザインをカバーするような感じになります。
- サテンステッチは、小さく、幅の狭い個所をフィルするのに便利です。大きな部分には、サテンステッチは使いません。振り幅をあまり大きく指定してしまうと、ステッチが広がって、仕上がりがきれいにはいきません。加えて、ステッチの糸が緩んで、何かに引っかかり、刺しゅうがだめになる危険性もあります。



ステップ（たたみ）ステッチ
- 特定の長さのステッチを繰り返すフィルステッチの一種です。大きな部分を効率よくフィルするのに、使用されます。



030794.71.10_0401_a200_JP

ファンシーフィルステッチ
- その部分に特殊効果をつけるのに使います。
- デザイン全体に使用できます。





アウトラインステッチ
- 直線縫い、またはサテンステッチを使います。
- ある一部分、あるいは数カ所を囲むのに使います。
- アウトラインステッチの例としては、直線縫い、ダブルラン、トリプルラン、サテンステッチ等があります。



ジャンプステッチ
- デザインの１箇所の刺しゅうが完了し、次の個所に移動する際に使われる、送りの長いステッチです。
- ジャンプステッチの前後には、返し縫いが入ります。
- ジャンプステッチは、次の色で刺しゅうを開始する前に、始末しておきます。





刺しゅう糸について

刺しゅうをきれいに仕上げるには、糸の品質が重要な要素となります。安物の糸は、でこぼこや糸切れの原因になります。糸に関しては、ぜひ最寄のお買い上げ店でご相談ください。

つやのあるレーヨンまたはポリエステルの刺しゅう糸を上糸に使用すると、仕上がりが非常に美しくなります。どんな作品にでも使える、幅広い色のバリエーションがあります。



ポリエステル糸
ポリエステル糸は、丈夫で色落ちしない糸で、どんな刺しゅうにも適していますが、特に子供服や子供用品に最適です。洗濯にも強く、色あせたり、切れたりしません。



刺しゅう糸

レーヨン糸
レーヨンは、つやのある柔らかいビスコースの繊維からできており、細密で繊細な刺しゅうに適しています。ふだん使いのものには不向きです。

メタリック加工されたポリエステル糸
メタリック糸は、細いものから中くらいまであり、刺しゅうに特殊効果を持たせるのに適しています。メタリック糸を使用する場合には、針も、できれば130/705H－MET針またはオーガン針等にするとよいでしょう。

ラメ糸・メタリック糸を使う場合には、糸立て棒は垂直のものを使うとよいでしょう。また、マルチスプールホルダー（オプション）や補助糸ガイド（オプション）を使うと便利です。

刺しゅう用針
- 刺しゅう専用針をお勧めします。
- メタリック糸にはメタリック用の針をお使いください。
- 糸のサイズに合わせて、針のサイズも変えましょう。
- 針の交換は、こまめにします。
- 針に接着タイプの安定紙ののりが付着するとトラブルの原因となります。交換するか綺麗にのりをふき取って使ってください。

針に関する情報は、17–19 ページを参照のこと。

刺しゅうに適した下糸

ボビンフィル（特殊な下糸）
ボビンフィルは、特に柔らかく軽い、下糸専用のポリエステル糸です。この特殊な下糸を使うと、糸調子が安定し、上糸ときちんとからむようになります。

ダーニング用および刺しゅう用糸
コットンの布に刺しゅうするのに最適なのは、メトラー60ウェイト等のコットン糸です。



針に関する情報は、17–19 ページを参照のこと。

刺しゅう用安定紙について

破り取れる安定紙(ティアウエイ)

- 芯地で、紙のように破れるものです。
- 1枚、または複数枚を同時に使用できます。
- いろいろな厚さのものがあります。
- しっかりと安定させたい場合には、布の裏側に、スプレー糊で接着してから、刺しゅう枠にセットするとよいでしょう。
- ステッチが終了したら、ゆっくりと安定紙を裏から破り取ります。
- 刺しゅう箇所の裏側には、安定紙が残った状態になります。

目の粗い布地に最適です。

切り取る安定紙(カット・アウエイ)

- 1枚、または複数枚を同時に使用できます。
- 薄手のものと、分厚いものがあります。
- しっかりと安定させたい場合には、布の裏側に、スプレー糊で接着してから、刺しゅう枠にセットするとよいでしょう。
- ステッチが終了したら、注意して安定紙を裏側ではさみで切り取ります。
- 刺しゅう箇所の裏側には、安定紙が残った状態になります。

どんな布地にも使えますが、特にニットに最適です。

アイロン接着芯

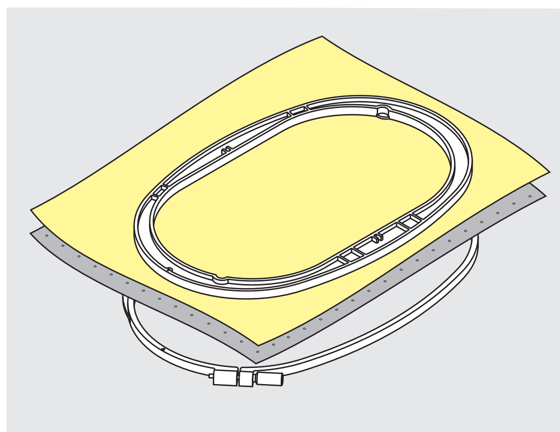
- 使用前に、ぬるま湯に浸して、縮ませておく必要があります。
- 布地の裏側にアイロンで接着します。
- さまざまな厚さのものがありますので、使う布地に適したものを選んでください。
- あとからはがせるタイプのものもあります。

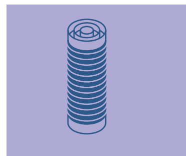
デザインを刺しゅうする土台布を補強するものです。
安定紙と一緒に使用します。

のり付き安定紙

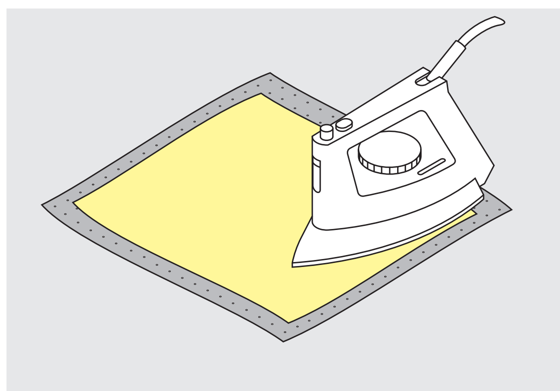
- 台紙をはがして使います。
- 安定紙を刺しゅう枠にセットします。その際、のりのついた側を上にしておきます。
- 布をその上に固定して、刺しゅうします。

小さな布地や革、ジャージーやシルクのような、繊細な布地、またはベルベットやパイル地のように、刺しゅう枠にセットするのが難しい布地に使います。





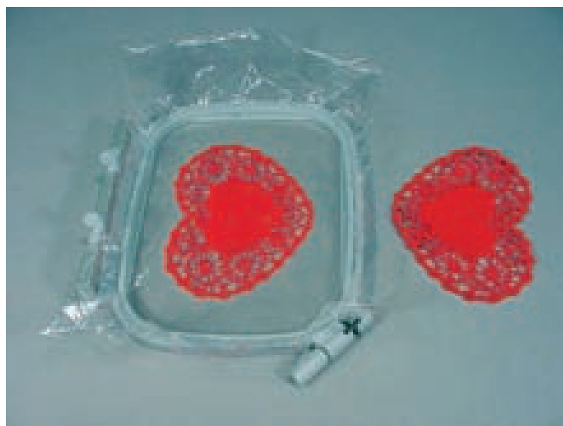
刺しゅう用安定紙（スタビライザー）



ご注意
シール状の安定紙を使用した場合、針、針板、刺しゅう枠の周囲等に、べたべたが残っていないかどうか確認してください。

030794.71.10_0401_a200_JP



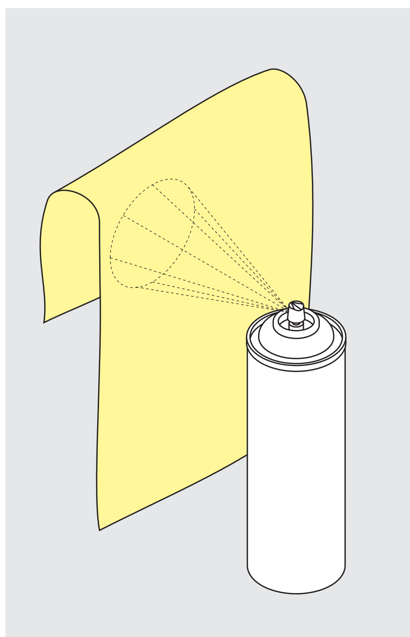


水溶性安定紙(タオル地またはレース刺しゅうに使用)

- 水溶性安定紙は、食品ラップのような外見です。
- 刺しゅうが完成したら、ぬるま湯につけて溶かします。
- タオルのような、毛足の長い布地を使用する際には、最適の保護材です。
- タオル等を裏側から安定紙で補強、水溶性安定紙を上にかぶせます。
- 必要ならば、スプレー糊で固定します。
- 毛足の長い布地の場合には、必要に応じて複数の安定紙で裏側から補強しておきます。
- レース刺しゅうの場合には、水溶性安定紙を複数枚重ねて、刺しゅう枠にセットします。(この場合、安定紙を溶かした後には、刺しゅうデザインのみが残ります)。
- 水溶性安定紙を溶かした後には、デザインは平らな場所において、乾かします。
- 水につけられない布地(ベルベット等)に重ねて使用した場合には、そっと破り取ることも可能です。

使い方

- タオル、ベルベット、ブークレーニット等
- 繊細で薄手の布地(オーガンジー、バティスト等)
- ステッチ数の少ないデザインの安定紙として
- レースデザインの作成には、厚手の水溶性安定紙を使用しましょう。



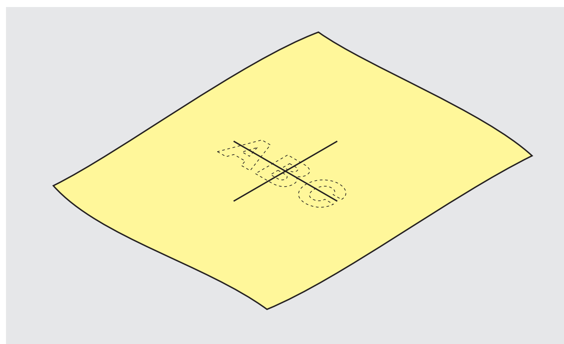
布地の補強用・スプレー糊

- スプレー糊は、薄手の柔らかい布地、または目の粗い布地をしっかりさせるのに最適です。
- 刺しゅうしたい部分全体にスプレーします。乾くまで置いておくか、低温のアイロンで優しくドライします。
- 水溶性安定紙等を、布地の裏側に使用します。

使い方

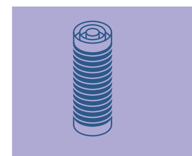
- 薄手で、目の粗い布地に最適です。バティストや薄手の麻等。

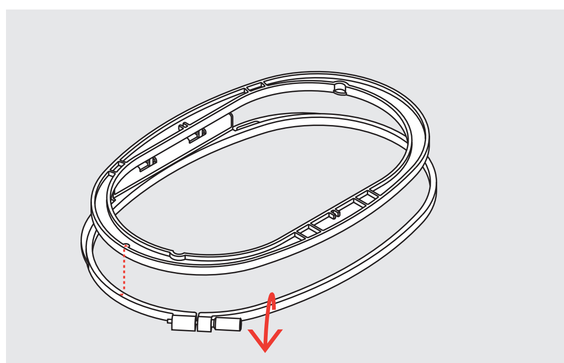
土台布を刺しゅう枠にセットする



センタリング

- 刺しゅうの土台布の中心点を決めます。
- 布用ペンまたはチョークで、印をつけます。

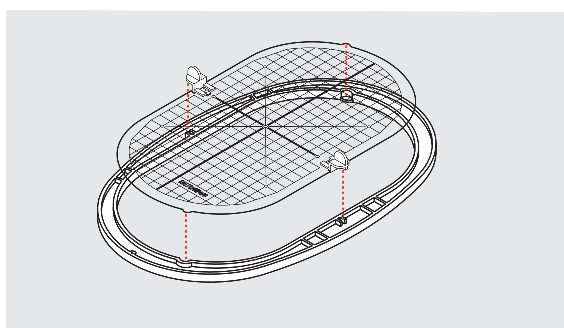




刺しゅう枠を使用するには

- ネジをゆるめます。
- 内側の枠を外します。
- はめるときには、両方の枠についている矢印を合わせるようにします。
- 矢印の位置は、中型、大型、特大型の枠では前中央に、小型の枠では、右側にあります。

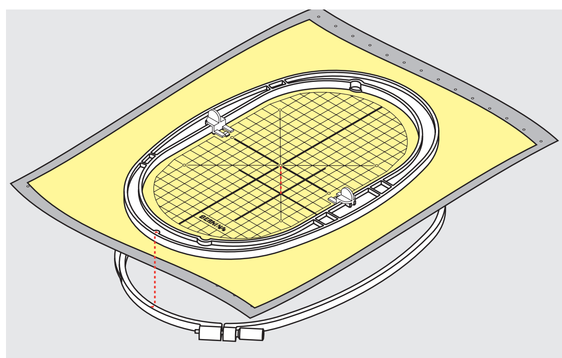
布を刺しゅう枠にセットする



刺しゅう用テンプレート

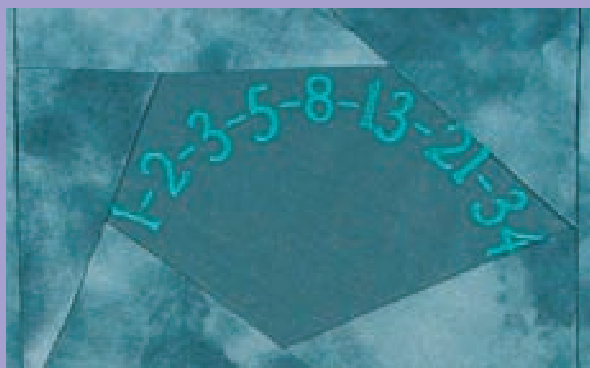
- 刺しゅう枠にはそれぞれテンプレートがついています。(小型の枠には、2枚)
- 刺しゅう可能な範囲には、1センチ角の格子が描かれています。
- 中心点および角部分には、穴が開いているので、ここを通して布地に印つけができます。
- テンプレートは、「BERNINA」の文字がきちんと読める状態で、前面(矢印の横)にくるよう、内側の枠にセットします。
- テンプレートは、自動的に内側の枠に固定されます。
- テンプレートを外す際には、小型および中型に関しては、指穴を使って外します。大型および特大型に関しては、取りつけクリップを外すようにします。





布を刺しゅう枠にセットする

- 外枠の上に布地を置きます。
- 布地にマークした中心点と、テンプレートの中心点を合わせて、内側の枠をセットします。
- 内側と外側の枠の矢印を合わせます。
- 内側の枠を布の上に押しつけて、はめ込みます。その際、ネジをゆるめて、布地をきちんと入れるようにしましょう。セットできたら、ネジをしめます。
- テンプレートを外します。





エンブロイダリー

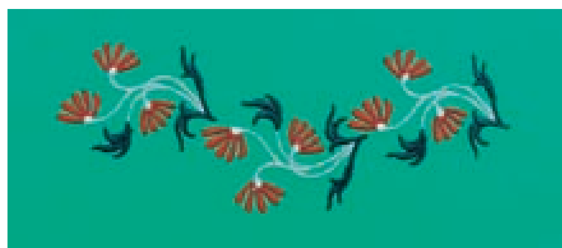
030794.71.10_0401_a200_JP

解説

デザインはすべて、そのまま刺しゅうすることもできますし、また他の機能と組み合わせてアレンジすることも可能です。

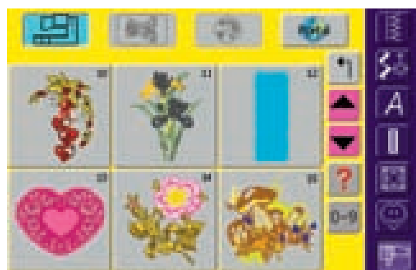
デザインのコンビネーション以外にも、デザインを回転させたり、ステッチの数を変更したり、糸の色を変えてみたり、といろいろな楽しみ方があります。





デザイン・モチーフ

デザインに変更を加えず、そのまま刺しゅうする方法



デザインメニュー

デザインの選択メニューに、各種のデザインが表示されます。

・ <<?>>（ヘルプ）機能をタッチして、デザインを選択します。



・ 「デザインインフォメーション」の特殊画面で、以下の情報を見ることができます。
  ・ デザインの名称
  - 横幅
  ・ 縦幅
  ・ 刺しゅうに要する時間
  ・ ステッチの数
  ・ 色の数
・ 「開く」をタッチします。
・ 選択したデザインが、デザインメニュー編集1に表示されます。



刺しゅう枠の選択

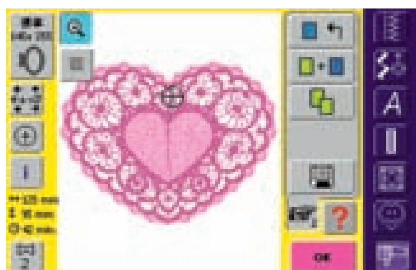
選択したデザインにもっとも適切な（1番小さい）刺しゅう枠が、自動的に選択されます。

・ デザインは、画面上で、刺しゅう枠に収まった形で表示されます。

・ 「刺しゅう枠を選択」を押しても、刺しゅう枠が表示されます。

030794.71.10_0401_a200_JP



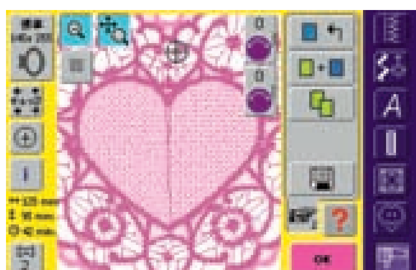




デザインの詳細（ディテール）を見る（ズーム機能）

デザインのディテールを見るには、ズーム機能を使います。

- アイコンを一回タッチします。
- デザインを一段階、拡大表示します。
- アイコンをもう一回タッチします。
- もう一段、拡大表示されます。加えて、「拡大したデザインをスクロールする」機能が表示されます。



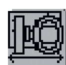
- 「拡大したデザインをスクロールする」をタッチします。
- 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 各部分の拡大版が表示されますので、それぞれの調整つまみを使って、縦横にスクロールして見ます。
- 左右の移動は、振り幅調整つまみ。
- 上下の移動は、送り長さ調整つまみで。
- アイコンにもう一回（3回目）タッチすると、デザインはオリジナルサイズに戻ります。



刺しゅうデザイン

- 刺しゅうメニュー（準備完了）を表示するには、デザインメニュー編集1で「OK」をタッチするか、または手元返し縫いボタンを押します。
- 刺しゅうを開始することができます。

刺しゅうの開始については、196-197 ページをご覧ください。



刺しゅう枠リロケーター

- この機能を使うと、針が刺しゅう枠の左端に非常に近い個所にある場合等、刺しゅう枠を一時的に移動できますので、糸通しが簡単になります。
- アイコンをタッチすると、刺しゅう枠が中央に向って、横方向に移動します。これで、糸通しが簡単にできます。

デザインの位置を決める

デザインを移動したり、回転したりして、刺しゅう枠の中の好きな場所に置きます。




準備

- 選択メニューから、デザインを選択します。
- デザインメニュー編集1に、デザインが表示されます。
- 「次ページへ」アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。





デザインを移動させる

デザインを好きな場所に置くことができます。

- アイコンをタッチ。
- 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 左右の移動は、振り幅調整つまみで。
- 調整つまみを右回りに回せば、デザインも右に移動します。
- 調整つまみを左回りに回せば、デザインも左に移動します。
- 操作ガイドボックスには、変更が10分の1mm単位で表示されます。
- 上下の移動は、送り長さ調整つまみで。
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは上に移動します。
- 時計と反対回りに回せば、下に移動します。
- 操作ガイドボックスには、変更が10分の1mm単位で表示されます。
- デザインを斜めに移動したい場合には、振り幅および送り長さ両方の調整つまみを使用します。
- 両方の操作ガイドボックスに同じ数値が表示されれば、デザインは45度の角度で斜めに移動します。
- デザインを元の中心位置まで戻すには、操作ガイドボックスをタッチするか、「デザインの移動」を再度タッチします。

ご注意
調整つまみをゆっくり回せば、デザインを段階的に移動することができます。
(一目盛は 1/10mm)





デザインを回転させる

デザインの角度を自由に変えられます。

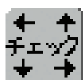
- アイコンをタッチします。
- 振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは右回りに回転します。
- 反時計方向に回せば、左回りに回転します。
- 操作ガイドボックスには、回転の角度が表示されます。
- デフォルトのセッティング(0°または360°)に戻すには、操作ガイドボックスに表示された紫の調整つまみアイコンをタッチします。
- 「デザインの回転」アイコンをタッチすると、デザインは時計回りに一回90度で右回転します。(0°、90°、180°、270°、360°)

ご注意
調整つまみをゆっくり回せば、デザインは、1°ずつ回転します。



デザインの位置をチェック

「チェック」機能および「デザインセンター」機能を使えば、デザインの位置を、刺しゅうを始める前にチェックすることができます。



チェック

「チェック」機能では、取り付けられている刺しゅう枠のサイズおよびステッチできる範囲を見ることができます。

- アイコンをタッチします。
- 刺しゅう枠のサイズの読込みが始まります。(刺しゅう枠が移動します。)
- それから、ステッチできる範囲と選択したデザインのサイズを確認します。
- 次に、刺しゅう枠が4ステップで移動し、デザインのステッチされる範囲が確定します。
- 刺しゅう枠が左下コーナーに移動。
- 次に右下コーナー。
- 右上コーナー。
- 左上コーナー。
- 「OK」をタッチすれば、各位置を確定します。
- 刺しゅう枠が取り付けられていない、または小さすぎる場合には、エラーメッセージが表示されます。



デザインセンター(デザインの中心点)をチェックする

- アイコンをタッチします。
- デザインの正確な中心点が表示されます。
- 刺しゅう枠が移動して、針が中心点に落ちる位置で停止します。
- アイコンを再タッチすると、画面では、デザインの最初のステッチが、もう1度マークされます。

デザインの変更

デザインを反転させる

デザインはすべて、左右または上下に反転できます。

準備

- 選択メニューから、デザインを選択します。
- デザインメニュー編集1に、デザインが表示されます。
- 「次ページへ」アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。

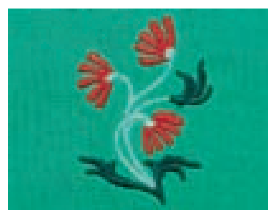




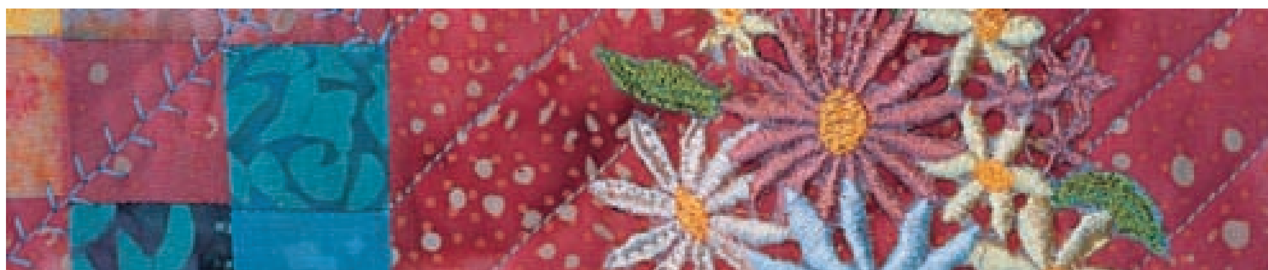
デザインを左右に反転させる

- 「左右に反転」アイコンをタッチします。
- デザインは、左右(縦方向)に反転した形になります。





030794.71.10_0401_a200_JP



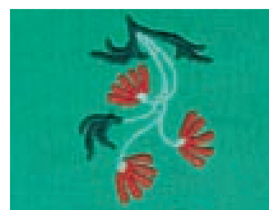


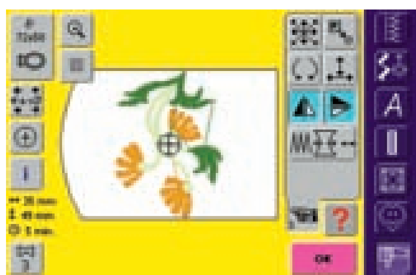


デザインを上下に反転させる

- 「上下に反転」アイコンをタッチします。
- デザインは、上下（横方向）に反転した形になります。











デザインを上下左右に反転させる

- 「左右に反転」および「上下に反転」の両方のアイコンをタッチします。
- デザインは、上下左右に反転されます。





新しいデータを計算する



デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移った後、

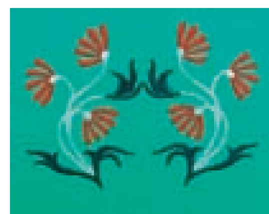
- 「針数再計算」をタッチします。時間はかかりますが、最高の仕上がりになります。
- 時間を節約したい場合には、「単純サイズ変更」をタッチします。仕上がりはそれほどきれいにはいきませんので、90%から 120%の間でサイズ変更したデザインのみに使用しましょう。
- 糸こまのスピンしているマークは、デザインの変更を計算し直していることを示します。

ご注意
計算をしている間は、新しい作業ができません。

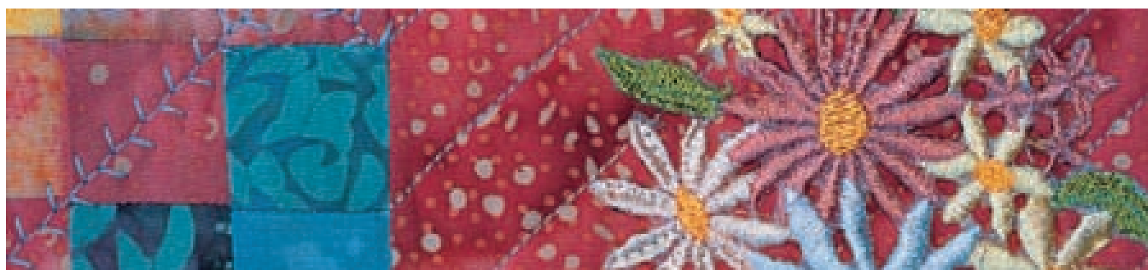


ヒント
反転したデザインを回転させる
「反転」と「回転」を組み合わせると、すばらしいコンビネーションが作成できます

ヒント
デザインを組み合わせる
反転したデザインと、しないデザインを組み合わせると、効果的なボーダー等がデザインできます。



デザインのコンビネーションについては、223ページから225ページをご覧ください。



デザインのサイズを変更する

デザインはすべて拡大縮小したり、また縦方向、あるいは横方向のみにサイズ変更したりすることが可能です。



準備

- 選択メニューから、デザインを選択します。
- デザインが、デザインメニュー編集1に表示されます。
- 「次ページへ」アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。

ご注意
拡大縮小は 75%から 150%の範囲ですると、美しく仕上がります。





デザインをそのままの形で拡大縮小するには

デザインのサイズを変更する

- アイコンをタッチします。
- 振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは拡大されます。
- 時計と反対回りに回せば、縮小されます。
- 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- デフォルトのセッティング（100%）に戻すには、操作ガイドボックスをタッチします。

ご注意
調整つまみをゆっくり回せば、サイズの変更も1%ずつ進みます。



030794.71.10_0401_a200_JP





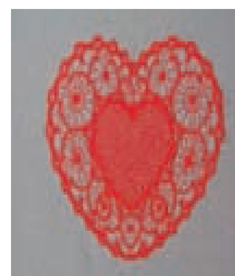


デザインの高さまたは幅を調整する

デザインは、横方向または縦方向のみに拡大縮小することも可能です。

- アイコンをタッチします。
- 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 横幅を調整したい場合には、振り幅調整つまみで。
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは拡大されます。
- 調整つまみを反対回りに回せば、デザインは縮小されます。
- 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- 縦幅の調整は、送り長さ調整つまみで。

ご注意
調整つまみをゆっくり回せば、サイズの変更も1%ずつ進みます。



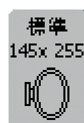
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは拡大され、時計と反対回りに回せば、縮小されます。
- 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。

デザインサイズの表示

↔139 mm
↕124 mm

デザインの縦横のサイズが、画面にmm単位で表示されます。

サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する



デザインのサイズに合わせて、刺しゅう枠を選択します。

- 「刺しゅう枠の選択」をタッチします。
- そのデザインに使用できる刺しゅう枠のリストを載せた特殊画面が開きます。
- 刺しゅう枠を選択すると、特殊画面は閉じて、選択した枠の中にデザインが入った形で表示されます。

新しいデータを計算するには

デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

新しいデータの計算については、220ページをご覧ください。

デザインのコンビネーション

デザインを組み合わせて、まったく新しい刺しゅうのデザインを作成することができます。似たようなデザインでも、まったく違う雰囲気のものでも、コンビネーションすることが可能です。また、デザインとレタリングのコンビネーションもよいでしょう。





こんな場合に使用すると効果的です。

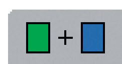
- デザインのバリエーションを組み合わせる。
- 新しいデザインを作成する。
- ボーダーを刺しゅうする。
- ロゴ、紋章、バッジ、ラベル等を作成する。

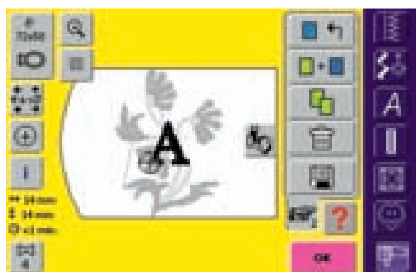
準備

- 選択メニューから、デザインを選択します。
- デザインメニュー編集1にデザインが表示されます。



コンビネーションの作成





他のデザインを追加するには

「デザインを追加する」の機能で、選択メニューにある他のデザインまたは文字を、今現在あるデザインに追加します。

- 「デザインを追加する」をタッチします。
- 選択メニューが開きます。
- デザインまたは文字を選択します。
- 選択したデザインは、少しだけフェイドアウトした感じの色で、デザインメニュー編集1の画面に表示されます。

レタリングについては、226-231 ページをご覧ください。





デザインを複製するには

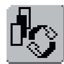
同じデザインのバリエーションを組み合わせるには、「複製」機能が便利です。

- 「複製」をタッチします。
- 複製とはコピーして張り付ける作業を同時に処理します。
- 選択されているデザインが自動的に複製され、少しだけフェイドアウトした感じの色で、表示されます。



デザインのコンビネーションを作成するには

「デザインの移動」、「デザインの回転」、「デザインの反転」等の機能を使って、好きなように
コンビネーションを作成することができます。

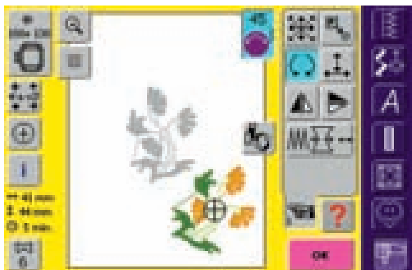


デザインコンビネーションの中に含まれるモチーフを選択するには

- 「モチーフ検索」アイコンを、一回または複数回タッチします。
- デザインの組み合わせを作る時に、一つのモチーフから他のものに移動するのに使います。
- アクティブになったモチーフは、カラー表示されます。
- 必要なモチーフがアクティブになるまで、「モチーフ検索」アイコンをタッチします。



ご注意
アイコンをタッチした回数によって、モチーフが一つ、またはデザインコンビネーションの全体がアクティブになります。

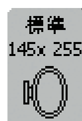


デザインコンビネーションの作成または変更

- 「次ページへ」のアイコンをタッチすると、デザインメニュー編集2に変わります。アクティブなデザイン（カラー表示）に変更を加えて、コンビネーションを作成することができます。
- 「デザインの移動」では、デザインを好きな場所に移動することができます。
- その他、サイズ変更、回転、反転等の変更も可能です。

他の機能については、198-205 ページをご覧ください。

- 画面には、すべての変更が直接表示されます。
- デザインコンビネーションの中の他のデザインを変更したい場合には、「Retrieve」ボタンで、そのデザインをアクティブにした後、変更を加えます。



ご注意
表示されている刺しゅう枠が小さすぎる場合には、「刺しゅう枠を選択」機能で、大きなものを選び直します。





デザインコンビネーションの変更

新しいデザインを追加する

- 他のデザインを追加、または画面のデザインを複製して貼り付ける方法は、「コンビネーションの作成」をご覧ください。

デザインに変更を加える

- デザインメニュー編集1または2で、「モチーフ検索」アイコンをタッチします。選びたい部分がカラーで表示されるまで、タッチし続けてください。
- デザインメニュー編集2にて、デザインに修正を加えることができます。



デザインの削除

- デザインメニュー編集1または2で、「モチーフ検索」アイコンをタッチします。選びたい部分がカラーで表示されるまで、タッチし続けてください。
- デザインメニュー編集1で「削除」をタッチすると、選択したデザインが自動的に削除されます。

サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する

刺しゅうを美しく仕上げるには、デザインのサイズに合った刺しゅう枠を選択することが重要です。

適した刺しゅう枠の選択に関しては、196–199 ページをご覧ください。

新しい刺しゅうデータを計算する

デザインメニュー編集1または2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

新しい刺しゅうデータの計算については、220 ページをご覧ください。

デザインの保存については、240–242 ページをご覧ください。



文字は他の文字やデザインとコンビネーションを作成して、刺しゅうすることができます。アーティスタ200では、デザインメニュー編集2で、さまざまな変更を加えることができます。
文字のサイズ変更はもちろんのこと、ベースラインも変更できます。横列に並んだ文字を、アーチ型にアレンジすることも可能です。

このようなものの刺しゅうに最適です。
- 名前、モノグラムおよび住所
- 単語およびテキスト
- ロゴ、紋章、バッジ、ラベル等の作成
- キルトラベルの作成



文字・レタリング



文字のコンビネーション
- 選択メニューから、アルファベットを選択します。
- キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- 「ABC」の大文字用オンスクリーンボタン（上列）が、自動的にアクティブになります。
- 特殊画面には、レタリングに関するさまざまな機能があります。
- 「ABC」のオンスクリーンボタンで、大文字を入力できます。
- 「abc/123」のオンスクリーンボタンで、小文字および数字を入力できます。
- 必要な文字を選択します。
- ブランクのスペースバーをタッチすれば、スペースを挿入することもできます。
- テキストバーに、文字が表示されます。

文字の修正
- どこか1文字を削除したい場合には、テキストバーの右側の矢印をタッチします。
- 右から左に向って、1文字ずつ削除されます。
- テキストバーに表示されている文字すべてを削除したい場合には、テキストバーをタッチします。
- 文字は完全に削除され、テキストバーは空白になります。

ご注意
編集後のレタリングが、刺しゅう枠に収まらない場合には、レタリング全体を90度回転させます。（刺しゅう枠の縦方向ならば、かなりの文字数でもフィットします。）

文字を確定する
- 文字のコンビネーションは、「OK」で確定できます。デザインメニュー編集1に、確定した文字が表示されます。

文字に修正を加える、または加えないままで刺しゅうする
- 文字のコンビネーションは、そのまま刺しゅうすることも、他の機能を使って好きなように変更を加えることも可能です。

変更しないままで刺しゅうする方法は 196-197 ページ（デザインを変更しないで刺しゅうする基本的な手法）をご参照ください。

レタリングのサイズを変更する

変更は、デザインメニュー編集2で行ないます。



レタリングのサイズを変更する

- アイコンをタッチします。
- 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 左右のサイズ変更は、振り幅調整つまみで。
- 上下は、送り長さ調整つまみで。
- 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- 基本のセッティングに戻すには、操作ガイドボックスをタッチします。









レタリングの反転

- 「左右の反転」のアイコンをタッチすれば、デザインは左右に反転されます。
- 「上下の反転」のアイコンをタッチすれば、デザインは上下に反転されます。





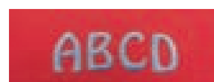


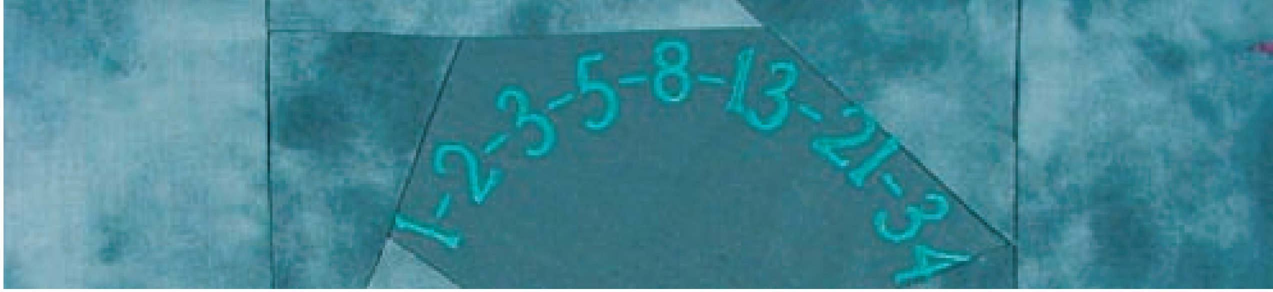


レタリングをそのままの形で拡大縮小する

- アイコンをタッチします。
- 振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- 調整つまみを時計回りに回せば、デザインを拡大できます。
- 反対回りに回せば、縮小できます。
- 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。











レタリングをアーチ状に配置する

- アイコンをタッチすると、特殊画面が表示されます。
- アーチのアレンジを選択します。



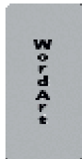
- ベースラインのカーブの下にレタリングを配置します。(時計と反対回りの配置)



- ベースラインのカーブの上にレタリングを配置します。(時計回り)
- ベースラインのカーブは、3種類の中から選ぶことができます。(グリーンの〇が大きいほど、カーブはゆるやかになります。)
- 「OK」で確定します。
- 特殊画面が閉じて、アーチ状のレタリングが表示されます。



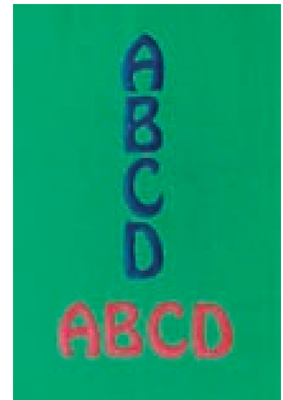




縦または横のベースライン

- アイコンをタッチすると、特殊画面が表示されます。
- 縦または横を選択します。
- 「OK」で確定します。
- 特殊画面が閉じて、レタリングが選択したベースラインに沿って表示されます。







レタリングの移動

- ベースラインを変更した後、プログラムしたテキストを刺しゅう枠の中心からずらすことができます。
- アイコンを2回タッチして、テキストを刺しゅう枠の中心から移動します。



レタリングのサイズを直接入力で変更する

- レタリング操作ボタンをタッチします。
- 高さボックスの右端にある矢印を使って、レタリングの高さをmm単位で変更することができます。
- 上方向の矢印で、サイズを大きくします。
- 下方向の矢印で、サイズを小さくします。



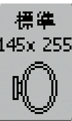
レタリングのスペースを変更する

- 文字間のスペースを、スペースの矢印で、mm単位で変更できます。



フォントを変更する

- フォント表示ボタンをタッチ。
- 入力したテキストに関して、新しいフォントを選択できます。
- フォントバーの右端にある矢印を使って、フォントスタイルを変更できます。



サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する

刺しゅうを美しく仕上げるには、デザインのサイズに合った刺しゅう枠を選択することが重要です。

刺しゅう枠の選択については、196/199 ページをご覧ください。

刺しゅう枠の選択については、196/199 ページをご覧ください。

新しいデータを計算する

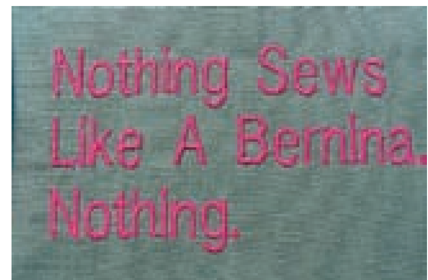
デザインメニュー編集２から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

• 新しいデータの計算については、220 ページをご覧ください。

• レタリングの変更の保存に関しては、240-242 ページをご覧ください。

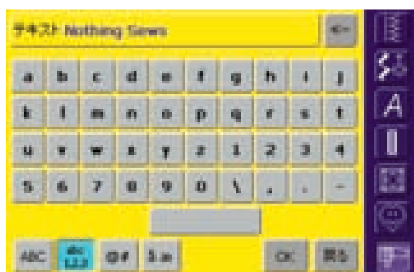
レタリングのコンビネーション

レタリングは、他の文字やデザインと組み合わせることができます。



違う言葉を組み合わせる場合

文章の中の単語は、右の例のように一列毎にまとめられ、配置されます



テキストの１行目を配置する

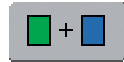
- 選択メニューから、アルファベットのタイプを選択します。
- キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- ここでは「Noting Sews」と入れます。
- 大文字ボタンまたは小文字ボタン、およびブランクのスペースバー等で、文章を作ります。
- 文字のコンビネーションは、「OK」で確定できます。デザインメニュー編集1に、確定した文字が表示されます。
- 「次ページへ」を選択すると、デザインメニュー編集2に移ります。





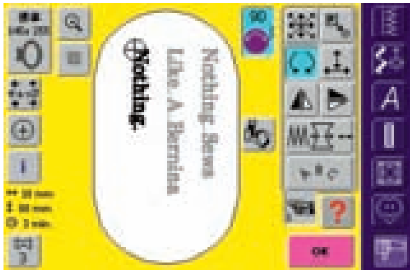
1行目を配置する

- 刺しゅう枠選択機能で、大型のだ円形の刺しゅう枠を選択します。
- 「デザインの回転」機能で、テキストを90度回転します。
- 「デザインの移動」機能で、テキストを好きな位置に配置します。



2行目以降を配置する

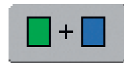
- デザインメニュー編集1で、「デザインの追加」を選択します。
- 2行目以降も、1行目と同様の手順で配置できます。
- 行間のスペースを均一にするには、テキストラインを配置する際に、紫の調整つまみアイコンの中に表示される数字に気をつけてください。





デザインとレタリングを組み合わせる

デザインを選択した後、レタリングを加えるか（デザインの中にレタリングがある形）、またはレタリングを最初に作成してから、デザインを加え（テキストをデザインで装飾する形）てもよいでしょう。

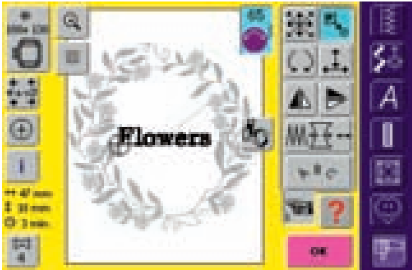


例にしたデザインの作成方法（デザインの中にレタリングがある形）

- ミシンの中で、好きなデザインを選択します。
- 選択したデザインは、デザインメニュー編集1に表示されます。
- デザインメニュー編集1で「デザインの追加」を選択します。
- 選択メニューから、アルファベットのタイプを選択します。
- キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- テキストを入力します。（ここでは、Flowers）
- 大文字または小文字ボタンを使って、レタリングを選択します。
- レタリングを「OK」で確定すると、レタリングは、デザインメニュー編集1のデザインの上に、少しだけフェイドアウトした色で表示されます。







テキストを、デザインに合わせて変更する

- 「次ページへ」を選択して、デザインメニュー編集2に移ります。
- 「デザインの移動」機能で、テキストを好きな場所に配置します。
- 「デザインのサイズ変更」または「デザインを縦または横方向にサイズ変更」機能を使って、テキストのサイズを変更します。



新しいデータの計算

デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー(準備完了)に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

レタリングの保存については、240-242 ページをご覧ください。

新しいデータの計算については、220 ページをご覧ください。

デザインの色の編集

デザインのオリジナルの色を画面上で変更してみましょう。





準備

- 選択メニューから、デザインを選択します。
- 選択したデザインは、デザインメニュー編集1に表示されます。

編集



デザインの色を変更する

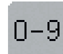
- デザインメニュー編集1または2で、「色の数」機能をタッチします。
- 色デザインの画面が開きます。
- 今現在の色、色の順番（最初の数字）、必要な色数（2番目の数字）および選択した糸ブランドにおける色番号が表示されます。
- 変更したい色が表示されるまで、矢印でスクロールします。
- カラーインフォメーションバーをタッチします。





現在の糸色を変更するための特殊画面が開きます。

- 糸ブランドを変更したい場合には、ブランド名の横の矢印をスクロールして、希望のものを表示します。
- 糸色を変更したい場合には、希望の色が表示されるまで、糸色の横の矢印をスクロールします。
- タッチしたカラーバーが、選択されています。（ブルーでハイライトされます。）



ご注意
ある色をすぐに選択するには、「数字で色を選択する」の機能を使います。

- 「OK」をタッチすると、選択した糸色および変更した糸ブランドが、カラーインフォメーションバーに表示されます。

030794.71.10_0401_a200_JP



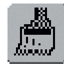


デザインを単色で刺しゅうするには

- 刺しゅうメニュー（準備完了）で、ブラシのアイコンをタッチします。
- ブラシのアイコンをオンにします。（ブルーでハイライトされていれば、オンの状態です。）
- デザイン全体の刺しゅうが完成するまで、ミシンは停止しません。







レタリングを多色で刺しゅうするには



- 文字列は一色で刺しゅうされ、塗りつぶしアイコンは見えません。
- 文字列の一文字づつを異なる色で刺しゅうしたいときは、事前に各文字を異なる色でプログラムしておきます。
- 刺しゅう機は色が変わるごとに自動的に停止するので、糸を交換できます。
- 各色毎の刺しゅう時間が表示されます。
- 文字列を一色で刺しゅうするには、塗りつぶしアイコンをタッチします。

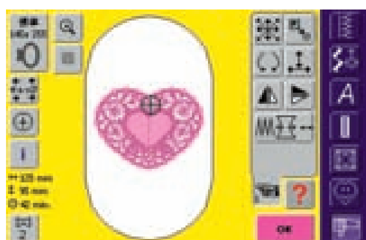
デザインの組合せに関する詳細は、223ページをご参照下さい。



色別にセクションを分けて刺しゅうする、および色の順番をマニュアルで調整する

- 特殊効果をねらうのならば、デザインを色別にセクション分けして刺しゅうする必要があります。（アウトラインのみを違う色にする、等）
- 刺しゅうメニュー（準備完了）で、色の順番をスクロールして、希望の色を表示します。
- カラーインフォメーションバー（カーソルのアイコンが表示されます）をタッチして、確定します。これで、針がその色の刺しゅうを開始する地点まで移動します。
- 刺しゅうします。（その色の刺しゅうが完了すると、ミシンは自動的に停止します。）

デザインの調整





タオル、ベルベット等の特殊な布を使う場合や、通常より細い、または太い糸を使用する場合には、基本のセッティングでは、仕上がりがきれいにならないことがあります。試し縫いをしてみて、あまりよくない場合には、デザインメニュー編集2で、デザインのプロパティを調整してみましょう。

- デザインプロパティの機能をタッチします。
- 特殊画面が表示され、以下の項目を調整することができます。
  - サテンステッチ密度：サテンステッチの密度変更できます。
  - ステップステッチ密度：ステップステッチ密度を変更できます。
  - ファンシーステッチ密度：ファンシーフィルステッチの密度を変更できます。
  - 引きつれ補正：デザイン間のスペースの空きすぎ、または重なりを補正します。
  - ステッチの長さ：アウトラインステッチの長さを調節します。

ステッチの密度を調整する



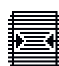
- ステッチのタイプを指定します。（ステップ、またはファンシーフィルステッチのような飾りステッチ。）
- 「＋」をタッチすると、ステッチの密度が濃くなります。
- 「－」をタッチすると、ステッチの密度が薄くなります。
- 「OK」をタッチして、入力を確定します。
- スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。
- スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。

ステッチタイプについては、208-209 ページをご覧ください。

布の引きつれ補正を調整する







- アウトラインがきちんとできない、またはデザインがゆがんで刺しゅうされてしまう場合に使用します。
- 「＋」をタッチすると、オブジェクト間またはアウトラインの余分なスペースを減らし、フィルステッチによって生じる布のつれを解消します。
- 「－」をタッチすると、オブジェクトまたはアウトラインの重なりを防止します。
- 「OK」をタッチして、入力を確定します。
- スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。
- スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。

ステッチの長さ（アウトライン）の変更



- 「＋」をタッチすると、ランレングスが長くなります。
- 「－」をタッチすると、ランレングスは短くなります。
- 「OK」をタッチして、入力を確定します。
- スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。

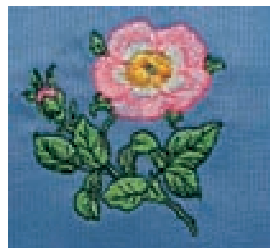
スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。

030794.71.10_0401_a200_JP



フリーアーム刺しゅう

フリーアーム刺しゅうは、レタリングおよび小さなデザイン（72mm×50mm程度）に使います。





このような場合に使います。

- そで、ズボンのすそ、ソックスその他の筒状のものに刺しゅうするとき、便利です。

アダプターの取りつけについては、192 ページをご覧ください。

準備

- ミシンと刺しゅう機の間に、アダプターをつけておきます。

応用テクニック

デザインの選択

- デザインを選択します。小型刺しゅう枠の、刺しゅうできる範囲は、72mm×50mmです。
- 必要な場合は、デザインのサイズ変更を行ないます。



必要な場合は、選択メニューから「?」（ヘルプ）機能を選択して、デザインのサイズを確認しましょう。



ご注意
フリーアーム刺しゅうには、小さなデザインやレタリング、文字のコンビネーション等がよいでしょう。



- デザインまたは文字を選択します。
- 選択したデザインは、小型の刺しゅう枠に入った形で、デザインメニュー編集1に表示されます。
- 必要ならば、デザインまたはレタリングに変更を加えます。
- 変更を加える場合には、最大サイズが72mm×50mmを超えないように注意してください。

刺しゅうする

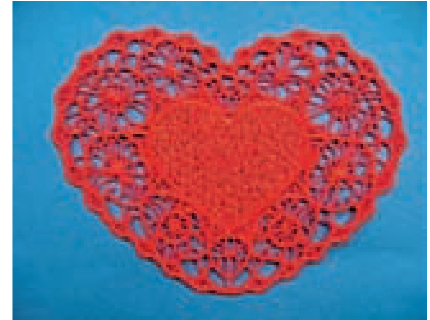
- デザインメニュー編集1または2から刺しゅうメニュー（準備完了）に変わると、「アダプターの認識」が表示されます。
- ミシンにアダプターおよび小型の刺しゅう枠が取り付けられていることを確認します。
- デザインを刺しゅうします。

030794.71.10_0401_a200_JP



レースを刺しゅうする

- レース状のデザインは、布の上に直に刺しゅうすることも可能ですが、水溶性安定紙の上に刺しゅうして、「レース」本来の使い方をするのもよいでしょう。
- 繊細な仕上がりにしたい場合には、細い糸を使用しましょう。クロシェットタイプの刺しゅうに仕上げるには、太めの糸を使います。





刺しゅうする

- 水溶性安定紙を、二重または三重にして、刺しゅう枠にセットします。（安定紙の厚さによって、枚数は調整してください。）
- デザインを刺しゅうします。

安定紙を水につけて溶かしてから、ペーパータオルの上に置き、乾燥させます。

ご注意
ミシンにプログラムされているレースデザインは2種類ありますが、水溶性安定紙を使ったテクニックで作れるのは、ハート型のものだけです。

ヒント
ボーダー等のレースデザインを水溶性安定紙に刺しゅうする場合には、安定紙の下にオーガンジー、ネットまたはチュールのような薄い布地のハギレを置きましょう。（安定紙を二重にする場合には、間に挟みます。）水溶性安定紙を洗い流し、乾燥した後、ハギレを切り取ります。

030794.71.10_0401_a200_JP

ボーダーを刺しゅうするには





- ボーダーは、小さなデザインのいくつかの組み合わせ、または並んだデザインの一列から構成されています。
- テーブルセンター、ベッドカバー、ドレープまたはスカートのすそ等に最適です。

準備

- しつけ用ステッチ（21番）か、またはあとで消えるマーカーペン（必ずハギレで試してからにしましょう）を使って、ボーダーの中心をマークします。
- ボーダーのサブディバイド（分割）をします。ボーダー全体の長さおよび、ボーダーに含まれるシングルデザイン、または連続デザインの長さを測ります。（デザイン一つのサイズは、ミシンに表示されます。）
- ボーダー全体の長さを、シングルデザイン、または連続デザインの長さで割り、いくつのデザインが含まれるのかを計算します。
- 出た余りの数値は、デザイン間の距離となります。（そのため、デザインの数は、実際よりも一つ少なく考えるようにします。計算の結果が、「8個のデザインまたは連続」となった場合には、「7個」としておきます。
- デザイン間の距離を広げたい場合には、デザインの数を更に減らします。
- 各デザインの中心点をマークします。
- 連続模様のデザインの場合は、一つの模様の終点が、そのまま次の模様の縫い始めになるので、デザインの位置は自動的に決定されます。

刺しゅうする

- 布を刺しゅう枠にセットするには、テンプレートを使います。（中心点および中心線をガイドとして使用します。）
- デザインを刺しゅうしたら、布を枠から外して、次のマークを目安に、セットし直します。

デザインを配置する

ベルニナソフトウェアを使うと、デザインを実物大で印刷し、テンプレートとして使用することができます。デザインを布に直接印刷し、中心点または縫い始めをマークします。
または、デザインを土台布のハギレに刺しゅうし、印刷の代わりに、そのデザインをテンプレートとして使うこともできます。

メガフープ（オプション）

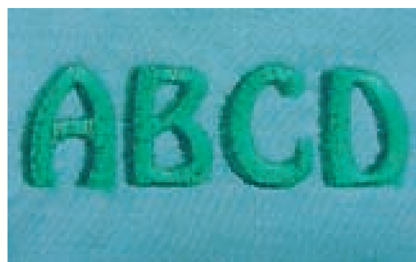
ボーダーの刺しゅうには、特大刺しゅう枠が便利です。通常の刺しゅう枠を使うよりも、布の入れ替えを少なくできます。

刺しゅうを完成する前に、最初のステッチをチェックする

刺しゅうメニュー（準備完了）のカラーインフォメーションバーをタッチすると、刺しゅう枠が、今現在選択されている色の縫い始めの位置まで移動します。（カーソルのアイコンが、カラーインフォメーションバーに表示されます。）



同じ文字を2回、違う色で、前のものに微妙にずらして重ねるような感じで刺しゅうすると、シャドーをつけられます。





レタリングの作成

- レタリングを作成します。

ステッチの数を減らす

- レタリングを重ねて刺しゅうするため、ステッチの数を減らす方がきれいに仕上がります。
- デザインメニュー編集2で、デザインのプロパティ機能を選択しておきます。
- ステッチタイプを変更するための特殊画面が表示されます。
- レタリングのステッチ数を減らすには、「－」をタッチして、「OK」で確定します。
- 数を減らした度合いによって、レタリングの刺しゅうに隙間が開いたように見えることがあります。

レタリングについては、226 ページをご覧ください。



レタリングの複製

- デザインメニュー編集1の「複製」機能で、レタリングをコピーします。
- レタリングのコピーにも、ステッチの数の変更が反映されます。



コピーしたレタリングを移動する

- レタリングのコピーを、デザインメニュー編集2で、好きな位置に配置します。
- 配置の仕方によって、シャドーが大きく見えたり、小さく見えたりするので、効果をよく考えて配置しましょう。

デザインの色を変更する

- デザインメニュー編集1または2で、レタリングの色を変更します。

デザインの色の変更については、232 ページをご覧ください。

シャドー付きのレタリングを刺しゅうする

- レタリングを刺しゅうします。

美しい仕上がりのために

必要ならば、ステッチの数によって、刺しゅうのスピードをゆるめます。

デザインの保存および削除について

デザインの保存について

ミシン、デザインカード、CDロムまたはマイアーティスタポータルに含まれるデザイン、およびアーティスタソフトウェアで作成したデザインはすべて組み合わせたり、アレンジしなおしたり、といろいろな変更を加えることができます。その後、保存も可能です。

ミシンには、メモリーシステムがあり、ソーイングステッチのコンビネーションおよび「マイデザイン」の刺しゅう、それからパーソナルプログラム等を保存します。メモリーシステム内のスペースは、特に分割されていませんので、容量の残りがある限り、いくらでもデザインを保存することが可能です。メモリーの容量がなくなってしまった場合には、すでに保存済みのデザインまたはステッチの情報を削除すれば、新しいデザインを保存できます。

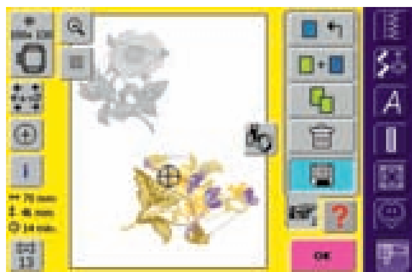


デザインを保存する

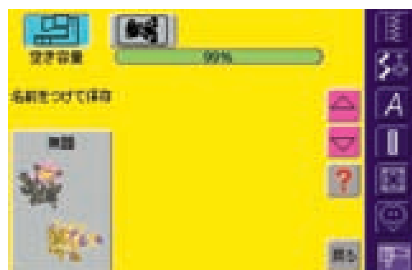
ミシン本体のメモリーに保存する

ご注意
保存されているステッチコンビネーションでは、個々のステッチを選択して、変更を加えることができます。

ご注意
サイズ、ステッチの数等の変更後に保存されたデザインは、新しい1個のデザインとして認識されます。そのため、今現在のサイズが100%と表示され、変更前のサイズ、ステッチの数は見られなくなります。



- ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- 変更、または組み合わせて、コンビネーションを作成します。
- デザインメニュー編集1で、「保存」をタッチします。



- 保存するべきデザインは、画面左下に「無題」として表示されます。
- 選択メニューから、刺しゅうミシンボタンを選択します。
- デザインを保存したいフォルダー(アルファベット、デザイン、マイデザイン等)を選択します。
- メモリーの残り容量が、フォルダー上のバーにパーセンテージで表示されます。
- デザインを保存します。

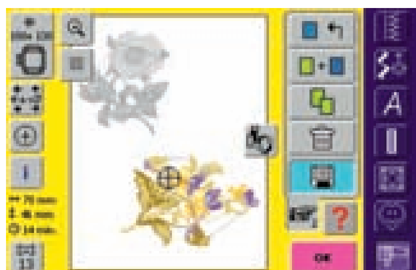
030794.71.10_0401_a200_JP



キーボードの画面が表示されます。
デザインのフォルダーに名前をつけます。
「OK」をタッチ。
デザインに名前がついて、選択したフォルダーの中に保存されます。（表示はアルファベット順になります。）

ご注意
フォルダーを選択しない場合には、デザインは自動的に「マイデザイン」に保存されます。

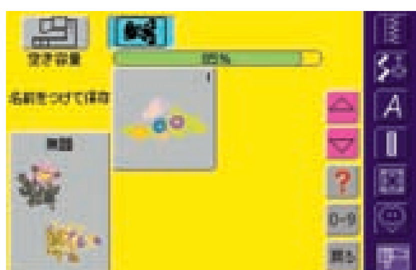
デザインカードへの保存





- デザインカードは別売りです。ベルニナ正規販売代理店にお問い合わせください。
- ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- 変更、または組み合わせて、コンビネーションを作成します。
- デザインメニュー編集1で、「保存」をタッチします。

・　刺しゅうカードについては、255 ページをご覧ください。

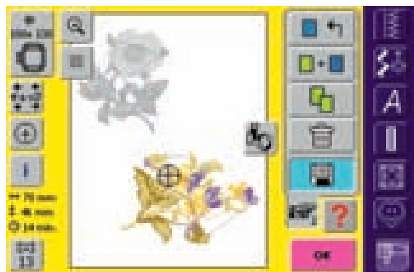


- 保存するべきデザインは、画面左下に「無題」として表示されます。
- デザインカードを挿入します。
- 選択メニューから、デザインカードボタンを選択します。
- デザインを保存したいフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。
- メモリーの残り容量が、フォルダー上のバーにパーセンテージで表示されます。



- デザインを保存します。
- キーボードの画面が表示されます。
- デザインのフォルダーに名前をつけます。
- 「OK」をタッチ。
- デザインに名前がついて、選択したフォルダーの中に保存されます。（表示はアルファベット順になります。）

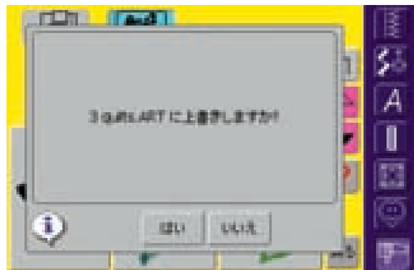
デザインの上書き



- 「マイデザイン」またはデザインカードに保存されたデザインの上に、新しいデザインを直接上書きすることができます。
- ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- 変更、または組み合わせて、コンビネーションを作成します。
- デザインメニュー編集1で、「保存」をタッチします。



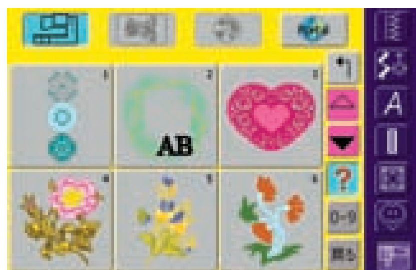
- 保存するべきデザインは、画面左下に「無題」として表示されます。
- 選択メニューから、デザインカードボタンまたは刺しゅうミシンボタン、およびデザインを保存したいフォルダー(アルファベット、デザイン、マイデザイン等)を選択します。
- 上書きしてもよいデザインをタッチします。



- 「3quilts.ART を上書きしますか?」のメッセージが表示されます。
- 「イエス」で確定します。デザインを保存します。
- これで、上書きしたデザインの名前で、保存されました。

030794.71.10_0401_a200_JP

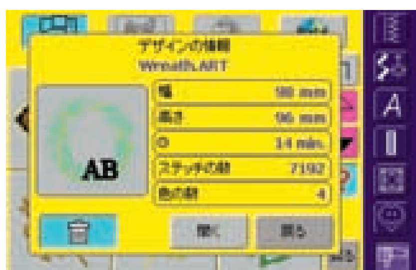
保存したデザインを削除するには



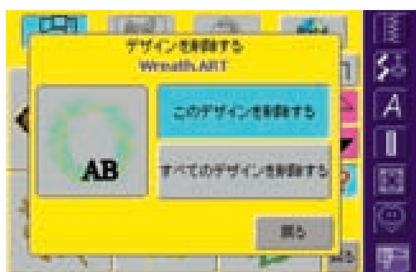
- 選択メニューから、デザインカードボタンまたは刺しゅうミシンボタン、およびデザインを保存したいフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。
- デザインのオーバービューで、「?」（ヘルプ）ボタンをタッチします。
- デザインを選択します。



保存したデザインを削除する



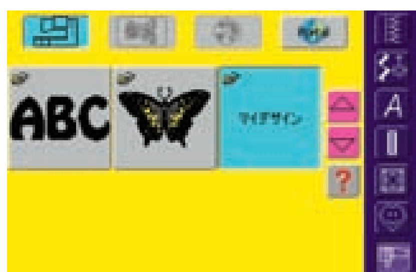
- 選択したデザインの情報を載せた特殊画面が開きます。左下には、削除ボタンが表示されています。
- 「削除」をタッチします。



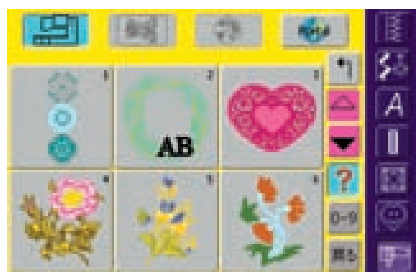
- 特殊画面が開きます。
- 「このデザインを削除します」をタッチします。
- 「本当にこのデザインを削除しますか?」のメッセージが表示されます。
- 「イエス」で確定します。
- これでデザインは削除されました。

ご注意
ミシン内蔵のデザインを削除または上書きしてしまった場合には、ミシンにセットされたCDロムをダウンロードすれば、データを回復できます。

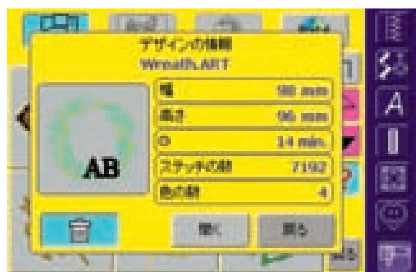
すべての保存してあるデザインを削除するには



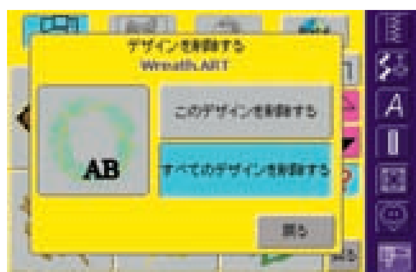
デザインカードまたはミシンに保存されているフォルダーをすべて、一気に削除することもできます。
デザインカードの内容を削除するには、デザインカードを挿入してから、メニューで「デザインカード」を選択します。
ミシンに保存されたフォルダーの内容を削除するには、メニューで「ミシン」を選択し、それからフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。



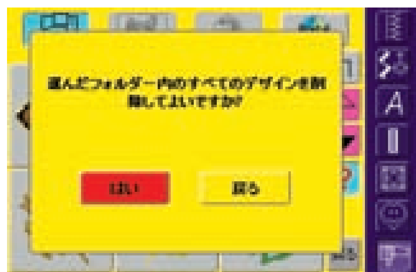
- <<?>>（ヘルプ）ボタンをタッチします。
- デザインを選択します。



- 選択したデザインの情報を載せた特殊画面が開きます。左下には、削除ボタンが表示されています。
- 「削除」をタッチします。



- 特殊画面が開きます。
- 「すべてのデザインを削除します」をタッチします。



- 「本当にすべてのデザインを削除しますか?」のメッセージが表示されます。
- 「イエス」で確定します。
- これですべてのデータが削除されました。



刺しゅうに関するサポート

刺しゅうの途中で、上糸または下糸がなくなってしまう、または切れてしまうというのは、よくあることです。上糸および下糸センサーをオンにしておけば、そのような場合にはミシンが自動的に停止します。

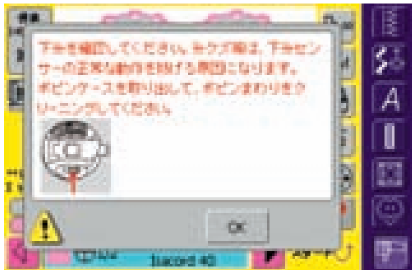
セットアップで上糸および下糸センサーをオンにする方法については、167 ページをご覧ください。



上糸が切れた場合

- 上糸がなくなったり、切れたりした場合には、ミシンは自動的に停止します。
- 画面にメッセージが表示されます。
- 上糸をチェックして、かけ直します。
- 「OK」をタッチして、刺しゅう画面に戻ります。

刺しゅうの途中で糸が切れたとき



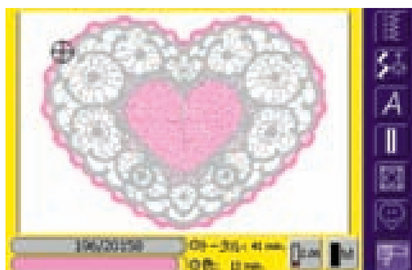
下糸が切れた場合

- 下糸がなくなった場合には、ミシンは自動的に停止します
- 画面にメッセージか表示されます。
- 下糸をチェックして、必要ならば巻き直します。
- 「OK」をタッチして、刺しゅう画面に戻ります。

糸切れの後、刺しゅうの順番をコントロールするには

- 針目トレースのアイコンをタッチします。
- 振り幅調節つまみを使用するための操作ガイドボックスが表示されます。
- 振り幅調節つまみを時計回り(または反対回り)に回して、刺しゅう枠を、刺しゅうの順番に従い前後に移動します。
- 振り幅調節つまみをゆっくり回して、刺しゅう枠を一針ごとに移動します。
- 糸切れの数針手前まで戻ります。





刺しゅうを再開する

- フットコントローラーまたは手元返し縫いボタンを押して、刺しゅうを再開します。
- 刺しゅう画面が、再表示されます。
- デザインを仕上げます。

困った時は・・・トラブルシューティング

刺しゅうミシンを使う際、よく起こる間違いについては、以下をご参照ください。

初めにチェックしましょう

- 上糸および下糸のかけ方に間違いはないか
- 針のセットに間違いはないか。針の平らな部分が、後ろ側です。
- 針のサイズは正しいか(詳しくは 17-19 ページ「針および糸の一覧表」をご覧ください。)
- ミシンの釜付近が綺麗に掃除されているか。糸くず等は残さないようにしましょう。
- 定期的に針板を外して掃除されているか。
- テンション皿またはボビンケース内のスプリングの下に糸くずがはさまっていないか。

上糸が切れる

- 上糸調子が強すぎる
- 針の品質に問題がある。針は、ベルニナ製のものを使いましょう。
- 針のセットの仕方が悪い。針の平らな部分が、後ろ側です。
- 針先に傷がある、または針が曲がっている。
- 糸の品質に問題がある、糸にこぶが多かったり、糸けばがひどい、糸が古い、または乾燥しすぎている。
- 正しい糸こま押さえを使いましょう。
- 糸の送りを均一にするために、ネットを使いましょう。(上糸のスプールの上にかけます。)
- 針板の穴または釜のチップが損傷している。その場合は、ベルニナ正規販売店にご相談ください。
- 刺しゅうのスピードをゆるめる。

下糸が切れる

- 下糸調子が強すぎる。
- 下糸が、ボビンケースにはさまっている場合は、ボビンを入れ直します。
- 針先が鈍っている、または針が曲がっている。
- 針板の穴が、針で損傷している場合、専門家による処置が必要ですので、ベルニナ正規販売代理店にご相談ください。

針目が飛ぶ

- 間違った針を使用している。ベルニナ純正の 130/705H 番手の針を使いましょう。
- 針が曲がっているか、針先が鈍い、またはセットの仕方が悪い。針は、きちんと最後まで差し込まれていますか。
- 品質の悪い、さびた針を使っている。

針が折れる

- 針クランプのネジがゆるい。
- 針板に問題がある。
- 特に硬い厚地など、生地に問題がありませんか？

針目が揃わない

- テンション皿の間に糸くずが挟まっている。その場合は、折りたたんだ薄い布の折り目部分(布端部分ではありません)をテンション皿に挟んで、前後に動かし、掃除します。
- ボビンケーススプリングの下から、糸くずを取り除きます。
- 糸調子を調整します。
- 安定紙が合わない、または安定紙を使っていない。
- 糸のかけ方が間違っているかもしれません。上糸と下糸をチェックしましょう。
- 刺しゅうの際には、下糸をつのにも通しておきましょう。
- 正しい糸こま押さえを使いましょう。
- 釜を掃除して、注油しましょう。(必ず純正品のオイルを使うようにしてください。清掃および注油に関しては、179 ページをご覧ください)

困った時は



ミシンが動かない、またはスピードが遅い

- 電源プラグがきちんと差し込まれていない。
- 電源スイッチが、「0」(オフ)になっている。
- ミシンのある部屋の温度が低い。摂氏 5° 以下の気温では正常に作動しない場合もあります。

ソーイングライトの調子が悪い

- ベルニナ正規販売代理店にご相談ください。

下糸センサーが作動しない

- ボビンカバーが閉じていない。
- セットアッププログラムで、オンにしていない。
- ボビンケースの中の糸くずを取り除く。

上糸センサーが作動しない

- セットアッププログラムで、オンにしていない。

スクリーン・コミュニケーション・メッセージ

アーティスタ 200 から以下のようなメッセージでアプリケーションや機能に関する注意、警告または確認の意味で、ユーザーとコミュニケーションが取られます。

以下に掲載したメッセージは、刺しゅう機からのメッセージのリストです。このようなメッセージが出された場合、指示に従って対処してください。

ミシンに関するメッセージについては、181 ページをご覧ください。



メッセージ

- 「刺しゅうからソーイングに転換できません。貼り付け作業を終了して、<<編集>>ボタンを押し、前画面に戻ります。これでソーイングに移る準備ができました」
- 「押えまたは針の高さがが間違った位置にあるため、刺しゅう枠を取り付けられません」
- 「送り歯を下げてください」
- 「刺しゅう枠を大きなものに換えてください」
- 「カードの取り出しに失敗しました。データが失われたおそれがあります。カードの取り出しは、取扱説明書に従ってください」
- 「針落ちポイントが、刺しゅう可能な範囲を外れています。
- 「次のステッチが刺しゅう可能な範囲を外れた部分にあります。布を刺しゅう枠にセットし直し、デザインの位置を変えてください」
- 「メガフープを上位置（1）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます」
- 「メガフープを中位置（2）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます」
- 「メガフープを下位置（3）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます」
- 「針を1番高い位置に上げてください」
- 「刺しゅう機を取り付けてください」
- 「刺しゅう機が認識され、使える状態になっています」
- 「刺しゅう機が認識されていません」
- 「刺しゅうカードを使えます」
- 「刺しゅうカードが認識されました」
- 「刺しゅうモードが選択されました。送り歯を下げて、押え15番を取りつけ、押えを上に上げてください。「OK」を押すと、刺しゅう機が起動します」

030794.71.10_0401_a200_JP

- 「取りつけられている刺しゅう枠は、このデザインには小さすぎます。「編集」ボタンを押して前画面に戻り、刺しゅう枠を交換するか、デザインを縮小してから、「OK」を押してください」
- 「刺しゅう枠が標準刺しゅう枠からフリーアームタイプ（またはその反対）に変更されています。「チェック」ボタンを押して、刺しゅうデザインの再計測を実施してください」
- 「ADX（アーティスアタ・データ・エクスチェンジ）： デザインを刺しゅうするには、刺しゅうモードに転換してください。」
- 「デザインを保存するのに、必要なメモリーが不足しています。」
- 「刺しゅう枠にデザインが入りきりません。」
- 「左下部分が、刺しゅう枠からはみ出しています」
- 「左下部分」
- 「右下部分が、刺しゅう枠からはみ出しています」
- 「右下部分」
- 「右上部分が、刺しゅう枠からはみ出しています。」
- 「右上部分」
- 「左上部分が、刺しゅう枠からはみ出しています」
- 「左上部分」
- 「刺しゅうが完了しました」
- 「送り歯をソーイングの位置にしてください」
- 「上糸をチェックしてください」
- 「下糸巻き装置作動中」
- 「下糸をチェックしてください」
- 「押えを下げてください」
- 「押えを上げてください」
- 「糸かけを簡単にするために、押えを下げてください」
- 「糸通しは、針を1番高い場所に上げておきます」
- 「ミシンと刺しゅう機に異常が発生しました。最寄のお買い上げ店にご連絡ください」
- 「起動時にエラーが発生しました。ミシンを再起動させてください。問題が続く場合には最寄のお買い上げ店にご連絡ください。」



スクリーン・メッセージ

- 「ダウンロードしたデータが無効です。あとでもう一度トライしてください」
- 「ベルニナモデムが認識できません。モデムを入れ直して、もう一度トライしてください」
- 「電話回線に繋がりません。電話線が正しく網っているか、またプロバイダーの電話番号を確認の上、再度トライしてください」
- 「プロバイダーと接続できませんでした。ユーザーネームとパスワードを確認してください」
- 「プロバイダーとの接続が妨害されました。あとでもう一度トライするか、別のプロバイダーを使ってください」
- 「モデムに何らかの不具合が生じました。もう一度トライしてください」
- 「マイアーティスタポータルでのファイルの保存、または削除ができません」
- 「マイアーティスタポータルとの接続に異常が発生しました。もう一度トライしてください」
- 「ミシンの自己定期診断の時期です。以下のガイドに従って作業してください。
- 針板を取り外して、送り歯のまわりの糸くずを取り除いてください。
- 釜に注油して下さい。
- 詳しくは取扱説明書の 179 ページをご参照ください。」
- 「ディーラー定期点検の時期になりました。最寄のお買い上げ店にご連絡ください」
- 「ディーラー定期点検がされておりません。次回定期点検の時期まで、このメッセージは表示されません」
- 「CDドライバーが認識されません」
- 「メインモーターに異常が発生しました。釜まわりをチェックしてください



030794.71.10_0401_a200_JP



周辺機器およびアクセサリー

ベルニナ・コンピューターシステム

周辺機器（別売りオプション）を接続して、アーティスタ200のミシンを、刺しゅう用コンピューターシステムにすれば、趣味の手芸を、無限の可能性を持つ芸術へと進化させることも可能です。
マイアーティスタポータル（情報源）との直接の接続に加えて、ベルニナCDロムを使えば、もっとたくさんのデザインが手に入ります。

詳しくは、最寄のお買い上げ店にお問い合わせください。

周辺機器
アーティスタ200には、以下の外部機器の接続ができます。
- ベルニナモデム
- ベルニナCDドライブ

ご注意
周辺機器はすべて別売りオプションです。（国によって異なります。）
詳しくは、最寄のお買い上げ店にお問い合わせください。

周辺機器



モデム
（マイアーティスタポータルへの接続に必要）
ベルニナモデムがあれば、マイアーティスタページにアクセスし、刺しゅうミシン専用にプログラムされた特別なポータルページを見ることができます。ページは、アーティスタ200の画面で見られます。

マイアーティスタポータルでは、ミシンにダウンロード可能なデザインが、刺しゅう枠のサイズによって分類されています。



接続するには
- モデムを接続します
- 「ポータル」をタッチします。
- 接続に関するメッセージに「イエス」で確認します。
- プロバイダーとの接続が完了したら、メッセージを「イエス」で確定します。
- 開いた画面から、希望のサイズの刺しゅう枠を選択すると、刺しゅう用デザインの一覧表が表示されます。

マイアーティスタの内容は、逐次アップデートされます。

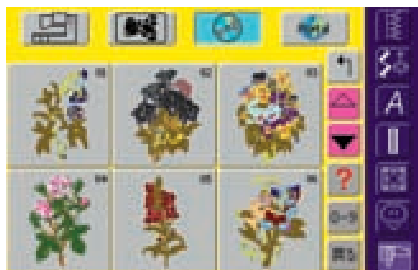
030794.71.10_0401_a200_JP



外部機器のCDドライブ

外部機器のベルニナCDドライブを使えば、ベルニナの刺しゅう用CDロムをミシンの画面に直接開くことができます。

CDドライブを接続してから、ベルニナCDロムを挿入します。



- 刺しゅうモードで「CDロム」をタッチ。
- CDロムに内蔵されたデザインが、画面にカラーで表示されます。
- デザインをタッチして、選択します。

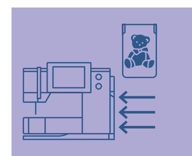
ご注意：
異なるCD-ROMからデザインを読み込んで組合せたいときは、各々のCD—ROMのデザインを一旦ミシンの中に保存してください（240ページ参照）。これらのミシンに保存されたデザインを画面に読み込んで組合せます。

周辺機器の接続



周辺機器を接続するには

- ミシンの右側にあるソケットに、周辺機器のプラグを接続します。（アイコンを目印に）



ご注意
外部機器の取扱説明書をご覧ください。

注意
ベルニナアーティスタ200には、ベルニナ製の周辺機器のみを使用してください。

1. ベルニナモデム、ベルニナ刺しゅうカード 
2. ベルニナCDロムドライブ 
3. PCの接続 

最寄のお買い上げ店にお問い合わせください。

030794.71.10_0401_a200_JP

ベルニナ社では、アーティスタ200のソーイングおよび刺しゅう用システムの付属品として、多くのオプションを用意しております。（別売りオプションの特殊アクセサリーとしては、押え、拡大鏡、マルチスプールホルダー、特大の刺しゅう枠、刺しゅうデザインカード等がございます）。
詳しくは、最寄のお買い上げ店にお問い合わせください。



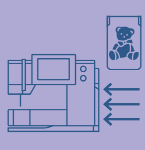
スーツケースシステム

ミシンの持ち運びに大変便利な、車付きスーツケースができました。標準アクセサリーおよび特殊アクセサリーを収納する場所もありますので、特に刺しゅう機の移動には、非常に便利です。

ご注意
ミシンをホコリや湿気から守る、このスーツケースシステムは、短距離の移動に最適です。

アクセサリー





ソーイングミシン用スーツケース

- バッグおよびコンパートメントを取り外し、画面を前面に向けた形でミシンを収納します。
- 取り外したバッグとコンパートメントに、標準アクセサリーを収納して、スーツケースに戻します。
- バッグには、特殊アクセサリーを収納しましょう。



刺しゅう機用スーツケース

- バッグおよびコンパートメントを取り外し、刺しゅうアームを前面に向けた形で刺しゅう機を収納します。
- 取り外したバッグとコンパートメントに、標準アクセサリーを収納して、スーツケースに戻します。
- バッグには、特殊アクセサリーを収納しましょう。

注意
飛行機、長距離バスまたは電車で移動する際には、スーツケースは必ず手荷物にするか、または「コワレモノ」として扱うようにしてください。通常の荷物として預けることは、絶対におやめください。

030794.71.10_0401_a200_JP

メガフープ



非常に大型のデザインや大きなデザインのコンビネーション、または長いボーダーを刺しゅうするには、この特大の枠が便利です。特大刺しゅう枠には、刺しゅうを開始する位置が3点あります。特大刺しゅう枠を置き直した場合には、ミシンが停止し、1番、2番、3番のどの点に移動すべきかのメッセージが表示されます。



特大刺しゅう枠を使うような、特大のデザインは、例えば、マイアーティスタポータルからダウンロードできます。(ベルニナモデムが接続されていること)。また、ベルニナCDロムにも収録されていますので、ベルニナCDロムドライブを接続して、ご覧ください。

ご注意
特大刺しゅう枠には、取扱説明書がついています。

刺しゅうカード

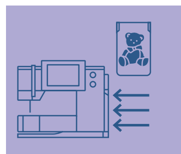


様々なデザインが収められたベルニナデザインカードだけでなく、アーティスタ 200 専用のブランクのメモリーカードもあります。これは、刺しゅうのデザインやコンビネーションを自分用に保存する場合に使います。

ベルニナデザインカードには、テーマ別にたくさんの刺しゅう用デザインが収められています。デザインのテーマは、どんどん増え続けています。

アーティスタ 200 では、ブランクカード同様、ベルニナデザインカードも一部を除いてご使用いただけます。

この刺しゅうミシンでは、古いタイプの刺しゅうデザインカードもご使用いただけます。(古いブランクカードはご使用できません。アーティスタ200専用のブランクカードをお買い求め下さい。)



刺しゅうカードを取りはずす

- 刺しゅうカード取り外しボタンを軽く押します。
- ボタンが中から出てきます。
- ボタンを強く押し込みます。
- 刺しゅうカードが、ミシンの挿入口から押し出されてきます。
- カードを取り外します。

注意
ミシンを使用中に、カードを出さないようにしてください。

030794.71.10_0401_a200_JP

ベルニナアーティスタ刺しゅう用ソフトウェア



③パソコンコネクター

デザインをPC上で組み合わせたり、拡大したり、変更を加えるには、ベルニナアーティスタPCソフトウェアを使いましょう。このソフトを使えば、まったくオリジナルのデザインを刺しゅうすることも可能です。デザインのプロセスは、簡単です。まず下書きをした図柄から、またスキャナーやデジタル・カメラで取り込んだ画像から、最後にデザインをステッチ用に変換するまで、すべて簡単な操作で作業することができます。

完成したオリジナルデザインは、ミシンに同梱されたUSBコードを通して、直接ミシンに送られ、刺しゅうすることができます。

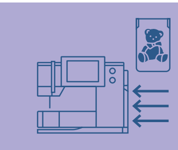


USBコードでPCとミシンを接続する

- ミシンに同梱されているUSBコードを、ミシンの右側面にあるソケットに接続する。

刺しゅうデザイン(PC)の保存先

- PC
- アーティスタ200刺しゅうミシン
- 空のデザインカード



ご注意
ベルニナアーティスタ刺しゅう用ソフトウェアには、取扱説明書がついています。

その他のアクセサリーについては、最寄のお買い上げ店にお問い合わせください。

030794.71.10_0401_a200_JP

用語集

追加する
- 「追加する」とは、何かを追加してコンビネーションを作成する、デザインをつなげるということ。
- 「新しいデザインを追加する」等。

自動
- ボタンホールを縫う際に表示される。
- 送り長さがプログラム済みの場合、「自動」が表示される。ボタンホールがプログラム済みの長さに、自動的にステッチされる場合、等。

自動、繰り返し
- 「繰り返し」とは、やり直しをすること。つまり、「自動繰り返し」というのは、自動的に何かの作業を繰り返すということ。
- 外部の針基線ボタンを押しつづけると、針の位置は、速い速度で自動的に移動します。

バランス
- ステッチまたはデザインのバランスをとる、というのは、ステッチまたは横送り縫いのゆがみを補正するという意味。

測定
- 何かを測定すること。
- 「測定」とは、画面のセッティング時に、測定の単位を決定することをいいます。

チェック
- チェックすること。
- 刺しゅうするときには、ミシンが、どの刺しゅう枠を使うかをチェックし、それからデザインの位置をチェックするのに、布をあちこち動かします。

CDロム
- コンパクトディスクリードオンリーメモリー（Compact Disk Read Only Memory）、データの読込みのみで、書込みのできないものという意味の、頭文字をとったもの。
- CDロムの内容は、読むことはできるが、書きかえることはできません。
- アーティスタ200ミシンでは、CDロムは、ベルニナCDロムリーダーを使えば読むことができます。

クリアー
- クリアーする、削除する
- 機能またはコマンドを削除して、もともとの設定に戻します。

複製する
- 同じものを2つ作成するという意味。
- デザインを複製するというのは、あるデザインをコピーして、貼付けを同時に実行すること。

編集する
- 編集する、書込みをする、印刷の準備をする等。
- 反転、サイズ変更等のデザインの編集は、デザインメニューの編集画面1または2で行ないます。

ESC
- 機能を閉じる、元の位置に戻る等をいいます。（例・画面のセッティングを元に戻す、等）

秋
- アーティスタ200の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分類されています。春、夏、秋、冬です。

ヘルプ
- ヘルプメニューのことです。
- ソーイングおよび刺しゅうミシンの、ステッチや機能についての説明をするプログラムです。

履歴（ヒストリー）
- 記録
- アーティスタ200では、最近使ったステッチを、過去15個までさかのぼって「履歴」機能に保存します。

マニュアル
- 手動で。
- マニュアルのボタンホールは、4段階または6段階で縫われます。（ボタンホールのタイプによります）。マニュアルで、画面上の位置を変更していきます。

メガフープ
- 「特大」の刺しゅう枠です。
- 特大のデザイン、または長いボーダー等を刺しゅうするのに使います。

メモリー
- プログラムおよびデータは、ここに保存されます。
- ステッチコンビネーションやデザインを保存するには、ミシンのメモリーを使います。

メニュー
- 機能の一覧表。

030794.71.10_0401_a200_JP

用語集

モデム
- 「モデュレーター」と「デモデュレーター」の頭の文字を組み合わせたもの。
- モデムは、電話回線を通じてデータをミシンに転送する役割をします。

新規
- 新しいもの
- 新しいデザインを開く、等。

OK
- 何かの質問を確定する返事。
- 指定したコマンド、または変更したものを確定するときに使う。

PC
- パーソナルコンピューターの略。

周辺機器
- コンピューターシステムの中心機器ではないもの。
- アーティスタ200では、モデムやCDロム等。

ポップアップ
- ポップアップメニューのこと。
- 選択肢のリストを載せたメニューで、エントリーバーの横の矢印をタッチすると表示されます。

ポータル
- 「入り口」。
- アーティスタ200の情報源
- アーティスタ200のポータルは、マイアーティスタポータルです。モデムを接続して、ポータルの機能を選択すると、アクセスでき、デザインのダウンロード等が可能になります。

プロバイダー
- コミュニケーションサービス（インターネットへのアクセス等）を提供してくれる業者。
- マイアーティスタポータルへのアクセスは、プロバイダーを通じて行ないます。いろいろな業者がいるので、どれかと契約します。マイアーティスタポータルと接続するには、業者の名前、番号、ユーザーネームおよびパスワードを入力します。

布のつれ補正
- デザインのステッチ間が開きすぎる、またはステッチが重なる等の調整をすること。
- アウトラインがきれいでない、またはデザインがゆがんでしまった等の場合に使います。

準備、準備完了
- 刺しゅうメニュー（準備完了）では、すぐにステッチを開始できることを意味します。

レコード
- 記録すること。
- ステッチカウンターは、いくつのステッチを使うべきかをプログラムします。
- ステッチカウンターでは、ボタンホールのステッチされた長さを記録します。

リセット
- 元の状態に戻すこと。
- 「元のセッティングに戻す」等。

スクロール
- ブラウズすること。
- ファイルのすべてを表示できないとき、「スクロール」して、画面の全体を見ることになります。

センサー
- シグナルを受け取るもの。センサーで測定する場合もあります。

セットアップ
- 決定する、開始するの意味。
- 構成
- セットアッププログラムでは、デフォルトのセッティングを自分の好みに変更することが可能です。

ソフトウェア
- プログラムのこと。（コンピュータープログラム）。
- ハードウェア（コンピューターの外形）に対する言葉。

春
- アーティスタ200の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

夏
- アーティスタ200の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

タッチ画面
- センサー画面。
- 画面上のボタンにタッチして、コマンドを選択できるタイプのもの。

030794.71.10_0401_a200_JP

用語集

チュートリアル

・　セルフヘルプ（自分でできる）プログラム。ソーイングおよび刺しゅうに関する様々な情報を得られます。

アップデート

・　最新版。
・　コンピューターソフトウェアをアップデートする、というのは新しいバージョンをインストールする、またはプログラムの一部をアップデートすることをいいます。

USB

・　ユニバーサル・シリアル・バス
・　ベルニナミシンでは、周辺機器の接続に、USBコードを使います。

ウィンドウズCE

・　CEとは、コンシューマー・エレクトリックの頭文字です。
・　アーティスタ200のミシンに使われているシステムです。

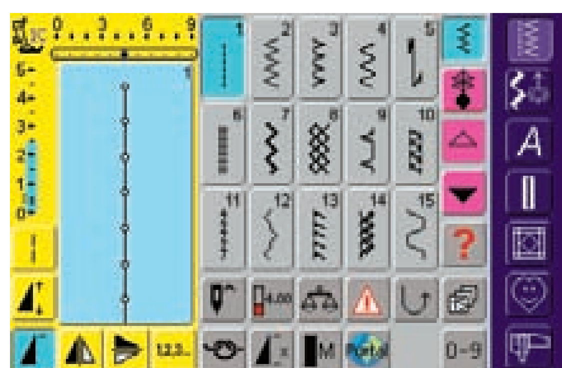
冬

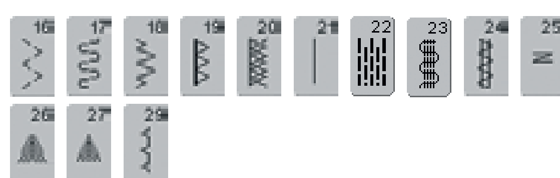
・　アーティスタ200の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

ズーム

・拡大、サイズ変更をいいます。

実用縫い

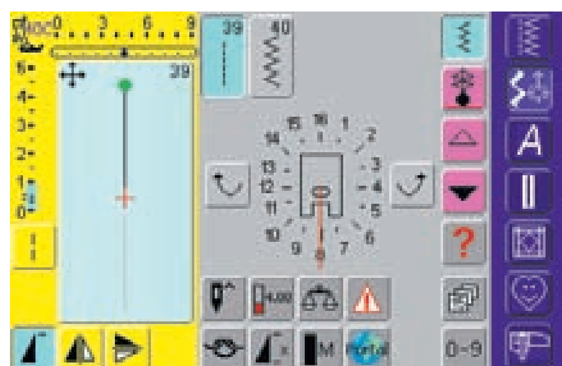




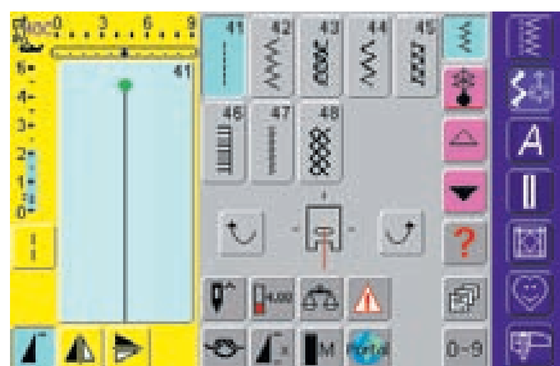
ボタンホール



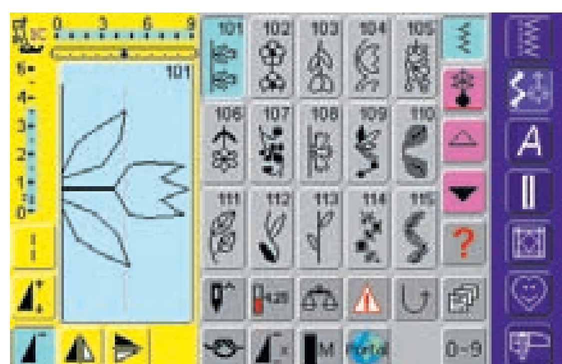
16方向縫い

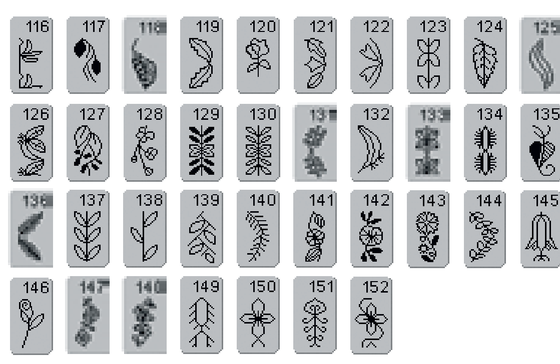


4方向パッチ縫い

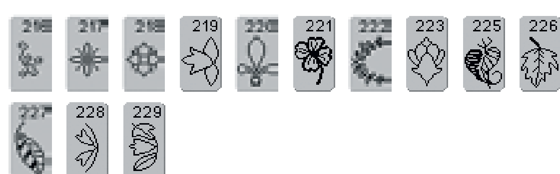


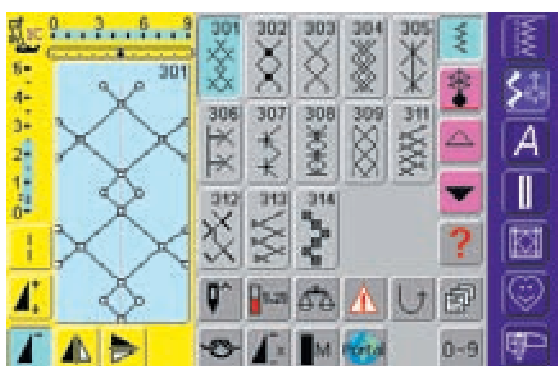
飾り縫い 9mm と 40mm



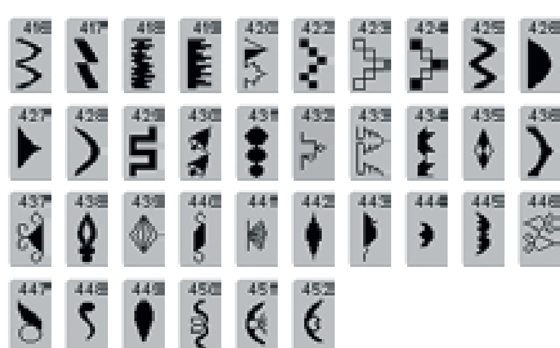





219
221
223
225
226
228
229

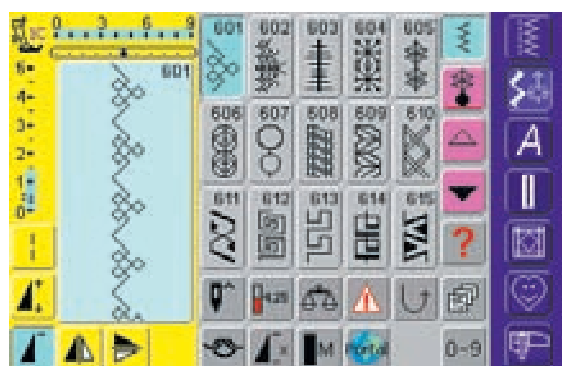




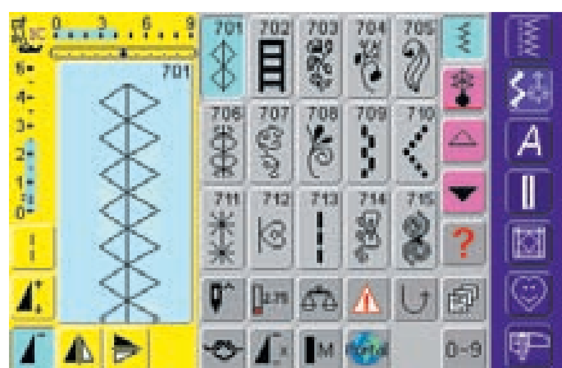


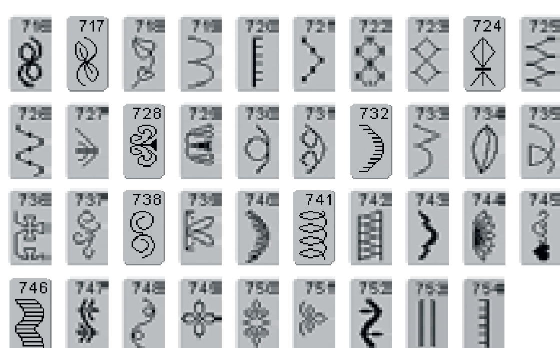



517

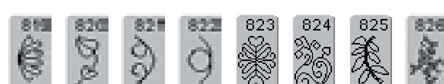


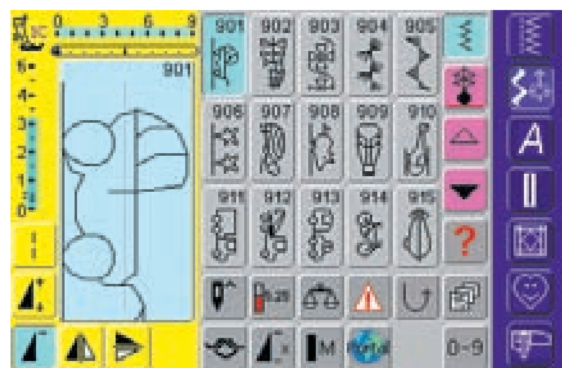








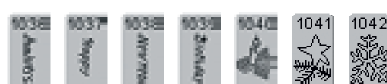




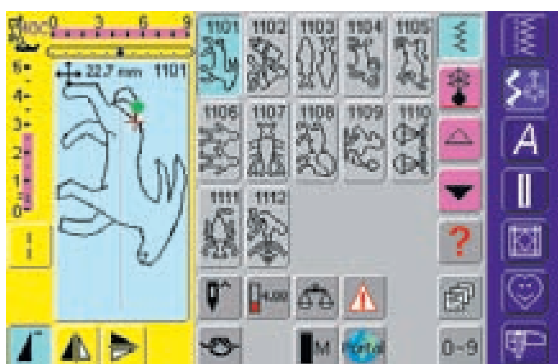


以下の表部分

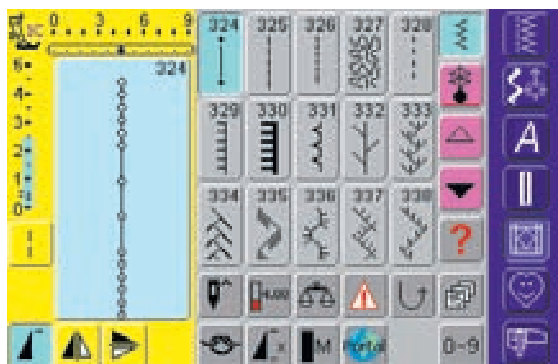


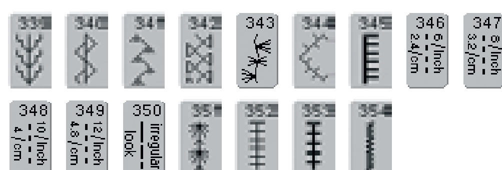

1041
1042

星占い



キルトステッチ




343
346 6/Inch 2.4/cm
347 8/Inch 3.2/cm
348 10/Inch 4/cm
349 12/Inch 4.8/cm
350 irregular look

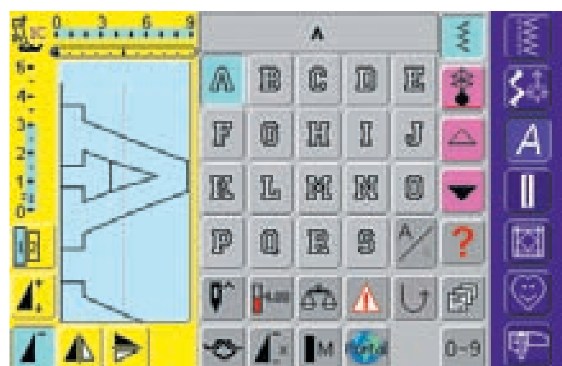
文字



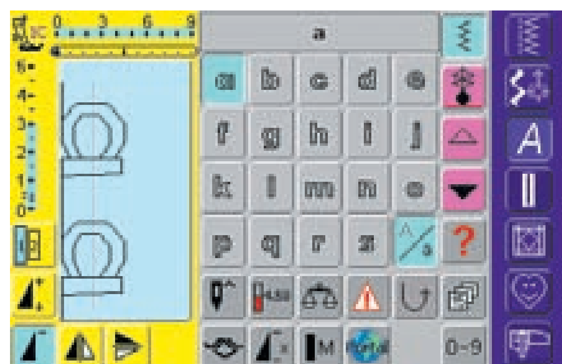
T	U	V	W	X	Y	Z	Ä	Ö	Ü
Å	Æ	Œ	Ø	Ñ	È	É	Ê	À	Â
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
–	-	·	.	!	+	=	&	÷	?
%	Ç	@	(	)	[	]			



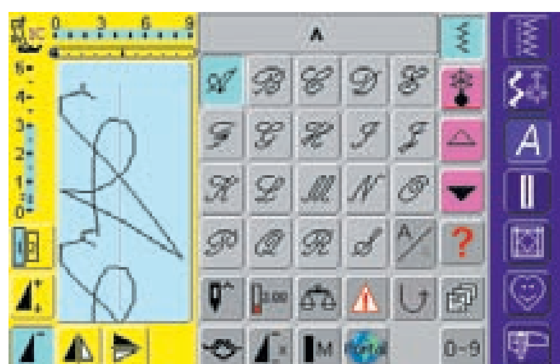
t	u	v	w	x	y	z	ä	ö	ü
å	æ	œ	ø	ñ	è	é	ê	à	â



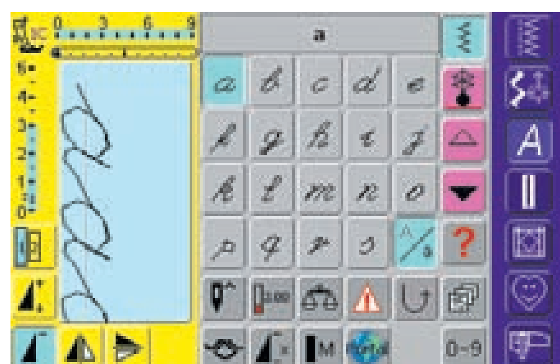
T	U	V	W	X	Y	Z	Ä	Ö	Ü
Å	Æ	Œ	Ø	Ñ	È	É	Ê	À	Â
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
–	-	·	.	!	?	%	ç	@	(
)	[	]							



t	u	v	w	x	y	z	ä	ö	ü
å	æ	œ	ø	ñ	è	é	ê	à	â









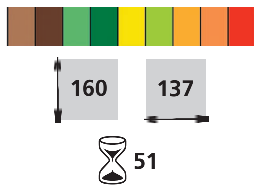




春

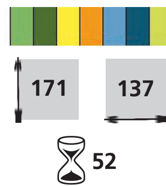


水仙の花



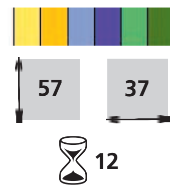


アイリスの花



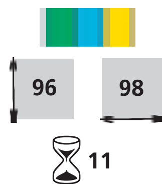


小さなパンジー



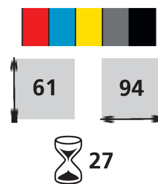


フラワーリース





蝶

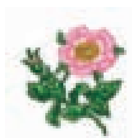


88 幅（mm単位）

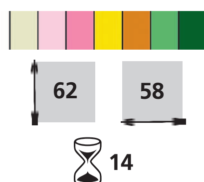
127 高さ（mm単位）

51 刺しゅうに要する時間（分単位）

夏

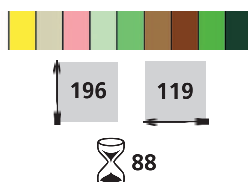


小さな野バラ



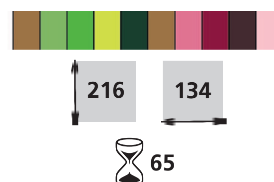


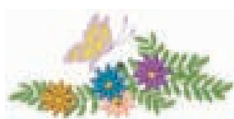
白いバラ



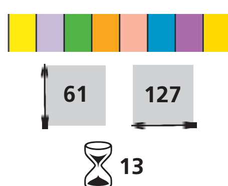


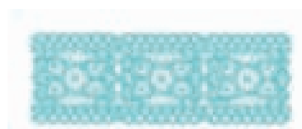
フューシャ



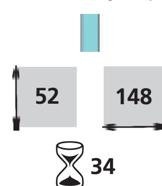


花と蝶



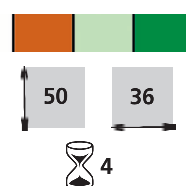


レースのボーダー

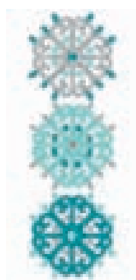




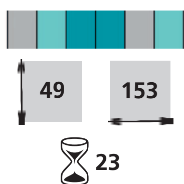
デイジー

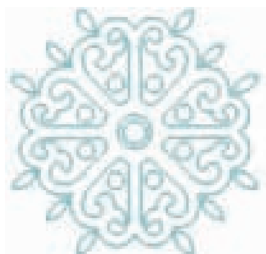


秋

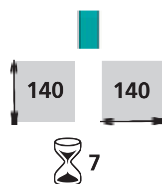


3つのキルト



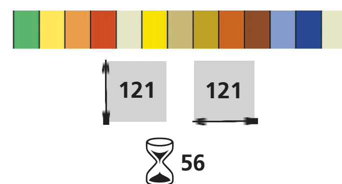


キルトのアウトライン



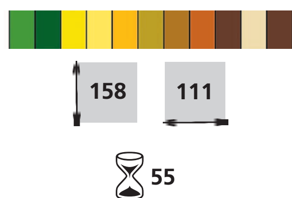


マッシュルーム



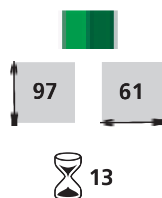


ひまわり





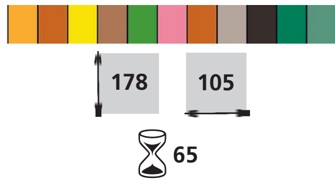
ぶどうの葉



冬

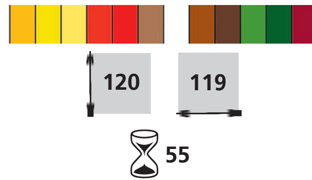


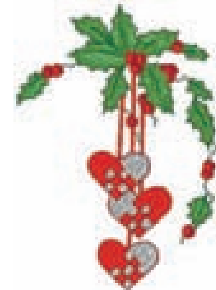
まつぼっくり



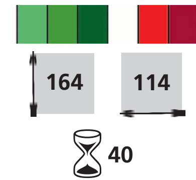


ひいらぎと小鳥



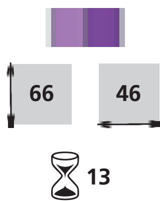


ひいらぎとハート



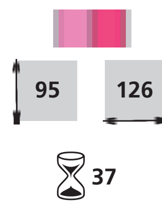


王家のタッセル





レースのハート



030794.71.10_0401_a200_JP

アルファベット一覧表

Alice
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 .,/?!@#$%&'()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Alice

アリス: 高さ 8-50mm

Blackboard
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 .,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Blackboard

ブラックボード: 高さ 8-50mm

Childs Play
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklm
nopqrstuvwxyz
1234567890.,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Childs Play

チャイルドプレイ: 高さ 13-30mm

Cursive
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890,./?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Cursive

カーシブ: 高さ 7-60mm

Drifter
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890.,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Drifter

ドリフター: 高さ 6-40mm

King Charles
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890,./?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

King Charles

キングチャールズ: 高さ 8-50mm

Lisa
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 .,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

Lisa

リサ: 高さ 13-75mm

London
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890.,/?!@#$%&*()-"";:¡¿€
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíîïð
ñòóôõöøùúûüýþ

London

ロンドン: 高さ 8-50mm

Swiss Block
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890
.,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß
àáâãäåæçèéêëìíî
ñòóôõöøùúûüýþ

Swiss block

スイスブロック: 高さ 6-60mm

VARSITY BLOCK
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
1234567890
.,/?!@#$%&*()-"";:¡¿
ÀÁÂÃÄÅÆÇÈÉÊËÌÍÎÏÐ
ÑÒÓÔÕÖØÙÚÛÜÝÞß

Varsity block

バーシティブロック: 高さ 6-35mm

030794.71.10_0401_a200_JP

索引

030794.71.10_0401_a200_JP

索引